令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事

特記仕様書	
図面番号	図　面　名　称
AT － 01	特記仕様書(建築工事編)(1)
AT － 02	特記仕様書(建築工事編)(2)
AT － 03	特記仕様書(建築工事編)(3)
AT － 04	特記仕様書(建築工事編)(4)
AT － 05	特記仕様書(建築工事編)(5)
AT － 06	特記仕様書(建築工事編)(6)
AT － 07	特記仕様書(建築工事編)(7)
AT － 08	特記仕様書(建築工事編)(8)
AT － 09	特記仕様書(建築工事編)(9)
AT － 10	特記仕様書(建築工事編)(10)
AT － 11	特記仕様書(建築工事編)(11)

意　匠　図	
図面番号	図　面　名　称
A － 01	付近見取図
A － 02	配置図
A － 03	面積表,排煙･採光･換気計算
A － 04	平面図･天井伏図･屋根伏図･仕上表
A － 05	立面図･断面図
A － 06	矩計図･断面詳細図
A － 07	平面詳細図
A － 08	展開図(1)
A － 09	展開図(2)
A － 10	建具表(1)
A － 11	建具表(2)
A － 12	家具詳細図
A － 13	外構図(改修前),仮設計画図
A － 14	外構図(改修後)

構　造　図	
図面番号	図　面　名　称
S － 01	構造設計標準仕様書
S － 02	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ構造配筋標準図
S － 03	木造在来軸組工法 標準仕様書１
S － 04	木造在来軸組工法 標準仕様書２
S － 05	木造在来軸組工法 標準仕様書３
S － 06	基礎伏図・基礎ﾘｽﾄ
S － 07	部材ﾘｽﾄ
S － 08	1階伏図・M１階伏図
S － 09	R階伏図
S － 10	垂木母屋伏図
S － 11	軸組図1
S － 12	軸組図2

電気設備図	
図面番号	図　面　名　称
E － 01	特記仕様書
E － 02	機材指定表
E － 03	盤結線図
E － 04	幹線･ｺﾝｾﾝﾄ設備図
E － 05	電灯･非常照明･誘導灯設備図
E － 06	弱電設備図

機械設備図	
図面番号	図　面　名　称
M － 01	特記仕様書(1)
M － 02	特記仕様書(2)
M － 03	特記仕様書(3)
M － 04	配置図
M － 05	衛生平面図
M － 06	換気平面図
M　07	排水貯留槽参考図

機械設備図	
図面番号	図　面　名　称
KT － 01	特記仕様書（解体工事編）
K － 01	[解体]仕上表･平面図
K － 02	[解体]平面詳細図
K － 03	[解体]立面図
K － 04	[解体]矩計図
K － 05	[解体]詳細図
K － 06	[解体]各室展開図(1)
K － 07	[解体]各室展開図(2)
K － 08	[解体]家具詳細図
K － 09	[解体]各伏図
K － 10	[解体]建具表
K － 11	[解体]各軸組図･伏図(2)
K － 12	[解体]構造詳細図
K － 13	[解体]電気設備工事
K － 14	[解体]衛生設備工事

工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16－17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福　家　正　義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村　田　憲　明	
図名 図面ﾘｽﾄ	縮尺 1／－ A2(100%),A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. A ― 00	製図	一級建築士登録第370400号 山　本　優　太	

特記仕様書（建築工事編）

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　高知県吾川郡いの町鹿敷507　（都市計画区域　内・(外)）

2．敷地面積　294.72　㎡

3．構造・規模　木造造 1　階

4．建築面積　81.32　㎡　　5．延床面積　72.20　㎡

6．主要用途　集会所

Ⅱ　建築工事仕様

1．共通仕様

（1）　図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）」（以下、「標準仕様書」という）による。

（2）　電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は（　）図、機械設備工事の工事仕様書は（　）図による。

（3）　受注者は完了検査（中間検査を含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料等（報告書等）を用意すること。

2．特記仕様

（1）　項目は、⊙印の付いたものを適用する。

（2）　特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。

（3）　特記事項に記載の（　．　．　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（4）　特記事項に記載の(別図-　．　)は、標準仕様書の「別図　各部配筋」の当該項目を示す。

（5）　G 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針
（令和4年2月25日変更閣議決定）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。

（6）　標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例を含む）抵触する場合には、関係法令等の遵守(1.1.13)の規定を優先する。

（7）　本工事は週休二日制(通期)、かつ発注者指定型とする。

1 各章共通事項

⊙適用基準及び区分

⊗　建築工事監理指針（上下巻）　国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）
⊗　建築工事標準詳細図　国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）
・　鉄骨設計標準図　国土交通大臣官房官庁営繕部監修
・　鉄骨工事技術指針　工場製作編　工事現場施工編　日本建築学会
⊗　建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事等編）
⊗　建設副産物適正処理推進要綱
⊗　建築材料等評価名簿　国土交通大臣官房官庁営繕部監修
⊗　工事写真撮影ガイドブック　建築工事編及び解体工事編　国土交通大臣官房官庁営繕部監修

・　建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画書として提出する。
区分等　基準風速　Vo=（　　）m/s　地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ）
積雪区分　建設省告示第1455号　別表（　　）

・電気保安技術者　・適用する　(1.3.3)

⊙施工条件　施工時間帯　※指定なし　・指定有り（　　）　(1.3.5)
部位別の施工順序　※指定なし　・指定有り（　　）

⊙発生材の処理
・引き渡しを要するもの（　　）　(1.3.11)
・特定管理産業廃棄物（種類：　　処理方法：　　）
・現場において再利用を図るもの（　　）
・再生資源化を図るもの（・コンクリート塊　・アスファルトコンクリート塊　・建設発生木材）
※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。

⊙石綿含有建材の処理等　大気汚染防止法、労働安全衛生法及び石綿障害予防規則に基づき、事前調査、報告を行った上で、適切に処理すること。
工事発注前の調査の情報提供　⊙有り　・無し

⊙材料の品質等　(1.4.2)

本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS 又は JAS マーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の１）から６）の事項を満たすものとする。
１）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
２）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
３）安定的な供給が可能であること。
４）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
５）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
６）販売、保守等の営業体制が整えられていること。
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受けること。
製材等，フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は，グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い，あらかじめ，平成19年3月30日付け18高建管第881号「土木部発注工事で使用する木材の合法性の確認について（通知）」による証明書等を，監督職員に提出する。

⊙特別な材料の工法　標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

⊙施工図及び施工計画書　提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。

⊙技能士　(1.5.2)

工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	⊙とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	⊙鉄筋組立て作業
コンクリート工事	型枠施工	⊙型枠工事作業
	ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送施工	⊙ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送工事作業
鉄骨工事	鉄工	・構造物鉄工作業
	とび	・とび作業
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ・押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事	ﾌﾞﾛｯｸ建築	・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業
	ALCﾊﾟﾈﾙ施工	・ALCﾊﾟﾈﾙ工事作業
防水工事	防水施工	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業 ・塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業　・ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業 ・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　・FRP防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ工法防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ常温粘着工法防水工事作業
石工事	石材施工	・石張り作業
タイル工事	タイル張り	・タイル張り作業
木工事	建築大工	⊙大工工事作業
	枠組壁建築	・枠組壁工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	⊙内外装板金作業
	かわらぶき	・かわらぶき作業
金属工事	内装仕上施工	⊙鋼製下地工事作業
	建築板金	・内外装板金作業
左官工事	左官	⊙左官作業
建具工事	サッシ施工	⊙ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業
	ガラス施工	⊙ｶﾞﾗｽ工事作業
	自動ドア施工	・自動ﾄﾞｱ施工作業
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事	ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ施工	・金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事作業
	サッシ施工	・ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業
	ガラス施工	・ｶﾞﾗｽ工事作業
塗装工事	塗装	⊙建築塗装作業
内装工事	内装仕上施工	・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業　・ｶｰﾍﾟｯﾄ系床仕上げ作業 ⊙木質系床仕上げ工事作業　⊙ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業 ・化粧ﾌｨﾙﾑ工事作業
	熱絶縁施工	・吹付け硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱工事作業
	表装	⊙壁装作業
排水工事	配管	⊙建築配管作業
舗装工事	路面表示施工	・溶解ﾍﾟｲﾝﾄﾏｰｶｰ工事作業　・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ工事作業
植栽工事	造園	・造園工事作業

⊙完成時の提出図書　(1.7.1)

※完成図（設計図一式(変更内容含む)）ＣＡＤデータ（CD-R）とも
記入内容は標準仕様書 表1.7.1による。仕上表には、ﾒｰｶｰ名及び品番、色番号等を記入する。
※施工計画書　（A4ファイル綴じ　提出部数：１部）
※施工図　（CADデータ　提出部数：１部）
※保全に関する資料　（提出部数　※１部　・　部）
※工事写真・完成写真　写真データ（CD-R）とも

区　分	分類規格	提出部数	部　数
着工前及び工事中	カラー　※サービス版	工程毎	１部
完成時	カラー　※キャビネ版	枚	部
	カラー　・全紙版（ｱﾙﾐ額縁入）	枚	部
	・	枚	部

工事写真については、隠蔽となる部分は全て撮影すること。
デジタル写真の仕様は1 適用基準及び区分の工事写真撮影ガイドブックによる。
※上記の他、完成写真内外６面程度（カラーサービス版）、及びその画像データを完成検査時に１部提出する。
※電子納品とする場合は、「高知県電子納品運用に関するガイドライン工事編」により、予め監督職員と協議を行う。

⊙室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策

※屋内に使用する材料は、揮発性有機化合物（ＶＯＣ）の放散による健康への影響に配慮し、次の条件を満たすものとする。

対象建築材料等	使用制限
①合板、木質ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ、構造用ﾊﾟﾈﾙ、集成材、単板積層板、MDF、ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ、ﾕﾘｱ樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、仕上げ塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする
②塗料	ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｽﾁﾚﾝ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを含有していない水性系のものとする
③木材保存剤（防腐処理、防蟻処理等）	ｸﾛﾙﾋﾟﾘﾎﾘｽ、ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ、ﾌｪﾉﾌﾞｶﾙﾌﾞを含有しない、非有機ﾘﾝ系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する
④内装用接着剤、木工事用接着剤	１）ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｽﾁﾚﾝ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを含有してないものとする ２）ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-n-ﾌﾞﾁﾙ、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする
⑤家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、流し台	①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆同等品を使用する

⊙室内空気中の化学物質の濃度測定

室内に関わる材料（上記②～④及び建具、ｼｰﾙ材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｽﾁﾚﾝ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-n-ﾌﾞﾁﾙ、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙ、ｸﾛﾙﾋﾟﾘﾎﾘｽ、ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ、ﾌｪﾉﾌﾞｶﾙﾌﾞの有無または成分について一覧表を作成し提出すること。

施工完了時に室内空気中のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ｽﾁﾚﾝの濃度を測定し、報告すること
測定対象室及び測定箇所数　※図示（仕上表備考欄）　⊙（　2　）か所

⊙設備工事との取り合い　設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

施工範囲		区　分
梁貫通部の補強		※本工事　・別途工事
梁貫通部のスリーブ		・本工事　※別途工事
自動開閉装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びﾄﾞｱｰﾁｪｯｸ、ﾌﾛｱﾋﾝｼﾞ		※本工事　・別途工事
天井埋込型器具の取付箇所の下地軽量鉄骨の切込み及び補強		※本工事　・別途工事
軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地		・本工事　※別途工事
埋込形分電盤、消火栓等の仮枠及び補強	仮枠	・本工事　※別途工事
	補強	※本工事　・別途工事
照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート		・本工事　※別途工事
電気室、自家発電室などのピット（蓋含む）		※本工事　・別途工事

⊙設計GL　※ 図 示
⊙交通誘導警備員　配置人数（ 20人 ）

2 仮設工事

⊙足場その他　(2.2.4)

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

外部足場に設ける防護シート等
・養生シート※JISA8952のⅠ類に適合するもの
（建築工事用シートでシートだけで落下物の危害防止に使用できるもの）
・防音シート　・採光防音シート　・養生ネット

⊙監督職員事務所等
・設ける　規模及び仕上げの程度、並びに設置する備品等の種類及び数量は　(2.3.1)
現場説明書（施工条件明示）による。
※設けない

⊙工事用水　構内既存の施設　⊙利用できる（　※有償　・無償）　・利用できない

⊙工事用電力　構内既存の施設　⊙利用できる（　※有償　・無償）　・利用できない

3 土工事

⊙埋戻し及び盛土　(3.2.3)(表3.2.1)

材料及び工法　⊙Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・建設汚泥から再生した処理土 G
Ｃ種の場合の受入量、発生場所は現場説明書（施工条件明示）による。
Ｄ種の場合の六価クロム溶出試験は、現場説明書(施工条件明示)による。

⊙建設発生土の処理　(3.2.5)

※構外搬出
搬出先の名称（　　）
所在地　（　　）　運搬距離（　　）km
その他　建設発生土の搬出先は上記を予定している。
搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。
・構内指定場所に敷き均し　・構内指定場所に堆積

⊙騒音振動の防止　低騒音型　低振動型建設機械指定に基づき指定された建設機械を使用する。

4 地業工事

⊙支持地盤等　(4.2.1)(4.3.4、5)(4.5.5、6)

・杭基礎
支持層の位置及び土質（基礎ぐいの先端の位置含む）
・（　　）　・図示

⊙直接基礎
支持層の位置及び土質（基礎底部の位置含む）
・（　　）　⊙図示　構造図参照
試験掘り（根切り底の状態の確認等）
・行わない　⊙行う
位置等　⊙図示 構造図参照

・地盤の載荷試験
載荷試験の方法等　・図示

・既製コンクリート杭地業　(4.3.3)

種類
・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭）
・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭）
・外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭）
SC杭の鋼管材料　・SKK400　・SKK490
・

寸法、継手、性能等　（種別：種類、性能及び曲げ強度区分）　(4.2.2)(4.3.3)

		種類	コンクリート強度(N/mm²)	鋼管厚(mm)	杭径(mm)	杭長(m)	継手数	ｾｯﾄ数	長期設計支持力(kN/本)	備　考
試験杭	上杭									
	中杭									
	下杭									
本　杭	上杭									
	中杭									
	下杭									

特記仕様書（建築工事編）（１）　令和４年度版　高知県土木部建築課

令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事

(株)ハウジング総合コンサルタント
高知市南久保16-17 TEL088-883-1030 FAX088-882-4779
高知県知事登録119号　管理建築士 一級建築士登録第203207号　製図 一級建築士登録第370400号
代表取締役　福家正義　村田憲明　山本優太

2026/02
AT-01
令和５年７月改正

杭先端部形状 (4.3.3)
・開放形　・半開放形　・閉そく形　・

・セメントミルク工法 (4.2.2)(4.3.1)(4.3.4)
試験杭
試験杭の位置
・図示による(　　)　・
掘削深さ
・図示による(　　)　・
杭の支持層への根入れ深さ
・図示による(　　)　・
杭の精度
水平方向の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100mm以下　・
杭の傾斜
・1/100以内　・

・特定埋込杭工法 (4.2.2)(4.3.1)(4.3.5)
・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式のうち
α、β、γが以下の値を採用できる工法
α=(　　)、β=(　　)、γ=(　　)
工法
・プレボーリング拡大根固め工法
・中堀り拡大根固め工法
・
杭周固定液
・使用する　・使用しない

試験杭
試験杭の位置
・図示による(　　)　・
杭の支持層への根入れ深さ
・図示による(　　)　・
杭の精度
水平方向の位置ずれ
※杭径の1/4かつ100mm以下　・
杭の傾斜
※1/100以内　・

杭の継手の工法 (4.3.3)(4.3.6)(7.2.5)
・アーク溶接継手
溶接材料
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による
・
・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)
工法
※評定等を受けた工法
検査
※評定等により定められた項目
施工
※評定等をされた施工管理基準による

杭頭の処理等 (4.3.8)
・処理しない
・処理する
処理方法（切断にともなう補強方法含む）
・図示による(　　)　・

杭頭の中詰め材料 (4.3.8)
・基礎のコンクリートと同調合のもの　・

・鋼杭地業

材料、寸法、継手等 (4.2.2)(4.43)(4.4.5)

		種類	厚さ (mm)	杭径 (mm)	杭長 (m)	継手数	ｾｯﾄ数	長期設計支持力 (kN/本)	備　考
試験杭	上杭								
	中杭								
	下杭								
本　杭	上杭								
	中杭								
	下杭								

杭先端部形状
・開放形　・半開放形　・閉塞形　・
先端部の補強
・標準仕様書 図4.4.1、表4.4.2による　・
先端部の補強（補強バンドなど）及びその他付属品の材質
・SS400と同等またはそれ以上　・

・場所打ち
コンクリート杭
地業

・特定埋込杭工法 (4.2.2)(4.3.5)(4.4.4)
・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式のうち
α、β、γが以下の値を採用できる工法
α=(　　)、β=(　　)、γ=(　　)
工法
・中堀り拡大根固め工法
・
試験杭
試験杭の位置
・図示による(　　)　・
杭の精度
水平方向の位置ずれ
※杭径の1/4かつ100mm以下　・
杭の傾斜
※1/100以内　・

杭の継手の工法 (4.4.3)(4.4.5) (7.2.5)
・溶接継手
形状
・JIS A 5525による　・
溶接材料
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による
・
・無溶接継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）
工法
※評定等を受けた工法
検査
※評定等により定められた項目
施工
※評定等をされた施工管理基準による

杭頭の処理等 (4.3.8)(4.4.6)
・処理しない
・処理する
処理方法（切断にともなう補強方法含む）
・図示による(　　)　・

杭頭の中詰め材料 (4.3.8)
・基礎のコンクリートと同調合のもの　・

工法 (4.5.1)(4.5.5)
・アースドリル工法　(安定液　※使用する　・使用しない)
・リバース工法
・オールケーシング工法　(孔内の水張り　・行う　・行わない)

併用する工法 (4.5.1)(4.5.6)
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
鋼管の種類　・SKK400　・SKK490　・
・拡底杭工法（安定液　・使用する　・使用しない）
・

寸法等 (4.2.2)

	鋼管厚 (mm)	鋼管径 (mm)	軸径 (mm)	拡底径 (mm)	杭長 (m)	ｾｯﾄ数	長期設計支持力(kN/本)	備　考
試験杭								
本　杭								

試験杭 (4.5.5)
試験杭の位置
・図示による(　　)　・

孔壁の保持状況（孔壁測定） (4.5.5)
測定箇所
・試験杭(　　)箇所及び本杭(　　)箇所　・

杭の支持層への根入れ深さ
・図示による(　　)　・

杭の精度
水平方向の位置ずれ
※杭径の1/4かつ100mm以下　・
杭の傾斜
※1/100以内　・

鉄筋の種類 (4.5.4)

種類の記号	呼び径 (mm)	備　考
・ SD295		
・ SD345		
・		

帯筋 (4.5.4)
・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）6.2帯筋(b)(3)⑥(ロ)）
・

・砂利地業

・捨コンクリート
地業

・床下防湿層

・地盤改良工法

鉄筋の最小かぶり厚さ (4.5.4)
・100mm　・

鉄筋かごの補強 (4.5.4)
・図示による(　　)
・杭径1.5m以下の場合は鋼板6×50(mm)、1.5mを超える場合は鋼板9×50～75(mm)の補強リング　を3m以下の間隔で、かつ1節につき3箇所以上入れ、リングと主筋の接触部を溶接する

組み立てた鉄筋の節ごとの継手 (4.5.4)(5.3.4)
※重ね継手　重ね継手の長さ　・図示による（　　）
・

主筋の基礎底盤への定着長さ (4.5.4)(5.3.4)
・図示による(　　)　・

セメントの種類 (4.5.4)
※高炉セメントB種 G　・

コンクリートの設計基準強度 (4.5.4)
・図示による(　　)　・

コンクリートの種別 (4.5.4)
・A種　・B種
・評定等の内容による

スランプ (4.5.4)
※18cm　・

構造体強度補正値 (4.5.4)
※3N/mm^2
・図示による(　　)
・評定等の内容による

材料 (4.6.2)
⊙再生クラッシャラン G
・切込砂利又は切込砕石

砂利厚さ (4.6.3)
※60mm　⊙100mm

施工範囲 (4.6.3)
⊙基礎下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下
・図示による(　　)

厚さ (4.6.4)
※50mm　・

施工範囲 (4.6.4)(6.14.1)
⊙基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下
・図示による(　　)

設計基準強度 (4.6.4)(6.14.1)
※18N/mm^2　・

スランプ (4.6.4)(6.14.1)
※15cm又は18cm　・

材料 (4.6.2、5)
※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上

施工範囲
・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）　・図示

種類及び施工方法等
・図示による（　　）　・

六価クロム溶出試験
※現場説明書による　・

特記仕様書（建築工事編）（２）

令和４年度版　高知県土木部建築課

令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事

(株)ハウジング総合コンサルタント
高知市南久保16-17 TEL088-883-1030 FAX088-882-4779
高知県知事登録119号　管理建築士 一級建築士登録第203207号　製図 一級建築士登録第370400号
代表取締役 福家正義　村田憲明　山本優太

2026/02
AT-02
令和５年７月改正

5 鉄筋工事

⊙鉄筋

鉄筋の種類等 (5.2.1)

種類の記号	呼び径（mm）	備　考
⊙SD295	※D16以下	JIS規格品
・SD345	※D19以上	
・		
・		

・溶接金網

鉄線の形状等 (5.2.2)

種　類	種類の記号	網目寸法、鉄線の径（mm）	使用部位
・溶接金網			
・鉄筋格子			

⊙鉄筋の継手及び定着

鉄筋の継手の方法等 (5.3.4)(5.5.2)(5.6.3)

部　位	継手の方法	呼び径（mm）
柱及び梁主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手	※D19以上
耐力壁の鉄筋	※重ね継手	
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	⊙重ね継手　・ガス圧接	
上記以外（　　）	※重ね継手	

継手位置
- 構造関係共通図（配筋標準図）5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による
- ⊙図示　構造図参照

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ
- 構造関係共通図（配筋標準図）3.1(a)(2) による
- 構造関係共通図（配筋標準図）3.1(a)(3)による
- ⊙図示　構造図参照

鉄筋の定着長さ (5.3.4)
- 構造関係共通図（配筋標準図）3.1(b)による
- ⊙図示　構造図参照

⊙鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）

最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) (5.3.5)
- 構造関係共通図（配筋標準図）表4.1による
- ⊙図示　構造図参照

柱及び梁の主筋にD29以上の使用
- あり　使用箇所(　　)

主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する

耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)
- 適用箇所(　　)
  - 構造関係共通図（配筋標準図）表4.1に加える厚さ　(　　)mm
  - (　　)

⊙各部配筋

各部配筋 (5.3.7)
- 構造関係共通図（配筋標準図）による
- ⊙図示　構造図参照
- (　　)

・圧接完了後の試験

外観試験 (5.4.10)(5.4.11)
- ※行う　(全数)

抜取試験
- ※超音波探傷試験
  - 試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。
  - 試験の箇所数：１ロットに対して30か所とし、ロットから無作為に抜き取る。
- ・引張試験
  - 試験ロット：１組の作業班が１日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする
  - 試験の箇所数：１ロットに対して（※３本　・　　）とする

・機械式継手

適用箇所 (5.5.2)
- 図示による(　　)　・

H12建告第1463号に適合する性能 (5.5.2)
- A級　・

機械式継手の種類 (5.5.2)
- 図示による(　　)　・

鉄筋相互のあき (5.3.5) (5.5.2)
- 図示による(　　)　・

施工完了後の継手部の試験 (5.5.2)
- 図示による（　　）

不合格となった継手部への措置 (5.5.2)
- 図示による（　　）

・溶接継手

適用箇所 (5.6.3)
- 図示による(　　)　・

H12建告第1463号に適合する性能 (5.6.3)
- A級　・

溶接継手の工法 (5.6.3)
- 図示による(　　)　・

鉄筋相互のあき (5.6.3)
- 図示による(　　)　・

溶接完了後の継手部の試験 (5.6.3)
- 図示による（　　）

不合格となった継手部への措置 (5.6.3)
- 図示による（　　）

6 コンクリート工事

⊙コンクリートの種類等

・普通コンクリート (6.2.1～4)(6.3.2)(6.10.1、2)

設計基準強度（N/mm²）	スランプ(cm)	適用箇所
・24		
⊙21	⊙15	構造図参照
⊙18	⊙15	構造図参照

・軽量コンクリート

設計基準強度（N/mm²）	スランプ(cm)	適用箇所
・	・	
・	・	

構造体強度補正値 (6.3.2)
- ※標準仕様書表6.3.2による
- ・

⊙コンクリートの種別

コンクリートの 類別 (6.2.1)
- ※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
- ・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

⊙セメント

種　類 (6.3.1)
- ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
  - 適用箇所(※下記以外全て　・　　)
  - 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g 以下、かつ28日目で 402J/g 以下のものとする
- ・高炉セメントB種 G
  - 適用箇所(・1FLより下部（立上り部含む）　・　　)
- ・フライアッシュセメントB種 G
  - 適用箇所(　　)
- ・

⊙骨材

アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)
- ※A　・B（コンクリート中のアルカリ総量が3.0kg/m³ 以下）
- ・再生骨材H

本工事において細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。

⊙混和材料

⊙混和剤 (6.3.1、2)
- 混和剤の種類
  - ⊙標準仕様書 6.3.1(4)(a)による　・(　　)

⊙混和材
- 混和材の種類
  - ⊙標準仕様書 6.3.1(4)(b)による　・(　　)

・気乾単位容積質量

普通コンクリート (6.2.3)
- ※2.3t/m³ 程度　・

軽量コンクリート
- ・

・軽量コンクリート

種　別 (6.10.1)
- ・１種　・２種

適用箇所
- ・図示　・(　　)

・寒中コンクリート

適用期間 (6.2.1)(6.11.1)
- ・図示による
- ・積算温度を基に定める場合
  - ・図示による(　　)　・

・暑中コンクリート

構造体強度補正値　※6N/mm²　・ (6.12.1、2)

・マスコンクリート

適用箇所 (6.2.1)(6.13.1)
- ・図示による(　　)　・

セメントの種類 (6.13.2)
- ・中庸熱ポルトランドセメント　・低熱ポルトランドセメント
- ・高炉セメントB種 G　・フライアッシュセメントB種 G
- ・普通ポルトランドセメント　・ (6.13.2)

混和材料
- ・混和剤

混和剤の種類
- ※JIS A 6204に適合するAE減水剤又は高性能AE減水剤　・

スランプ (6.13.2)
- ※15cm　・

⊙無筋コンクリート

コンクリートの種類 (6.2.1)(6.14.1)
- ※普通コンクリート

セメントの種類 (6.3.1)
- ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
- ・高炉セメントB種 G
- ・フライアッシュセメントB種 G

設計基準強度 (6.14.1)
- ※18 (N/mm²)　・

スランプ (6.14.1)
- ※15cm又は18cm　・

適用箇所 (6.14.1)
- ・標準仕様書 6.14.1(4)(ｱ)～(ｶ)による
- ・図示による(　　)　・

・流動化コンクリート

適用箇所 (6.2.1)(6.15.1)
- ・図示による(　　)　・

⊙打継ぎの位置 ひび割れ誘発目地 打継目地

打継ぎの位置 (6.6.4)

梁及びスラブ
- ※スパンの中央又は端から1/4の付近
- ・図示による(　　)　・

柱及び壁
- ※スラブ、壁梁又は基礎の上端
- ・図示による(　　)　・

目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
- ⊙標準仕様書 9.7.3(1)(ｱ)～(ｳ)による
- ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する
- ・図示による(　　)　・

ひび割れ誘発目地の位置 (6.8.1)
- ・図示による(　　)

⊙ｺﾝｸﾘｰﾄの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.2)

種　別	適用箇所
・A種	※図示による(　　)
⊙B種	※図示による(A-05　)
・C種	※図示による(　　)

コンクリートの仕上りの平たんさ (6.2.5)(6.8.2)

種　別	適用箇所
・a種	※図示による(　　)
・b種	※図示による(　　)
・c種	※図示による(　　)

⊙打増し厚さ（打放し仕上げ部）

⊙打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) (6.8.1)
- ⊙20mm　・(　　)

・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
- ・10mm　・20mm　・(　　)

・外装タイル後張り面のの打増し処理
- ・20mm　・(　　)

打増し範囲
- ・図示による(　　)

特記仕様書（建築工事編）（３）　令和４年度版　高知県土木部建築課

令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事

(株)ハウジング総合コンサルタント
高知市南久保16-17 TEL088-883-1030 FAX088-882-4779
高知県知事登録119号　管理建築士 一級建築士登録第203207号　製図 一級建築士登録第370400号
代表取締役 福家正義　村田憲明　山本優太

2026/02
AT-03
令和５年７月改正

⊙型枠

せき板の材料及び厚さ (6.8.2)
⊙合板(※12mm ・) G ・( )
・断熱材を兼用した型枠材
使用箇所 ・図示による( ) ・( )
・ＭＣＲ工法用シート (6.8.2)
適用箇所 ・図示による( ) ・( )
打増し厚さ ・20mm ・( )
打増し範囲 ・図示による( ) ・( )
スリーブの材種・規格等 (6.8.2)
・図示による( ) ・( )

⊙ｺﾝｸﾘｰﾄの単位水量測定

実施要領
構造関係共通図（構造関係共通事項） 構－4 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定による

7 鉄骨工事

・鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力 (7.1.3)
※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場
評価の区分
※( )グレード ・グレードの指定はしない

・鉄骨製作工場における施工管理技術者

※配置する (7.1.3、4)

・鋼材

種類等 (7.2.1)

種類の記号	適用箇所 （主要な部分）	規 格
		・JIS規格による ・
		・JIS規格による ・
		・JIS規格による ・
		・JIS規格による ・
		・JIS規格による ・

・高力ボルト

高力ボルトの種類 (7.2.2)
・トルシア形高力ボルト
・JIS形高力ボルト
・溶融亜鉛めっき高力ボルト
・

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)
※図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図） 1-1 縁端距離及びボルト間隔）
・

摩擦面の処理方法等
溶融亜鉛めっき面以外 (7.4.2)
※標準仕様書7.4.2(1)による
・
溶融亜鉛めっき面 (7.12.5)
・ブラスト処理（表面粗度50μmRz以上）
・ブラスト処理以外の特別な処理方法
・図示による( ) ・

・すべり試験 (7.4.2)
※すべり係数試験 ・すべり耐力試験
試験の方法等
・図示による( ) ・

・普通ボルト

ボルト及びナットの材料 (7.2.3)
・標準仕様書 表7.2.3（JIS附属書品)又は次による
ボルトの規格は、JIS B 1180とする。
（ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。
ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181とする。
ナットの種類は、六角ナット-Cとし、材料は鋼とする。

座金 (7.2.3)
※JIS B 1256による ・

戻り止め (7.5.2)
※二重ナット ・

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)
※図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図） 1-1 縁端距離及びボルト間隔）
・

・アンカーボルト

・構造用アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)
種類
・ABR400 ・ABR490 ・

・建方(及び付属鉄骨)用アンカーボルト
種類
・SS400 ・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書 表7.2.3による
・

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)
※図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図） 1-1 縁端距離及びボルト間隔）

・溶接材料

溶接材料 (7.2.5)
※標準仕様書 7.2.5(1)(2)による。
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)以外の溶接材料
材料及び使用箇所 ・図示による（ ） ・( )

・ターンバックル

種類 (7.2.6)
建築用ターンバックルボルト
※羽子板ボルト ・( )
建築用ターンバックル胴
※割枠式 ・( )
ねじの呼び
・図示による（ ） ・( )

・床構造用のデッキプレート

材質、形状及び寸法 (7.2.7)

	適用箇所	材質・形状・寸法	備考
・デッキプレート単独の構法			
・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法			
・			

開口部補強要領（補強筋の定着長さ等を含む）
・( ) ・図示
鉄骨部材への溶接方法
・( ) ・図示
耐火認定
・有り
耐火時間 ・( ) ・図示
・無し

・スタッド

種類等 (7.2.8)

呼 び 名	呼び長さ (mm)	適 用 箇 所
・16		
・19		
・22		

・柱底均しモルタル

無収縮モルタルとする場合の材料、調合等 (7.2.9)
※標準仕様書 7.2.9(2)(ｱ)から(ｴ)による ・

・製作精度

鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6［鉄骨精度検査基準]に加えて、次による (7.3.3)
通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法
※平12建告第1464号第二号イ(2)による
・

アンダーカットの寸法
※平12建告第1464号第二号イ(3)による
・

食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法
・「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
・

・溶接技能者の技量付加試験

試験の要領 (7.6.3)
・図示による（ ） ・

・溶接接合

開先の形状 (7.6.4)
・図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図）1-2）
・

・エンドタブの切断する部分 (7.6.7)
切断する箇所
・図示による( ) ・
切断範囲
・エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から 5mm 以下残して直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する
・
切断面の仕上げ
・標準仕様書7.6.7(1)(ｶ)(b)②による
・

スカラップの形状 (7.6.7)
・図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図）1-4(d)改良型スカラップ）
・

・入熱、パス間温度の管理

適用箇所
・図示による( )
・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部

・溶接部の試験

平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 (7.6.12)
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による
・抜き取り検査①
※抜き取り検査②
JASS 6 付則 6［鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等
・JASS 10.4［受入検査］e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。
完全溶込み部の超音波探傷試験

・工場溶接の場合
AOQL(%) ※4.0 ・2.5

節	・全て			
検査水準	※第6水準			

・全数
・工事現場溶接の場合
※全数

・錆止め塗装

塗料の種別 (7.8.4)(18.3.2)
下記以外の鉄鋼面は標準仕様書 18.3.2及び特記仕様書 18 塗装工事 錆止め塗料塗りによる
・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別
※A種 ・
・耐火被覆が接着する面の塗料の種別
・

・耐火被覆

種類、材料、工法等 (7.9.2～7.9.8)

種 類	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		
	・半乾式吹付けロックウール		
	・湿式ロックウール		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		
	・		
・ラス張りモルタル塗り			
・耐火塗料			

・建方精度

※JASS6 付則6［鉄骨精度基準］付表5［工事現場］による (7.10.2)

・アンカーボルトの設置等

構造用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3)
・図示による( ) ・
構造用アンカーフレームの形状及び寸法 (7.10.3)
・図示による( ) ・
建方（及び付属鉄骨）用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3)
・図示による( ) ・
建方（及び付属鉄骨）の保持及び埋込み工法 (7.10.3)
種別 ・A種 ・B種
柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 (7.10.3)
厚さ ・
種別 ※A種 ・

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

・補強ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造

ブロックの種類 (8.2.2、3、5、7、8)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ（mm）	ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法（mm） 長さ	高さ	化粧の有無	適用箇所	備 考
・				・無 ・有		
・				・無 ・有		

モルタルの調合（容積比）
※標準仕様書表8.2.1による
・セメント（ ）：砂（ ）
各部の配筋 ※図示による ・
目地の仕上げ ・押し目地仕上げ ・化粧目地仕上げ
まぐさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填する範囲
※図示による ・

・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ帳壁及び塀

ブロックの種類 (8.3.2、3、4)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ（mm）	ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法（mm） 長さ	高さ	化粧の有無	表（8.3.1）以外の適用箇所	備 考
・空洞ブロックC(16)	・120 ・150			・無 ・有		
・型枠状ブロック20				・無 ・有		

モルタルの調合（容積比）
※標準仕様書表8.2.1による
・セメント（ ）：砂（ ）
塀の厚さ（mm）
塀の高さが2m以下 ※120 ・
2m超え ※150 ・
壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状
※図示による ・
各部の配筋
※図示による ・

特記仕様書（建築工事編）（４） 令和４年度版 高知県土木部建築課

令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事

(株)ハウジング総合コンサルタント
高知市南久保16-17 TEL088-883-1030 FAX088-882-4779
高知県知事登録119号 管理建築士 一級建築士登録第203207号 製図 一級建築士登録第370400号
代表取締役 福 家 正 義 村 田 憲 明 山 本 優 太

2026/02
AT-04

・ALCパネル

ALCパネルの区分等 (8.4.2～5)

区分			単位荷重（N/㎡） 正荷重	単位荷重（N/㎡） 負荷重	厚さ（mm）	幅及び長さ	耐火性能（時間）	構法の種別
・外壁用	・一般 ・コーナー	・平 ・意匠	・	・	・	図示による	・なし ・1	・A種 ・B種
・間仕切壁用	・一般 ・コーナー	・平 ・意匠	―	―	・	図示による	・なし ・1	・C種 ・D種 ・E種
・屋根用	―	―	・	・	・	図示による	・0.5	※F種
・床用	―	―	・	―	・	図示による	・1 ・2	

パネルの相互の接合部に挿入する目地材　・
外壁、屋根パネルの構法
1章　適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した構法
耐震性能　※建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項（別表）による
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
・図示による　・
目地幅（mm）
（パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部）
※10～20　・
外壁、間仕切壁パネルの伸縮調整目地への耐火目地材の充填　・適用する　・適用しない

・押出成形セメント板（ＥＣＰ）

ECPの種類等 (8.5.2～5)

パネルの種類	表面形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法の種別	備考
・外壁パネル	・Ｆ(ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ)	・50・60・		・Ａ種	
	・Ｄ(ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ)	・50・60	600	・Ｂ種	
	・Ｔ(ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ)	60			
・間仕切壁パネル	・Ｆ(ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ)	・50・60・		・Ｂ種	
	・Ｄ(ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ)	・50・60	600	・Ｃ種	
	・Ｔ(ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ)	60			

外壁パネルの工法
1章　適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
・図示による　・
パネル相互の目地幅(mm)　※ 長辺10、短辺15以上　・
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm)　※ 15程度　・
耐火構造以外の目地及び隙間の処理　※パネル製造所の仕様　・
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する。

		開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅
パネルに開口を設ける場合	短辺	・　・図示	・　・図示
	長辺	・　・図示	・　・図示
パネルを切り欠く場合	短辺	・　・図示	・　・図示
	長辺	・　・図示	・　・図示

耐震性能　※建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項（別表）による

9 防水工事

・アスファルト防水

屋根保護防水 (9.2.2～5)(表 9.2.3～9)

防水層の種別

種別	施工箇所	絶縁用シート	立上り部の保護
・Ａ－１		※ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ厚さ0.15mm以上又はﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ70g/㎡程度	・乾式保護材
・Ａ－２			
・Ａ－３			
・Ｂ－１			
・Ｂ－２			
・Ｂ－３			
・ＡＩ－１		※ フラットヤーンクロス70g/㎡程度 ・	・コンクリート ・れんが（JIS R 1250）
・ＡＩ－２			
・ＡＩ－３			
・ＢＩ－１			
・ＢＩ－２			
・ＢＩ－３			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による　・
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表9.2.5から標準仕様書表9.2.8による　・
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ　※ 水下　80mm以上　・
床タイル張り　※ 水下　60mm以上　・
断熱材 G （ＡＩ－１、ＡＩ－２、ＡＩ－３、ＢＩ－１、ＢＩ－２、ＢＩ－３の場合）
厚さ　※ 25mm　・ 50mm　・

乾式保護材（品質・性能・試験方法）別表による
窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの。
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。

分類・規格		・窯業系パネルＩ類（寒冷地仕様）	・窯業系パネルＩ類（一般地仕様）	・金属複合板
寸法（mm）	厚さ（mm）	・15　・	・15　・	・15　・
	幅（mm）	・303　・	・303　・	・303　・

・改質ｱｽﾌｧﾙﾄシート防水

屋根露出防水

防水層の種別

種別	施工箇所
・Ｄ－１	
・Ｄ－２	
・Ｄ－３	
・Ｄ－４	
・ＤＩ－１	
・ＤＩ－２	

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による　・
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書表9.2.5から標準仕様書表9.2.8による　・
屋根露出防水絶縁断熱工法の場合のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※ 図示　・
脱気装置の種類及び設置数量
※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定による　・ 数量（　）、設置数量（　）個
屋根排水溝　※ 図示　・
断熱材 G （ＤＩ－１、ＤＩ－２の場合）
種類　・
厚さ　※ 25mm　・50mm　・

仕上塗料
種類　※アスファルトルーフィング類製造所の仕様による　・
使用量　※アスファルトルーフィング類製造所の仕様による　・
高日射反射率防水 G　・ 適用する

屋内防水 (9.2.3～5)(表9.2.9)

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・Ｅ－１		・Ｅ－２	

保護層　・設ける（※図示　・　）

防水層の下地のモルタル塗り　・適用する　（施工範囲　・図示　・　）
防水層の下地立上り　・コンクリート打放しB種　・（　）
屋上排水溝　・適用する（　）

(9.3.2～3)(表9.3.1～3)
押え金物の材質及び形状寸法　※アルミニウム製　L-30×15×2.0(mm) 程度
・（　）

屋根露出防水

種別	施工箇所	改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ 種類		厚さ（mm）	断熱材 G	防湿層
・ＡＳ－Ｔ１		下層用	※非露出複層防水用Ｒ種 ・	※2.5以上 ・		
		上層用	※露出複層防水用Ｒ種 ・	※3.0以上 ・		
・ＡＳ－Ｔ２		※露出単層防水用Ｒ種 ・		※4.0以上		
・ＡＳ－Ｔ３		下層用	※非露出複層防水用Ｒ種 ・	※1.5以上 ・		
		上層用	※露出複層防水用Ｒ種 ・	※3.0以上 ・		
・ＡＳ－Ｔ４		※露出単層防水用Ｒ種 ・		※4.0以上 ・		
・ＡＳ－Ｊ１		下層用	※非露出複層防水用Ｒ種 ・	※1.5以上 ・		
		上層用	※露出複層防水用Ｒ種 ・	※2.0以上 ・		
・ＡＳＩ－Ｔ１		下層用	※非露出複層防水用Ｒ種 ・	※1.5以上 ・	種類　・	・設ける
		上層用	※露出複層防水用Ｒ種 ・	※3.0以上 ・		・設けない
・ＡＳＩ－Ｊ１		下層用	※非露出複層防水用Ｒ種 ・	※1.5以上 ・	厚さ　・25mm ・50mm ・	
		上層用	※露出複層防水用Ｒ種 ・	※2.0以上 ・		

・合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水

防水層の種別 (9.4.2～4)(表9.4.1～3)

種別	施工箇所	ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの厚さ（mm）	断熱材 G	仕上塗料	防湿層
・ＳーＦ１		※1.2 ・		・カラー ・シルバー	
・ＳーＦ２		※2.0 ・			
・ＳーＭ１		※1.5 ・		・カラー ・シルバー	
・ＳーＭ２		※1.5			
・ＳＩーＦ１		※1.2 ・	種類　・	・カラー ・シルバー	・設ける
・ＳＩーＦ２		※2.0 ・			・設けない
・ＳＩーＭ１		※1.5 ・	厚さ　・25　・50 ・	・カラー ・シルバー	
・ＳＩーＭ２		※1.5 ・			
・ＳーＣ１		※1.0 ・			

ＳーＦ１、ＳＩーＦ１の場合
プレキャストコンクリート部材下地の目地処理　・（　）　・図示
プレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り　・（　）　・図示
ＳーＣ１の保護層
平場　・モルタル塗り　塗り厚（・30mm　・　）　・保護コンクリート　厚さ（　）mm
立上り部の保護モルタルの塗厚　※7mm以下　・（　）

・塗膜防水

防水層の種別 (9.5.3)(表9.5.1～2)

種別	施工箇所	備考
・Ｘ－１		仕上げ塗料塗り　・カラー
・Ｘ－２		・シルバー
・Ｙ－１	※地下外壁防水　・	
・Ｙ－２	※屋内防水　・	Ｙ－２の保護層　・設ける

・ケイ酸質系塗布防水

防水層の種別 (9.6.3)(表9.6.1)

種別	施工箇所	種別	施工箇所
※Ｃ－ＵＩ		・Ｃ－ＵＰ	

・FRP防水

防水層の種別

種別	施工箇所	備考

・脱気装置 (9.2.3)(9.3.3)(9.4.3)(9.5.3)

防水種別	種類	設置数量
D-1 D-2 D-3 D-4 DI-1 DI-2 AS-T3 AS-T4 AS-J1 ASI-T1 ASI-J1 S-F1 S-F2 SI-F1 SI-F2	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類（又は改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ、ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ）の製造所の仕様による ・	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類（又は改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ、ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ）の製造所の仕様による ・（　）個／㎡
X-1	※主材料の製造所の仕様による ・	※主材料の製造所の仕様による ・（　）個／㎡

⊙シーリング

下表以外は、標準仕様書表9.7.1による。 (9.7.2、3、5)(表9.7.1)

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
建具廻り	MS-2

シーリング面への仕上塗材仕上げ等　・行う　・行わない
接着性試験　※簡易接着性試験
・引張接着性試験（部位　）

・防水保証期間　保証期間は（ 10 ）年とし請負業者、施工業者、製造業者の3社連名の保証とする。

10 石工事

・施工

石材の割付け（取合い部以外）　・（　）　・図示 (10.1.3)

・石材

・天然石 (10.2.1～3)(表10.2.1～2)

施工箇所	岩石の種類	等級	形状	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
		・1等品 ・2等品					

・テラゾブロック

施工箇所	種石の種類	大きさ	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ
	※大理石 ・花こう岩		・平もの ・役もの	・片面 ・両面			

特記仕様書（建築工事編）（５）　令和４年度版　高知県土木部建築課

令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事

(株)ハウジング総合コンサルタント
高知市南久保16-17 TEL088-883-1030 FAX088-882-4779
高知県知事登録119号　管理建築士 一級建築士登録第203207号　製図 一級建築士登録第370400号
代表取締役　福 家 正 義　村 田 恵 明　山 本 俊 太

2026/02
AT-05

・テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	大きさ(mm)	寸法による区分	厚さ(mm)	表面仕上げ
	※大理石 ・花こう岩		・300型 ・400型		

乾式工法の方式による金物の取付け方式　・スライド方式　・ロッキング方式
あと施工アンカーの材質及び寸法等　・（　　）　・図示
外壁湿式工法に使用するドレンパイプの材質　・（　　）　・図示
石裏面処理及び裏打ち処理　(10.3.2)(10.5.2)(10.6.2、3)
・適用する　・適用しない

11 タイル工事

・伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地　位置　・（　　）　・図示　(11.1.3)(表11.1.1)

⊙タイル

タイルの形状、寸法等　(11.2.2、4、6)

施工箇所	形状寸法(mm)	再生材の適用 G	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 あり	なし	耐滑り性	備考
玄関,ﾎﾟｰﾁ	200*100	・	⊙	・	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	○	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		

役物使用箇所　※各部の形状は図示による

内　装	出隅　天端
外　装	出隅、窓台、マグサ（標準一体成型品以外は接着成型品とする）

見本焼き　・行う　・行わない
試験張り　・行う　・行わない

・ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙによるタイル張り　壁タイル張りの工法　(11.2.2、6)
内外装タイル　・密着張り　・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り
下地モルタル塗りのコンクリート素地面の処理　※MCR工法又は目荒し工法（高圧水洗処理）

・有機系接着剤によるタイル張り　壁タイル張りの工法　(11.3.2～5)
内装タイル　・内装タイル接着剤張り
外装タイル　・外装タイル接着剤張り
内装タイル以外のユニットタイル　・外装タイル接着剤張り
下地調整塗材塗りのコンクリート素地面の処理　※MCR工法又は目荒し工法（高圧水洗処理）
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※１各章共通事項　室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策　による。

12 木工事

⊙表面仕上げ　機械加工　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　(12.1.4)
適用箇所（　　）
手加工　・Ｈ－Ａ種　・Ｈ－Ｂ種　・Ｈ－Ｃ種　適用箇所（　　）

⊙木　材 G

本工事に使用する木材は、高知県産材（高知県内の森林から生産された木材）を使用するものとする。但し、これにより難いものは監督員の承認を得て使用すること。
日本農林規格(JAS)以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じたものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること。
・代用樹種　※使用できない　・使用箇所（　　）

間伐材等の適用　・使用する（使用箇所　　）
木材の含水率　※Ａ種　・Ｂ種　（以降の表に記載のある場合はその数値を優先する）

ホルムアルデヒド放散量
※１各章共通事項　室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策　による。

⊙製　材 G

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材　(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)

施工箇所	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
構造図による		※ 2級　・		※ A種　・ B種　・		・
		※ 2級　・		※ A種　・ B種　・		・
		※ 2級　・		※ A種　・ B種　・		・

・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		※ 上小節 ・		※ A種　・ B種 ・		・
見え掛り面以外		※ 小節以上 ・		※ A種　・ B種 ・		・

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※ 1等　・		※ 10%以下 ・ A種　・ B種　・		・
		※ 1等　・		※ 10%以下 ・ A種　・ B種　・		・

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	造作材の材面の品質	防虫処理	防腐・防蟻処理	含水率	間伐材等の適用
		（　　） 造作材の場合 （※ A種　・ B種）	・ 適用する ・ 適用しない	・適用する ・適用しない	※ A種 ・ B種	・

・造作用集成材

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材　(12.2.1)

施工箇所	品　名	樹　種	寸　法(mm)	見付け材面	見付け材面の品質
					※1等　・2等
					※1等　・2等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品　名	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸　法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	見付け材面の品質
							※1等・2等
							※1等・2等

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹　種	寸　法(mm)	含水率	見付け材面の品質
			※15%以下	

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸　法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	含水率	見付け材面の品質
					※15%以下	

・造作用単板積層材 G

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材　(12.2.1)

施工箇所	品　名	寸　法(mm)	表面の品質	防虫処理
			・塗装加工　・天然木加工 ・加工しない（・1等・2等・3等）	・する ・しない

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸　法(mm)	含水率	表面の品質	防虫処理
		※14%以下	・塗装加工　・天然木加工 ・加工しない（・1等・2等・3等）	・する ・しない

・CLT(直交集成板) G

・JAS 3079に基づく直交集成板　(12.2.1)

施工箇所	品　名	曲げ強度(強度等級)	種　別	接着性能(使用環境)	樹　種	寸　法(mm)

⊙合板等 G

⊙「合板の日本農林規格」による普通合板　(12.2.1)

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	板面の品質		防虫処理
野地板,床下地板	※5.5 ⊙12	※1類 ・2類	ﾗﾜﾝ	広葉樹　・1等 ※2等以上 針葉樹　※C－D以上　・		・する ⊙しない

・「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	等級	単板の樹種名	板面の品質	防虫処理	強度等級
	※12	・特類 ※1類	・1級 ※2級以上		※C－D以上 ・	・する ・しない	

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	防虫処理
		・特類　・1類		・する ・しない

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理
		・1類 ・2類		・する ・しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧加工の方法	単板の樹種名	防虫処理
		・1類 ・2類			・する ・しない

・パーティクルボード

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性	難燃性
	※15		※13タイプ	※Ｐ又はＭ	

・JAS 0360に基づく構造用パネル

施工箇所	厚さ(mm)	品　名

・ミディアムデンシティーファイバーボード(MDF)

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	難燃性

⊙接合具等　造作材の化粧面の釘打ち　(12.2.2)
※隠し釘打ち　・釘頭埋木　・つぶし頭釘打ち　・釘頭現し
諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
（標準仕様書表12.2.3～5に示す程度の市販品　表14.2.2のF種程度）
・
（形状：　寸法：　材質：　）

⊙接着剤　ホルムアルデヒドの放散量　(12.2.2、3)
※１各章共通事項　室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策　による。

⊙防腐、防蟻　防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材　適用部位（　　）　(12.3.1)

薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部位	保存処理性能区分
	・Ｋ２　・Ｋ３　※Ｋ４
	・Ｋ２　・Ｋ３　※Ｋ４

薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部位	処理の方法
床下	発泡施工法(ｱﾀﾞﾘﾏｰﾄﾈｸｻｽ同等品)

薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理　適用部位（　　）

合板等の加圧注入処理の適用　適用部位（　　）

⊙合法性証明書　合法的に伐採された木材である証明書を提出する。

13 屋根及びとい工事

⊙長尺金属板葺　(13.2.2、3)(表13.2.1、2)

施工箇所	長尺金属板の種類	厚さ(mm)	屋根葺形式
・	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150） ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯（CGCCR-20-Z25）	※0.4 ・	・立平葺 ・あり掛葺 ・心木なし瓦棒葺 ⊙横葺 ⊙一文字葺

下葺材料　・アスファルトルーフィング 940
・改質アスファルトルーフィング下葺材
（・一般タイプ　・複層基材タイプ　・粘着層付タイプ）
雪止め　・設置する（施工箇所　・図示　・　　）

・折板葺　(13.3.2)(表13.2.1)(表14.2.2)

施工箇所	形式	長尺金属板の種類	厚さ(mm)	形状(mm)	軒先面戸板	耐火性能
	※重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(CGLCCR-20-AZ150) ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯（CGCCR-20-Z25）	※0.6 ・0.8	※図示 ・山高　（　） ・山ﾋﾟｯﾁ（　）	※有り ・なし	※30分 ・なし

JIS G 3302以外のタイトフレームの表面処理（直接外気の影響を受けない屋内の場合）
・Ｅ種　・Ｆ種
断熱材　※有り　（種別：　厚さ（mm）：　防火性能：　時間）
・無し

・粘土瓦葺　(13.4.2、3)

施工箇所	瓦の種類	寸法による区分	役物瓦の種類	産　地
	※J型	※ 53A	・軒かわら　・そでかわら ・のしがわら　・かんむりがわら	※高知県産　・
	・S形	・49A　・49B	・半かわら　・そでかわら ・かんむりがわら	
	・F形	・40	・半かわら　・そでかわら ・かんむりがわら	

雪止め瓦　※適用しない　・適用する
凍害試験　・行う　・行わない
棟補強用金物等の材質、形状、寸法及び留付け方法　※図示
下葺材料　※アスファルトルーフィング 940
・改質アスファルトルーフィング下葺材
（・一般タイプ　・複層基材タイプ　・粘着層付タイプ）
桟木の留付け工法　※図示
棟の工法　※7寸丸伏せ棟　・F形用冠瓦伏せ棟　・のし積み棟
※高知県産の粘土瓦を使用するときは、JIS A 5208の規格については、寸法に関する部分は適用しない。また、粘土瓦の大きさは、高知県で生産されている粘土瓦の大きさとする。

特記仕様書（建築工事編）（６）　令和４年度版　高知県土木部建築課

令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事

(株)ハウジング総合コンサルタント
高知市南久保16-17 TEL088-883-1030 FAX088-882-4779
高知県知事登録119号　管理建築士　一級建築士登録第203207号　代表取締役　福　家　正　義
製図　一級建築士登録第370400号　村　田　恵　明　山　本　優　太

2026/02
AT-06
令和５年７月改正

⊙とい

といの材種　・配管用鋼管　・表面処理鋼板　(13.5.2、3)(表13.5.1、4)
⊙硬質ポリ塩化ビニル管　(※RF-VP G ⊙VP)

鋼管製といの防露巻き
※行う　(工法　※標準仕様書表13.5.4 による　・　)

ルーフドレン

種　別	材　種	施工箇所
・ろく屋根用（・縦型　・横型）		
・バルコニー用		
・バルコニー中継用		

14 金属工事

・アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理　(14.2.1)(表14.2.1)

種　別	色合い	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）
・BB-1種	・標準色　・特注色	
・BB-2種	・標準色　・特注色	

陽極酸化被膜の着色方法　※二次電解着色　・三次電解着色

・鉄鋼の亜鉛めっき　(14.2.2)(表14.2.2)

表面処理方法	種　別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
・溶融亜鉛めっき	・A種	
	・B種	
	・C種	
・電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

⊙軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　屋　外　・19形　※25形　(14.4.2～4)(表14.4.1)
屋　内　※19形　・25形
・屋外の軒天井、ピロティ天井等
工法
１章　適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔　・図示　・（　）
周辺部の端からの間隔　・図示　・（　）
野縁の間隔　・図示　・（　）

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合　補強箇所　※図示　・（　）
補強方法　※図示　・（　）
・天井のふところが1.5m以上3m以下の場合　補強箇所　※図示　・（　）
補強方法　※標準仕様書14.4.4(8)による　・図示
・天井のふところが3mを超える場合　補強箇所　※図示　・（　）
補強方法　※図示　・（　）
・天井下地材における耐震性を考慮した補強　補強箇所　※図示　・（　）
補強方法　※図示　・（　）

⊙軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナの種類　※標準仕様書表14.5.1 による　・図示　(14.5.3、4)(表14.5.1)
スタッドの高さが 5m を超える場合　※図示　・（　）

・金属成形板張り　(14.6.2、3)(表14.2.1)

種　別	製　法	形　状	寸法(mm)	板厚(mm)	表面処理 種　別	表面処理 色合い
・アルミニウム	・押出し ・ロール	ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形			・BB-1種 ・BB-2種 ・AC-1種 ・AC-2種	・標準色 ・特注色
	・ブレス	ﾊﾟﾈﾙ形				
	・					
・	・				・	

取付け用下地　※標準仕様書14.4 による　・図示
伸縮調整継手　・設ける　(施工箇所　・図示　・　)
屋外の軒天井、ピロティ天井の工法　)
１章　適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

6 ｱﾙﾐﾆｳﾑ製笠木

種　類　・250形　・300形　・350形　(14.7.2)(表14.7.1)
表面処理　種　別（　）種
色合い　・標準色　・特注色

15 左官工事

・モルタル塗り

モルタル　・現場調合材料　・既調合材料　(15.3.2、5)
既製目地材　・使用する（施工箇所：　形状：　）
床の目地　・設ける　(工法　※押し目地　・　)
目地割り　※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）　・（　）
下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験　・行う

⊙床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ

下表以外は表6.2.5及び15.4.2による　(15.4.2)(表6.2.5)

施工箇所	平たんさ(mm)	備　考
⊙乾式二重床範囲	⊙1m につき 10 以下	
・	・	
・	・	

・仕上塗材仕上げ

内装仕上げに用いる塗料のホルムアルデヒド放散量　(15.6.2)
※１各章共通事項　室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策　による。

建具工事

仕上塗材の種類　(15.6.2)(表15.6.1)

種　類	呼び名	防火材料	仕上げの形状
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状
	・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状（・吹付け　・ローラー塗り）
	・外装薄塗材E	・	・さざ波状
	・可とう形外装薄塗材E	・	・平たん状
	・防水形外装薄塗材E	・	・凹凸状（・吹付け　・こて塗り）
	・外装薄塗材S	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け　・こて塗り）
	・内装薄塗材C	・	・砂壁状じゅらく
	・内装薄塗材L	・	・京壁状じゅらく
	・内装薄塗材Si	・	吸放湿性　・適用する
	・内装薄塗材E	・	
	・内装薄塗材W	・	
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・	・吹放し　・凸部処理　・平たん状
	・外装厚塗材Si	・	・凹凸状　・ひき起こし　・かき落とし
	・外装厚塗材E	・	吸放湿性　・適用する
	・内装厚塗材C	・	上塗材　・適用する
	・内装厚塗材L	・	
	・内装厚塗材G	・	
	・内装厚塗材Si	・	
	・内装厚塗材E	・	
・複層仕上塗材	・複層塗材CE	・	・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸状
	・複層塗材Si	・	耐候性　※耐候形3種　・
	・複層塗材E	・	上塗材
	・複層塗材RE	・	溶　媒　※水系　・溶剤系　・弱溶剤系
	・可とう形複層塗材CE	・	樹　脂　アクリル系
	・防水形複層塗材CE	・	外　観　※つやあり　・つやなし
	・防水形複層塗材E	・	・メタリック
	・防水形複層塗材RE	・	
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	・	・砂壁状　・平たん状
	・こて塗用軽量塗材	・	

防火材料の指定　※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする

・ﾏｽﾁｯｸ塗材塗り

種別　・Ａ種　・Ｂ種　(15.7.2)

・ﾛｯｸｳｰﾙ吹付け

ロックウール、接着剤のホルムアルデヒド放散量　(15.12.2、3)
※１各章共通事項　室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策　による。

仕上げ吹付け厚さ（mm）　※図示　・25　・（　）

16 ・防火戸

・建具表による　・（　）　(16.1.3)

・見本の製作等

建具見本の製作　・行う（建具符号：　）　(16.1.4)
建具見本の程度　・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
・納まり等が分かる程度のもの
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　）

・防犯建物部品

※適用する　（　・建具表による　・　）　(16.1.6)

⊙ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具

性能値等　(16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2)
・外部に面する建具の性能等級の種別
・Ａ種（建具符号：　・建具表による　・　）
⊙Ｂ種（建具符号：　・建具表による　⊙ AD,AW　）
・Ｃ種（建具符号：　・建具表による　・　）
・Ｄ種（建具符号：　・建具表による　・　）
・Ｅ種（建具符号：　・建具表による　・　）
・屋内の建具の性能等級　（　）
・枠の見込み寸法　・（　）　・建具表による
・防音ドア・防音サッシ　遮音性の等級（　）（建具符号：・建具表による　・　）
・断熱ドア・断熱サッシ G　断熱性の等級（　）（建具符号：・建具表による　・　）
材料　ステンレス鋼板　※SUS304　SUS430JIL又はSUS443JI
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※HL　・No.2B
木下地の場合の内付け建具　・適用する　・適用しない
表面処理
外部に面する建具　※BB-1種　・BB-2種（※標準色　・特注色）
屋内の建具　※BC-1種　・BC-2種（※標準色　・特注色）
結露水の処理方法　※図示　・（　）
水切り板、ぜん板　※図示　・（　）

⊙網戸等

種　類	材　質	線　径	網　目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂製 ・ｽﾃﾝﾚｽ（SUS316）製	※0.25mm以上 ・	※16～18ﾒｯｼｭ ・
・防鳥網	ｽﾃﾝﾚｽ（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法　15mm

・樹脂製建具

性能値等　(16.2.5)(16.3.2～5)(表16.2.1、2)
・外部に面する建具の性能等級の種別
・Ａ種（建具符号：　・建具表による　・　）
・Ｂ種（建具符号：　・建具表による　・　）
・Ｃ種（建具符号：　・建具表による　・　）
・Ｄ種（建具符号：　・建具表による　・　）
・Ｅ種（建具符号：　・建具表による　・　）
・屋内の建具の性能等級　（　）
・枠の見込み寸法　・（　）　・建具表による
・防音ドア・防音サッシ　遮音性の等級（　）（建具符号：・建具表による　・　）
・断熱ドア・断熱サッシ G　断熱性の等級（　）（建具符号：・建具表による　・　）
・外部に面する建具の日射熱取得性の等級　・（　）

材料
ガラス　※複層ガラス（組合せは建具表による）　・（　）
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※HL　・No.2B
表面色　・標準色　・特注色
水切り板、ぜん板　・（　）　・図示
木下地の場合の内付け建具　・適用する　・適用しない

・鋼製建具

性能値等　(16.2.2)(16.4.2～4)(16.4.6)(表16.4.2)
・簡易気密型ドアセット（建具符号：・建具表による　・　）
・外部に面する建具の耐風圧性　※S-4　・S-5　・S-6（建具符号：・建具表による　・　）
・防音ドア・防音サッシ　遮音性の等級（　）（建具符号：・建具表による　・　）
・断熱ドア・断熱サッシ　断熱性の等級（　）（建具符号：・建具表による　・　）
・耐震ドア　面内変形追随性の等級（　）（建具符号：・建具表による　・　）
材料　ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430JIL又はSUS443JI
標準型鋼製建具の形式及び寸法　※建具表による　・（　）
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※HL　・No.2B
鋼板類の厚さ　※標準仕様書（16.4.2）による　・（　）

・鋼製軽量建具

性能値等　(16.2.2)(16.5.2～4)(16.5.6)(表16.5.1)
・簡易気密型ドアセット（建具符号：・建具表による　・　）
・防音ドア・防音サッシ　遮音性の等級（　）（建具符号：・建具表による　・　）
・断熱ドア・断熱サッシ G　断熱性の等級（　）（建具符号：・建具表による　・　）
・耐震ドア　面内変形追随性の等級（　）（建具符号：・建具表による　・　）
材料
鋼板　・亜鉛めっき鋼板　・ビニル被覆鋼板　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板　※SUS304 、SUS430JIL又はSUS443JI
召合わせ、縦小口包み板等の材質　※鋼板　・（　）
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※HL　・No.2B
標準型鋼製建具の形式及び寸法　※建具表による　・（　）
鋼板類の厚さ　※標準仕様書（16.5.1）による　・（　）

・ステンレス製建具

性能値等　(16.2.2)(16.4.2)(16.6.2～5)
・簡易気密型ドアセット（建具符号：・建具表による　・　）
・外部に面する建具の耐風圧性　※S-4　・S-5　・S-6（建具符号：・建具表による　・　）
・防音ドア・防音サッシ　遮音性の等級（　）（建具符号：・建具表による　・　）
・断熱ドア・断熱サッシ G　断熱性の等級（　）（建具符号：・建具表による　・　）
・耐震ドア　面内変形追随性の等級（　）（建具符号：・建具表による　・　）
材料
ステンレス鋼板　※SUS304 、SUS430JIL又はSUS443JI
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※HL　・No.2B
表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ　・（　）
ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ

⊙木製建具

建具材の加工、組立時の含水率　※A種　・（　）　(16.7.2～4)
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※１各章共通事項　室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策　による。
⊙フラッシュ戸
・かまち戸　かまち樹種（　）　鏡板樹種（　）
・ふすま　種別（・Ⅰ型　・Ⅱ型　）
ふすま紙上張り（押入等の裏側以外）（・鳥の子　・新鳥の子又はビニル紙程度）
縁仕上げ（・塗り縁　・生地縁（素地）・生地縁（ウレタンクリアー塗装））
・戸ぶすま
・紙張り障子
枠及びくつずりの材料　・（　）　⊙図示

⊙鍵

マスターキー　⊙制作する　・制作しない　(16.8.4)
その他の鍵　※各室３本１組（室名札付き、鍵箱有）　・（　）

・自動ﾄﾞｱ開閉装置　(16.9.2、3)

種　類	駆動装置の値	防　錆	検出装置の性能値	検出装置の種類	凍結防止装置
引き戸用 駆動装置	※標準仕様書表16.9.1による	・適用する ・適用しない	※標準仕様書表16.9.3による	・光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ	・行う （適用箇所は建具表による） ・行わない
車椅子使用者用便房出入口 引き戸用 駆動装置	※標準仕様書表16.9.2による	・適用する ・適用しない		車椅子使用者用便房スイッチ	

・自閉式上吊り引戸装置

性能　※標準仕様書表16.10.1による　・（　）　(16.10.3)(表16.10.1)

特記仕様書（建築工事編）（７）　令和４年度版　高知県土木部建築課

令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事

(株)ハウジング総合コンサルタント
高知市南久保16-17 TEL088-883-1030 FAX088-882-4779
高知県知事登録119号　管理建築士 一級建築士登録第203207号　製図 一級建築士登録第370400号
代表取締役　福家正義　村田憲明　山本優太

2026/02
AT-07
令和５年７月改正

・重量シャッター

シャッターの種類　・管理用シャッター　耐風圧強度（　　）pa　(16.11.2、3)
・外壁用防火シャッター　耐風圧強度（　　）pa
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
開閉方式の種類　※電動式（手動併用）　・手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置　※建具表による　・（　）
電動式シャッターの障害物感知装置　※建具表による　・（　）
屋内用防火シャッター、防煙シャッターの危害防止装置　※建具表による　・（　）
管理用シャッターのシャッターケース　・設ける　・設けない

スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類　・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量　※Z12又はF12　・（　　）
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及びカバー、スイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板　※SUS430　SUS430JIL又はSUS443JI

・軽量シャッター

開閉方式の種類　※手動式　・電動式（手動併用）　(16.12.2～4)
耐風圧強度　（　　）pa
電動式シャッターの障害物感知装置　※建具表による　・（　）
スラット　形状　・インターロッキング形　・オーバーラッピング形
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）　めっきの付着量（※Z06又はF06　・　　）
・JIS G 3322（塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）　めっきの付着量（※AZ90）

・ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ　(16.13.2、3)

セクション材料による区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

風圧力による強さの区分　（・125　・100　・75　・50　）
電動式シャッターの障害物感知装置　※建具表による　・（　）

⊙ガラス　(9.7)(16.14.2～4)(図16.14.1)

・合わせガラス
特性による種類　・Ⅰ類　・Ⅱ-1類　・Ⅱ-2類　・Ⅲ類
⊙強化ガラス
特性による種類　⊙Ⅰ類　・Ⅲ類
・熱線吸収板ガラス
性能による種類　・1種　・2種
⊙複層ガラス
断熱性による区分　・T1　・T2　⊙T3　・T4　・T5　・T6
日射取得性、日射遮へい性による区分　⊙G　・S
乾燥気体の種類　⊙空気　・アルゴン
・熱線反射ガラス
日射熱遮へい性　・1種　・2種　・3種
耐久性　・A種　・B種

・ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ（mm）
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット ※グレイジングチャンネル形 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示 ・
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材 ・	
ステンレス製	※シーリング材 ・	
樹脂製	・シーリング材 ・ガスケット ※グレイジングチャンネル形	

・ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ積み　(16.14.5)

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調 クリア	色調 乳白	目地幅(mm) 平積み	目地幅(mm) 曲面積み	伸縮調整目地(mm)	防火性能
正方形	・125×125	80	・	・	※8～15 ・15～25 ・	外側 ※15以下 ・ 内側 ※6以上 ・	※6m以下ごとに 幅10～25 ・図示 ・	※無し ・有り
正方形	・160×160	・95　・125	・	・				
正方形	・200×200	・95　・125	・	・				
正方形	・320×320	95	・	・				
長方形	・250×125	80	・	・				
長方形	・320×160	95	・	・				

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。

・建築窓ガラス用フィルム

種類	記号	張り面	その他性能値等
※衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	G1	・内張り　・外張り	）
・日射調整フィルム	SC	・内張り　・外張り	遮へい性能　・A　・B　・C

品質　JIS A5759による

18 塗装工事

⊙材　料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　(18.1.3)
※1各章共通事項　室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策　による。
防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
・次の箇所を除き防火材料とする　（箇所：　　）

⊙素地ごしらえ　(18.2.2～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種　・B種
	透明塗料塗りの場合	・A種　※B種
鉄鋼面		・A種　・B種　※C種
亜鉛めっき鋼面		・A種　・B種
モルタル面及びプラスター面		・A種　※B種
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面		・A種　※B種
コンクリート面(DP)及びALCパネル面		・A種　・B種
せっこうボード面及びその他ボード面	継目処理工法の場合	※A種　・B種
	継目処理工法以外	・A種　※B種

・錆止め塗料塗り　(18.3.2、3)

下地面等		工程の種別	塗料の種別
鉄鋼面	見え掛り部分	※A種　・B種	※A種 (EP-Gの場合) ・A種　※B種
	見え隠れ部分	・A種　※B種	
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	※A種　・B種	※A種　・B種 (EP-Gの場合) ※C種
	鋼製建具等以外	・A種　※B種	

⊙塗装　(18.4.1～18.12.2)

塗装		種別	塗料の種類
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種　・B種	－
	木部屋内	・A種　※B種	
	鉄鋼面	・A種　※B種	
	亜鉛めっき鋼面	－	
・クリアラッカー塗り（CL）		・A種　※B種	－
⊙アクリル樹脂系非水分散系塗料塗り（NAD）		・A種　※B種	－
・耐候性塗料塗り（DP）	鉄鋼面	－	上塗り塗料の等級 （　）級
	亜鉛めっき鋼面	－	上塗り塗料の等級 （　）級
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・A種　・B種 ・C種	
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP－G）	コンクリート面 モルタル面 プラスター面 石こうボード面 その他のボード面等	・A種　※B種	－
	屋内の鉄鋼面	・A種　※B種	－
・合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）		・A種　※B種	－
⊙ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）		・A種　※B種	－
・ステイン塗り	・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り（OS）		－
⊙木材保護塗料塗り（WP）		・A種　※B種	－

高日射反射率塗装 G　・　適用する（屋上、屋根面の金属面）
クリアラッカー塗りA種の工程2の適用
・適用する（着色材：・溶剤系着色材　・油性染料着色材）　・適用しない
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の適用
・適用する　・適用しない
オイルステイン塗りの工程等
・

・床用防じん塗料塗り

材質　水性アクリル系樹脂塗料（※標準色　・　　）
仕上種別　コーテイング（ローラー刷毛塗り）
塗布量　主剤2回塗とし、総塗布量は0.25kg/㎡以上とする

19 内装工事

⊙接着剤

接着剤のホルムアルデヒド放散量　(19.2.2)
※1各章共通事項　室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策　による。
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種別　・図示　・（　　）

⊙ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ G　(19.2.2、3)

種類の記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ(mm)
※FS		・無地 ・マーブル柄 ・柄物	・帯電防止 ・耐動荷重 ・防滑性 ・耐薬品性	※2.0 ・
・				

目地処理する場合の工法　※熱溶接工法　・（　　）
帯電防止　帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2 以上～ 3.2 未満
又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）$1x10^{7}$～$1x10^{10}$Ω程度

・ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ G　(19.2.2)

種類の記号	施工箇所	色柄	寸法（mm）	特殊機能	厚さ(mm)
・FT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・
・KT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・
・FOA		・無地 ・柄物	・500×500 ・	・帯電防止 ・防滑性	・

帯電防止　帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2 以上～ 3.2 未満
又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）$1x10^{7}$～$1x10^{10}$Ω程度

⊙ビニル幅木　(19.2.2)
材質の種類　※軟質　・硬質
高さ（mm）　・60　・75　⊙100
厚さ（mm）　※1.5以上　・（　　）

・ゴム床タイル　(19.2.2)
種類　・単層品　・積層品
色柄　（　　）　・フラット　・凹凸
厚さ（mm）　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法（mm）　（　　）

・視覚障害者用床タイル　(19.2.2)

施工箇所		種類	寸法（mm）	厚さ（mm）
屋内		・塩化ビニル製	※300×300	※7.0　・
		・磁器又はせっ器質タイル	※300×300	
		・レジンコンクリート製	※300×300	
屋外		・磁器又はせっ器質タイル	・300×300	※30　・
		・レジンコンクリート製	・300×300	

※黄色　ブロックパターンは JIS T 9251 による

・ｶｰﾍﾟｯﾄ敷き G　(19.3.2、3)(表19.3.1、2)

・織じゅうたん

織り方	パイル形状	色柄等	パイル系の種類	帯電性	備考
・ｳｨﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ ・ﾀﾞﾌﾞﾙﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ ・ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ	・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用	・無地 ・柄物 （標準品）	・A種 ・B種 ・C種	※人体帯電圧 3kv以下 ・	

接合方法　※ヒートボンド工法　・つづり縫い
下敷き材　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm　・（　　）

・タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル	※5～7　・	・全面接着工法 ・グリッパー工法	※人体帯電圧 3kv以下 ・	
・ループパイル	※4～6　・			
・カット、ループ併用	・			

下敷き材（グリッパー工法の場合）
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm　・（　　）

・タイルカーペット

パイル形状	種別	施工箇所	寸法（mm）	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※ 6.5 ・	
・カットパイル					
・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用					

帯電性　※人体帯電圧 3kv 以下　・（　　）
タイルカーペットの敷き方　平場　※市松敷き　・模様流し
階段部分　※模様流し　・市松敷き
見切り、押え金物　・適用する　（材質、種類、形状等　※図示　・　　）

・合成樹脂塗床　(19.4.2、3)(表19.4.4、5)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂塗床		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂モルタル工法	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗料のホルムアルデヒド放散量
※1各章共通事項　室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策　による。

⊙フローリング張り

単層フローリング G　(19.5.2～5)(表19.5.1～6)

種類	樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	間伐材等の適用	工法	仕上塗装
・フローリングボード 1等	※なら ・	※15 ・12 ・18	幅　（　） 長さ　（　）	・	・釘留め工法 （根太張り） ・釘留め工法 （直張り） ・接着工法	※塗装品 ・無塗装品
・フローリングブロック 1等					・接着工法	※塗装品 ・無塗装品

複合フローリング G

種類	樹種	種別	厚さ(mm)	間伐材等の適用	工法	仕上塗装
⊙天然木化粧複合 フローリング	※なら ・	・A種 ・B種 ※C種	・15 ⊙12	・	・釘留め工法 （根太張り） ・釘留め工法 （直張り） ⊙接着工法	※塗装品 ・無塗装品

フローリング、接着剤のホルムアルデヒド放散量
※1各章共通事項　室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策　による。
接着工法の場合の不陸緩和材　※合成樹脂発泡ｼｰﾄ

特記仕様書（建築工事編）（8）

令和4年度版　高知県土木部建築課

令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事

(株)ハウジング総合コンサルタント
高知市南久保16-17 TEL088-883-1030 FAX088-882-4779
高知県知事登録119号　管理建築士 一級建築士登録第203207号　製図 一級建築士登録第370400号
代表取締役 福家正義　村田憲明　山本優太

2026/02
AT-08
令和5年7月改正

20 ユニット及びその他の工事

⑨畳敷き

(19.6.2)(表19.6.1)

種　別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　⊙Ｄ種（畳床：KT-III型　）
下地の種類　⊙標準仕様書　表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン G ）
ホルムアルデヒド放散量
※１各章共通事項　室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策　による。
畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする。

畳表　高知県土佐畳表検査協会の合格品使用（3種表の2等以上）　※適用する　・適用しない
畳床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。

⊙せっこうボード、その他ボード及び合板張り

(19.7.2)(表19.7.1)

種　類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板 G	ＨＷ	・15　・20　・25　・
・中質木毛セメント板 G	ＭＷ	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板 G	ＮＷ	・15　・20　・25　・
・硬質木片セメント板 G	ＨＦ	・12　・15　・18　・21　・
・普通木片セメント板 G	ＮＦ	・３０
⊙けい酸カルシウム板	◯0.8ＦＫ 1.0ＦＫ	タイプ２（無石綿）　⊙6　・8
・ロックウール化粧吸音板	ＤＲ	※ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ（※ 9（不燃）　・12（不燃）・　） ・凹凸ﾀｲﾌﾟ（※ 12（不燃）・15（不燃）・　）
・ロックウール吸音ボード1号	ＲＷ－Ｂ	※25　・
・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ32Ｋ	ＧＷ－Ｂ	※25（ガラスクロス包）　・
⊙せっこうボード	ＧＢ－Ｒ	※12.5（不燃）　・15（不燃）　・9.5
・不燃積層せっこうボード	ＧＢ－ＮＣ	9.5（不燃）　・化粧無（下地張り用） ・化粧有（トラバーチン模様）
⊙シージングせっこうボード	ＧＢ－Ｓ	12.5（⊙不燃　・準不燃）
・強化せっこうボード	ＧＢ－Ｆ	・12.5（不燃）　・15（不燃）
・せっこうラスボード	ＧＢ－Ｌ	9.5
・化粧せっこうボード（木目）	ＧＢ－Ｄ （Ｗ）	12.5（不燃）　幅 440mm 程度 模様（※柾目　・板目）　専用下地材有り
・化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様)	ＧＢ－Ｄ（Ｔ）	9.5（準不燃）
・普通合板 G		・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度）
・天然木化粧合板 G		
・特殊加工化粧合板 G		・オーバーレイ　・プリント　・塗装
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による　厚さ1.2
・ポリエステル樹脂化粧板		
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ G	Ｇ－ＭＤＦ	・3　・7　・9　・12　・無研磨　・研磨
・単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ G		・無研磨板　・研磨板 ・10　・12　・15　・18　・
・化粧パーティクルボード G		・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・塗装 ・10（難燃）　・12（難燃）　・
・ハードボード（素地） G	ＨＢ	・無研磨板（・スタンダード・テンパード） ・研磨板（・スタンダード・テンパード）
・ハードボード（化粧） G		・内装用　・外装用 ・2.5　・3.5　・5　・7
・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ G	Ａ－ＩＢ Ｔ－ＩＢ	Ａ級 ・9　・12　・15　・18
・火山性ｶﾞﾗｽ質複層板 化粧加工K2	密度ＡＩ	・6　・9　・12

遮音シール材　・適用する（・シーリング材　・ジョイントコンパウンド）
ホルムアルデヒド放散量
※１各章共通事項　室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策　による。
合板類の張付け　・Ａ種　※Ｂ種
せっこうボードの目地工法　・継目処理工法　・突付け工法　・目透し工法

⊙壁紙張り

(19.8.2、3)

ホルムアルデヒド放散量
※１各章共通事項　室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策　による。

施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備　考
	紙	繊維	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他		
ﾎﾞｰﾄﾞ面,全室共通	・	・	⊙	・	・	※不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	

モルタル・プラスター面の素地ごしらえ　・Ａ種　※Ｂ種
コンクリート面の素地ごしらえ　・Ａ種　※Ｂ種
せっこうボード面の素地ごしらえ　・Ａ種　※Ｂ種

⊙断熱材 G

(19.9.2～4)

断熱材、保温材又は接着剤のホルムアルデヒド放散量
※１各章共通事項　室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策　による。
・断熱材打込み工法

種　類	厚さ(mm)	施工箇所
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材		
⊙押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材（ｽｷﾝ層なし）　3種b	50	床下
・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材		
・フェノールフォーム断熱材		

・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類　※Ａ種１　・Ａ種１Ｈ
吹付け厚さ（mm）　・25　・30　・（　）
施工箇所　※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレイン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所
・図示

・ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ

(20.2.2)

施工箇所	構　法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備　考
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	

帯電防止性能　・評価値（U）≧0.6　・評価値（U）≧1.2
感電防止性能　漏えい抵抗（R）≧1×10^8Ω
寸法精度　※標準仕様書20.2.2(2)(オ)による　・（　）
耐荷重性能、耐衝撃性能、ローリングロード性能、耐燃焼性能
※標準仕様書20.2.2(2)(イ)による　・（　）
表面仕上材の品質・性能は、標準仕様書19章による。
スロープ及びボーダー　※製造所の仕様による　・図示
配線用取り出しパネル
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　※100パーセント　・（　）
配線取り出し開口　※パネル1枚につき 40mm×80mm 程度の開口1ヶ所以上　・図示
空調用吹き出し（吸い込み）パネル
※なし　・あり（形式、施工箇所：図示）

・可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	構成基材の種類	総厚さ(mm)	表面材			遮音性	防火性能
			材質	厚さ(mm)	パネル表面仕上げ		
・ｽﾀｯﾄﾞ式 ・ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式 ・ﾊﾟﾈﾙ式			※鋼板 ・	※0.6 ・0.8	※ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付 又はｱｸﾘﾙ樹脂焼付 ・壁紙張り	・0　・12 ・20　・28 ・36	・不燃

パネル内に取り付ける建具　・あり（・図示　・　）　・なし
表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による
パネル材料のホルムアルデヒド放散量
※１各章共通事項　室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策　による。

・移動間仕切

(20.2.4)

構造形式	操作方法	パネル圧接装置の操作方法	厚さ(mm)	パネル表面材		遮音性
				材質	仕上げ	
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・ﾌﾟｯｼｭ式 ・ﾊﾝﾄﾞﾙ式 ・		※鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上

表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による
ハンガーレールの取付け下地の補強
※パネル重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
ハンガーレール及びランナー
※パネル重量の5倍の荷重をパネル１枚に使用するランナー数で除した値に対して耐力及び変形量が使用上支障ないものとする。
パネルをランナーに取り付ける部品
※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えるもの

⊙トイレブース

(20.2.5)

パネル表面材の種類	脚　部		ドアエッジ	
	形　状	材　質	形　状	材　質
⊙ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 ・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂系化粧板	※幅木 ・	・アルミニウム製 ※ステンレス製	⊙標準 ・R	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ⊙表面材と同材

パネル材料のホルムアルデヒド放散量
※１各章共通事項　室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策　による。

⊙手すり

(20.2.6)

材　種	表面仕上げ	直径（mm）	取付箇所
※集成材	※クリアラッカー	・60　・45	
⊙ステンレスパイプ	⊙ＨＬ	⊙34	ｽﾛｰﾌﾟ
・鋼製パイプ	・ＥＰ－Ｇ		
・ビニル製ハンドレール			

⊙階段滑止め

(20.2.7)

材　種	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド
・ステンレス製(SUS304) ビニルタイヤ入り ⊙磁器質ﾀｲﾙ	・約35 ・ ⊙100	※接着工法 ・埋込み工法 ⊙圧着張り	※有り（※ﾋﾞﾆﾙ製　・ｽﾃﾝﾚｽ製） ・無し

・黒板及びホワイトボード G

(20.2.9)

区　分		種　類	寸法(mm)	色　彩	形　式
・黒板	※焼付け ・	・ほうろう ・鋼製		※緑　・黒	※平面　・曲面 ・スクリーン付き引分け
・ホワイトボード	・ほうろう ・	・ほうろう ・鋼製		白	※平面　・曲面 ・スクリーン付き引分け

・鏡

(20.2.10)

取付箇所　（　）
寸　法(mm)　・（　）　・図示
厚　さ(mm)　※ 5　・（　）

・表　示

(20.2.11)

区　分	材　質	寸法・形状(mm)	厚さ(mm)	取付高さ(mm)	備　考
・衝突防止表示 （・両面　・片面）	・ステンレス製 ・図示	※30φ ・	※市販品 ・	※図示 ・	
・室名札 ・ピクトグラフ ・とびら番号	※アクリル板 ・	※図示	※5 ・	※図示 ・	
・庁舎案内板 ・各階案内板	※アクリル板 ・	※図示	※5 ・	※図示 ・	
・誘導標識 ・非常用進入口表示	※消防法に適合する市販品			※図示 ・	

案内用図記号は JIS Z 8210 による。

・タラップ

材質及び仕上げ　(20.2.12)
・SUS304（スリップ止め加工　※あり　・なし　）
・鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき（※標準仕様書表14.2.2による種別（※C種　・　））

・煙突ライニング

適用安全使用温度　上限温度　・400℃　・650℃　(20.2.13)
下限温度　・（　）℃

・ブラインド

(20.2.14)

形　式	操作方法	種　類	ｽﾗｯﾄの材質	ｽﾗｯﾄ幅(mm)	ﾎﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙの材種	取付箇所
※横形	・電動		※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 G	※25	※鋼製	※図示
	・手動	※ｷﾞﾔ式 ・ｺｰﾄﾞ式 ・操作棒式	・	・	・	・
・縦形	・電動		・ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ	・ 80	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製	※図示
	・手動	・1本操作ｺｰﾄﾞ式 ※2本操作ｺｰﾄﾞ式	・ｸﾛｽｽﾗｯﾄ	・100	・	・

・ロールスクリーン

(20.2.15)

材　種	操作方式	遮光性能	寸法(mm)	取付箇所	備　考
※ポリエステル G ・綿 ・	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	・図示 ・	※図示	

・カーテン

(20.2.16)

形　式		ひだの種類	開閉操作	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備　考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランスひだ ・箱ひだ・つまひだ ・ﾌﾟﾚｰﾝひだ・片ひだ	・電動 ・ひも引き ・手引き		※図示	
		・				（暗幕）
		・				

⊙カーテンレール

(20.2.16)

材　種　※ｱﾙﾐﾆｳﾑ又はｱﾙﾐﾆｳﾑ合金の押出し成型材　・ｽﾃﾝﾚｽ製
形　式　・片引き　⊙引分け（暗幕用は 300mm 以上の召合せの重掛けとする）
形　状　⊙角形　・（　）

・ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ及びｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ

溶幅×深さ（mm）　・90×150　・120×80　・120×150　・150×80　・図示
材　質　・集成材（仕上げ：　）
・鋼製　（仕上げ：　）
・アルミニウム製
表面処理　※BC-1　・BC-2（色合い　・標準色　・特注色）

⊙天井点検口

材　種	寸　法	形　式		外枠	内枠	枠の許容差	外枠と内枠のクリアランス
※アルミニウム製 ・	⊙450×450 ・600×600 ・	⊙一般形 ・密閉形	・屋内外用 ⊙屋内用	⊙額縁ﾀｲﾌﾟ ・目地ﾀｲﾌﾟ	⊙額縁ﾀｲﾌﾟ ・目地ﾀｲﾌﾟ	±0.5mm 以内	片側 2.0mm以内

アルミニウム合金押出形材は JIS H 4100 A6063S-T5 により、表面処理は陽極酸化被膜 JIS H 8601(AA6)（外部についてはB種又は同等品以上）をおこなったものとする。
内枠、外枠のコーナーピース、及び吊り金物、取付ボルトは鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理をおこなったものとする。
内枠の仕上材、留付金具はアルミニウム合金押出形材、亜鉛めっき鋼板の類とする。

特記仕様書（建築工事編）（９）　令和４年度版　高知県土木部建築課

令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事

(株)ハウジング総合コンサルタント
高知市南久保16-17 TEL088-883-1030 FAX088-882-4779
高知県知事登録119号　管理建築士 一級建築士登録第203207号　製図 一級建築士登録第370400号
代表取締役　福家正義　村田憲明　山本優太

2026/02
AT-09
令和５年７月改正

⊙床点検口

材　種	寸　法	形　式		枠の許容差	受枠と蓋枠のクリアランス
⊙アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ⊙600×600 ・	⊙一般形 ・密閉形	・屋内外用 ⊙屋内用	受枠、蓋枠とも ±0.5mm 以内	片側 2.0mm以内

一般形：パッキンを装着しないもの、又はがたつき防止用パッキンを装着したもの
密閉形：ボルト、ナット等のメカニカル構造にパッキンを装着したもの

材料の品質及び性能

使用部位	材　料	屋内外用	屋　内　用
受枠材 蓋枠材	ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金押出形材	JIS H 4100 A6063S-T5 表面処理：標準仕様書 表14.2.1のAB-1種、AB-2種、BB-1種、BB-2種	
	ステンレス	JIS G 4305 SUS304 表面仕上：HL 又は No.2B程度（目地ともの場合）	
	鋼材	―	鋼板又は電気亜鉛めっき鋼板（JIS G 3313 SEHC）の類に一般さび止めﾍﾟｲﾝﾄ（JIS K 5621）、又はﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付塗装等の防錆処理をおこなったもの
二重蓋の中蓋	鋳鉄	JIS G 5501　FC150, FC200	
目地材	黄銅	JIS H 3100　C2600, C2720, C2801P JIS H 3250　C2602, C3604B	
	ステンレス	JIS G 4305, JIS G 4308　SUS304	
底板材 ｺｰﾅｰﾋﾟｰｽ 底板補強材	ｽﾃﾝﾚｽ鋼板	JIS G 4305,JIS G 4308　SUS 304	JIS G 4305　SUS430
	ｱﾙﾐﾆｳﾑ板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)	―
	鋼材	―	鋼板又は電気亜鉛めっき鋼板（JIS G 3313 SEHC）の類に一般さび止めﾍﾟｲﾝﾄ（JIS K 5621）、又はﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付塗装等の防錆処理をおこなったもの
錠		亜鉛合金製（クロムめっき） 黄銅製、ステンレス製の類	―
開閉方式		施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする	
パッキン材		塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｺﾞﾑ、軟質塩化ﾋﾞﾆﾙ、クロロプレン、ｽﾎﾟﾝｼﾞﾗﾊﾞｰ ｴﾁﾚﾝﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ 枠の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有する。	
アンカー材	鋼材	電気亜鉛めっき又は防錆塗料をおこなったもの	
取っ手		黄銅鋳物製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋳物製、ステンレス鋳鋼品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする。	
蓋の耐荷重性能		蓋中央部が荷重値 Pn=1,000N において残留たわみが点検口の有効径の 0.08%以内 であること。 受け枠･蓋その他に使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値の Pn の2倍以上であること。	

・耐震スリット

方　向	幅(mm)	タ　イ　プ	耐火性能	防水性能	備　考
・垂直方向 ・水平方向	・25 ・	※完全（全貫通型） ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し	

目地（目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による）

目　地	内　壁	外　壁
目地材	・シーリング材（見え掛かり部のみ） ・	・シーリング材（見え掛かり部のみ） ・シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	※スリット幅 × 深さ 10	※スリット幅 × 深さ 10

・止水板
形状　・差込式　・据置式　・壁張り式
設置箇所　※図示

・エキスパンション
ジョイント金物
材　質　・アルミニウム　・ステンレス
クリアランス　・50　・100　・150
耐火性能　・有り（　　）　・無し

・くつふきマット

材　種	受け枠	備　考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製 ・	・ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

⊙流し台ユニット

材　種	寸法(mm) W	D	H	備　考
⊙流し台	⊙1200 ・1500 ・1800	・550 ⊙600 ・650	・800 ⊙850	市販品 水封50mm以上のﾄﾗｯﾌﾟ付 天板ステンレス製
⊙コンロ台	⊙600	・550 ⊙600 ・650	・620 ・670 ⊙850	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
⊙吊り戸棚	・1200 ・900 ⊙600	⊙450	⊙500 ・700	市販品
・水切り棚	・1200 ・900 ・600	－	－	市販品 ステンレス製 ・１段式　・（　　）

品質・性能　JIS A 4420による
形状　※図示

・旗　竿

材　種	形　式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考
・アルミニウム合金製 ・	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式	

・旗竿受金物
材種　※ステンレス製（SUS304）　・

⊙車止め支柱

形　式	材　種	柱径、肉厚(mm)	高さ(m)
・上下式鎖内蔵式 （・標準品　・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式） ⊙門型車止め	・ステンレス製 ・ ⊙ｽﾁｰﾙ製	・φ76.3　t =2.0 ・ ⊙60.5	・ＧＬ＋700 ・ ⊙GL+650

・フェンス
フェンスの種類　・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高　さ　・（　　）　・図示

・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ
コンクリートの設計基準強度　(20.3.3、4)
※水セメント比55%以下、単位容量セメントの最小値300kg/m^{3}を満足する調合強度
・図示
配筋
※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。
・図示
取付け方法　※図示

・間知石及びｺﾝｸﾘｰﾄ
間知ﾌﾞﾛｯｸ積み　(20.4.2、3)

材　種		種　類	質量区分	備　考
・間知石	・花こう岩　・凝灰岩	－	－	
・ｺﾝｸﾘｰﾄ間知ﾌﾞﾛｯｸ			・Ａ　・Ｂ	

積み方　※谷積み　・布積み
目塗り　・（　　）　・図示
伸縮調整目地　材種及び厚さ　・（　　）　・図示

・鋼製書架
及び物品棚

種　類	規格等	JISによる種類
・鋼製書架	JIS S　1039の規格による	・１種　・２種　・３種
・鋼製物品棚		・４種　・５種　・６種　・

・屋内掲示板
枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り

・洗面カウンター
材種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　・人工大理石
奥行き(mm)　・約450　・約600

・防煙垂れ壁
・固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式 （巻取り型）	※不燃布 （不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

・屋外掲示板
照明器具　※有り　・無し
施錠　※有り　・無し

⊙収納家具
材質、形状、寸法　※図示　・（　　）
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※１各章共通事項　室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策　による。

・敷地境界石標
種　類　※コンクリートブロック製（市販品）　・花こう石類（文字記号等入り）
設置方法
根切り底を突き締めたうえ、厚さ60mmの砂利地業を行い、コンクリートで根巻きして建て込む。
建て込みは監督職員の立ち会いのもと行う。
コンクリートの調合　容積比　セメント1：砂2：砂利4 程度

21 排水工事

・屋外雨水排水
排水管用材料　(21.2.1、2)(表21.2.1、2)

材　種	記号・種類	形　状	呼び径	備　考
・遠心力鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管	※外圧管（1種）	・B形管　・	※図示	
・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管	・RF-VP G	・	・	屋内
	・VP		※図示	
	・RS-VU G		※図示	
	・VU		※図示	

基床の厚さ及び種類　・（　　）　・図示
砂地業に用いる材料　・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料　・再生クラッシャラン G　・切込砂利　・切込砕石
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料　※接着剤　・（　　）
現場打ちコンクリート　※設計基準強度18N/mm^2 S-15　・（　　）
現場打ちの場合の鉄筋の種類　※SD295　・（　　）
現場打ちの場合の足掛け金物　※標準仕様書21.2.2(6)(オ)
材質　・ステンレス製　・鋼製　・合成樹脂被膜加工されたもの
側塊の形状及び寸法　・（　　）　・図示
排水枡、ふたの種類　・（　　）　・図示
凍上抑制層に用いる材料　（　　）
砂の粒度試験　・行う　・行わない

・鋳鉄製ふた
名称　鋳鉄製マンホールふた　(21.2.1)

種　類	適用荷重	鍵	備考
・水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉型（テーパ・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式）	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用 ・	・有 ・無	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会 SHASE-S209による

⊙グレーチング　(21.2.1)

材質	形　式	用　途	適用荷重	ﾒｲﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ 普通目	細目	亜鉛めっき（付着量）	上面形状
⊙鋼製	※受枠付 ボルト 固定 ・	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・桝ふた用 ⊙U字溝用	⊙歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	⊙ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・（450g/m2） ・（　　） ・（　　） ・（　　） ・（　　）	※凹凸形 ・平形
・ｽﾃﾝﾚｽ製	※受枠付 ボルト 固定 ・	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・桝ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用				・凹凸形 ・平形

⊙街きょ、縁石及び
側溝　(21.3.1、2)(表21.3.1)

種　類	形状、寸法
⊙縁石	⊙図示　・（　　）
⊙U形側溝	⊙図示　・（　　）
・U形側溝ふた	・図示　・（　　）
・L形側溝	・図示　・（　　）
・	・図示　・（　　）

砂地業に用いる材料　・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料　・再生クラッシャラン G　・切込砂利　・切込砕石
現場打ちコンクリート　※設計基準強度18N/mm^2 S-15　・（　　）
現場打ちの場合の鉄筋の種類　※SD295　・（　　）
凍上抑制層に用いる材料　・（　　）
（砂を用いる場合の粒度試験）　・行う　・行わない

・埋戻し土　※B種　・（　　）

特記仕様書（建築工事編）（１０）　令和４年度版　高知県土木部建築課

令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事

(株)ハウジング総合コンサルタント
高知市南久保16-17 TEL088-883-1030 FAX088-882-4779
高知県知事登録119号　管理建築士　一級建築士登録第203207号　製図　一級建築士登録第370400号
代表取締役　福　家　正　義　村　田　恵　明　山　本　俊　太

2026/02
AT-10

22 舗装工事

・路床

路床の材料 (22.2.2、3、5)(表22.2.1)

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種　・B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	※図示 ・
・凍上抑制層	※再生クラッシャラン G　・クラッシャラン　・切込み砂利 ・砂	※図示 ・
・ﾌｨﾙﾀｰ層	・砂 ・	※図示 ・

凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験　・行う　・行わない
・路床安定処理
　安定処理の方法　・置き換え工法　・安定処理工法
　路床安定化処理用添加材料
　　種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントＢ種　・フライアッシュセメントＢ種
　　・生石灰（　・特号　・１号　）　・消石灰（　・特号　・１号　）
　　添加量　　kg/m³（目標ＣＢＲ　※3以上　・　）
・ジオテキスタイル
　単位面積質量　・60g/㎡ 以上　・（　　）
　厚さ（mm）　・0.5～1.0　・（　　）
　引張強さ　・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・（　　）
　透水係数　・1.5×10⁻¹cm/sec 以上　・（　　）

路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　※行う　・行わない
路床の締固め度の試験　※行う　・行わない
現場ＣＢＲ試験　※行う　・行わない

⊙路　盤

路盤の厚さ　※図示　・（　　）(22.3.2、3)(表22.3.1)
路盤材料　・クラッシャラン　・粒度調整砕石　・再生粒度調整砕石 G
　⊙再生クラッシャラン G　・クラッシャラン鉄鋼スラグ G
　・粒度調整鉄鋼スラグ G　・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G

⊙アスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示　・（　　）(22.4.2～6)(表22.4.4)
材料及び種類
　アスファルト　⊙再生アスファルト G　(⊙50　・60～80　・80～100)　・ｽﾄﾚｰﾄｱｽﾌｧﾙﾄ
　骨　材　※道路用砕石　・アスファルトコンクリート再生骨材 G
加熱アスファルト混合物等の種類

区分	種類
表　層	※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・密粒度アスファルト混合物(13F)

アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度　・（　　）

⊙コンクリート舗装

コンクリート舗装の構成及び厚さ (22.5.2～4)(表22.5.1、3)

部位	構成	厚さ(mm)
車路及び駐車場	・(9-21-2)　・図示　・（　） ・	・図示　・150　・（　）
歩行者用通路	・(9-22-2)　⊙図示　・（　） ・	⊙図示　・70　・（　）

材料　普通コンクリート　・標準仕様書　表22.5.1による
　　早強ポルトランドセメント　※使用しない　・使用する
目地　種類、間隔、構造　※標準仕様書　表22.5.3及び図22.5.1による　・図示
　　注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度　・（　　）

・カラー舗装

カラー舗装の構成及び厚さ (22.6.2～4)

舗装の種類		部位	構成	厚さ(mm)
※加熱系	※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	車路及び駐車場 歩行者用通路	・図示　・（　） ・図示　・（　）	・図示　・50 ・図示　・30
※常温系	・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装		・ニート工法 ・塗布工法	

加熱系混合物に添加する材料　・着色骨材　・自然石
配　合
　加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量　（　　）
　ニート工法及び塗布工法の配合等　（　　）
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度　・（　　）
加熱系アスファルト混合物の抽出試験　・行う　・行わない

・透水性アスファルト舗装

透水性アスファルト舗装の構成及び厚さ　・図示　・（　　）(22.7.2、3、6)
材料
　骨材　・道路用砕石　・アスファルトコンクリート再生骨材 G
試験
　開粒度アスファルト混合物の抽出試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性　※著しい不陸がないもの　・（　　）

・ブロック系舗装

(22.8.2、3)

舗　装	種　類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備　考
・ｺﾝｸﾘｰﾄ平板舗装	※普通平板（N） ・透水平板（P） ・保水性平板（M）	※300角 ・	※60 ・	目地材　※砂　・ﾓﾙﾀﾙ ｸｯｼｮﾝ材　※砂　・空練りﾓﾙﾀﾙ 表面加工 ・研ぎ出し　・洗い出し ・たたき出し
・ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ舗装	※普通ﾌﾞﾛｯｸ（N） ・透水性ﾌﾞﾛｯｸ（P） ・保水性ﾌﾞﾛｯｸ（M）		車道部　※80・ 歩道部　※60・	曲げ強度（N/mm²）車道部　※5.0　・ 歩道部　※3.0　・ 着色及び表面加工 ※標準品　・
・舗石舗装	※小舗石（花崗岩） ・ 形状　・角石 ・板石　・割石			施工方法　※うろこ張り　・ ｸｯｼｮﾝ材　※砂　・空練りﾓﾙﾀﾙ 基層及び厚さ・ｺﾝｸﾘｰﾄ版 ※70mm ・ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 ※50mm

コンクリート平板舗装の普通平板は、再生材料を用いた舗装用ブロック G とし、
透水平板は透水性コンクリート G とする。
インターロッキングブロック舗装の普通ブロックは、再生材料を用いた舗装用ブロック G とし、
透水性ブロックは透水性コンクリート G とする。
ただし、調達困難な場合は監督員と協議を行うものとする。
仕上り面の平たん性　※歩行に支障のある段差がないものとし、舗装材の段差は3mm以内とする。

・砂利敷き

種別 (22.9.2)
　・A種（施工範囲：　・図示　・通路　・　）
　・B種（施工範囲：　・図示　・建物周囲その他　・　）

・路面標示用塗料

JAS K 5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)
・１種 G	常温	液状	※白 ・	・150 ・100	※1.0 ・
・２種 G	加熱				
※３種１号	溶融	粉体状			

低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料 G

23 植栽及び屋上緑化工事

・植栽地の確認等

土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験　・行う　・行わない (23.1.3)
電気伝導度（EC）の試験　・行う　・行わない

・植栽基盤の整備

(23.2.2、4)

植　栽	工　法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材
・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上　(※100・120・150) 樹高7m以上12m未満（※ 80・100） 樹高3m以上7m未満（※ 60・ 80） 樹高3m未満　(※ 50・ 60)	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示	・適用する
※芝、地被類	※B種 ・	※20 ・	・植栽部分 ・図示	・適用する

植栽基盤の排水設備　・設ける（※図示　・　）　・設けない

・植込み用土

※現場発生土の良質土　・客土 (23.2.3)

・土壌改良材

種別及び指定量等 (23.2.3)
・バーク堆肥 G
　施工箇所　※植栽範囲　・図示
　使用量　植栽基盤面積１㎡あたり（・50L　・　）
・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）G
　施工箇所　※植栽範囲　・図示
　使用量　植栽基盤面積１㎡あたり（・10L　・　）
　材料
　　「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する
　　原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする

・樹木

樹種、寸法、株立数等　※図示　・（　　） (23.3.2)

・支柱

支柱材　※丸太（間伐材）G　・真竹 (23.3.2、3)
防腐処理方法　※加圧式防腐処理丸太材　・（　　）
形　式　・図示　・（　　）

・幹巻き用材料

※幹巻き用テープ　・わら及びこも (23.3.2)

・芝

種類　※コウライシバ　・ノシバ　・（　　） (23.4.2、3)
芝張りの工法
　平地　※目地張り　・べた張り
　法面　・目地張り　※べた張り

・吹付けは種

(23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量(g/㎡)	備考
※洋芝類（採取後2年以内）	80%　以上		
・			

・地被類

(23.4.2)

樹種	コンテナ径	単位面積あたりのコンテナ数	芽立数
・			
・			

・新植樹木、芝等の枯補償、移植樹木の枯損処置

新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間　(23.3.4、6)(23.4.7)(23.5.5)
　※引渡しの日から1年　・無し　・（　　）
移植樹木の枯損処置を行う期間　※引渡しの日から1年　・無し　・（　　）

・屋上緑化 G

植栽基盤及び材料 (23.5.2～4)
・屋上緑化システム
　土壌層の厚さ　・図示　・（　　）
　排水層　・軽量骨材（層の厚さ：　）　・板状成形品
　植込み用土　※改良土　・人工軽量土
　樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等　※図示　・（　　）
　見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※図示　・（　　）
工法
１章　適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
支柱　・設置する（形式　・図示　・　）
かん水装置　・設置する（種類、工事区分　・図示　・　）

24 その他

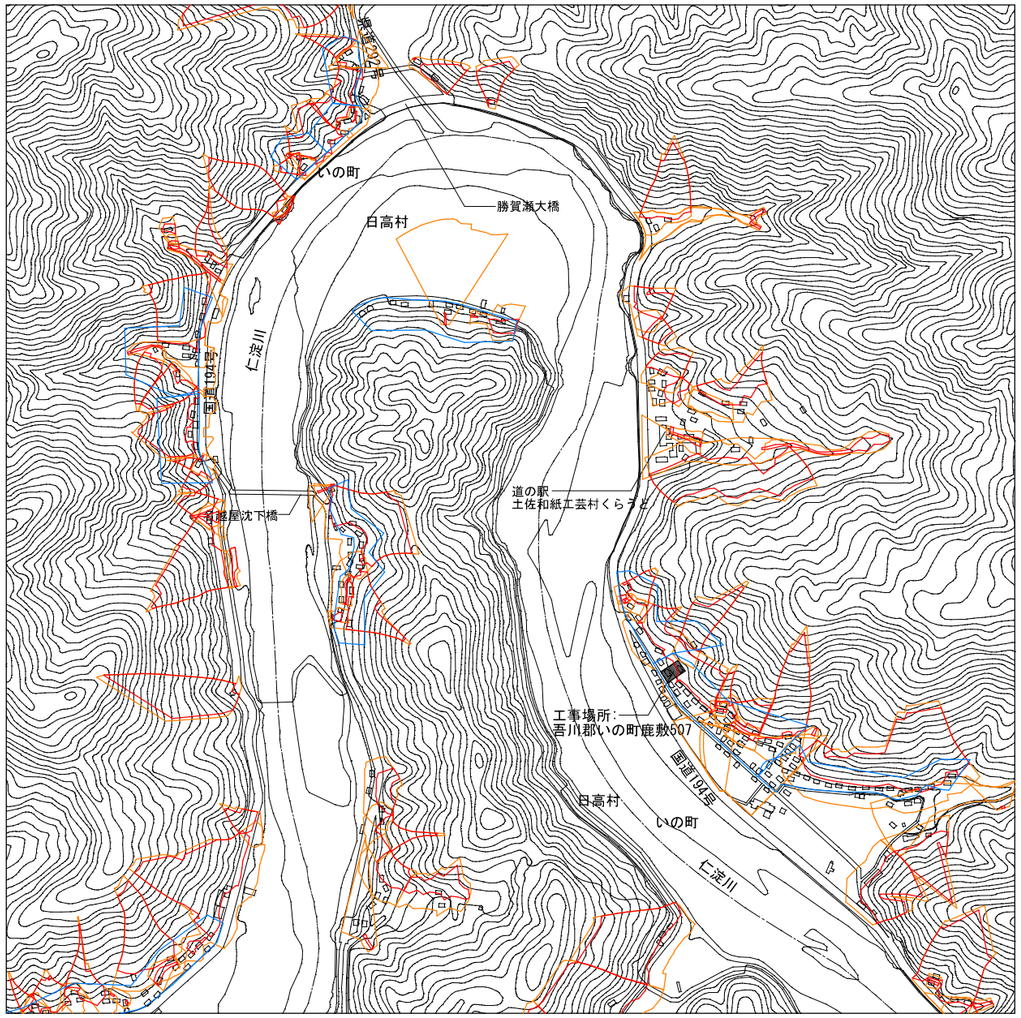
・その他

本工事は「高知県ひとにやさしいまちづくり条例」の規定に準ずる。

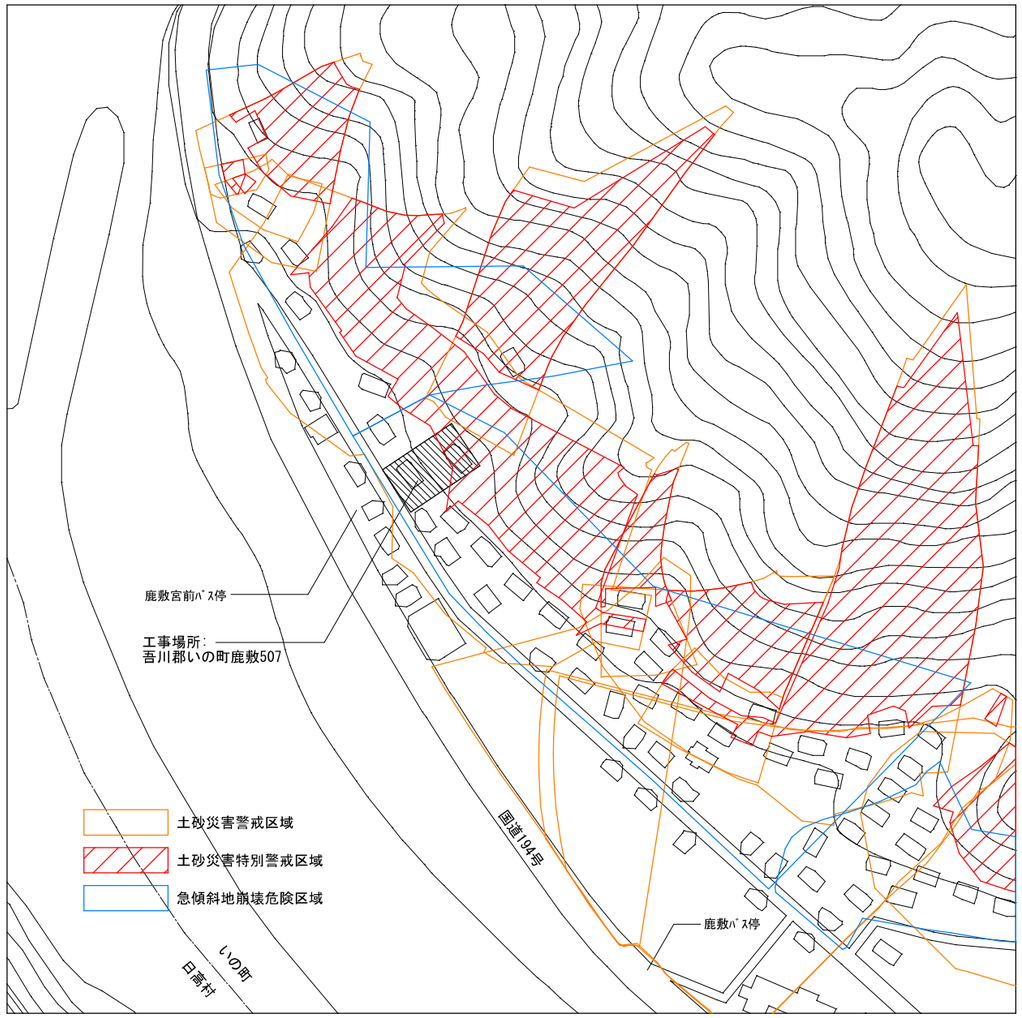
令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事

(株)ハウジング総合コンサルタント
高知市南久保16-17 TEL088-883-1030 FAX088-882-4779
高知県知事登録119号　管理建築士 一級建築士登録第203207号　製図 一級建築士登録第370400号
代表取締役　福　家　正　義　村　田　恵　明　山　本　俊　太

2026/02
AT-11
令和５年７月改正

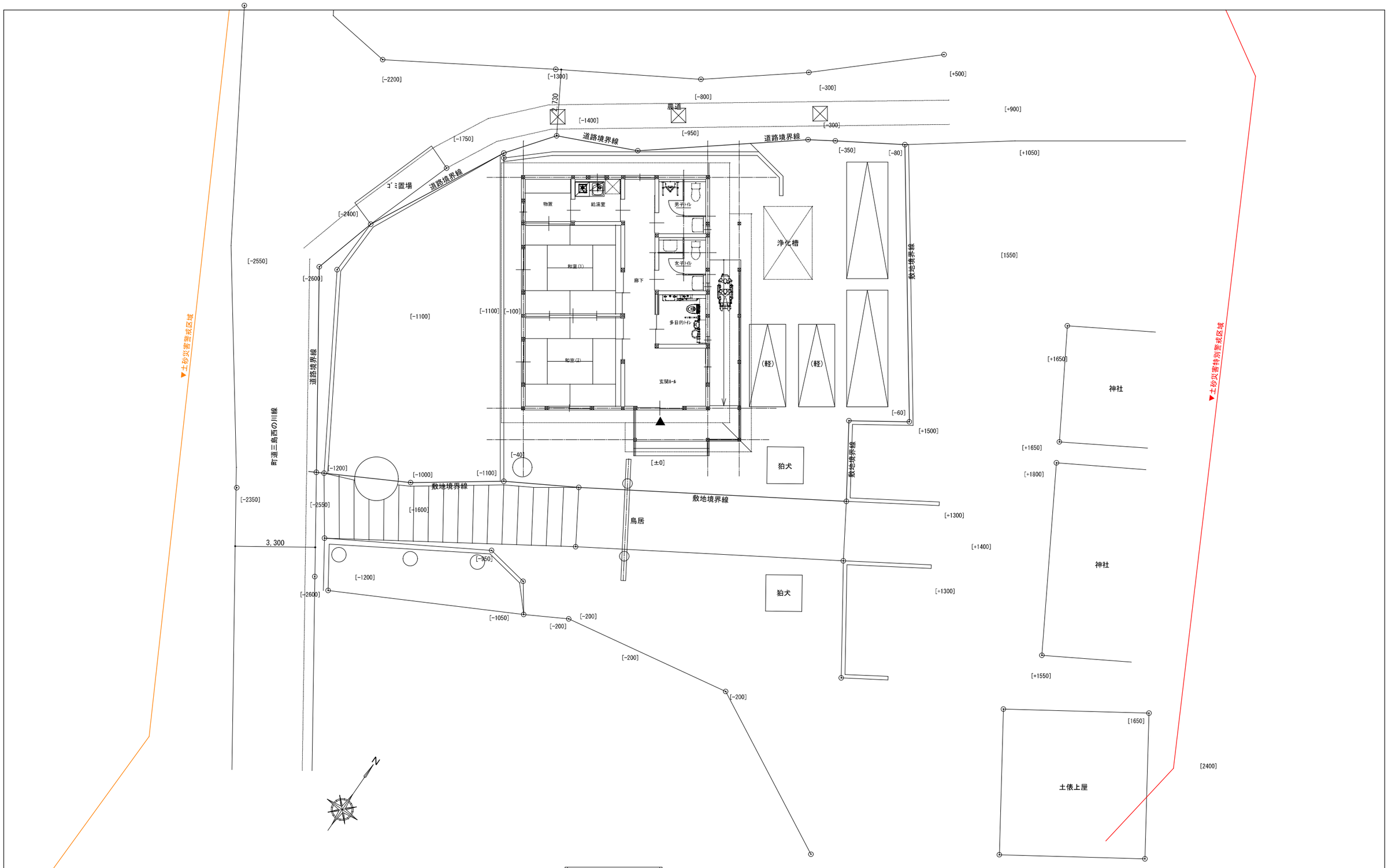


付近見取図(1) S=1:10000



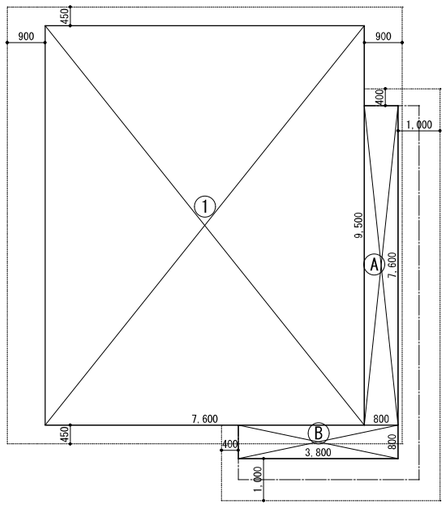
付近見取図(2) S=1:2500

工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16−17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図名 付近見取図	縮尺 1/2500, 10000 A2(100%), A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. A — 01	製図	一級建築士登録第370400号 山 本 優 太



配置図 S=1:100

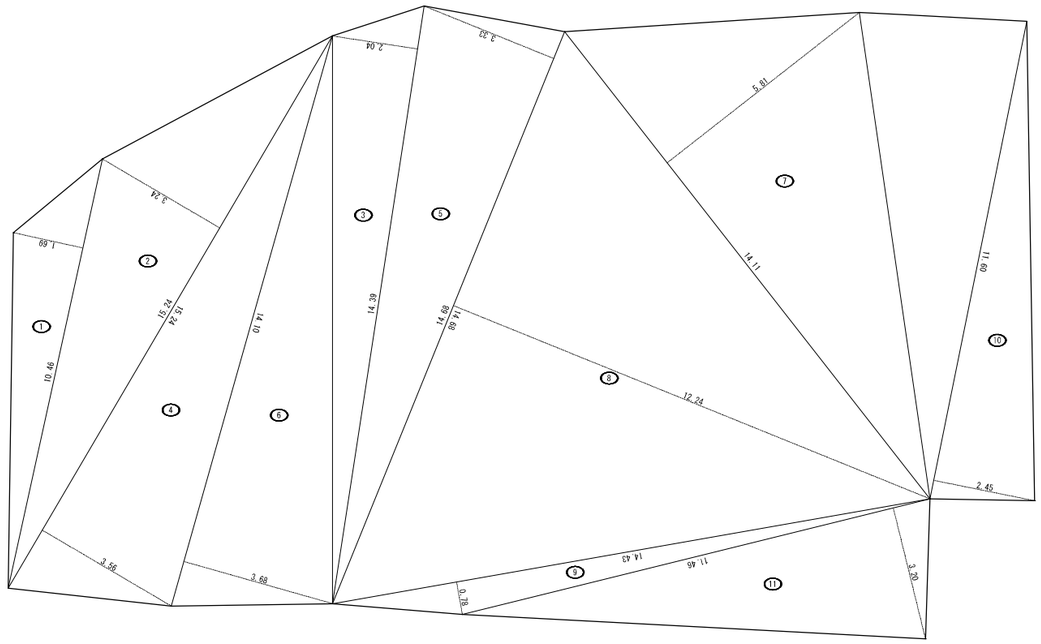
工事名 令和8年度 鹿敷生活改善センター改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16−17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 配置図	縮尺 1/100 A2(100%),A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. A — 02	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太



建物・床面積求積図 S=1:100

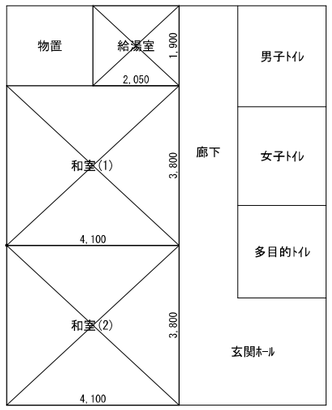
■面積表

項目		記号	計算式	計算結果	面積
床面積	1階	1	7.600*9.500	72.200000	
			1階床面積 計	72.200000	72.20 m2
建築面積	建物	1	7.600*9.500	72.200000	
		A	0.800*7.600	6.080000	
		B	3.800*0.800	3.040000	
			建築面積	81.320000	81.32 m2



敷地床面積求積図 S=1:100

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	10.46	1.69	17.6774	8.83870
2	15.24	3.24	49.3776	24.68880
3	14.39	2.04	29.3556	14.67780
4	15.24	3.56	54.2544	27.12720
5	14.68	3.33	48.8844	24.44220
6	14.10	3.68	51.8880	25.94400
7	14.11	5.81	81.9791	40.98955
8	14.68	12.24	179.6832	89.84160
9	14.43	0.78	11.2554	5.62770
10	11.60	2.45	28.4200	14.21000
11	11.46	3.20	36.6720	18.33600
合計				294.72355
敷地面積				294.72 m2



居室床面積求積図 S=1:100

■居室部屋別面積表

項目		計算式	計算結果	面積
1階	和室(1)	4.100*3.800	15.580000	
		計	15.580000	15.58 m2
	和室(2)	4.100*3.800	15.580000	
		計	15.580000	15.58 m2
	給湯室	2.050*1.900	3.895000	
		計	3.895000	3.89 m2

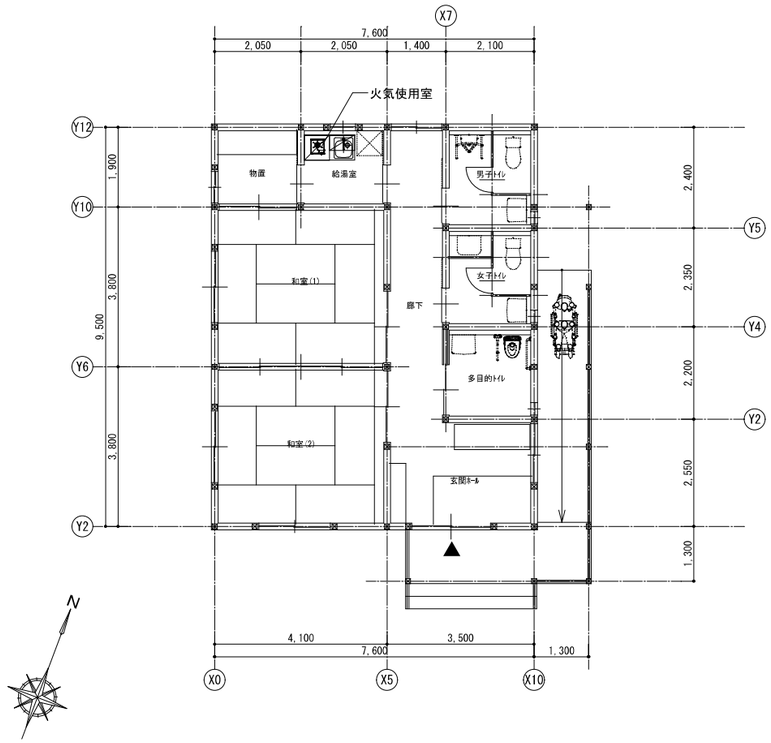
■排煙・採光・換気計算表

階	室名	床面積(A)	排煙 必要面積 1/50	排煙 有効面積 建具	排煙 有効面積 計算式	排煙 有効面積 面積	排煙 判定	採光 必要面積 1/20	採光 窓の面積 建具	採光 窓の面積 計算式	採光 窓の面積 面積	採光 有効採光面積	採光 判定	換気 必要面積 1/20	換気 有効面積 建具	換気 有効面積 計算式	換気 有効面積 面積	換気 判定
1階	和室(1)	15.58	0.312		有効面積 計	0.3400	OK	0.779		有効面積 計	2.0400	2.0400	OK	0.779		有効面積 計	1.0200	OK
				AW	1.700*0.400/2	0.3400			AW	1.700*1.200	2.0400				AW	1.700*1.200/2	1.0200	
	和室(2)	15.58	0.312		有効面積 計	0.5100	OK	0.779		有効面積 計	3.7400	3.7400	OK	0.779		有効面積 計	1.8700	OK
				AW	1.700*0.400/2	0.3400			AW	1.700*1.200	2.0400				AW	1.700*1.200/2	1.0200	
				AW	1.700*0.200/2	0.1700			AW	1.700*1.000	1.7000				AW	1.700*1.000/2	0.8500	
	給湯室	3.89	0.078		有効面積 計	0.0900	OK	0.195		有効面積 計	0.4800	0.4800	OK	0.195		有効面積 計	0.2400	OK
				AW	0.600*0.300/2	0.0900			AW	0.600*0.800	0.4800				AW	0.600*0.800/2	0.2400	

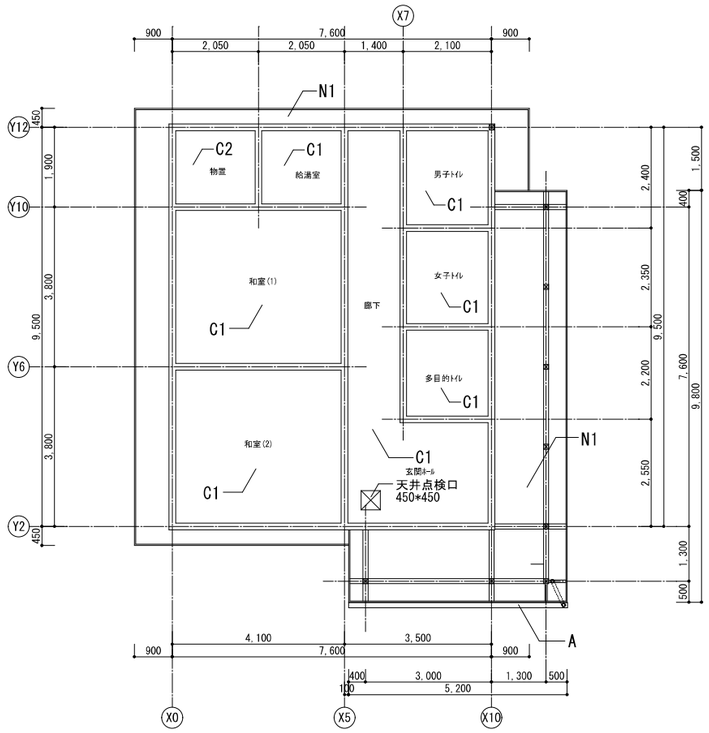
■火気使用室の換気計算 令20条の3

項目		数値	備考
ｶﾞｽｺﾝﾛ P1420A0LHNNX同等品	定数(N)	0.93 m3/kWh	LPｶﾞｽ
	理論廃ｶﾞｽ量(K)	30	排気ﾌｰﾄﾞI型
	ｶﾞｽ消費量(Q)	4.46 kW	ｶﾞｽﾚﾝｼﾞ全点火時
	必要換気量(V=N*K*Q)	124.43 m3/h	
ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ NBH-7397WN同等品	選定換気量	450.00 m3/h	
判定(選定換気量≧必要換気量)		OK	

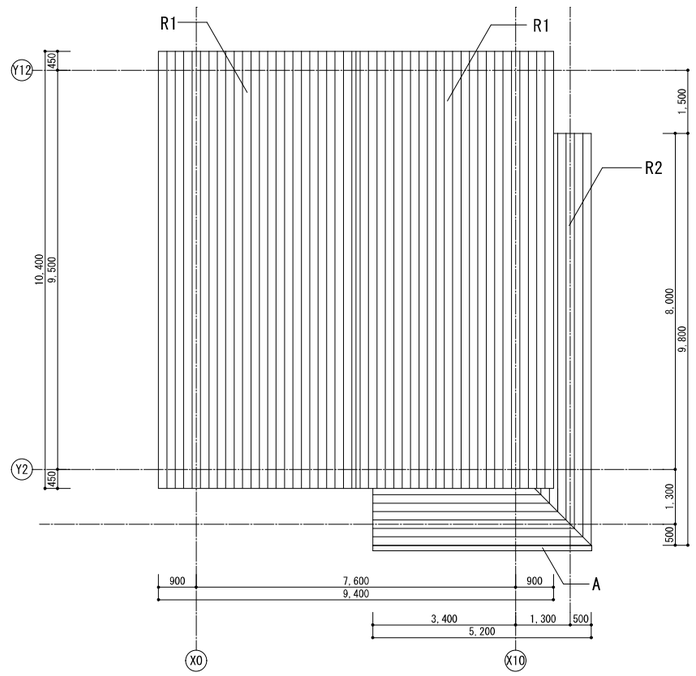
工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779	高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 面積表・排煙・採光・換気計算	縮尺 1/100 A2(100%),A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. A — 03	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太



平面図 S=1:100



天井伏図 S=1:100



屋根伏図 S=1:100

天井・軒天仕上表		
C1	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張(LGS下地)	塩ﾋﾞ廻縁(突付)
C2	押入用石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5(LGS下地)	塩ﾋﾞ廻縁(突付)
N1	窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞt=12(木目調)張(LGS下地)	
A	軒樋：塩ﾋﾞ製 前高135型	

屋根仕上表	
R1	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4一文字葺き 改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞt=1.0下地
R2	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4横葺き 改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞt=1.0下地
A	軒樋：塩ﾋﾞ製 前高135型

外部仕上表			
屋根・庇	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4一文字葺(一部横葺)，改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞt=1.0下地	と　い	竪樋：ｶﾗｰVP管100φ(SUS掴み金物@1000) 軒樋：硬質塩ﾋﾞ軒樋 前高135
外壁/腰壁	金属ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞt=15(ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ/ﾘﾌﾞﾀｲﾌﾟ)	軒　天	窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞt=12(木目調)張
根　廻	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し(B種)の上撥水材塗り		

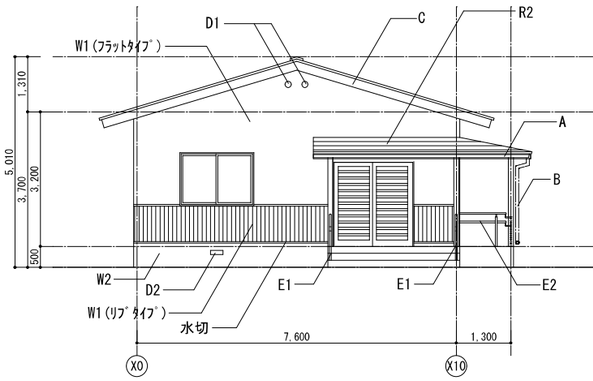
内部仕上表

階	室名	床	巾木	壁	天井	廻り縁	天井高さ	備考
1階	和室(1)	畳敷き+構造用合板t=12,乾式二重床下地	畳寄せ	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張	塩ﾋﾞ廻縁	2,600	
	和室(2)	畳敷き+構造用合板t=12,乾式二重床下地	畳寄せ	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張	塩ﾋﾞ廻縁	2,600	
	玄関ﾎｰﾙ	300角磁器質ﾀｲﾙ張,ﾓﾙﾀﾙt=40程度下地	ﾋﾞﾆﾙ巾木H=60	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5(GL工法)の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張	塩ﾋﾞ廻縁	2,600	
	廊下	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt=12+構造用合板t=12,乾式二重床下地	木製巾木H=60	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5(GL工法)の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張	塩ﾋﾞ廻縁	2,600	
	給湯室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張+構造用合板t=12,乾式二重床下地	ﾋﾞﾆﾙ巾木H=100	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 一部 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5の上化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張	塩ﾋﾞ廻縁	2,400	
	物置	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張+構造用合板t=12,乾式二重床下地	ﾋﾞﾆﾙ巾木H=100	押入用石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5	押入用石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5	塩ﾋﾞ廻縁	2,400	
	男子ﾄｲﾚ	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張+構造用合板t=12,乾式二重床下地	ﾋﾞﾆﾙ巾木H=100	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 一部 ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張	塩ﾋﾞ廻縁	2,400	
	女子ﾄｲﾚ	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張+構造用合板t=12,乾式二重床下地	ﾋﾞﾆﾙ巾木H=100	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 一部 ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張	塩ﾋﾞ廻縁	2,400	
	多目的ﾄｲﾚ	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張+構造用合板t=12,乾式二重床下地	ﾋﾞﾆﾙ巾木H=100	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5の上化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張	塩ﾋﾞ廻縁	2,400	

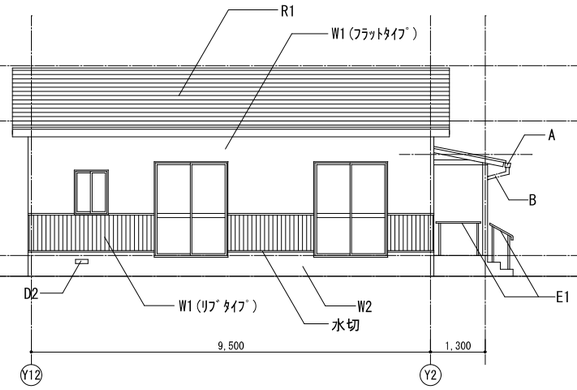
■備考
・内装材(天井裏も含む)は全てF☆☆☆☆認定品を使用すること。
・内部に用いると量は全てVOCOﾀｲﾌﾟのもの(水系塗料)を用いること。(外部は除く)
・ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽは高耐久，高耐水，表面強化等の強いﾀｲﾌﾟとすること。

防火材料認定番号		
名称	規格番号	防火材料認定番号
石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5	JIS A 6901	QM-9828
石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5	JIS A 6901	NM-8619
押入用石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5	JIS A 6901	NM-1734
ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5	JIS A 6901	NM-9639
ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ	JIS A 6921	不燃認定品

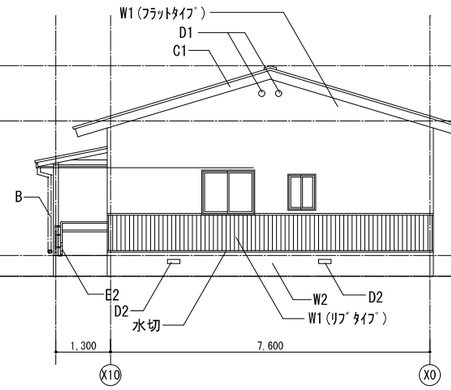
工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 平面図・天井伏図・屋根伏図・仕上表	縮尺 1/100 A2(100%),A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. A — 04	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太



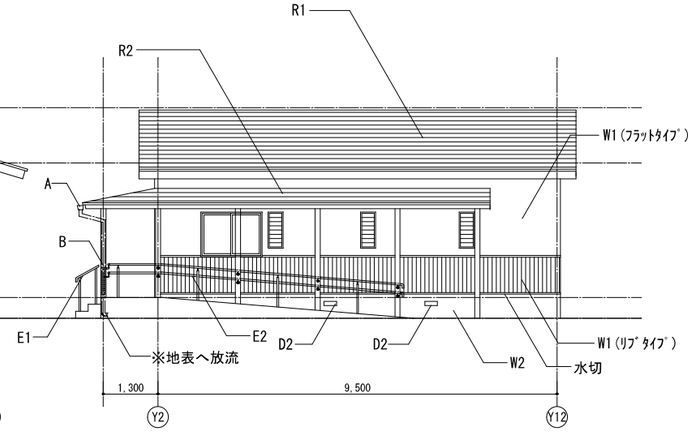
南面立面図 S=1:100



西面立面図 S=1:100



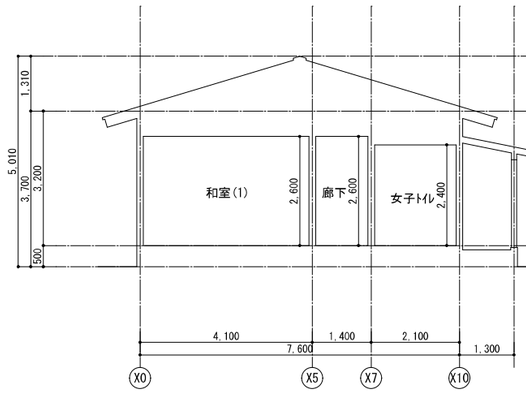
北面立面図 S=1:100



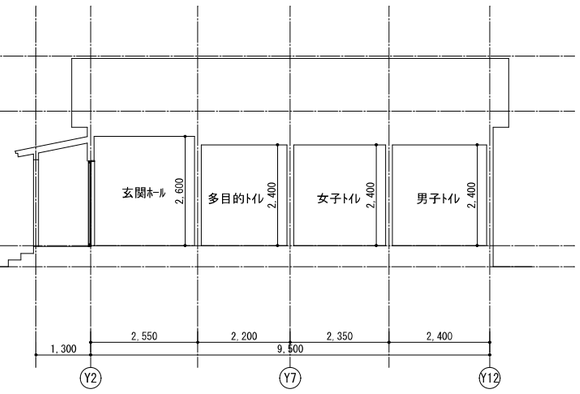
東面立面図 S=1:100

仕 上 表

部位	記号	仕 上
屋根 軒天	R1	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4一文字葺
	R2	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4横葺
	N1	窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞt=12(木目調)張
外壁	W1	金属ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞt=15
	W2	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し(B種)
その他	A	塩ﾋﾞ既製軒樋 前高130
	B	塩ﾋﾞ製VP75φ(SUS掴み金物@1000),DP塗
	C	窯業系破風板t=16
	D1	ｱﾙﾐ換気ﾌｰﾄﾞ150φ
	D2	床下換気口100*300
	E1	ｽﾃﾝﾚｽ手摺(1段,H=800)
	E2	ｽﾃﾝﾚｽ手摺(2段,H=600/800)

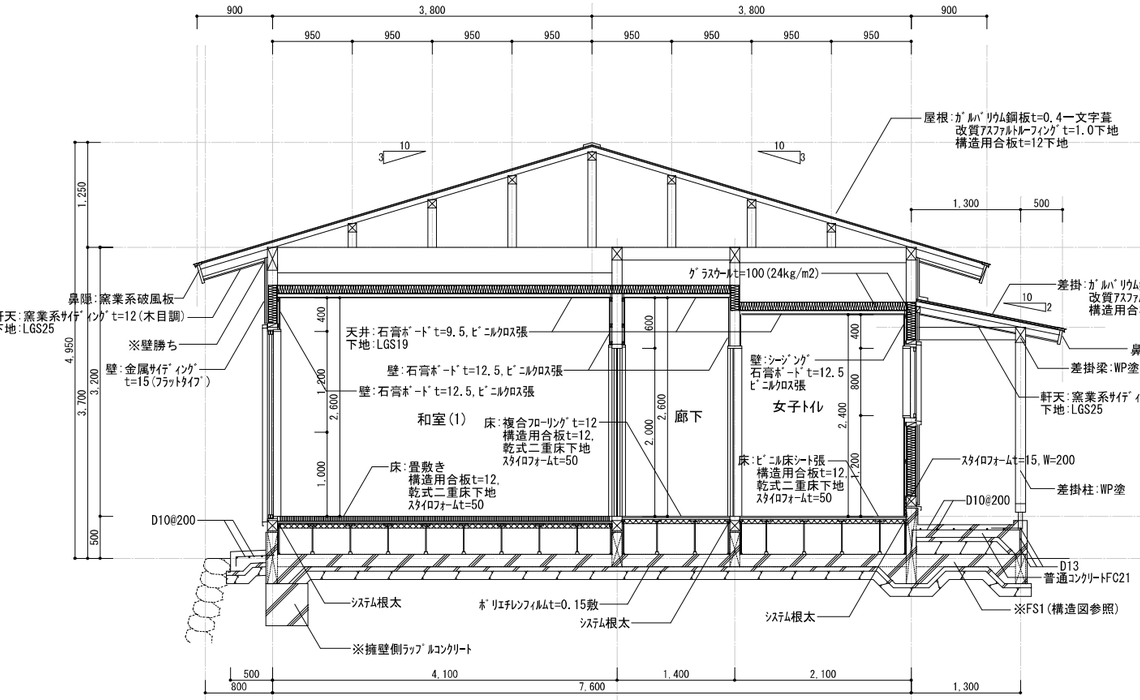


断面図(1) S=1:100

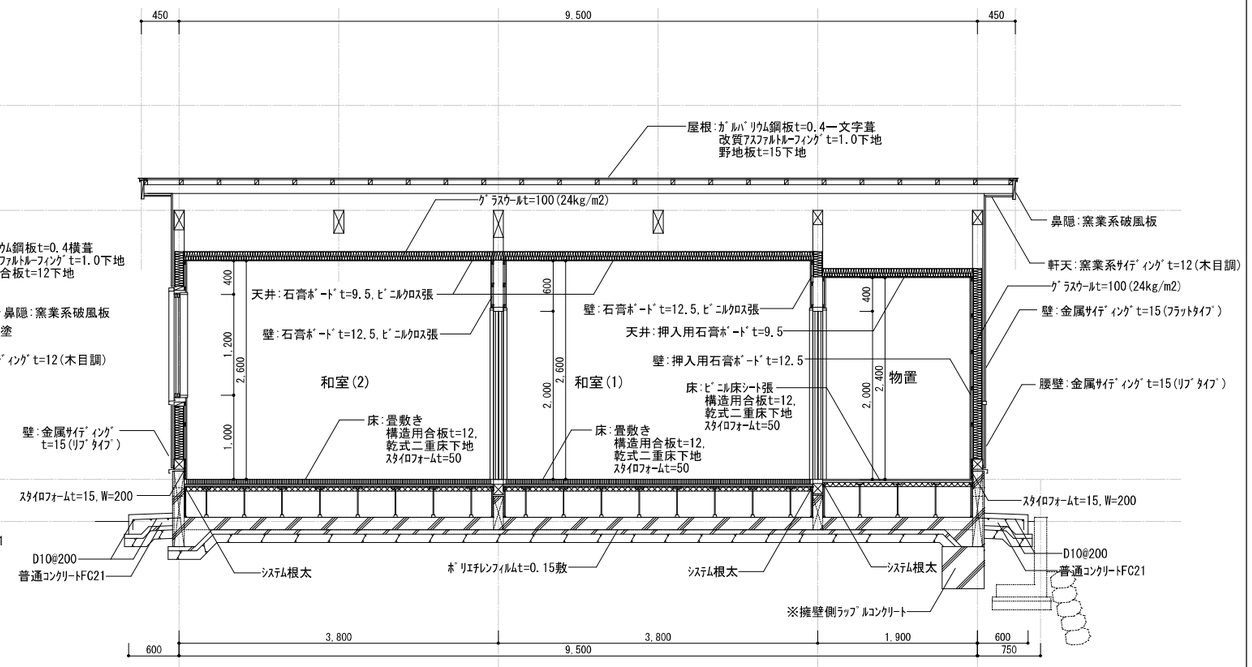


断面図(2) S=1:100

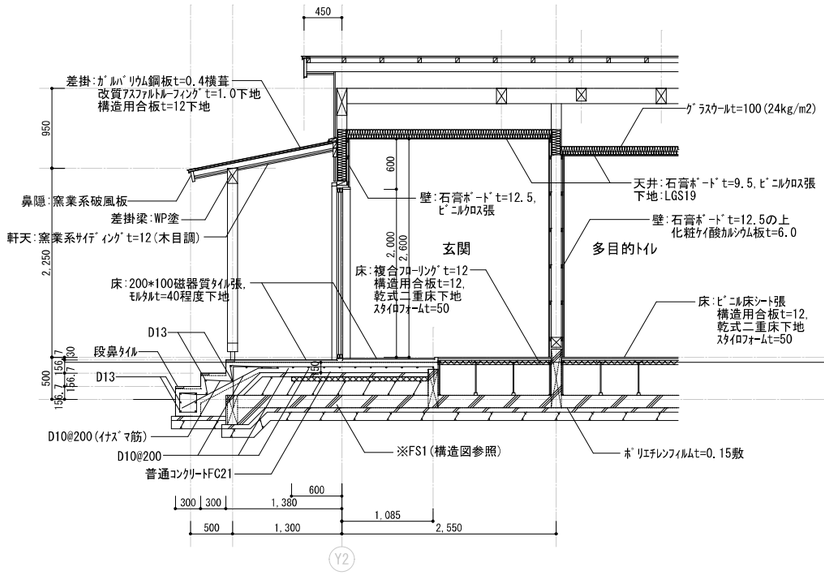
工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779	高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 立面図・断面図	縮尺 1/100 A2(100%),A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. A — 05	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太



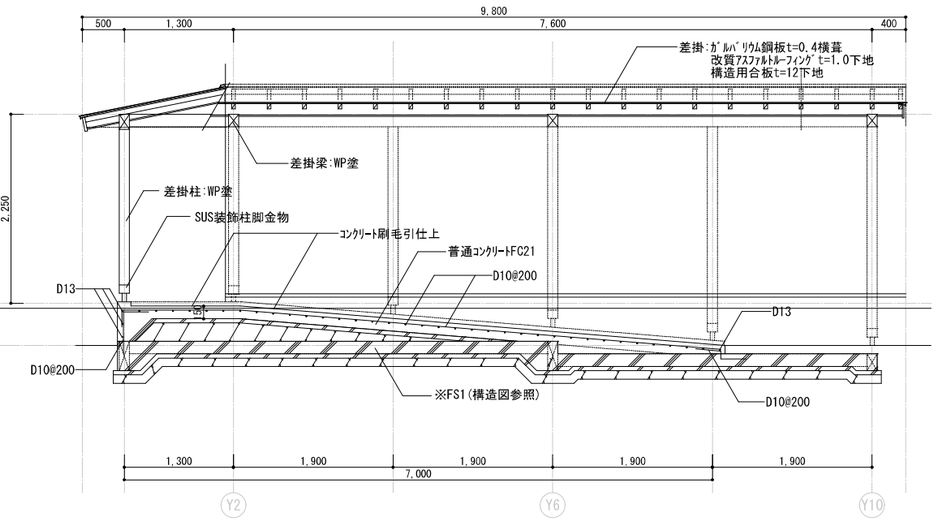
矩計図 S=1:50



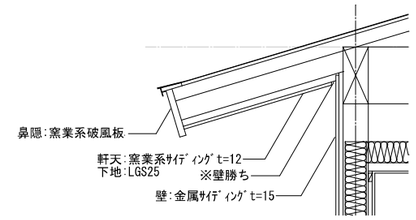
断面詳細図(1) S=1:50



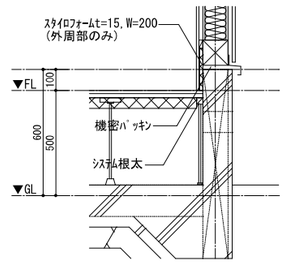
断面詳細図(2) S=1:50



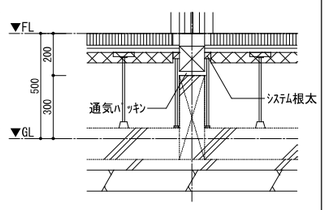
断面詳細図(3) S=1:50



外壁・軒天取合部 部分詳細図 S=1:20

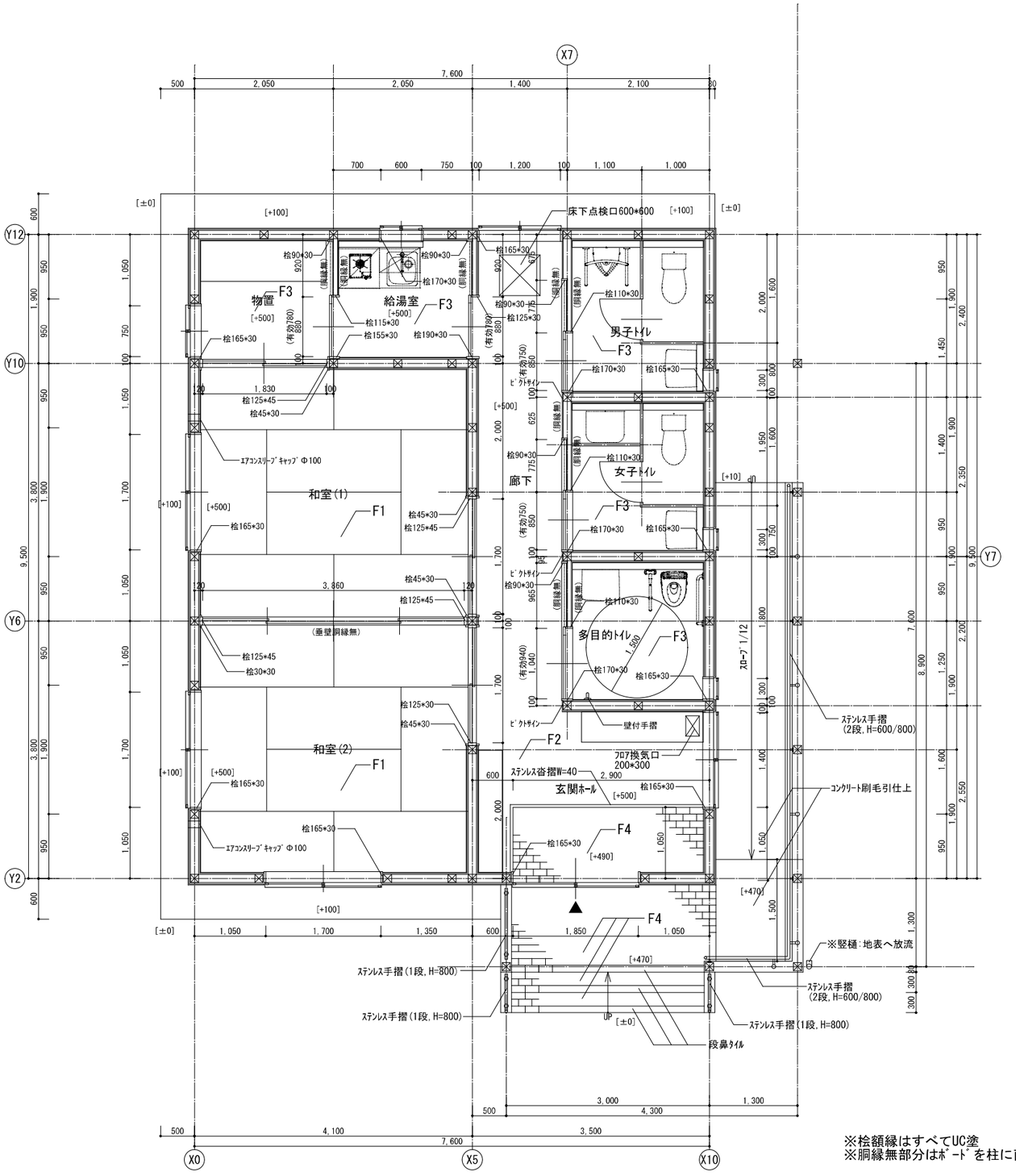


壁部分土台 部分詳細図 S=1:20



建具部分土台 部分詳細図 S=1:20

工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16－17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 矩計図・断面詳細図	縮尺 1／50 A2(100%),A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. A — 06	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太

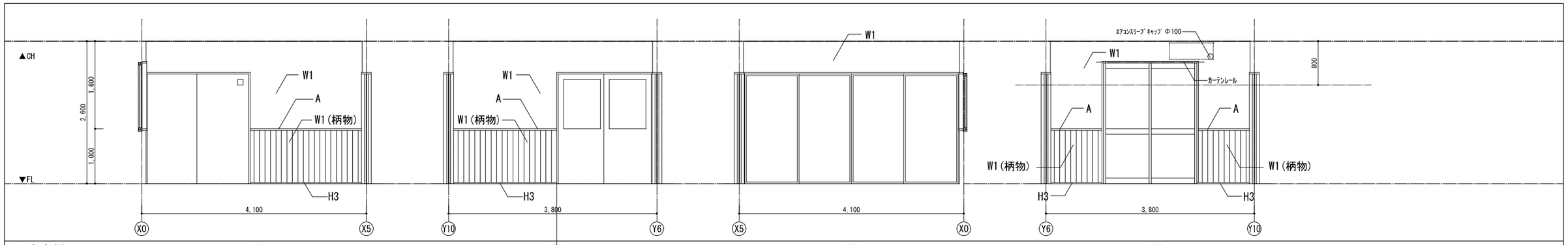


床 仕 上 表	
F1	畳敷き+構造用合板t=12,乾式二重床下地
F2	複合フローリングt=12+構造用合板t=12,乾式二重床下地
F3	ビニル床シート張+構造用合板t=12,乾式二重床下地
F4	200*100磁器質タイル張,モルタルt=40程度下地

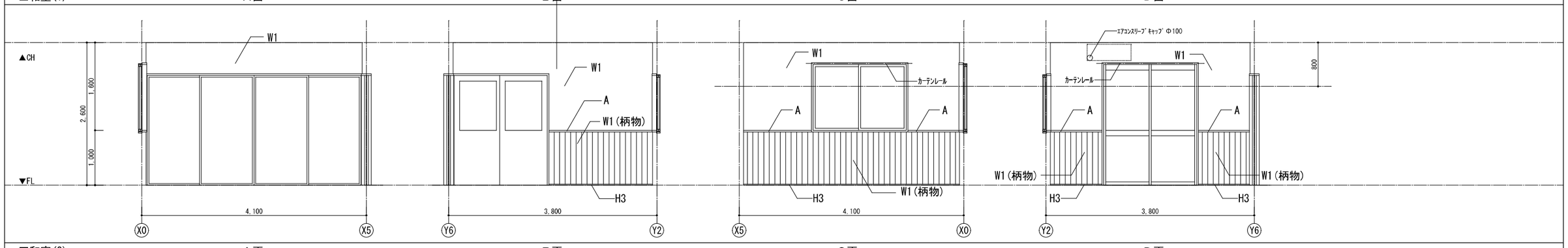
※桧額縁はすべてUC塗
※胴縁無部分はボードを柱に直張り

平面詳細図 S=1:50

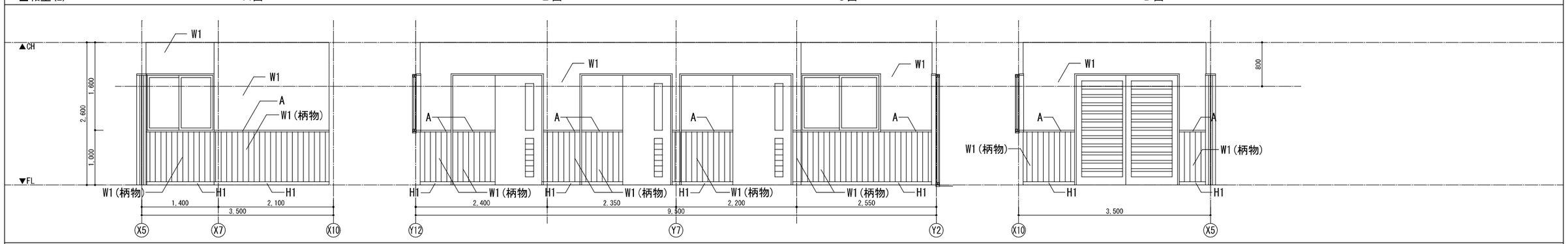
工事名 令和8年度 鹿敷生活改善センター改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図名 平面詳細図	縮尺 1/50 A2(100%),A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. A — 07	製図	一級建築士登録第370400号 山 本 優 太



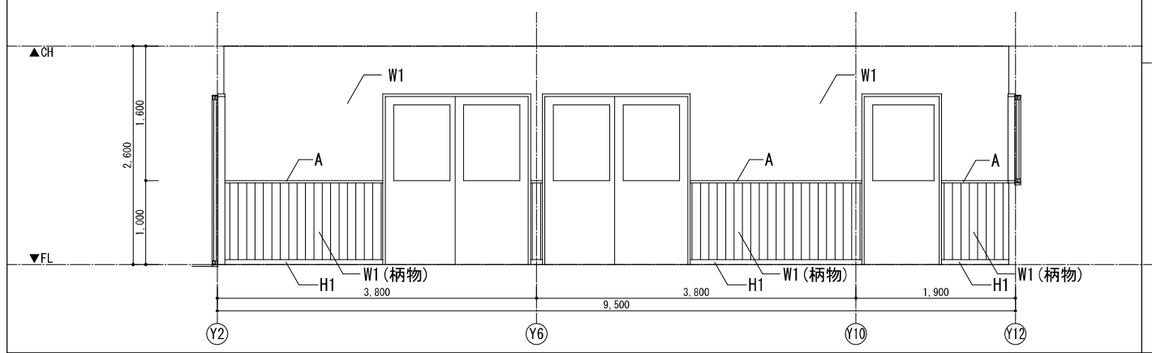
■和室(1)　A面　B面　C面　D面



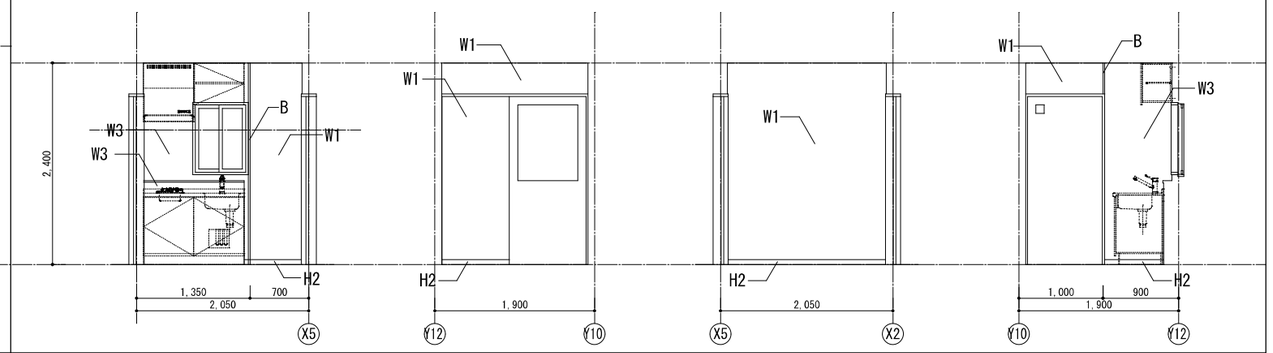
■和室(2)　A面　B面　C面　D面



■廊下・玄関ﾎｰﾙ　A面　B面　C面



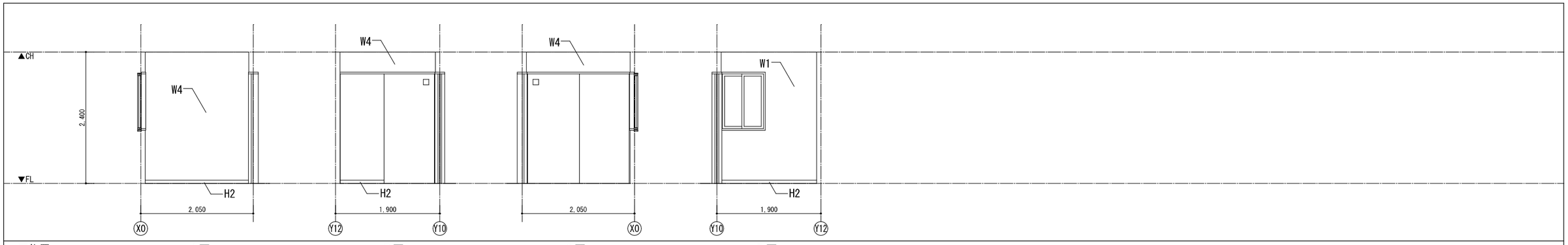
D面



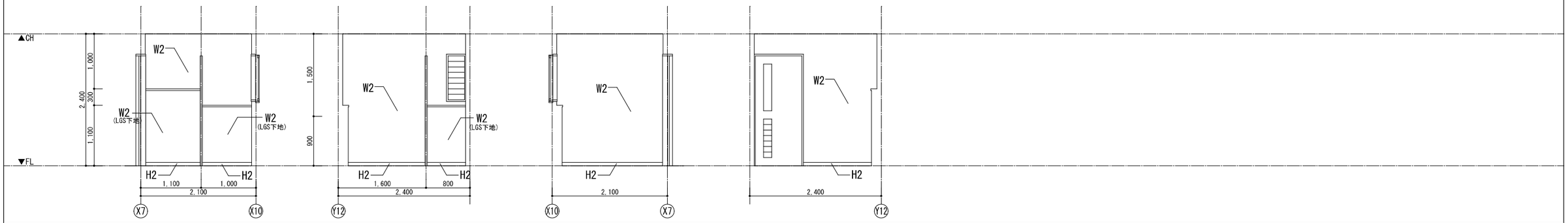
■給湯室　A面　B面　C面　D面

W1	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張	H1	木製巾木H=60	A	桧見切20*10
W2	ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張	H2	ﾋﾞﾆﾙ巾木H=60	B	塩ﾋﾞ見切材
W3	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5の上化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0	H3	畳寄せ		
W4	押入用石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5				

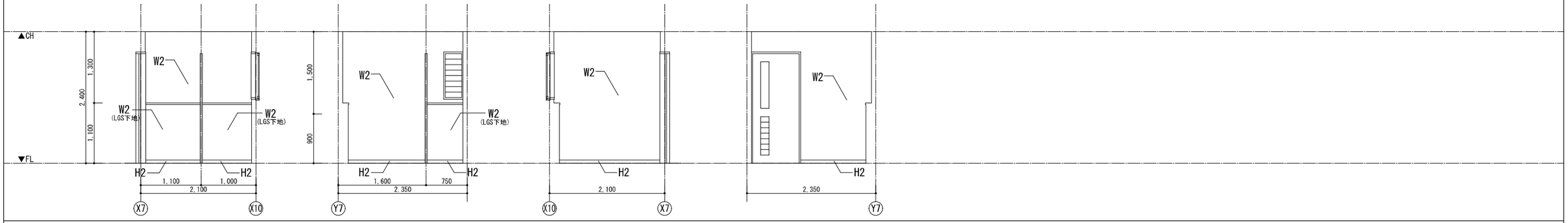
工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-863-1030 FAX 088-882-4779	高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 展開図(1)	縮尺 1/50 A2(100%),A3(70.7%) / 年月日 2026/02 / 図面No. A — 08	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太	



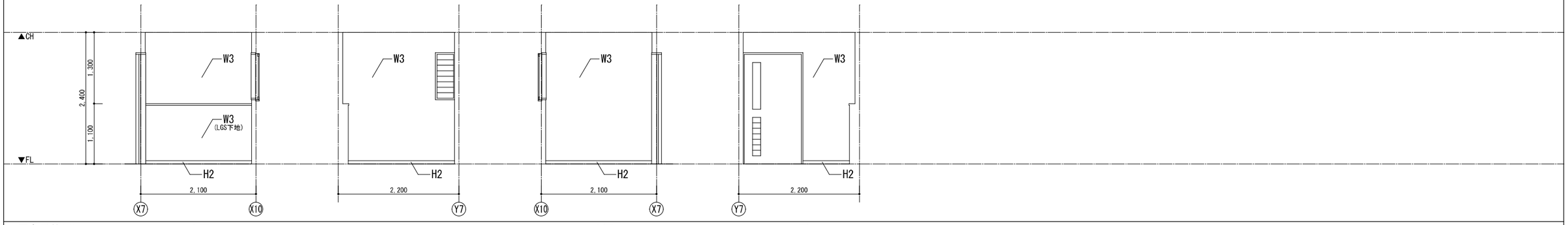
■物置　A面　B面　C面　D面



■男子ﾄｲﾚ　A面　B面　C面　D面



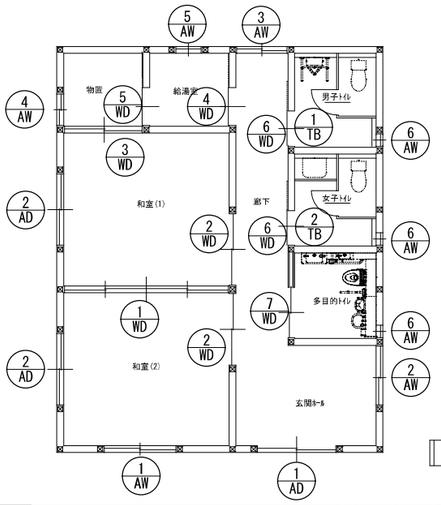
■女子ﾄｲﾚ　A面　B面　C面　D面



■多目的ﾄｲﾚ　A面　B面　C面　D面

W1	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張	H1	木製巾木H=60	A	桧見切20*10
W2	ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5の上ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張	H2	ﾋﾞﾆﾙ巾木H=60	B	塩ﾋﾞ見切材
W3	石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5の上化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0	H3	畳寄せ		
W4	押入用石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5				

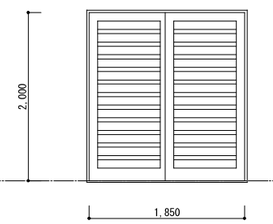
工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16－17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明
図名 展開図(2)	縮尺 1／50 A2(100%), A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. A — 09	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太



建具配置図 S=1:100

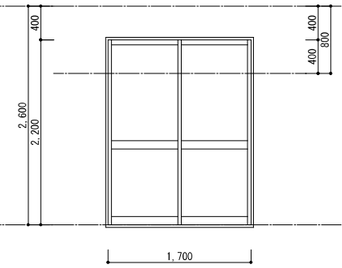
符号	室名	数量	1 AD	玄関ﾎｰﾙ	合計	1
材質・種類	見込		ｱﾙﾐ引違戸	70		
ガラス			T5+A6+T5			
塗装			–			
建具金物			SL, S2, ｱﾙﾐ水切			
			他付属金物一式			
備考						

形状寸法



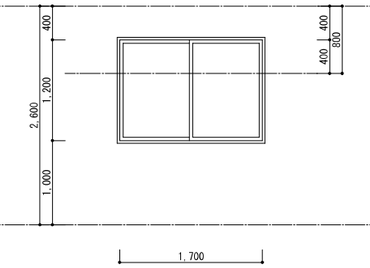
符号	室名	数量	2 AD	和室(1), 和室(2)	合計	2
材質・種類	見込		ｱﾙﾐ引違框戸	70		
ガラス			T5+A6+T5			
塗装			–			
建具金物			ｸﾚｾﾝﾄ錠, ｱﾙﾐ水切, 網戸			
			他付属金物一式			
備考						

形状寸法



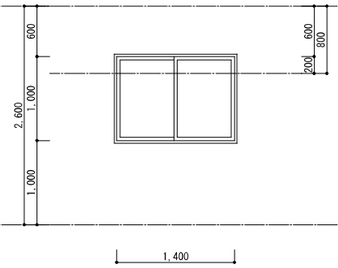
符号	室名	数量	1 AW	和室(2)	合計	1
材質・種類	見込		ｱﾙﾐ引違窓	70		
ガラス			T5+A6+T5			
塗装			–			
建具金物			ｸﾚｾﾝﾄ錠, ｱﾙﾐ水切, 網戸			
			他付属金物一式			
備考						

形状寸法



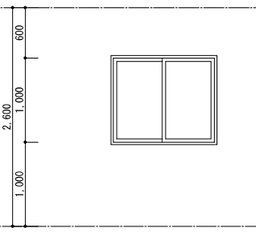
符号	室名	数量	2 AW	玄関ﾎｰﾙ	合計	1
材質・種類	見込		ｱﾙﾐ引違窓	70		
ガラス			T5+A6+T5			
塗装			–			
建具金物			ｸﾚｾﾝﾄ錠, ｱﾙﾐ水切, 網戸			
			他付属金物一式			
備考						

形状寸法



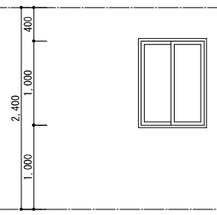
符号	室名	数量	3 AW	廊下	合計	1
材質・種類	見込		ｱﾙﾐ引違窓	70		
ガラス			T5+A6+T5			
塗装			–			
建具金物			ｸﾚｾﾝﾄ錠, ｱﾙﾐ水切, 網戸			
			他付属金物一式			
備考						

形状寸法



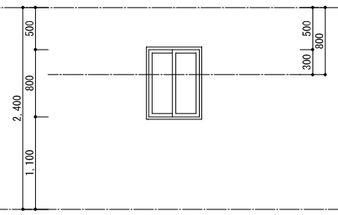
符号	室名	数量	4 AW	物置	合計	1
材質・種類	見込		ｱﾙﾐ引違窓	70		
ガラス			T5+A6+T5			
塗装			–			
建具金物			ｸﾚｾﾝﾄ錠, ｱﾙﾐ水切, 網戸			
			他付属金物一式			
備考						

形状寸法



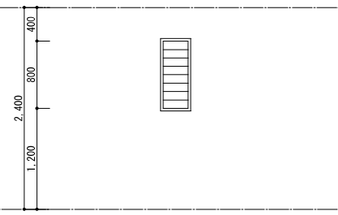
符号	室名	数量	5 AW	給湯室	合計	1
材質・種類	見込		ｱﾙﾐ引違窓	70		
ガラス			T5+A6+T5			
塗装			–			
建具金物			ｸﾚｾﾝﾄ錠, ｱﾙﾐ水切, 網戸			
			他付属金物一式			
備考						

形状寸法



符号	室名	数量	6 AW	男子ﾄｲﾚ, 女子ﾄｲﾚ, 多目的ﾄｲﾚ	合計	3
材質・種類	見込		ｱﾙﾐﾙｰﾊﾞｰ窓			
ガラス			FT5			
塗装			–			
建具金物			ｸﾚｾﾝﾄ錠, ｱﾙﾐ水切, 網戸			
			他付属金物一式			
備考						

形状寸法



建具記号

ＡＷ	：アルミ製窓	ＷＤ	：木製扉
ＡＤ	：アルミ製扉	ＷＷ	：木製窓
ＡＧ	：アルミ製ガラリ窓	Ｓ	：障子
ＳＷ	：鋼製窓	ＦＤ	：襖
ＳＤ	：鋼製扉	ＯＳ	：オーバースライダー
ＳＧ	：鋼製ガラリ	ＳＳ	：重量シャッター
ＬＳＤ	：軽量鋼製扉	ＰＳＳ	：パネル，グリルシャッター
ＳＴＷ	：ステンレス製窓	ＬＳＳ	：軽量シャッター
ＳＴＤ	：ステンレス製扉	ＴＦ	：防煙垂壁
ＳＴＧ	：ステンレス製ガラリ窓		
ＳＰＴ	：スチールパーティション	ＴＢ	：トイレブース

ガラス記号

Ｆ	：型板ガラス	ＳＲ	：熱線反射ガラス
ＦＬ	：フロート板ガラス	ＨＡ	：熱線吸収板ガラス
ＦＷ	：網入型板ガラス	ＩＧ	：複層ガラス
ＰＷ	：網入磨板ガラス	ＨＳ	：倍強度ガラス
Ｌ	：合わせガラス	ＧＢ	：ガラスブロック
Ｔ	：強化ガラス	ＰＣ	：ポリカーボネイト樹脂板
ＦＴ	：強化型板ガラス		
ＡＰ	：アルミパネル	Ａ	：空気層

建具金物記号

Ｈ	：丁番（ステンレス）	ＪＨ	：自由丁番
ＰＨ	：ピボットヒンジ	ＦＨ	：フロアーヒンジ
ＡＨ	：オートヒンジ	ＬＨ	：ラバトリーヒンジ
ＨＣ	：ヒンジクローザー	ＤＣ	：ドアチェック
Ｆ	：フランス落し	Ｔ	：戸当たり
ＨＭ	：本締錠付モノロック	ＬＯ	：レバーハンドル空錠
ＭＨ	：シリンダー付ケースロック	ＬＡ	：レバーハンドル錠
ＢＨ	：本締錠	ＬＰ	：非常開装置付ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ空錠
ＢＨＥ	：非常開装置付本締錠	ＯＭ	：空錠
ＦＦ	：シリンダー付引き戸錠	ＩＭ	：表示錠
ＳＬ	：シリンダー付引違戸用錠	ＢＭ	：浴室錠
ＧＴ	：グレモン錠	ＡＧ	：アルミ額縁
ＰＰ	：押板		
ＰＢ	：握棒		
ＣＨ	：ケースハンドル錠		
ＯＰ	：ワンタッチ式排煙用オペレーター装置		

（90°開き・取付位置：FL+1500以下）

二重水切（アルミ）：記入数値は巾寸法を示す

沓摺記号

Ｓ１　：ステンレス沓摺（ ⊓ 型）
Ｓ２　：ステンレス沓摺（ ⊏⊐ 型）
Ｓ３　：ステンレス沓摺（ ⊏⊐ 型）
　　└ネオプレーン製パッキング
Ｓ４　：ステンレスレールＭ型
Ｓ５　：ステンレスレールＵ型

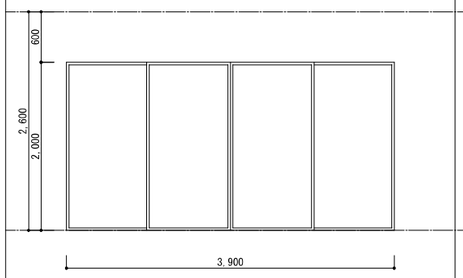
特記事項（共通）

１：建具金物は原則としてステンレス製とする。
２：ガラスの取り付けは、全てシリコーン系（ＳＲ－１）とする。
３：ガラリ（ドアーガラリ共）の有効開口率は３５％程度とする。
４：レバーハンドル錠、本締錠等は原則として部屋側サムターン、外部側錠の組合わせとする。
５：扉部が柱、壁等に当たる箇所は、床付戸当たりを付けること。戸当たりの取付位置は、監督職員の指示による。
６：ＦＨ・ＡＨ・ＤＣの開閉装置は、ストップ付とする。
７：建具は、付属金物一式を含む。
８：特記なきかぎり鋼製建具枠はＤＰ塗とする。

工事名	(株) ハウジング総合コンサルタント	高知県知事登録119号 代表取締役	管理建築士 一級建築士登録第203207号
令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	高知市南久保16－17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779	福家正義	村田憲明
図名 建具表(1)	縮尺 1／50,100 A2(100%), A3(70.7%) / 年月日 2026/02 / 図面No. A — 10	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太

符号	室名	数量	1 WD	和室(1)	合計	1

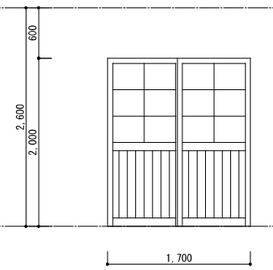
形状寸法



材質・種類	見込	4枚引違戸襖 / 36
ガラス		-
塗装		-
建具金物		戸車,ｱﾙﾐY型ﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ,引手,IM
		他付属金物一式
備考		

符号	室名	数量	2 WD	和室(1),和室(2)	合計	2

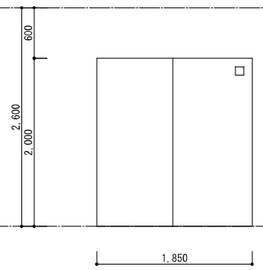
形状寸法



材質・種類	見込	桧引違框戸 / 36
ガラス		T5
塗装		UC塗
建具金物		戸車,ｱﾙﾐY型ﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ,引手,IM
		他付属金物一式
備考		

符号	室名	数量	3 WD	物置	合計	1

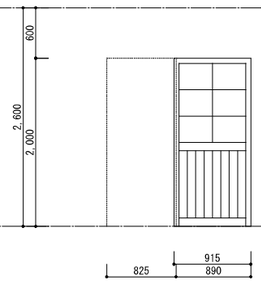
形状寸法



材質・種類	見込	桧練付合板引違戸 / 36
ガラス		F4
塗装		UC塗
建具金物		戸車,ｱﾙﾐY型ﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ,引手,IM
		他付属金物一式
備考		

符号	室名	数量	4 WD	給湯室	合計	1

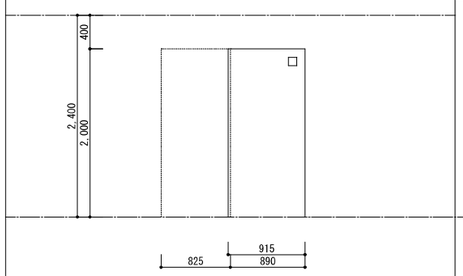
形状寸法



材質・種類	見込	桧片引框戸 / 36
ガラス		T5
塗装		UC塗
建具金物		戸車,ｱﾙﾐY型ﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ,引手,IM
		他付属金物一式
備考		

符号	室名	数量	5 WD	物置	合計	1

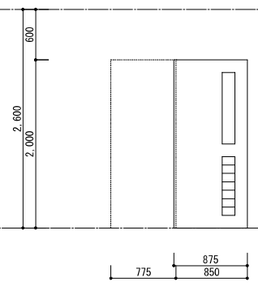
形状寸法



材質・種類	見込	桧練付合板片引戸 / 36
ガラス		F4
塗装		UC塗
建具金物		戸車,ｱﾙﾐY型ﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ,引手
		他付属金物一式
備考		

符号	室名	数量	6 WD	男子ﾄｲﾚ,女子ﾄｲﾚ	合計	2

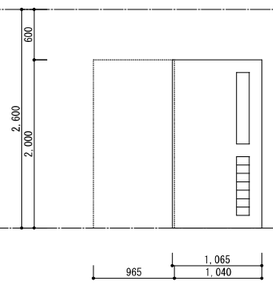
形状寸法



材質・種類	見込	桧練付合板片引戸 / 36
ガラス		F4
塗装		UC塗
建具金物		戸車,ｱﾙﾐY型ﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ,引手,IM
		他付属金物一式
備考		

符号	室名	数量	7 WD	多目的ﾄｲﾚ	合計	1

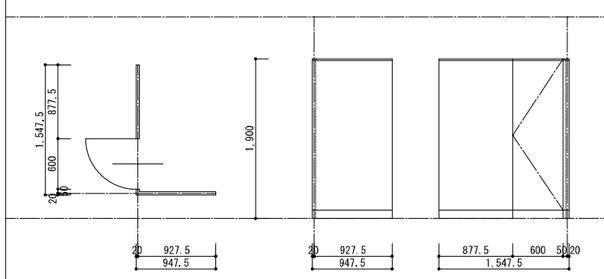
形状寸法



材質・種類	見込	桧練付合板片引戸 / 36
ガラス		F4
塗装		UC塗
建具金物		戸車,ｱﾙﾐY型ﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ,ｻﾑﾀｰﾝ,非常解錠表示
		他付属金物一式
備考		

符号	室名	数量	1 TB	男子ﾄｲﾚ	合計	1

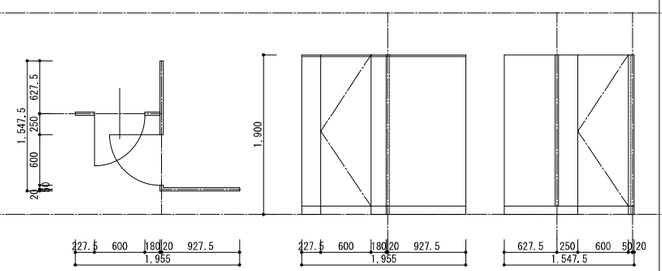
形状寸法



材質・種類	見込	高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ / 40
ガラス		-
塗装		-
建具金物		取手・表示付きｻﾑﾀｰﾝ(非常解錠付)
		他付属金物一式
備考		

符号	室名	数量	2 TB	女子ﾄｲﾚ	合計	1

形状寸法



材質・種類	見込	高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ / 40
ガラス		-
塗装		-
建具金物		取手・表示付きｻﾑﾀｰﾝ(非常解錠付)
		他付属金物一式
備考		

建具記号

ＡＷ	アルミ製窓	ＷＤ	木製扉
ＡＤ	アルミ製扉	ＷＷ	木製窓
ＡＧ	アルミ製ガラリ窓	Ｓ	障子
ＳＷ	鋼製窓	ＦＤ	襖
ＳＤ	鋼製扉	ＯＳ	オーバースライダー
ＳＧ	鋼製ガラリ	ＳＳ	重量シャッター
ＬＳＤ	軽量鋼製扉	ＰＳＳ	パネル，グリルシャッター
ＳＴＷ	ステンレス製窓	ＬＳＳ	軽量シャッター
ＳＴＤ	ステンレス製扉	ＴＦ	防煙垂壁
ＳＴＧ	ステンレス製ガラリ窓		
ＳＰＴ	スチールパーティション	ＴＢ	トイレブース

ガラス記号

Ｆ	型板ガラス	ＳＲ	熱線反射ガラス
ＦＬ	フロート板ガラス	ＨＡ	熱線吸収板ガラス
ＦＷ	網入型板ガラス	ＩＧ	複層ガラス
ＰＷ	網入磨板ガラス	ＨＳ	倍強度ガラス
Ｌ	合わせガラス	ＧＢ	ガラスブロック
Ｔ	強化ガラス	ＰＣ	ポリカーボネイト樹脂板
ＦＴ	強化型板ガラス		
ＡＰ	アルミパネル	Ａ	空気層

建具金物記号

Ｈ	丁番（ステンレス）	ＪＨ	自由丁番
ＰＨ	ピボットヒンジ	ＦＨ	フロアーヒンジ
ＡＨ	オートヒンジ	ＬＨ	ラバトリーヒンジ
ＨＣ	ヒンジクローザー	ＤＣ	ドアチェック
Ｆ	フランス落し	Ｔ	戸当たり
ＨＭ	本締錠付モノロック	ＬＯ	レバーハンドル空錠
ＭＨ	シリンダー付ケースロック	ＬＡ	レバーハンドル錠
ＢＨ	本締錠	ＬＰ	非常開装置付ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ空錠
ＢＨＥ	非常開装置付本締錠	ＯＭ	空錠
ＦＦ	シリンダー付引き戸錠	ＩＭ	表示錠
ＳＬ	シリンダー付引違戸用錠	ＢＭ	浴室錠
ＧＴ	グレモン錠	ＡＧ	アルミ額縁
ＰＰ	押板		
ＰＢ	握棒		
ＣＨ	ケースハンドル錠		
ＯＰ	ワンタッチ式排煙用オペレーター装置 (90°開き・取付位置：FL+1500以下)		

二重水切（アルミ）：記入数値は巾寸法を示す

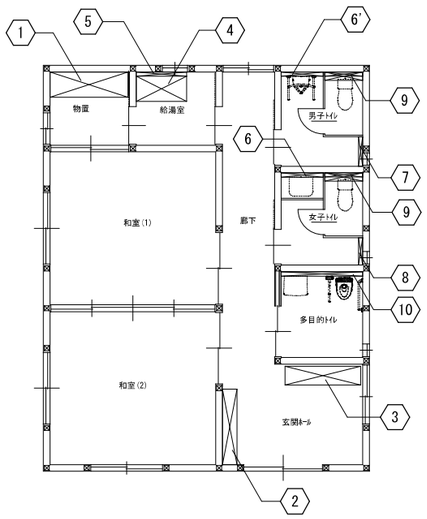
沓摺記号

Ｓ１　：ステンレス沓摺（ ⊓ 型）
Ｓ２　：ステンレス沓摺（ ⊓ 型）
Ｓ３　：ステンレス沓摺（ ⊓ 型）
　　└ネオプレーン製パッキング
Ｓ４　：ステンレスレールＭ型
Ｓ５　：ステンレスレールＵ型

特記事項（共通）

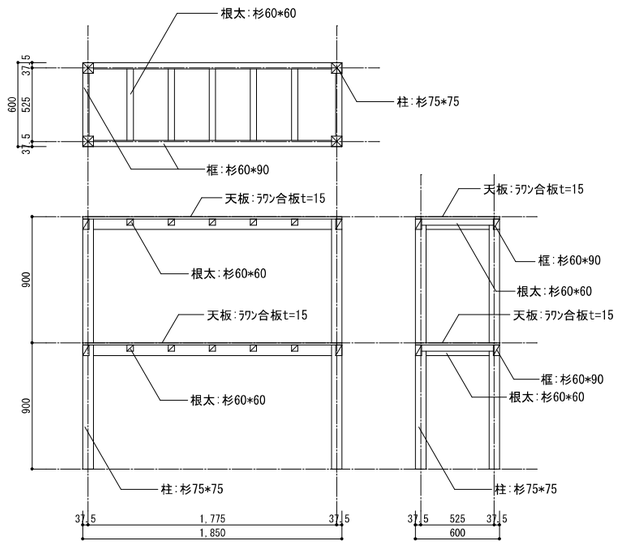
１：建具金物は原則としてステンレス製とする。
２：ガラスの取り付けは、全てシリコーン系（ＳＲ－１）とする。
３：ガラリ（ドアーガラリ共）の有効開口率は３５％程度とする。
４：レバーハンドル錠、本締錠等は原則として部屋側サムターン、外部側錠の組合わせとする。
５：扉部が柱、壁等に当たる箇所は、床付戸当たりを付けること。戸当たりの取付位置は、監督職員の指示による。
６：ＦＨ・ＡＨ・ＤＣの開閉装置は、ストップ付とする。
７：建具は、付属金物一式を含む。
８：特記なきかぎり鋼製建具枠はＤＰ塗とする。

工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16－17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 建具表(2)	縮尺 1／50 A2(100%),A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. A — 11	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太	

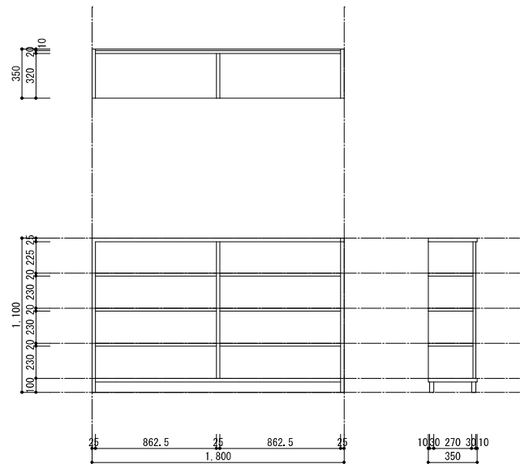


家具配置図 S=1:100

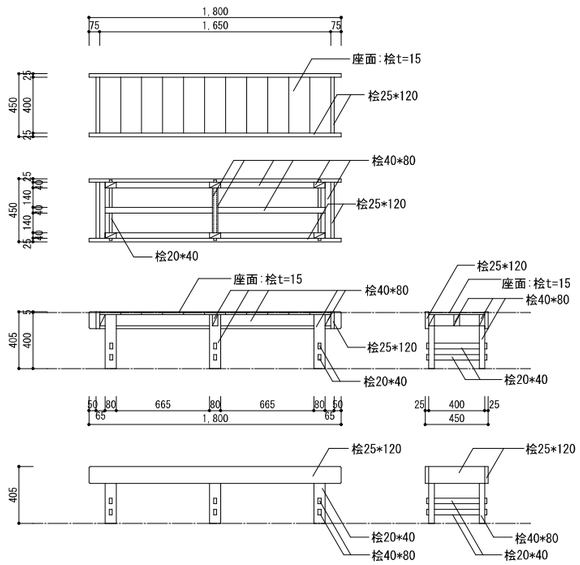
記号	1	名称	木製棚	数量	1
		室名	物置		
材種	杉,ﾗﾜﾝ合板				
金物					
塗装					
備考					



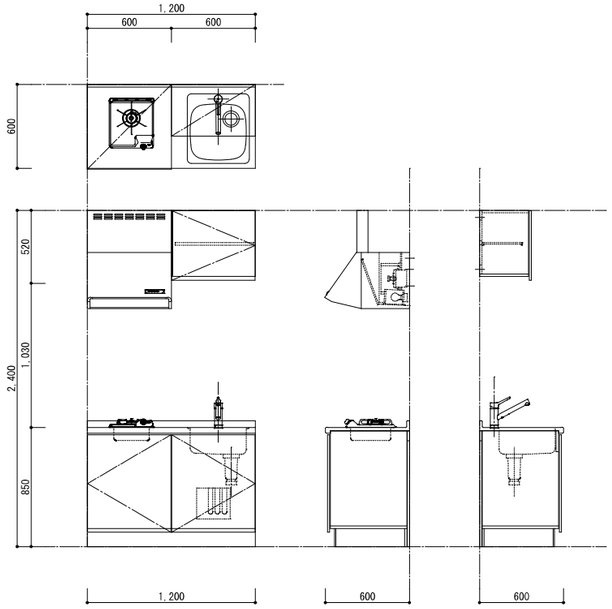
記号	2	名称	下足箱	数量	1
		室名	玄関ﾎｰﾙ		
材種	桧練付ﾗﾝﾊﾞｰｺｱ合板t=25(本体・天板・底板:t=25/棚・背面:t=20/台輪:t=30)				
金物	底面受SUSt=0.4(3方立上げ),SUSﾀﾞﾎﾞ,ｱﾙﾐﾀﾞﾎﾞﾚｰﾙ				
塗装	UC塗				
備考					



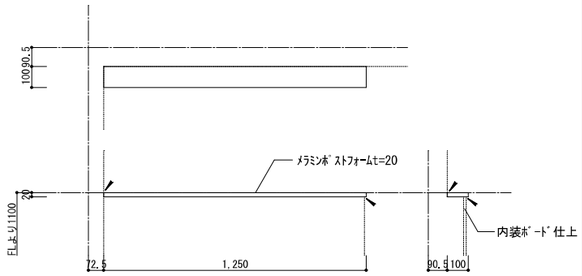
記号	3	名称	腰掛	数量	1
		室名	玄関ﾎｰﾙ		
材種	桧				
金物					
塗装	UC塗				
備考					



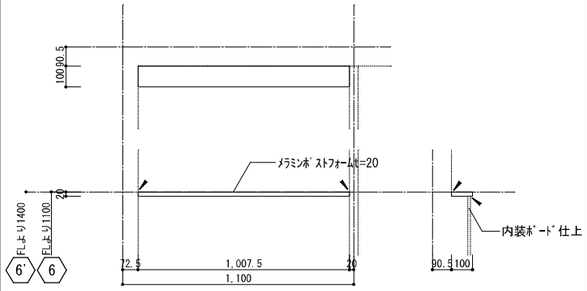
記号	4	名称	ｷｯﾁﾝ	数量	1
		室名	給湯室		
材種	ﾒｰｶｰ仕様による				
金物	ﾒｰｶｰ仕様による				
塗装	ﾒｰｶｰ仕様による				
備考	LIXIL 壁付I型 間口1200 ﾍﾞｰｼｯｸﾀｲﾌﾟ(1口ﾀｲﾌﾟ)				



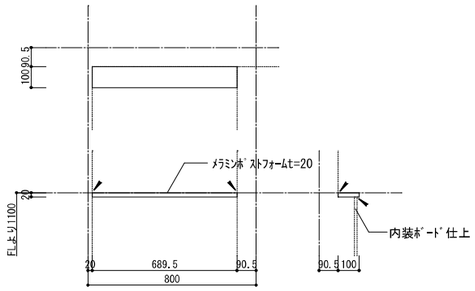
記号	5	名称	面台	数量	1
		室名	給湯室		
材種	ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑt=20	塗装			
金物		備考	標準色		



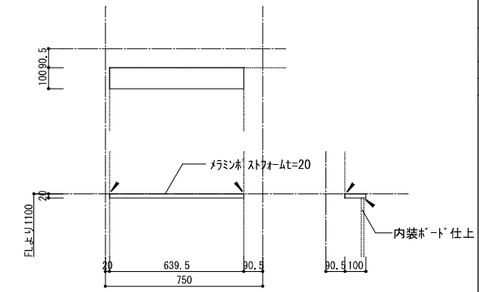
記号	6 6'	名称	面台	数量	2
		室名	男子ﾄｲﾚ,女子ﾄｲﾚ		
材種	ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑt=20	塗装			
金物		備考	標準色		



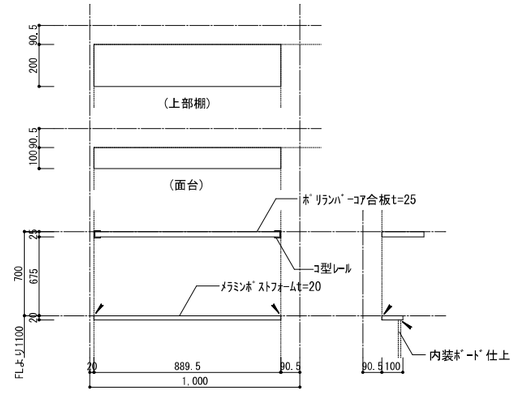
記号	7	名称	面台	数量	1
		室名	男子ﾄｲﾚ		
材種	ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑt=20	塗装			
金物		備考	標準色		



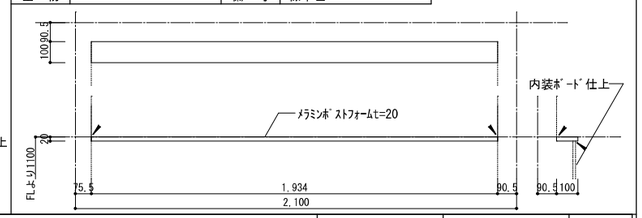
記号	8	名称	面台	数量	1
		室名	女子ﾄｲﾚ		
材種	ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑt=20	塗装			
金物		備考	標準色		



記号	9	名称	面台/上部棚	数量	2
		室名	男子ﾄｲﾚ,女子ﾄｲﾚ		
材種	(面台)ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑt=20 / (上部棚)ﾎﾟﾘﾗﾝﾊﾞｰｺｱ合板t=25				
金物	(上部棚)ｺ型ﾚｰﾙ				
塗装					
備考	標準色				

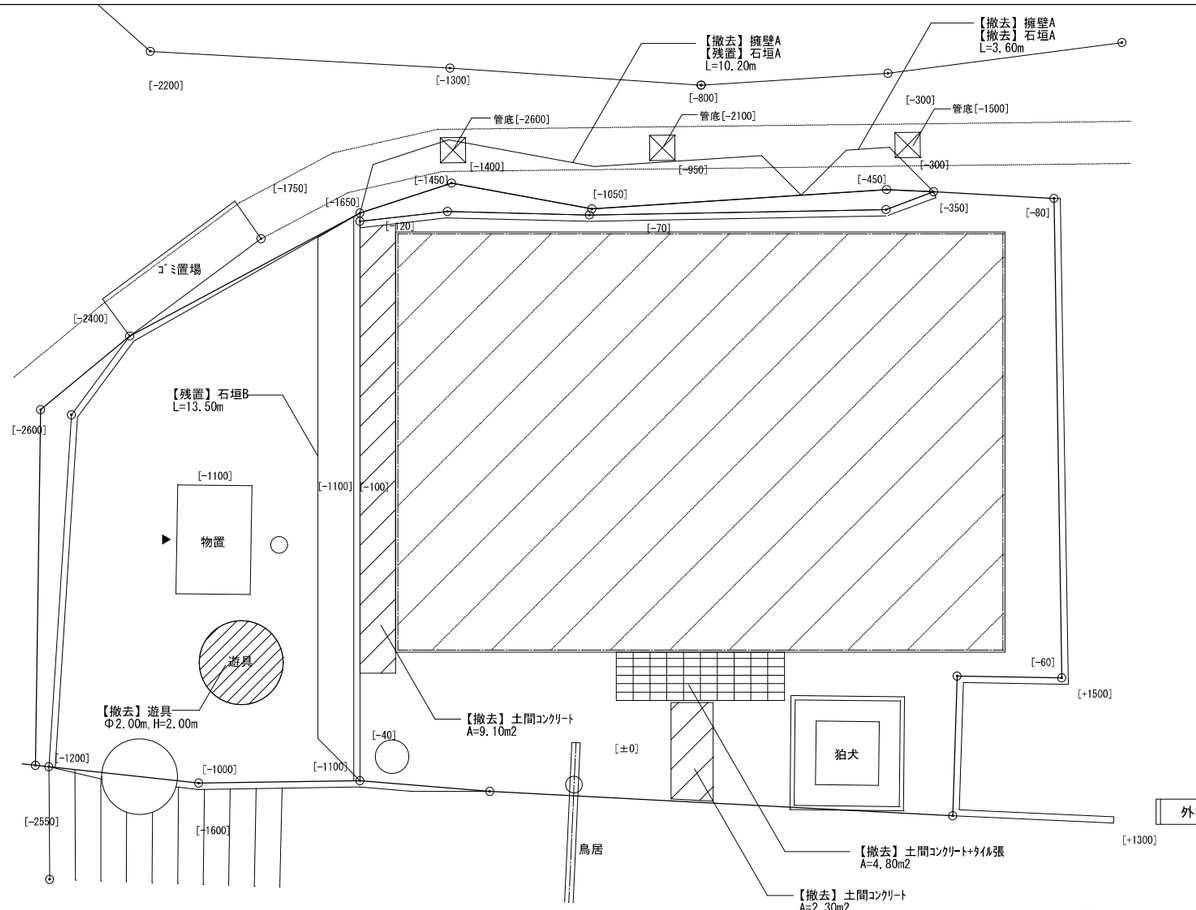


記号	10	名称	面台	数量	1
		室名	多目的ﾄｲﾚ		
材種	ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑt=20	塗装			
金物		備考	標準色		

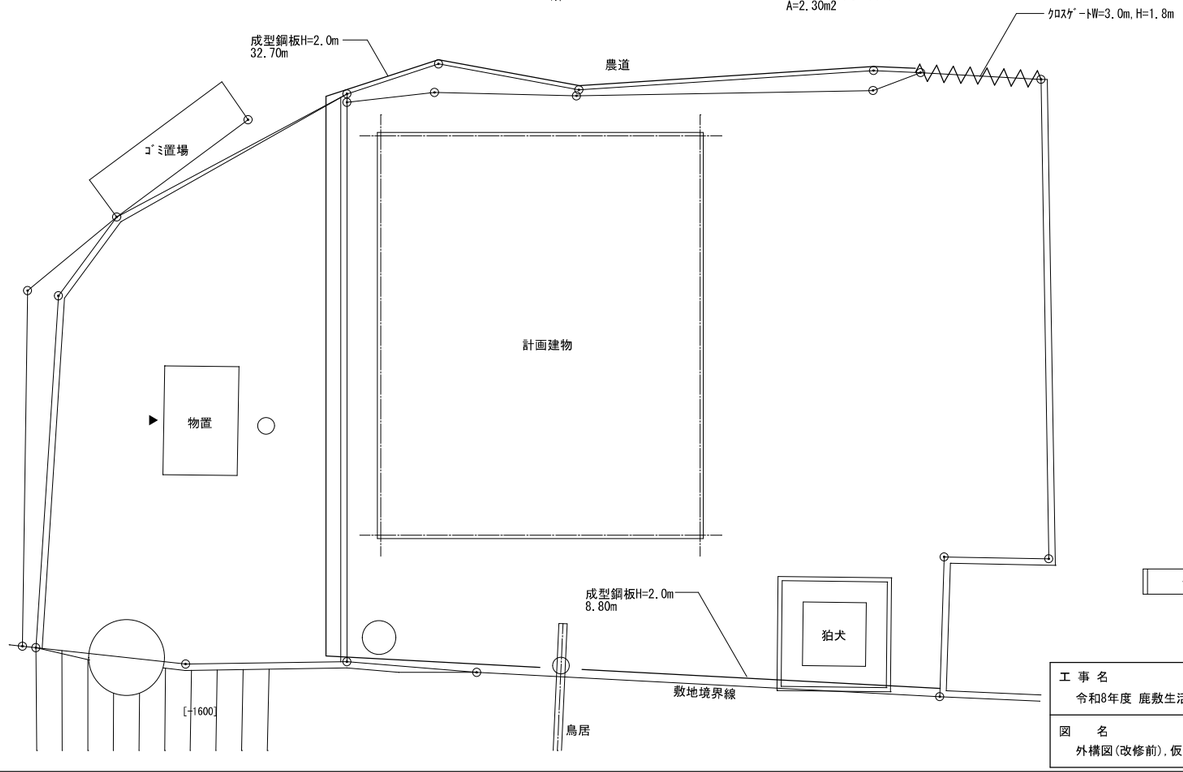


工事名	令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事				
図名	家具詳細図	縮尺	1/20,30,100 A2(100%),A3(70.7%)	年月日	2026/02
図面No.	A — 12	製図			

(株)ハウジング総合コンサルタント
高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779
高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義
管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明
一級建築士登録第370400号 山本優太

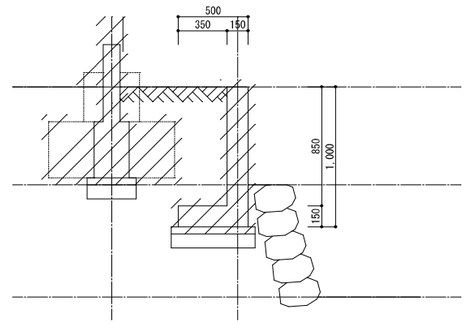


外構図(改修前) S=1:100

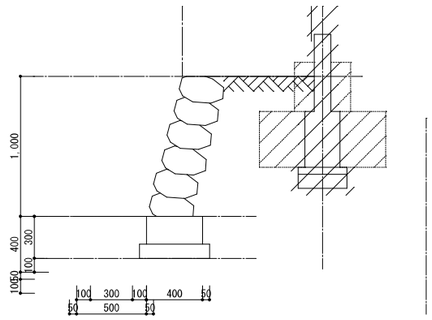


仮設計画図 S=1:100

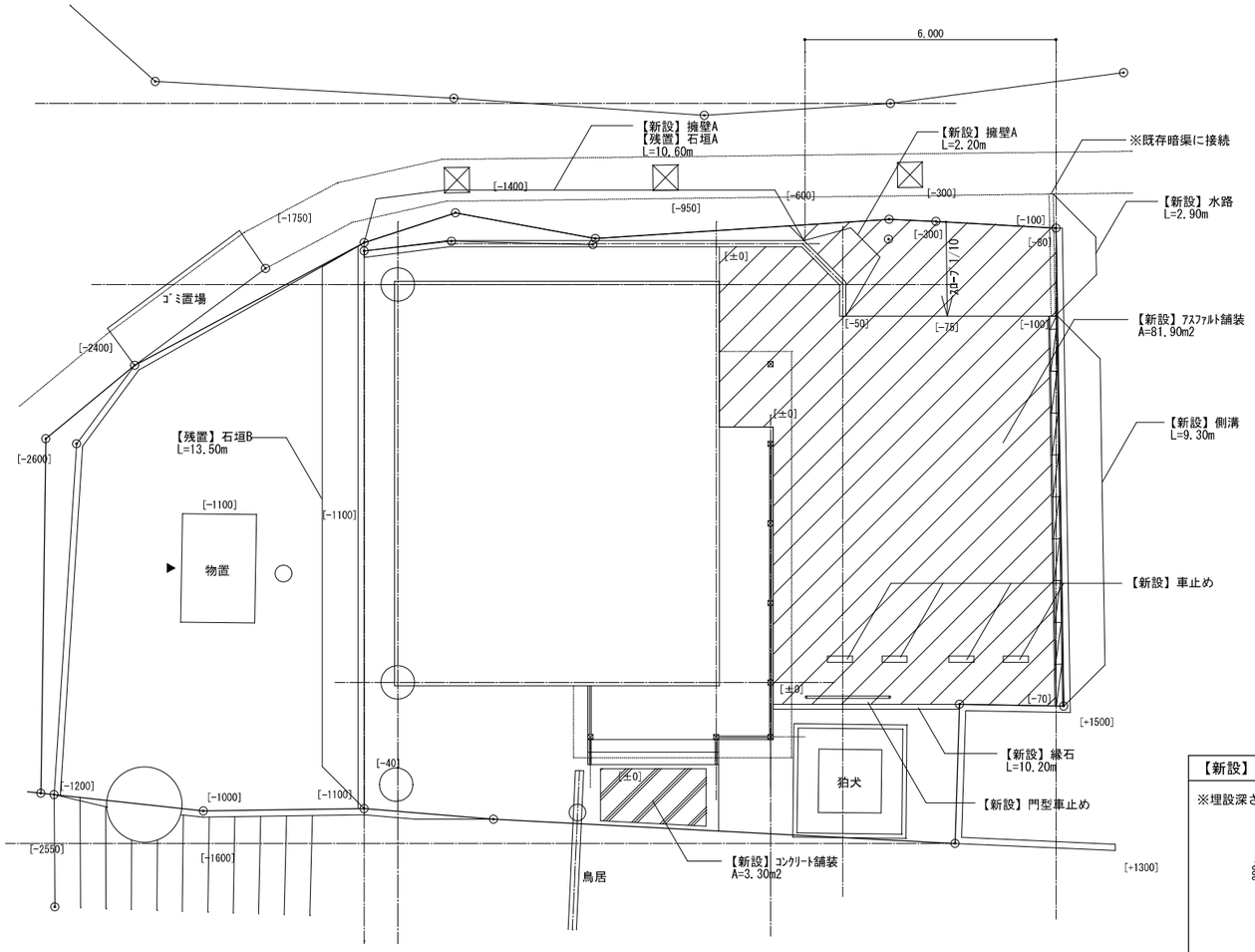
【撤去】擁壁A / 【一部撤去】石垣A



【残置】石垣B

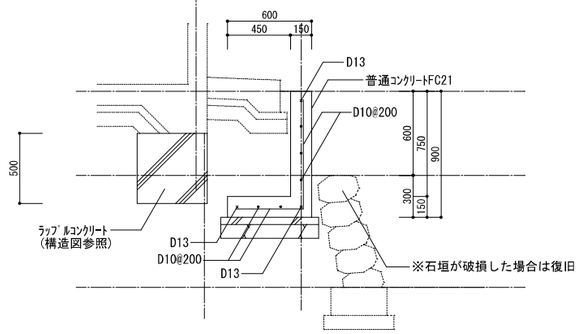


工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明
図名 外構図(改修前),仮設計画図	縮尺 1/30,100 A2(100%),A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. A — 13	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太

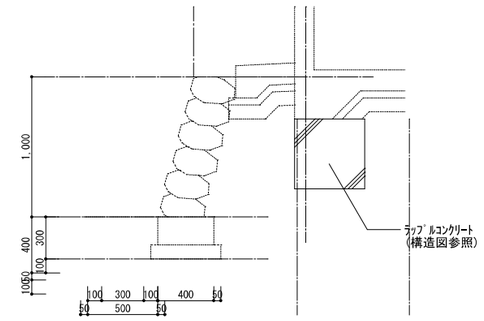


外構図(改修後) S=1:100

【新設】擁壁A

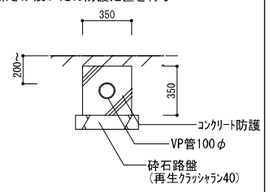


【残置】石垣(位置関係参考)

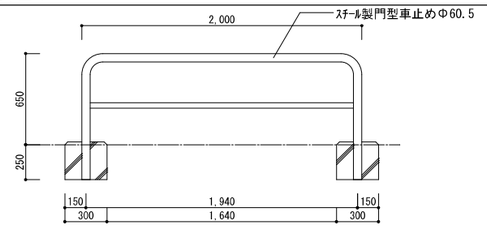


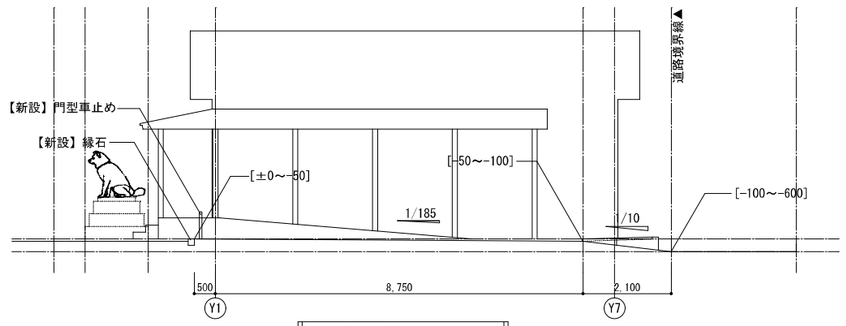
【新設】水路

※埋設深さが浅いため防護処置を行う

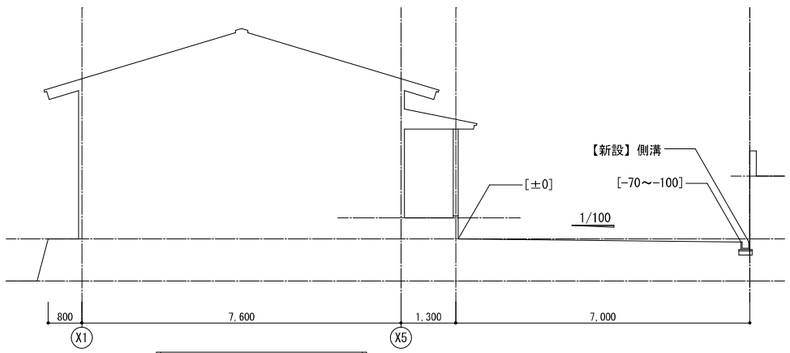


【新設】門型車止め

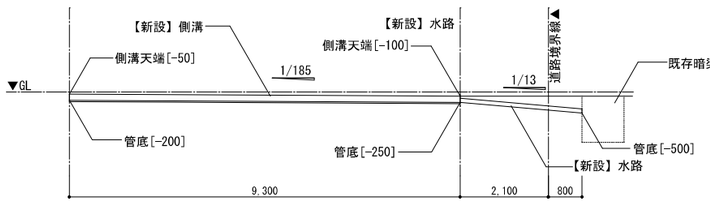




舗装断面図(1) S=1:100

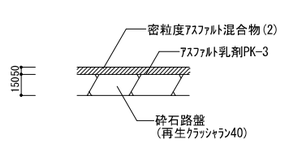


舗装断面図(2) S=1:100

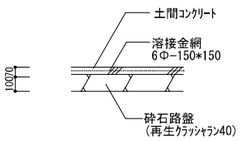


水路断面図 S=1:100

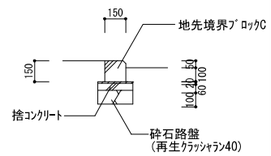
【新設】アスファルト舗装



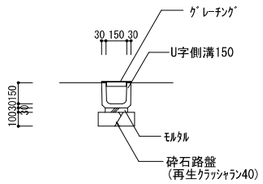
【新設】コンクリート舗装



【新設】縁石



【新設】側溝



工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 外構図(改修後)	縮尺 1/30,100 A2(100%),A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. A — 14	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太

構造設計標準仕様（木造基礎用）

１．設計図書の優先順位

（１）設計図書の優先順位

設計図書の優先順位は下記による。

１．質疑回答書（（２）から（５）までに対するもの）
２．現場説明書
３．特記仕様書
４．図面
５．標準仕様書

２．建築物の構造内容

（１）工事種別

☐ 新築　☐ 増築　☐ 造改築　■ 改築

（２）構造種別

■ 木造（W）　☐ 補強コンクリートブロック造（ＣＢ）　☐ 鉄骨造（S）
☐ 鉄筋コンクリート造（ＲＣ）　☐ 壁式鉄筋コンクリート造（ＷＲＣ）
☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造（ＳＲＣ）　☐ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（ＷＰＲＣ）
☐ プレキャスト鉄筋コンクリート造（ＰＲＣ）☐

（３）階数

地下　0階　地上　1階　塔屋　0階

（４）屋上付属物

☐ 太陽光設備　ｋＮ　☐ キュービクル　ｋＮ　☐ 広告塔　☐ 煙突

（５）特別な荷重

☐ エレベーター11人乗り(ロープ式　油圧式)　☐ リフト　ｋＮ　☐ ホイスト　ｋＮ

（６）付帯工事

☐ ＲＣ塀　☐ 擁壁　☐　☐　☐　☐　☐

（７）増築計画

☐ 有（　　）　■ 無

（８）構造計算ルート

Ｘ方向ルート１　Ｙ方向ルート１

３．地盤

（１）地盤調査資料

■ 有（■ 敷地内　☐ 近隣）■ ＳＷＳ調査　☐ ボーリング調査　☐ 水平地盤反力係数の測定
☐ 平板載荷試験 ☐ 液状化判定　☐ 現場透水試験 ☐ 土質試験
☐ 無（調査予定　☐ 有　☐ 無）

（２）地盤調査計画

☐ ボーリング調査　☐ 静的貫入試験　☐ 標準貫入試験　☐ 水平地盤反力係数の測定
☐ 土質試験　☐ 物理探査　☐ 平板載荷試験　☐ 試験堀（支持層の確認）

（３）地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある

４．土工事

（１）埋戻しに先立ち、埋戻し部分にある型枠などを取り除く。ただし、型枠を存置する場合は、監理者と協議する。

（２）埋戻し及び盛土の材料及び工法は下表による。なお、埋め戻し及び盛土は、各層300mm程度ごとに締固める。図面に特記がある場合は、図面による。

種　別	材　　料	工　　法
☐ Ａ　種	山砂の類	水締め、機器による締固め
■ Ｂ　種	根切り土の中の良質土	機器による締固め
■ Ｃ　種	他現場の建設発生土の中の良質土	機器による締固め
☐ Ｄ　種	再生コンクリート砂	水締め、機器による締固め

（３）埋戻し及び盛土の種別がＢ種またはＣ種で、土質が埋戻し及び盛土に適さない場合は、監理者と協議する。

（４）余盛りは、土質に応じて行う。

５．地業工事

（１）直接基礎

■ べた基礎　☐ 布基礎　☐ 独立基礎

長期許容支持力度　20kN/m2　べた基礎底GL-100

試験堀　☐ 有　☐ 無
深さ　ＧＬ－　　m
載荷試験 ☐ 有　☐ 無

（２）地盤改良又は補強

☐ 有　☐ 浅層混合処理工法　☐ 深層混合処理工法　☐ 小口径鋼管工法
☐ その他（　　）　☐ 性能証明工法・認定工法（ｽﾄｰﾝｺﾗﾑ工法）

■ 無（地盤的には支持力度を満たしているが、崖地側の対策として部分的にラップルコンクリートとする。）
☐ 未定（地盤調査予定で未実施等の場合）

１．地盤補強の方法を変更したい場合には以下の検討を行い、監理者に着工前に承認を得ること。

（１）浅層混合処理工法（表層改良）を行う場合において、改良地盤直下の層が建物に有害な圧密沈下等の生じる恐れがない地盤であることを確認し、改良地盤の厚さは施工性を考慮して決定することとする。

（２）深層混合処理工法（柱状改良）を行う場合において、改良体の径、長さ及び配置は、長期許容鉛直支持力及び原則として沈下量の計算により決定することとする。ただし、改良体直下の層が建物に有害な沈下等の生じる恐れがない地盤であることが確認できた場合は沈下量の計算を省略することができる。またやむを得ず改良体の先端を軟弱層までとする場合の長期許容支持力の計算は、土質が把握できる調査又は試験等の結果に基づいて行うこととする。

（３）小口径鋼管工法を使用する場合において、杭先端は建物に有害な沈下等への対策として有効な支持層に達するものとする。

（４）地盤保証会社等の地盤診断や判定で、直接基礎判定の場合においても圧密沈下等の生じる恐れがない地盤である事を確認すること。

（５）性能証明工法・認定工法を採用する場合においても圧密沈下等の生じる恐れがない地盤である事を確認すること。

（３）材料

（１）砂利地業に使用する砂利は、切込砂利、切込砕石または再生クラッシャランとし、粒度は、JIS A 5001（道路用砕石）による0-40程度のものとする。

（２）砂地業に使用する砂は、シルト、有機物等の混入しない締固めに適した川砂または砕砂とする。

（３）割り石事業に使用する割り石は、硬質のものとする。また、目つぶし砂利の材料は（1）による。

（４）床下防湿層は、ポリエチレンフィルム等で、厚さ0.15mm以上とする。

（４）砂利及び砂地業

（１）砂利及び砂地業の厚さは、特記による。特記がなければ、120mmとする。

（２）根切り底に砂利を所要の厚さに敷き均し、下記の通り締め固める。

（a）締固めは、ランマー3回突き、振動コンパクター2回締または振動ローラー締め程度とし、緩み、ばらつき、ひび割れ等がないように、十分締め固める。

（b）締固め幅は、用具の幅以内とし、締固めによる凹凸には目つぶし砂利で上均しをする。

（３）厚さが300mmを超えるときは、300mmごとに締固めを行う。

（４）砂利地業の上に直接、次項「（５）床下防湿層」による床下防湿層を施工する場合は、防湿層の下に目つぶし砂を敷き均す。

（５）床下防湿層

（１）防湿層の適用及び範囲は、特記による。

（２）防湿層の重ね合せ及び基礎梁際ののみ込みは、250mm程度とする。

（３）防湿層の位置は、土間スラブ（土間コンクリートを含む）の直下とする。ただし、断熱材がある場合は、断熱材の直下とする。

５．鉄筋コンクリート工事

（１）コンクリート

■ コンクリートはＪＩＳ認定工場の製品とし、施工に関してはＪＡＳＳ５による。
☐ 耐久設計基準強度　Ｆｄ ☐ 一般　☐ 標準　☐ 長期
■ セメントは、ＪＩＳ　Ｒ５２１０の普通ポルトランドセメントを標準とする。
■ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
■ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
■ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合、１日１回以上とし、１回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて３回行い、その平均値を試験値とする。
■ 構造体コンクリートについて、現場の圧縮強度試験供試体（ＪＡＳＳ５Ｔ－６０３）は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。また、打ち込み量が１５０ｍ３を超える場合は、１５０ｍ３ごとまたは、その端数ごとに１回を標準とする。１回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた３台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、１回当たり６本以上とし、そのうち４週用に３本を用いる。
■ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さはコンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打ち継ぎ時間間隔の限度は、外気温が２５°Ｃ未満の場合は１５０分、２５°Ｃ以上の場合は１２０分以内とする。

（２）鉄筋

■ 鉄筋は、ＪＩＳ　Ｇ３１１２の規格品を標準とする。施工はＪＡＳＳ５による。
☐ 高強度せん断補強筋は、ＪＩＳ　Ｇ３１３７に規定されたＤ種１号適合品とする。
■ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図」による。
■ Ｄ１９未満は、すべて重ね継手とする。継手（Ｄ１９以上）をガス圧接とする場合は、日本継手協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
■ ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと（２００箇所を超えるときには、２００箇所ごと）に１回行い、１回の試験は５本以上とする。
外観検査 ■ 有　☐ 無　　引張試験 ☐ 有　■ 無　超音波試験 ■ 有　☐
■ 柱の帯筋（ＨＯＯＰ）の加工方法は、■ Ｈ型（タガ型）　☐ Ｗ型（溶接型）
☐ Ｓ型（スパイラル型）　とする。

（３）型枠

■ 材料　合板厚　12mmを標準とする。　■ 施工はＪＡＳＳ５による。
■ 型枠の存置期間

種類 部位	せき板				支柱		
	基礎、はり側、柱、壁		スラブ下、はり下		スラブ下		はり下
セメントの種類	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントＡ種 シリカセメントＡ種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントＡ種 シリカセメントＡ種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントＡ種 シリカセメントＡ種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントＡ種 シリカセメントＡ種
存置期間のコンクリートの材令（日）　平均気温 15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
15℃以上	3	5	6	10	12	25	28
0℃以上	5	8	10	16	15	28	28
コンクリートの圧縮強度	5.0 N/mm²		設計基準強度の50%		設計基準強度の85%		設計基準強度の100%

注)1 片持ばり、庇、スパン９．０ｍ以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注)2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注)3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注)4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受け板、角材または、これに代わるものを置く。
注)5 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注)6 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

６．設備関係

※令１２９条の２の３の事項　※設計が該当する場合には、□にチェックを記入する。
・建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。

■ 建築設備（昇降機を除く）の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。
■ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに順ずるものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
■ 給湯設備等は、建築物の構造耐力上主要な部分に適切な方法で緊結すること。
☐ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鋼製の支枠を設けたものを除き、９０ｃｍ以下とすること。
☐ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを５ｃｍ以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが２５ｃｍ以上の無筋コンクリート、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とする。
■ 建築物に設ける給水、排水その他配管設備は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
■ 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
■ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
■ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
■ 法第２０条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあっては、建設省告示第１３８９号により、風圧並びに地震その他震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。
■ 構造耐力上主要な部分となる部材に設ける開口部の大きさ及び形状は、風圧、土圧及び水圧並並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
■ 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの１／３以下とし管の間隔を管径の３倍以上かつ５ｃｍ以上を原則とする。
■ 梁貫通孔は梁端部をさけて設けること。
位置については、使用補強工法の認定条件を遵守し、適切な検討を行うこと。

（構造設計）株式会社コアスト構造設計
一級建築士登録第37844号　高須賀範昌

工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16－17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 構造設計標準仕様書	縮尺 ノンスケール A2(100%), A3(70, 7%)	年月日 2025/03	図面No. S — 01	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太

鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ構造配筋標準図（木造基礎用）

１．一般事項

１．使用材料、工法等は設計図による。
２．設計図に記載なき場合は本標準図に従うものとする。
３．本標準図は異形鉄筋を対象とし、ｄは呼び名に用いた数値とする。
４．本標準図に示す単位は特記なき限りすべてｍｍとする。

２．共通事項

（１）材料

コンクリート

規格番号　　ＪＩＳ Ａ ５３０８

位置	種類	設計基準強度Ｆｃ	比重	スランプ
主架構全般	普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	21	2.3	15
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ	普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	18	2.3	15
捨てｺﾝｸﾘｰﾄ	普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	18	2.3	15

鉄筋

規格番号	径	表示	種類	継手
JIS G 3112	10～16mm	D_	SD295	重ね継手
	D19mm～	D_	SD345	ガス圧接

（２）基礎形式

ベタ基礎（一部布基礎）

（３）鉄筋の表示記号

鉄筋径の表示記号及び最小径は下表による。

記　号	●	×	⌀	○	○
呼び径ｄ	D10	D13	D16	D19	D22
最小径Ｄ	11	14	18	21	25

- ○　フックの無い場合
- ○　フックのある場合
- ○　本数に差異がある場合　（多い／少ない）
- ○　機械式継手表示
- ○　溶接継手表示（ガス圧接・突き合わせ溶接）

（４）鉄筋の折り曲げ

鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図	余長	余長	余長
鉄筋の余長	4d以上	6d以上（※4d以上）	8d以上（※4d以上）

折まげ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むＴ形およびＬ形梁のキャップタイにのみ用いる。

折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295、SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上

※片持スラブ上端筋の先端

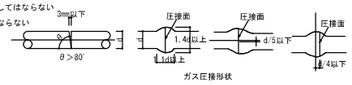
鉄筋中間部の折曲げの形状　鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内のりり寸法（R）
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235、SD295 SD345	16φ D16以下	3d以上
			19φ D19以上	4d以上
	上記以外の鉄筋	SR235、SD295 SD345	16φ D16以下	4d以上
			19φ～25φ D19～D25	6d以上
			28φ～32φ D29～D38	8d以上

（５）鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲（N/mm2）	定着の長さ 一般（L2）	定着の長さ 下ば筋（L3） 小梁	定着の長さ 下ば筋（L3） スラブ	特別の定着及び重ね継手の長さ（L1）
SR235	21～36	35d フック付き	25dフックつき	15cmフックつき	35d フック付き
	18以下	45d フック付き			45d フック付き
● SD295 SD345	● 21～36	● 40d または 30d フック付き	25dまたは15dフックつき	10dかつ15cm以上	● 40d または 30d フック付き
	18以下	40d または 30d フック付き			45d または 35d フック付き

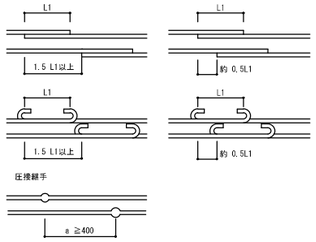
1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の重ね継手長さとする
4. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない



ガス圧接形状

（６）継手一般

重ね継手（下図のいずれかとする）



（７）鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上

粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上

鉄筋径が異なる場合は大きい方による。

二段筋のあきは1.5dとする。

（８）かぶり厚さ

部位			設計かぶり厚さ (mm)	最小かぶり厚さ (mm)
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋内	30	20
		屋外	40 (1)	30(20)
	柱 はり 耐力壁	屋内	40	30
		屋外	50 (2)	40 (1)(30)
	擁壁		50 (3)	40
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁		50	40 (4)
	基礎・補壁		70	60 (4)

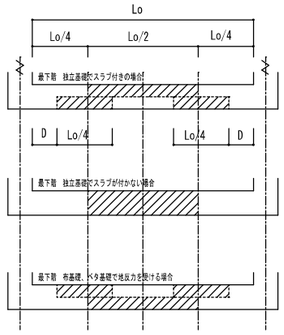
[注] (1)耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて30mmとすることができる。
(2)耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
(3)コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
(4)軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
(5)（　）内は仕上げがある場合。

３．基礎梁

（１）基礎梁の継手及び定着

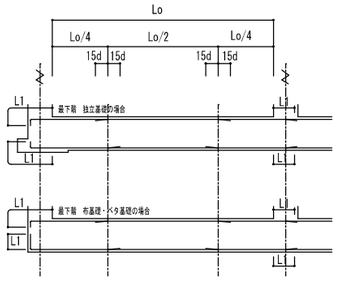
基礎梁の継手

重ね継手は、L1とし、継手位置は下図とする。



D：梁せい
（注）▨ は、継手の好ましい位置を示す。

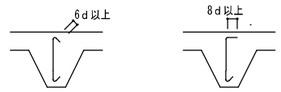
定着位置



（２）あばら筋

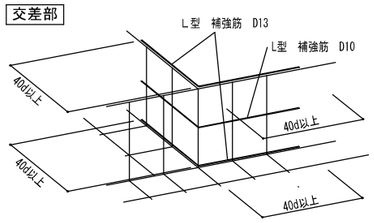
あばら筋の加工は下図による。同時打込みのスラブ付きの場合に限る。

※ねじれ応力を受ける場合は定着長さをL2とする。



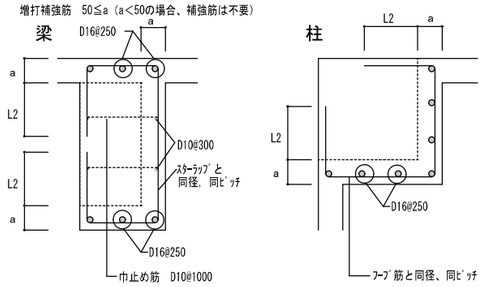
（３）補強筋

交差部



（４）増打要領

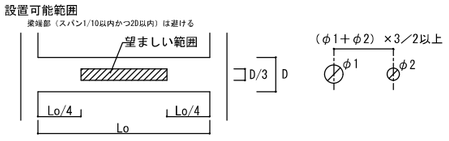
増打補強筋　50≦a（a＜50の場合、補強筋は不要）



（５）梁の貫通補強

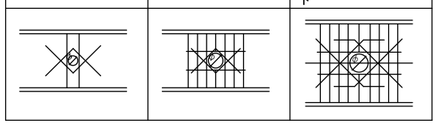
設置可能範囲

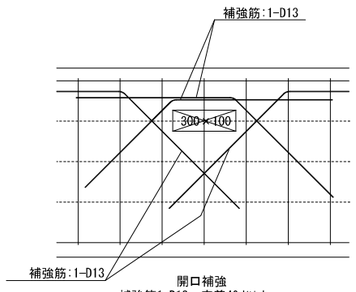
梁端部（スパン1/10以内かつ2D以内）は避ける



鉄筋標準図　但し　φ≦D/3とする

80≦φ≦100	100＜φ≦150	150＜φ≦250
折筋　2-(2-D13) 縦筋　ST　2-D13	折筋　2-(2-D13) 縦筋　ST　2-D13-@100 横筋　2-(2-D13)	斜筋　4-(2-D13) 縦筋　ST　2-D13-@100 横筋　2-(2-D13) 上下縦筋　ST　2-D13

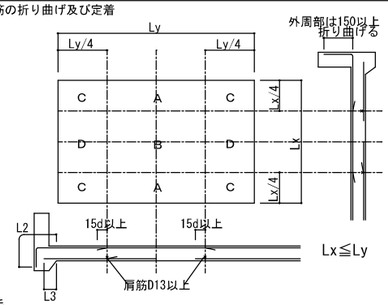




開口補強
補強筋1-D13　定着40d以上

４．スラブ

（１）鉄筋の折り曲げ及び定着



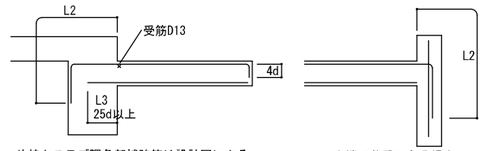
（２）継手

・下向き荷重を受けるスラブの継手位置は下表（Ａ）による。
・上向き荷重を受けるベタ基礎（耐圧スラブ）の継手位置は下表（Ｂ）による。

（Ａ）		基準継手位置
上端筋	短辺方向	Ｂ　Ｄ
	長辺方向	Ａ　Ｂ
下端筋	短辺・長辺方向	Ａ　Ｃ　Ｄ

（Ｂ）		基準継手位置
上端筋	短辺・長辺方向	Ａ　Ｃ　Ｄ
下端筋	短辺方向	Ｂ　Ｄ
	長辺方向	Ａ　Ｂ

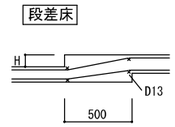
（３）片持ちスラブ



片持ちスラブ隅角部補強筋は設計図による。　　先端に荷重のある場合

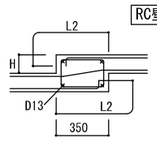
（４）補強筋

段差床

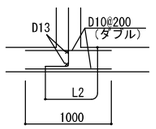


H≦70の場合

RC壁・CB壁が床にのる場合



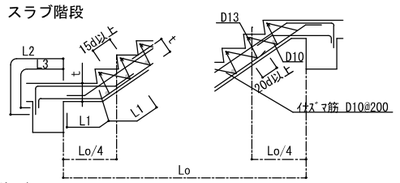
70＜H≦150の場合



５．その他

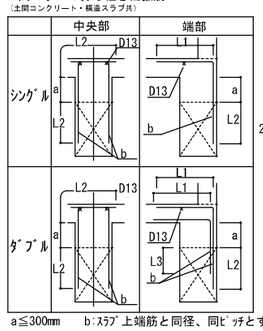
（１）階段

スラブ階段



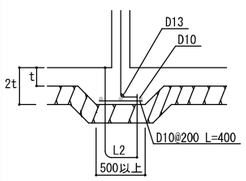
（２）土間コンクリート

土間スラブの打ち継ぎ補強筋
（土間コンクリート・構造スラブ共）



a≦300mm　　b:ｽﾗﾌﾞ上端筋と同径、同ﾋﾟｯﾁとする。

RC壁・CB壁の補強



（構造設計）株式会社コアスト構造設計
一級建築士登録第37844号　高須賀範昌

工事名	(株)ハウジング総合コンサルタント	高知県知事登録119号 代表取締役	管理建築士 一級建築士登録第203207号	
令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	高知市南久保16－17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779	福家正義	村田憲明	
図名	縮尺	年月日	図面No.	製図
鉄筋コンクリート構造配筋標準図	ﾉﾝｽｹｰﾙ A2(100%), A3(70.7%)	2025/03	S — 02	一級建築士登録第370400号 山本優太

木造在来軸組工法 標準仕様書１

１．一般事項

（１）適用範囲

本仕様書は、建築物及び工作物の構造上主要な部分における木質構造工事に適用する。

■ は、適用項目を示す。

（２）設計図書

設計図書と本仕様書、設計図、指示書（現場説明書および質疑回答書を含む）をいう。

（３）標準仕様書

設計図書に記載なきものは「住宅金融支援機構監修・木造住宅工事共通仕様書」及び「国土交通省官房官庁営繕部監修・木造建築工事共通仕様書」に準ずる。

上記記載無き場合は、公共規格かこれに準ずる規格を適用する。

（４）設計図書の優先順位

設計図書の優先順位はS-01構造設計標準仕様「１．設計図書の優先順位」による。

（５）疑義

疑義が生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。

（６）各種試験・検査報告書の提出

施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。

（７）製作要領書及び施工計画書の作成・提出

工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。

（８）施工図等の提出

工事に先立ち各種の施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。なお、プレカット図は施工図と位置づける。

（９）製作工場の選定、承諾

設計図書に基づき、工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有する工場を選定し、監督職員の承諾を受ける。

２．材料の品質

２－１　木質材料

（１）針葉樹の構造用製材、広葉樹の製材、枠組壁工法構造用製材

本項の内容は特記無き限り、針葉樹の構造用製材及び広葉樹の製材及び枠組壁工法構造用製材等の品質は日本農林規格に準ずること。

部　位	品　名	樹　種	区分、等級	含水比	その他
			部材リスト　S-07による		

□ 記入無き梁桁、母屋、垂木等の曲げ材のうち、見えがかり材は目視等級材の甲種2級、見えない部分の木材は甲種3級とする。その他は乙種2級とする。

□ 主要構造部には基礎等級区分製材を用いることを原則とする。

□ 乾燥の際背割りを行う。但し見えがかり部・相欠き部材・構造用合板の釘接合面には行わない。

□ 含水率は平均含水率とし下地材等に用いる場合でも含水比率025以下であることを確認する。

■ 強度等級を指定した材料は特に、材料の欠点の節、目切れ等に注意して材料の選定し、仕口や接合部に欠点が当たらないように加工する。

■ 材の曲がりについては、上記にかかわらず目視等級1級相当とする。

（２）構造用集成材、構造用単板積層材（ＬＶＬ）

本項の内容は特記無きかぎり構造用集成材及び構造用単板積層材の日本農林規格に準ずること。

部　位	品　名 等　級	樹　種	ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ 放　散　量	その他
		部材リスト　S-07による		

（３）構造用合板、構造用パネル

本項の内容は特記無きかぎり構造用合板及び構造用パネルの日本農林規格に準ずること。

部　位	品　名	強度 等級	曲げ性能基準 合板1級	材面 品質	接着 耐久性	寸法（mm） 厚(巾×長)	ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ 放　散　量
		部材リスト　S-07による					

・構造用合板はできるだけ大きいサ法のものを用いる。

・強度等級2級（JAS2級）を使用する場合、J1・J2ｸﾞﾙｰﾌﾟを使用すること。

○ J1ｸﾞﾙｰﾌﾟ　べいまつ・くろまつ・あかまつ・からまつ・つが等（比重0.50程度のもの）

○ J2ｸﾞﾙｰﾌﾟ　べいひ・べいつが・ひば・ひのき・もみ等（比重0.44程度のもの）

× J3ｸﾞﾙｰﾌﾟ　とどまつ・えぞまつ・べにまつ・ｽﾌﾟﾙｰｽ・すぎ・べいすぎ等（比重0.38程度のもの）

２－２　ファスナー

ここに示すファスナーや接合金物などは、木質構造の接合部に適用する。ファスナーや接合金物等に錆を生じるおそれのある場合は適切な防錆処理を施す。鋼材の表面処理は特記による。

標準メッキ処理は、溶融亜鉛メッキ：MFZn-C、電気メッキ：EP-Fe/Zn　5/CM2とする。

（１）くぎ、木ネジ、特殊ネジ

種　類	材　質	適　用　径	使用箇所　頭部/胴部の形状
■ Ｎ釘	・鉄 ・ステンレス鋼	N19～N150	
□ ＣＮ釘	・鉄	CN25～CN150	耐力壁、床板、屋根
□ ＢＮ釘		BN25～BN125	
□ ＺＮ釘		ZN45～ZN90	
□ ＧＮ釘		GNF25～GNF125	石膏ボード用
□ ＳＮ釘		3.05mm	シージングインシュレーションファイバーボード
□ 木ネジ	・軟鋼線材		
□ 特殊ネジ			
□ コースレッド	・真鍮		

（２）ボルト、ナット

種　類	材　質	適　用　径	表面処理、部品等級など
■ 呼び径六角ボルト	・SS 400	M3～M36	・電気メッキ
□ 有効径六角ボルト	・SS 400	M3～M20	
□ 全ネジ六角ボルト	・SS 400	M3～M36	
□ ステンレスボルト	・SUS 304		
■ アンカーボルト	・SS 400	M12,M16	

・材質は鋼、ステンレス鋼、非金属。径と長さの組み合わせは「JIS B 1180」参照。

（３）座金

適　用	材　質	適　用　径	形状・表面処理　その他
■ 座金	SPCC（JIS G 3131）	M8～M24	・角座金・丸座金
□	SPHC（JIS G 3141）		・電気メッキ

・座金は用途ごと（引張、せん断）に下表により使い分ける。

ボルト径に対する座金の大きさ		8	10	12	16	20	24
引張を受けるボルト	厚さ	4.5	4.5	6	9	9	13
	角座金の一辺	40	50	60	80	105	125
	丸座金の直径	45	60	70	90	120	140
せん断を受けるボルト	厚さ	3.2	3.2	3.2	4.5	6	6
	角座金の一辺	25	30	35	50	60	70
	丸座金の直径	30	35	40	60	70	80

（４）ドリフトピン、コーチスクリューボルト、ジベル、シアプレート、木栓

種　類	材　質	適用径、長さ	表面処理、その他
□ ドリフトピン(寸胴)	・S10C(JIS G 4051)	φ12	・電気メッキ
□ ドリフトピン(全ネジ)	・SS 400、SNR M8～M12	φ16～φ24	
□ コーチスクリューボルト	・SWRCH10R	φ9～φ19	
（ラグスクリュー）	(JIS G 3507)		
□ スプリットリング	・SS 400	φ64、φ102	
□ シアプレート			
□ 木栓	・堅木		

・木栓はナラ・ケヤキ・カシ等で気乾比重0.6以上の広葉樹とし、節や目切れ等の無いものとする。

（５）接合金物、鋼材

■ 在来金物

□ 特殊金物（ピン工法等）

種　別	材　質	表面処理	適用、形状、その他
■ Ｚマーク	鋼製		
□ Ｃマーク			
■ 引寄せ金物	鋼製		
■ その他の金物	鋼製		
■ 鋼材	・SS 400		図示による
□ 梁受金物	鋼製		図示による

（６）接着剤（接着接合）

ここでいう接着接合とは、建設現場で用いるものを対象とし、内容は特記による。

３．材料品質の検査方法

現場または加工工場に搬入された製材等は、加工に先立ち下記の要領で受け入れ検査を実施し、監督職員に報告する。また監督職員の立会いを要する検査については、指定された試験要領に基づいて、適時抜取り検査を実施する。社内検査で試験本数や抜取り率の指定がない場合は原則全数とする。検査の結果、性能を満たさない材料については適用箇所を変更する等の措置を行うこと。

（１）針葉樹の構造用製材、広葉樹の構造用製材、枠組壁工法構造用製材　（数値は%を示す）

部材	確認する仕様	確認者	材種等級	外観検査	寸法検査	含水率測定			ヤング係数測定		
						表示	全乾重量法	含水率計	表示	静的試験	動的試験
梁	構造図による	社内	100	100	100	検査後	10本	100		10本	100
		監理者	○	○	○	木口記入		○		○	○
柱	構造図による	社内	100	100	100	検査後		100		10本	100
		監理者	○	○	○	木口記入		○		○	○

・監督職員欄の「○」は立会い検査が必要であることを示す。

・材種・等級は表示を確認し、外観・寸法検査は日本農林規格に準じて行う。

・含水率やヤング係数は刻印された表示の確認を原則とし、全乾重量表や動的曲げ試験は公的試験場にて行う。含水率計は(財)日本住宅・木材技術センター認定品を、曲げヤング係数は(社)全国木材組合連合会の認定品を用いて測定することを原則とする。

・全乾重量法や静的曲げ試験は１荷口につき確認する試験本数を示す。試験体は実際に使用する同一部材の中から抽出し、木材の試験方法（JIS Z 2101）に準ずる。

・動的曲げ試験の判定方法は日本農林規格の針葉樹の構造用製材、合板、パネル、の強度区分材に準ずる。

■ 含水率計測は、乾燥作業後に行う。

（２）構造用集成材、構造用単板積層材（LVL）

材　料	確認項目	確認の方法
構造用集成材	部材、断面、長さ、数量、樹種、品名、強度、材面の品質、接着性能、ホルムアルデヒド放散量	■ 製造工場の認定書等の写し
構造用ＬＶＬ	部材、断面、長さ、数量、樹種、曲げヤング係数、水平せん断、接着性能ホルムアルデヒド放散量	■ 日本農林規格(JAS)表示の確認
構造用合板	寸法、数量、強度、曲げ性能、板面の品質、接着耐久性、ホルムアルデヒド放散量	□ 立会い目視検査
構造用パネル	寸法、数量、強度、ホルムアルデヒド放散量	

（３）ファスナー

ファスナーの種類	確認項目	確認の方法
■ くぎ	・材質、胴・頭径部、長さ、仕上げ	□ ミルシートの写し
■ 木ネジ類	・材質、径、長さ、仕上げ	■ 表示の確認
■ ボルト・ナット	・材質、径、長さ、仕上げ	□ 木栓曲げ強度
■ 座金	・材質、径、仕上げ	
■ ドリフトピン	・材質、径、長さ、仕上げ	
□ コーチスクリューボルト	・材質、径、長さ、仕上げ	
□ スプリットリング	・材質、径、長さ、仕上げ	
□ シアープレート	・材質、径、形状、仕上げ	
□ 木栓など	・樹種、曲げ強度、比重	

・設計図書に明記されたファスナーであることを確認する。同等性能のファスナーを用いる場合には、監督職員の承諾を得ること。また必要に応じて立会いによる性能確認を実施する。

（４）接合金物

接合金物	確認項目	確認の方法
■ Ｚマーク金物	・材質、形状、仕上げ	■ 表示の確認
□ Ｃマーク金物	・材質、形状、仕上げ	
■ 引き寄せ金物	・材質、形状、仕上げ	■ 表示の確認
■ その他の金物	・材質、形状、仕上げ、製造所	■ 表示の確認
□ 鋼材	・材質、形状、仕上げ、溶接	

・設計図書等に明記された接合金物であることを確認する。同等認定品や性能認定品を用いる場合には、監督職員に承諾を得ること。

４．耐久性（防腐・防蟻・耐候処理）

（１）木材の防腐・防蟻処理

・高耐久性の使用（注：製材の心材あるいは心持ち材又は集成材）

・工場処理材（注：現場の加工、切断、穿孔箇所等は、現場処理に準じる）

JAS保存処理材：　K5　K4　K3　K2

AQ認証保存処理材：　1種　2種　3種

・現場処理（注：給排水用塩化ビニル管に接する部分は、管を保護する）

・塗布　・吹付　・浸漬（処理量　300ml/m2、　処理回数　2回）

使用部位	耐久材	工場処理剤	現場処理剤
土台・大引	■ Ｄ１（ひのき）	□ K3　□（　）	□（吹　付）
外周柱下1m	■ Ｄ１（すぎ）	□ K3　□（　）	□（塗装又は吹付）
水周り	□	□ K3　□（　）	□（吹　付）
その他	□	□ K4　□（　）	□（塗装又は吹付）

（２）土壌処理

□ 防蟻薬剤による処理：薬剤（　　）

特記無き場合は、日本しろあり対策協会または日本木材保存協会認定品、あるいはこれと同等以上の効力を有するものとする。

□ 防蟻薬剤による処理と同等以上の対策（　　）

注：処理範囲は、外周部布基礎の内側、内部布基礎の周辺20cm、束石等の周囲20cmを標準とし、処理方法は日本しろあり対策協会の標準仕様書に準じる。

（３）耐候処理（塗装）

□ 造膜型　□ 含浸型　・部位（　　）

５．木材の加工

（１）刻み時の注意

製材の背割りのある場合、曲げ材は断面の弱軸と背割りの方向を一致させる。

（２）加工寸法の精度（下記の値を標準とする）

・構造用製材、枠組み壁工法用構造製材の断面寸法

■ 図面表示が挽き立て寸法の場合：　±1.5mm以下

■ 図面表示が仕上がり寸法の場合：　±1.5mm以下、-0mm以下

・構造用製材、枠組み壁工法用構造製材の材長

■ 軸組工法の継手仕口の場合：　±1.5mm以下

■ ボルト接合工法の場合：　±5mm以下

・集成材、構造用単板積層材

短辺：■　±1.5mm

長辺：■　±1.5%以下かつ±5mm以下

材長：■　±5mm以下　□（　　）

・ボルト穴径：　d+2.0mm　(dはボルト径)

・ドリフトピンの穴径：　d±0mm　(dはボルト径)

（３）表面仕上げ

■ 製材：　プレーナー仕上げ

■ 構造用集成材：　プレーナー仕上げ

（４）面取り

□ 柱　（　）mm　□ 梁　（　）mm

６．接合

（１）仕口・継手の原則

・仕口・継手の方法は構造図による。一般的な適用慣例については、８.軸組構法接合部標準仕様による。

・採用する方法は監督職員の承諾を得る。

・仕口・継手の各部に作用する応力を考慮し、部材の引き抜けが生じないように、原則として羽子板ボルトや木栓など、引張り抵抗をする補強部材を併用する。

（２）釘接合

・釘は繊維に対して乱に打ち、割れを生じないように端距離、縁距離、釘間隔を大きく取る。

・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。

・1ヶ所の釘の本数は2本以上とする。

・釘に錆を生じるおそれのある場合は、適切な防錆処理を施す。

・自動釘打ち機を使用する場合は、面材に釘がめり込まないようにする。そのために、釘打ち機の圧力を弱めるか、最後は手打ちを用いるなどの方法による。

・構造用面材を耐力壁とする場合の釘打ち方法は「昭和56年建設省告示1110号」による。

・構造耐力上主要な部分においては、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。

・小口面に打たれた釘は、引き抜き方向に抵抗させることはできない。

（３）木ネジ接合

・構造耐力上主要な部分において、木ネジを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。

・小口面にねじ込まれた木ネジは、引き抜き方向に抵抗させることはできない。

・木ネジの先孔の径：針葉樹・・・主材　0.6d、側材　0.8d

広葉樹・・・主材　0.8d、側材　1.0d

（先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2/3程度とする。）

・ねじ込みには適切な道具を使い、ハンマーなどで打ち込んではならない。

・ねじ込みを容易にしたり、損傷をさせないために潤滑油を用いてもよい。

（４）ボルト接合

・締め付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施行箇所に適しているものであることを確認する。

・ボルト接合部付近に節・目切れなどの欠点がある場合は、ボルト本数を適切に増加する。

・ボルトの締め付けは、座金が部材にめり込む程度とし、めり込み音が発生した時点で締め付けを完了する。

・締め付けを完了したボルトは、ネジ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。

・一度締め付けたボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。

（５）コーチスクリューボルト接合

・構造耐力上主要な部分において、コーチスクリューを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。

・コーチスクリューの配置間隔、縁距離および端距離、使用する座金は同じ胴部径のボルトに準ずる。

・胴部の先孔の径は胴部と同径とし、長さも胴部と同寸とする。

・ネジ部の先孔の径：比重0.4以上の樹種・・・ネジ径の60～70%

その他の樹種・・・ネジ径の40～40%

（長さはネジ部の長さと同寸とする。）

・コーチスクリューは先孔にレンチなどで回しながら挿入し、ハンマーなどで打ち込んではならない。

・ねじ込みを容易にするためや、損傷をさせないために潤滑油を用いてもよい。

（６）ドリフトピン接合

・ボルトやコーチスクリュー等を併用し、ドリフトピンの変形にともなう部材の開きを防止する。

・ドリフトピンは孔に密着させる。

・一度締め付けた併用ボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。

（７）ジベル接合

・木部材は接合部付近の割れ、節、目切れなどの欠点に注意し、彫込み・打ち込みまたは圧入に際して割れを生じないよう、ジベルの種類に応じた断面と余長をもたせる。

・接合材は十分圧着させる。木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては、再度締め直しを行う。

（８）既成金物の接合

・羽子板ボルト、ひら金物、短冊金物、かね折り金物および箱金物などの取り付けは、それぞれの仕様に基づき、接合両材の間が密着するように締め付ける。

（９）接着接合

・接合部の耐力は、使用材料および使用方法に適した接着性能の試験を行い確認する。

・接着剤を用いた接合部を行う手順は、接着剤製造業者の推奨する接着仕様に従うとし、実験について接合部に要求される耐力と耐久性が立証された場合はその際の作業条件を標準とする。

（１０）その他の方法による接合

・使用材料および使用方法は構造図によるものとし、監督職員の承諾を得る。

７．運搬・建て方

（１）輸送計画

製品の輸送に当たっては、建方計画に支障がないように、道路状況、現場作業手順等を考慮し十分な検討を行う。また、輸送時に製品の品質を損なわないようにする。

□ 輸送計画書の提出（　　）

（２）集積・保管

集積の際は適当な受け台などを設け、材にねじれや曲がりの損傷を与えないように注意する。降雪や降雨に対保護としてシート養生を行う。ただし、エアコンの効いた室内は乾燥による割れが発生するため避ける。

□ 集積場の確認（　　）

（３）建方計画

■ 建方計画書の提出

アンカーボルトの施工方法、建方スペース、建方機械、搬入・仕分け、地組み、足場計画、建方、養生、安全対策などについて検討し、建方計画書としてまとめる。

（構造設計）株式会社コアスト構造設計
一級建築士登録第37844号　高須賀範昌

工事名	(株)ハウジング総合コンサルタント	高知県知事登録119号 代表取締役	管理建築士
令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	高知市南久保16－17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779	福　家　正　義	一級建築士登録第203207号 村　田　憲　明
図名：木造在来軸組工法　標準仕様書１	縮尺：ﾉﾝｽｹｰﾙ A2(100%),A3(70.7%) / 年月日：2025/03 / 図面No.：S — 03	製図	一級建築士登録第370400号 山　本　優　太

木造在来軸組工法 標準仕様書２

（４）施工時の安全性

建方作業中および作業後、横架材上に諸材料または機械などの重量物を積載する場合、あるいは柱に大きな引張力を与えるなどの場合は監理者の承諾を受ける。また、強風などによる諸外力に対しては、必要に応じて仮設補強等の処置を施す。

■ 施工時の安全性に対する検討書の提出　　□ 施工時荷重条件の通知

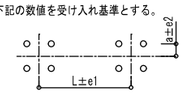
（５）アンカーボルトの施工

・芯出しは、型を用いて基準墨に正しく合せて適切な機器等で正確に行う。
・アンカーボルトは鉄筋等を用いて組立て、適切な補強材で固定しコンクリートの打ち込みを行う。
・アンカーボルトはダブルナットとする。　　□ 適用除外（　　）
・土台の穴あけはコンクリート打設後、ボルトの通り芯からのずれを実測してから行う。

■ 通り芯からの誤差：　±3mm以下　　□（　　）

・柱脚部に接合金物（製作金物）を使用する部位については下記の数値を受け入れ基準とする。

■ 柱据え付け面：基準高さからの誤差　±2mm以下
■ 柱隣接間中心距離の誤差　e1　±2mm以下
■ 通り芯からの誤差　e2　±2mm以下



a：芯からの離れ　　L：スパン距離

（３）建方計画

・建方の精度基準は下記による。

■ 柱の倒れ　：■ e≦H/2500+10mm　かつ　e≦50mm
□（　　）

■ 梁の水平度（節点間のレベル差）　：■ e≦L/700+5mm　かつ　e≦15mm
□（　　）

■ 建物のわん曲　：■ e≦L/2500mm　かつ　e≦25mm
□（　　）

■ 柱据え付け面の高さ及び位置
柱据え付け面の基準高さからの誤差　：■ ±2mm以下　□（　　）
通り芯からの誤差　：■ ±2mm以下　□（　　）
階高　：□ -5mm≦⊿H≦+5mm
□（　　）

・建方精度に不具合が発生した場合は速やかに監理者に報告し対策案を協議する。

（７）施工状況の検査

・アンカーボルト施工時の立会い検査
■ 目視による精度確認　□ 計測機器による精度確認　■ アンカーボルト径、間隔
□ 施工者自主検査記録の提出（　　）

・地組み時の立会い検査
□ 目視による精度確認　□ 計測機器による精度確認　□ 材料の加工寸法検査
□ 施工者自主検査記録の提出（　　）

・建方時の立会い検査
■ 目視による精度確認　■ 計測機器による精度確認　■ 材料の加工寸法検査
□ 施工者自主検査記録の提出（　　）

・建方後の施工状況の検査
■ 防腐・防錆処理　□ 材料の加工寸法検査　□ ファスナーの施工状況
■ 接合金物の施工状況　□ その他（　　）
□ 施工者自主検査記録の提出（　　）

・最終確認
工事中に発生するボルトの緩み、ファスナーおよび接合金物に影響する材の割れ、接着面のはがれ等に注意を払い、不具合が発生した場合は是正する。補強の必要がある場合は速やかに監督職員に報告し対応策を協議する。

■ 施工者自主検査記録の提出（　　）

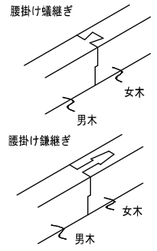
８．軸組構法接合部の標準仕様

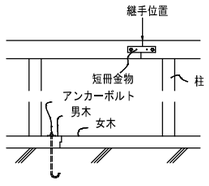
（１）横架材同士の継手

１．土台、梁　：　腰掛け蟻継ぎ、腰掛け鎌継ぎ
・継手は梁及び筋交いを受ける柱間を避け、柱より持ち出す。
・上木先端部が受け材芯より150mm内外になるように下木を持ち出し、上端に揃える。
・長期荷重時のせん断力の向きを考慮し男木と女木を決める。
・逆せん断と引張の補強として短冊金物または羽子板ボルトを併用すること。

２．母屋
・継手は束の位置を避け束より持ち出して、腰掛け鎌継ぎ又は腰掛け蟻継ぎとし、N75釘2本打ちとする。

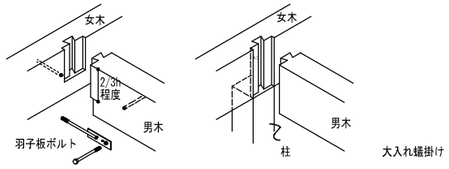
３．大引き
・継手は床束芯より150内外持ち出して、腰掛け鎌継ぎ又は腰掛け蟻継ぎとし、N75釘2本打ちとする。





（２）横架材同士の仕口

１．せん断力が母材全断面の3割以下の仕口（大入れ）蟻掛け
・長期荷重時のせん断力の向きを考慮し男木と女木を決める。
・逆せん断と引張の補強として羽子板ボルト等を併用する。
・男木の梁せいが女木の2/3以下の場合か、仕口直下に柱がある場合には、おお入れとしてもよいが、そうでない場合は男木のせいの2/3程度の顎をかける。



大入れ蟻掛け

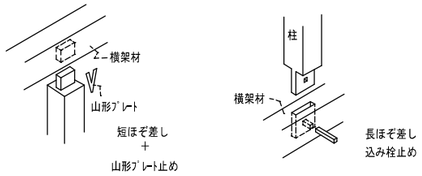
２．せん断力が母材全断面の3割を超える仕口：梁受け金物
・既製品の場合は金物メーカーの許容せん断耐力の値を用い、特注品の場合は構造計算で許容せん断耐力を算出して安全性を確認すること。

３．一方を片持ち梁とする場合
・逆せん断の補強として羽子板ボルト等を併用すること。

４．大引きの土台との取り合い
・大入れ蟻掛け、腰掛け又は乗せ掛けとし、いずれもN75釘2本斜め打ちとする。

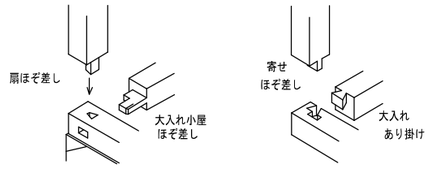
（３）柱と横架材の仕口

１．柱の上下端部　：　短ほぞ差し、長ほぞ差し込み栓止め
・短期の引張力に対しては、平成12建告1460号、N値計算又は許容応力度計算により、必要耐力を有するＺマーク金物等を併用すること。



２．土台の出隅入隅部
・土台同士は大入れ小屋ほぞ差し割りくさび締め、大入れ蟻掛け又は片あり掛け
・柱脚部は肩ほぞ差し又は寄せほぞ差し
（但し、柱勝ちの場合、落とし蟻又は土台を寄せほぞ差しとする。）

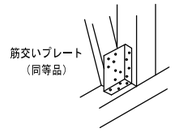
Ｚマーク金物等を併用すること。

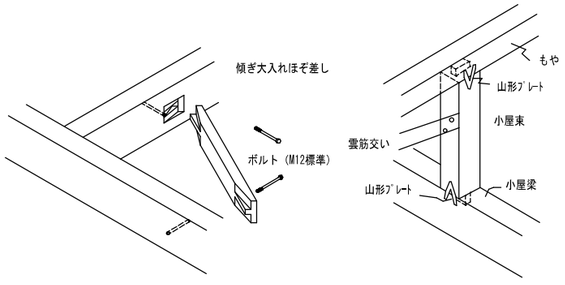


（４）筋かい端部
・平成12建告1460号の例示仕様又は同等品とする。

（５）火打ち、方杖
・角材を用いる場合の端部は、傾ぎ大入れ＋ボルト締めとする。
・Ｚマーク鋼製火打ち又は同等品としてもよい。

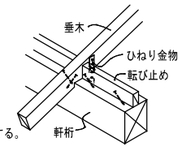
（６）小屋束の上下端部
・短ほぞ差し又は長ほぞ差し込み栓止めとする。
・風圧力による引張力の補強として、構造図に定める金物による接合とする。





（７）垂木

・横架材との接合　：　横架材に垂木道を握り、
垂木が正角断面の場合、横架材に脳天釘止め
垂木が縦長角断面の場合、斜め釘2本＋転び止め
・継手　：　乱に配置し、母屋上端でそぎ継ぎとし、釘2本打ちとする。
・風の負圧の補強　：　軒先部の留めつけは、許容応力度計算により算出された必要耐力を有するひねり金物等を取り付ける。
・軒先部以外の留めつけ　：　受け材当りN75釘で両面を斜め釘打ちとする。
但し、垂木せいが45mm程度の場合は、N100を脳天打ちとしてもよい。

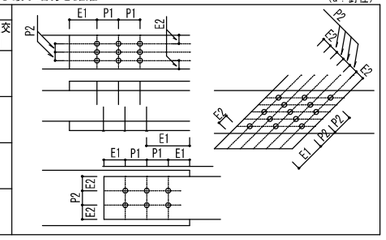


（８）間柱と横架材

・上下横架材に深さ3mm程度大入れ＋N75釘斜め打ち上部ほぞ差し、下部突き付け＋N75釘斜め打ち

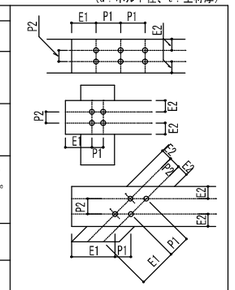
（９）釘の最小間隔及び最小端あき距離　　（d：釘径）

		加力方向	
		繊維方向	繊維直交方向
繊維方向	E1	15d	10d
	P1	12d	10d
繊維直交方向	E2	5d	8d
	P2	5d	8d



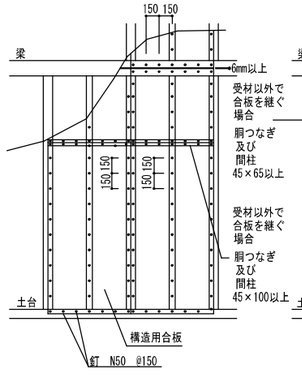
（１０）ボルトの最小間隔及び最小端あき距離　　（d：ボルト径、t：主材厚）

		加圧方向	
		繊維方向	繊維直交方向
	E1	7d（荷重負担側） 4d（荷重非負担側）	7d
	P1	7d	t/d=2　3d 2≦t/d<6　3d～5d t/d>6　5d
	E2	t/d≦6　1.5d t/d>6 1.5dかつP2/2	特記による。特記のない場合は以下の数値とする。 4d(荷重負担側) 1.5d(荷重非負担側)
	P2	3d	4d

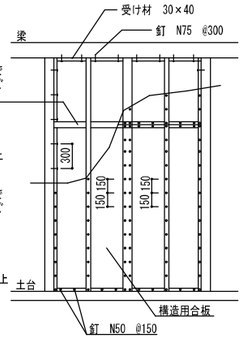


（１１）面材耐力壁

１．構造用合板・大壁造の場合

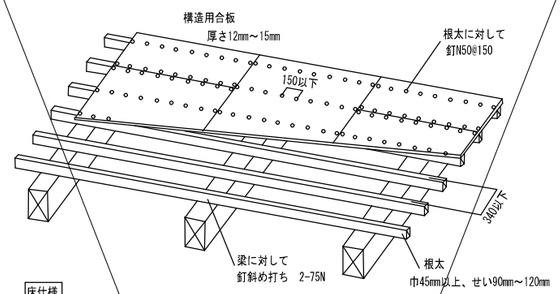


２．構造用合板・真壁造の場合



（１２）水平構面

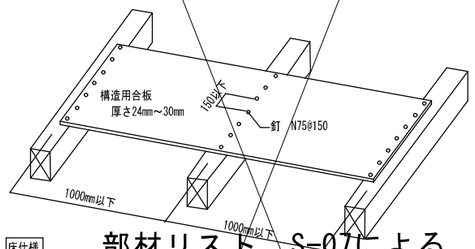
□（床水平構面）単位長さあたりの許容せん断力　1.96ｋN/m



床仕様

面材	構造用合板　12mm～15mm
面材釘打ち仕様	面材を鉄丸釘N50を用いて150mm以下の間隔で 根太に対して打ち付け
根太の仕様	巾45mm以上、せい90mm～120mmの根太を、交互の間隔 340mm以下で、梁組みの上に並列して設置
根太と梁組の接合仕様	梁組の上に根太を載せ、 根太の側面から梁上面に対してN75釘2本を斜め打ち

□ S1　床仕様S1（床水平構面）単位長さあたりの許容せん断力　3.53ｋN/m

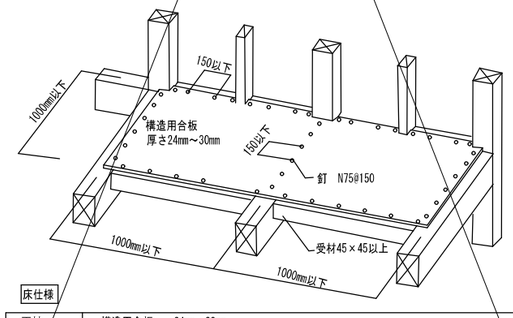


部材リスト　S-07による

床仕様

面材	構造用合板　24mm～30mm
面材釘打ち仕様	面材の短辺の外周部分に各1列、その間に１列以上となるように、 鉄丸釘N75を用いて150mm以下の間隔で梁組に前して打ち付け （面材の長辺の下に梁がある場合には、当該長辺にも打ち付ける）
受け材の仕様	根太及び受け材なし
受け材交互の間隔	梁の間隔は 1000mm以下

□ S2（床水平構面）単位長さあたりの許容せん断力　7.84ｋN/m



床仕様

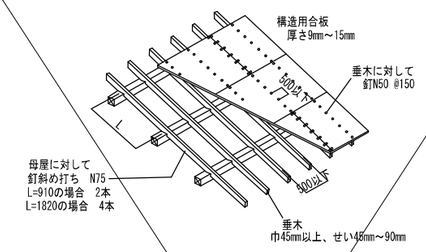
面材	構造用合板　24mm～30mm
面材釘打ち仕様	面材の4周と短辺の間に1列を鉄丸釘N75を用いて150mm以下の間隔で 梁組及び合板継目部分の受材に対して打ち付け
受け材の仕様	幅45mm以上、せい45mm以上の受け材を面材の 継目に沿って梁の間に落とし込み
受け材交互の間隔	梁の間隔は 1000mm以下
受け材と梁の接合仕様	梁の側面に受け材と同断面の掘り込み加工して 受け材を落とし込み材上端から梁の掘り込みにN75釘1本を斜め打ち

（構造設計）株式会社コアスト構造設計
一級建築士登録第37844号　高須賀範昌

工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	（株）ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16－17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 木造在来軸組工法　標準仕様書２	縮尺 ノンスケール A2(100%)，A3(70.7%)	年月日 2025/03	図面No. S — 04	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太

木造在来軸組工法 標準仕様書３

□ S3勾配屋根水平構面　単位長さあたりの許容せん断力　1.37ｋN/m（屋根勾配30度以下）
0.98ｋN/m（屋根勾配45度以下）

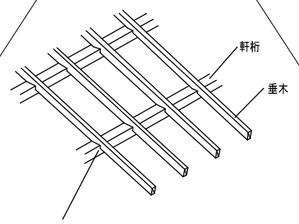


屋根仕様

部材リスト　S-07による

面材	構造用合板　9mm～15mm
面材釘打ち仕様	面材を鉄丸釘N50を用いて150mm以下の間隔で 垂木に対して打ち付け
垂木の仕様	幅45mm以上、せい45mm～90mmの垂木、相互の間隔 500mm以下で、軒桁、母屋、棟木の上の傾斜面に並行して設置
垂木と軒桁・母屋・棟木の接合仕様	梁の間隔は 1000mm以下
受け材と梁の接合仕様	軒桁・母屋・棟木の上面に設けられた傾斜面（垂木道）に垂木を載せ、 垂木の側面から軒桁・母屋・棟木の上面に対して、ひねり金物(ST-9) 同等以上で接合

□ 垂木の軒先部接合仕様



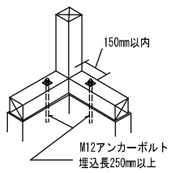
垂木の側面から軒桁・母屋・棟木の上面に対して、ひねり金物(ST-9) 同等以上で接合

（１３）柱頭・柱脚

１．土台用アンカーボルト

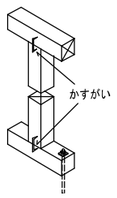
・M12アンカーボルトは@2,000以内に配置、基礎への埋込長さは250mm以上とする。

・耐力壁の部分は、その両端の柱の下部にそれぞれ150mm以内の位置に配置すること。

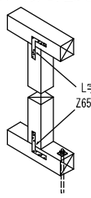


座金：
厚さ4.5mm、40mm角（Ｚマーク）
又は同等以上

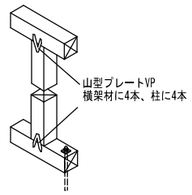
２．（い）かすがい



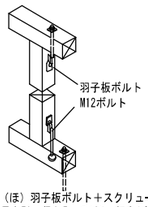
３．（ろ）L字型かど金物



４．（は）山型プレート

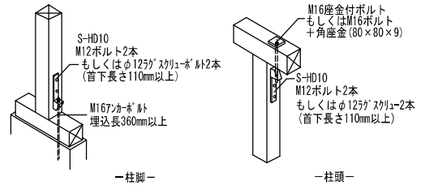


５．（に）羽子板ボルト

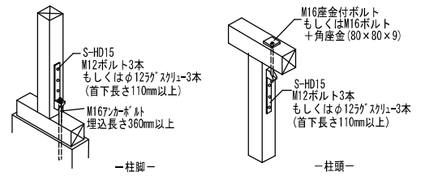


※（ほ）羽子板ボルト＋スクリュー釘の場合は
長さ50mm径4.5mmのｽｸﾘｭｰ釘を1本追加すること

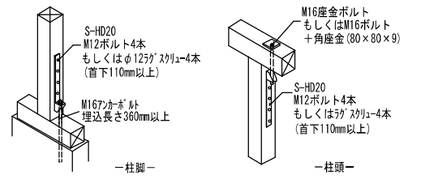
６．（へ）10kNホールダウン・引寄金物



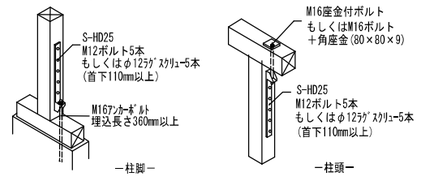
７．（と）15kNホールダウン・引寄金物



８．（ち）20kNホールダウン・引寄金物



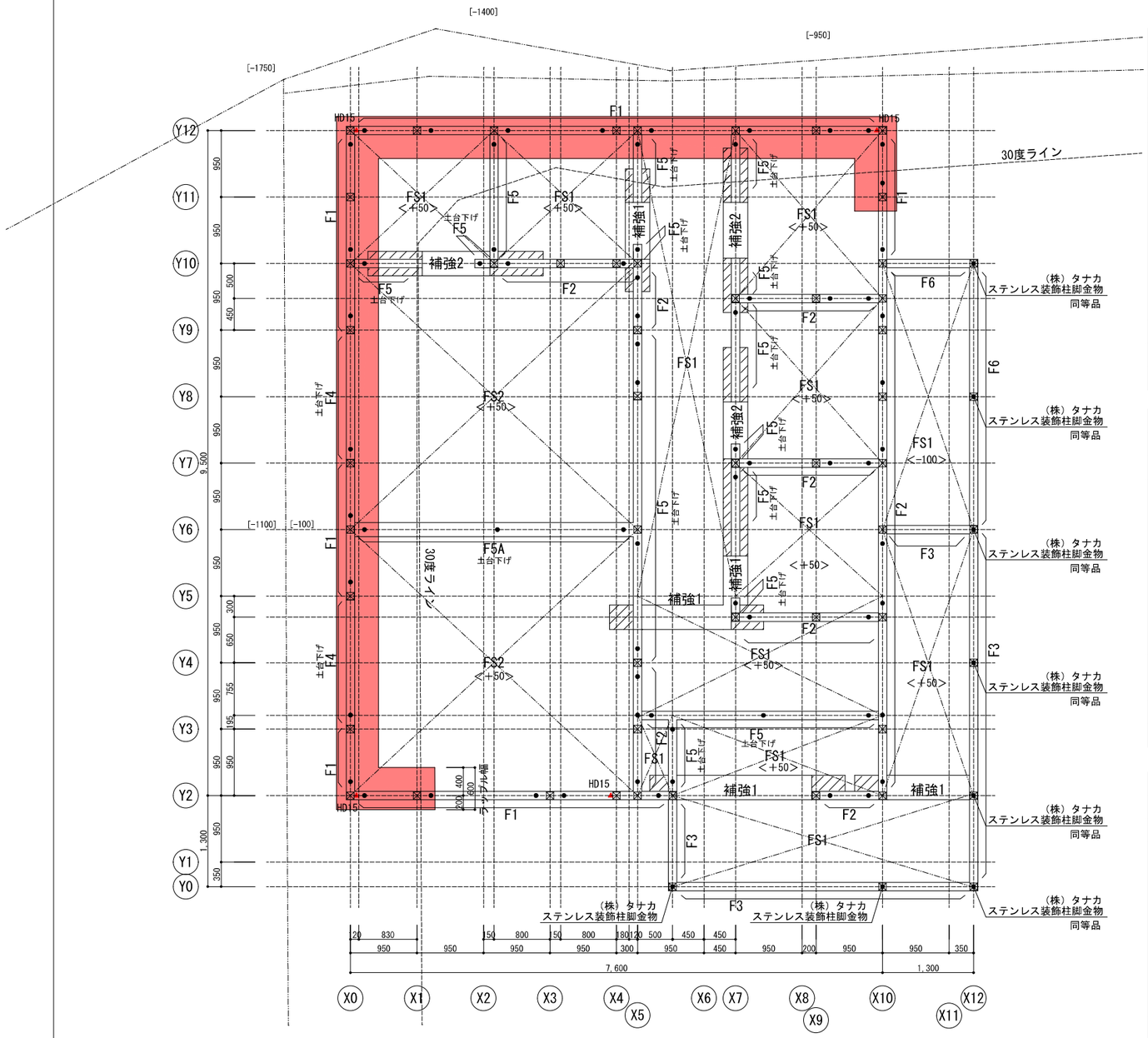
９．（り）25kNホールダウン・引寄金物



１０．（ぬ）30kNホールダウン・引寄金物（（と）×2セット）

（構造設計）株式会社コアスト構造設計
一級建築士登録第37844号　高須賀範昌

工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	（株）ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16－17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田 憲明
図名 木造在来軸組工法　標準仕様書３	縮尺 ノンスケール A2(100%), A3(70.7%)	年月日 2025/03	図面No. S － 05	製図	一級建築士登録第370400号 山本 優太

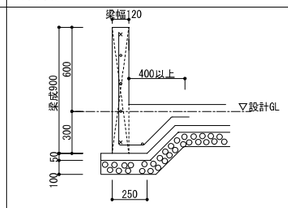
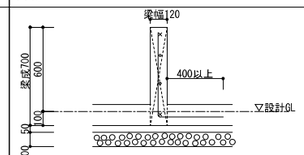
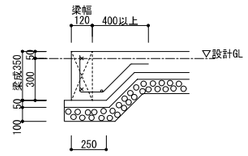


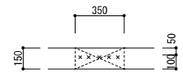
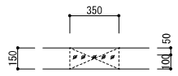
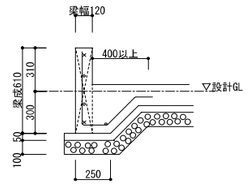
（崖地対策）

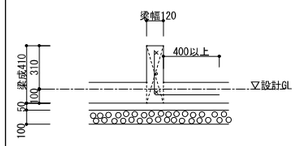
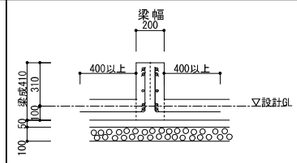
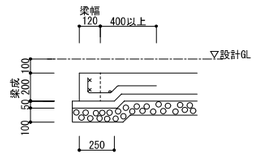
ラップルコンクリート範囲
ラップル底：設計GL-800
Fc=18N/mm2

基礎伏図　S=1/50

地中梁リスト　※許容応力度計算によりフック無し

符号	F１	F２	F３
B×D	１２０×９００	１２０×７００	１２０×３５０
位置	外周部	内部	外周部
断面図			
上端筋	１－Ｄ１３	１－Ｄ１３	１－Ｄ１３
下端筋	１－Ｄ１３	１－Ｄ１３	１－Ｄ１３
ＳＴ	Ｄ１０－@２００	Ｄ１０－@２００	Ｄ１０－@２００
腹筋	３－Ｄ１０	２－Ｄ１０	

符号	補強１	補強２	Ｆ４（土台下げ部分）
B×D	３５０×１５０	３５０×１５０	１２０×６１０
位置	内部	内部	外周部
断面図			
上端筋	５－Ｄ１３	５－Ｄ１６	１－Ｄ１３
下端筋			１－Ｄ１３
ＳＴ			Ｄ１０－@２００
腹筋			２－Ｄ１０

符号	Ｆ５（土台下げ部分）	Ｆ５Ａ（土台下げ部分）	Ｆ６
B×D	１２０×４１０	１２０×４１０	１２０×２００
位置	内部	内部	外周部
断面図			
上端筋	１－Ｄ１３	４－Ｄ１６	１－Ｄ１３
下端筋	１－Ｄ１３	４－Ｄ１６	１－Ｄ１３
ＳＴ	Ｄ１０－@２００	Ｄ１０－@２００	Ｄ１０－@２００
腹筋	１－Ｄ１０	１－Ｄ１０	

床版リスト

符号	版厚	短辺・主筋	長辺・配力筋	配筋種類
ＦＳ１	１５０	Ｄ１３－２００	Ｄ１３－２００	ｼﾝｸﾞﾙ配筋
ＦＳ２	１５０	Ｄ１６－１５０	Ｄ１６－１５０	ｼﾝｸﾞﾙ配筋

凡例				
	☒	柱位置を示す		人通口主筋の定着範囲（40d以上を確保すること）
	●	Ｍ１２アンカーボルトを示す　Zﾏｰｸ　埋込長250		
	▲	Ｍ１６アンカーボルトを示す　Zﾏｰｸ　埋込長360		
	＜　＞	底盤（FS）の天端		

註記

1．必要地耐力（長期）は20kN/m2とする。
2．砕石地業はRC-40とし、ランマーにて十分に転圧すること。
3．基礎梁天端は基礎リストによる。
4．底盤天端はGL+50とする。
5．柱近傍のアンカーボルトは、柱芯から200mm以内とする。
　土台継手のアンカーボルトは、継手位置から120mm寄りとする。
6．HD用アンカーボルト（△）は、柱芯より83mm（柱面から30mm逃げ）とする。
7．基礎パッキンについて、土台下げ部分は「通気パッキン」その他は「気密パッキン」とする。

（構造設計）株式会社コアスト構造設計
一級建築士登録第37844号　高須賀範昌

工事名	(株) ハウジング総合コンサルタント	高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明
令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	高知市南久保16－17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779		

図名	縮尺	年月日	図面No.	製図	
基礎伏図・基礎リスト	1／50・30 A2(100%), A3(70.7%)	2025/03	S — 06		一級建築士登録第370400号 山本優太

部材リスト

部位	符号	材質	寸法	備考
柱	C1	すぎ 構造用製材　機械等級区分E70	120×120　λ=72.17	JAS規格
土台		ひのき 構造用製材　機械等級区分E90	120×120	JAS規格
梁桁	G15	すぎ 構造用製材　機械等級区分E70	120×150	JAS規格
	G18	すぎ 構造用製材　機械等級区分E70	120×180	JAS規格
	G21	すぎ 構造用製材　機械等級区分E70	120×210	JAS規格
	G27	すぎ 構造用製材　機械等級区分E70	120×270	JAS規格
	G30オ	ひのき 対称異等級構成集成材　E95-F270	120×300	JAS規格
母屋･棟木	B10	すぎ 構造用製材　無等級材	105×105	
小屋束		すぎ 構造用製材　無等級材	105×105	
垂木 隅木		すぎ 構造用製材　無等級材	45×60	@455以内
野地板		構造用合板　JAS2級	t=12	
垂木掛		すぎ 構造用製材　無等級材	45×105	
際根太		ひのき 構造用製材　無等級材	45×90	
雲筋交い		すぎ 構造用製材　無等級材	15×90	
間柱		すぎ 構造用製材　無等級材	30×120	
窓台 窓まぐさ		すぎ 構造用製材　無等級材	45×120	

床水平構面・屋根構面リスト

符号	仕様	単位当たりの許容せん断耐力 ⊿Qa
R1	屋根　構造用合板t=12：川の字釘打ち N50 @150　勾配30度以下	1.37kN/m

耐力壁リスト

凡例	仕様	接合方法	壁倍率
	昭56建告第1100号 第1 第一号 筋交い　45×90（たすき掛け筋かい） すぎ（無等級）	筋交い端部：筋交いプレートBP-2 間柱取合い：2-N75	4.00
上 下	昭56建告第1100号 第1 第一号 筋交い　45×90（片たすき掛け） すぎ（無等級）	筋交い端部：筋交いプレートBP-2 間柱取合い：2-N75	2.00
上 下	昭56建告第1100号 第1 第一号 筋交い　45×90（片たすき掛け） すぎ（無等級）	筋交い端部：筋交いプレートBP-2 間柱取合い：2-N75	2.00

座金

部位	仕様	寸法
座金	角座金（W4.5×40角）、又は同等品	4.5×40×40

火打ち梁

火打ち梁	金属製

柱頭柱脚金物　（許容応力度計算による）

符号	仕様	短期引抜耐力
い	短ほぞ差し＋かすがい打ち、又は同等品	1.08kN
ろ	ＣＰ－Ｌ、又は同等品	3.38kN
は	ＣＰ－Ｔ、又は同等品	5.07kN
に	羽子板ボルト、又は同等品	7.50kN
ほ	スクリュー釘併用羽子板ボルト、又は同等品	8.50kN
へ	10kN引寄せ金物、又は同等品	10.00kN
と	15kN引寄せ金物、又は同等品	15.00kN

横架材継手接合部リスト

仕様	短期引抜耐力
腰掛鎌継ぎ　＋　短冊金物	7.50kN

横架材仕口接合部リスト

仕様	短期引抜耐力
大入れ蟻掛け　＋　羽子板ボルト	10.10kN

垂木・母屋・小屋束接合部リスト

部位	仕様	短期引抜耐力
垂木ー軒桁	ひねり金物ST-9　接合具4-ZN40、又は同等品	1.40kN
垂木ー母屋	釘 N90 脳天打ち	0.19kN
母屋ー小屋束 軒桁ー小屋束	かすがい２本打ち	2.16kN

令４９条への対応

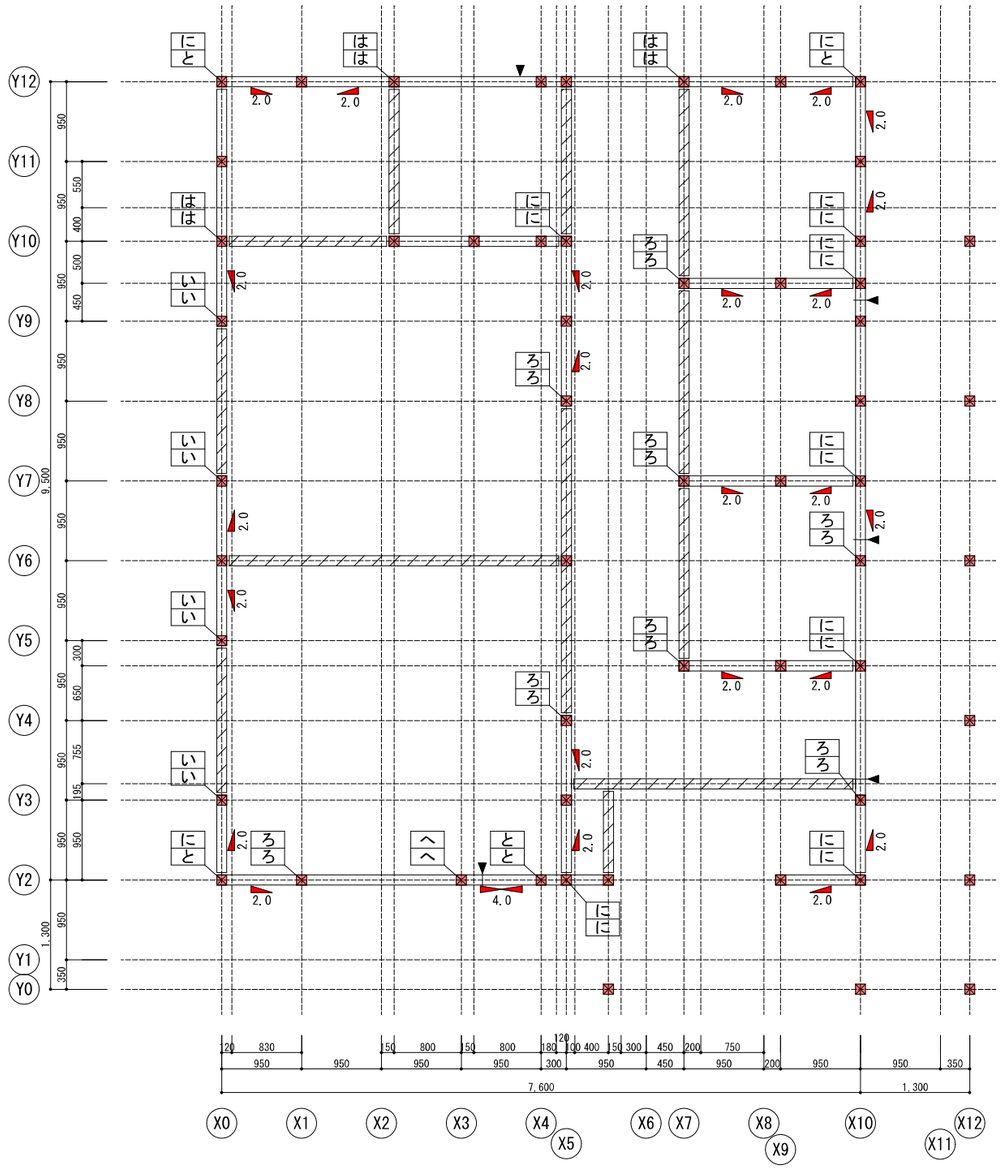
フラット３５　木造住宅工事仕様書（住宅金融支援機構）より

土台の防腐・防蟻措置・・・「ひのき」の使用
柱・筋かいの防腐防蟻措置・・・「すぎ」の使用
床下地面の防蟻措置・・・鉄筋コンクリート造のべた基礎

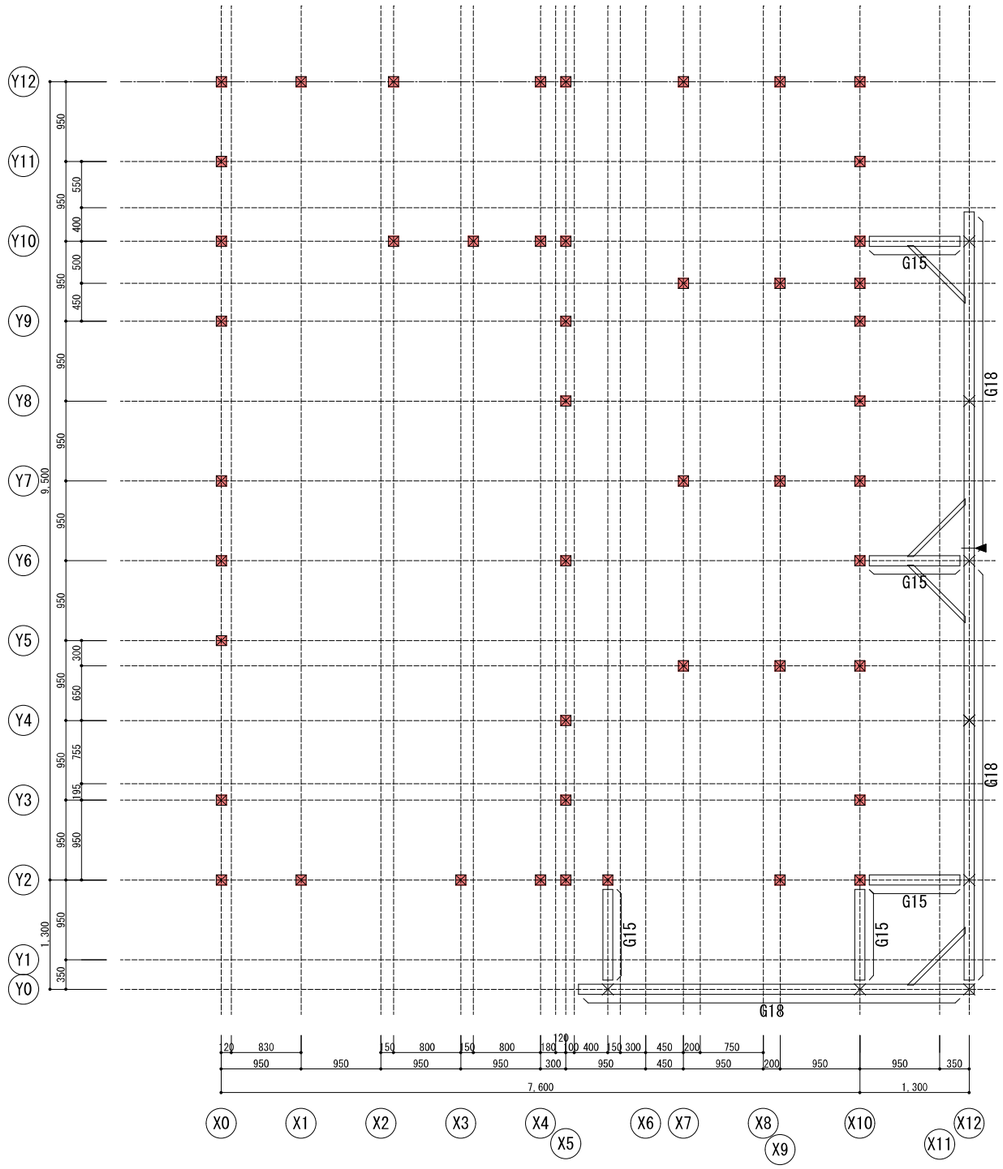
（構造設計）株式会社コアスト構造設計
一級建築士登録第37844号　高須賀範昌

工事名	(株) ハウジング総合コンサルタント	高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明
令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	高知市南久保16－17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779		

図名	縮尺	年月日	図面No.	製図	
部材リスト	ﾉﾝｽｹｰﾙ A2(100%), A3(70.7%)	2025/03	S — 07		一級建築士登録第370400号 山本優太



１階伏図　S=1/50



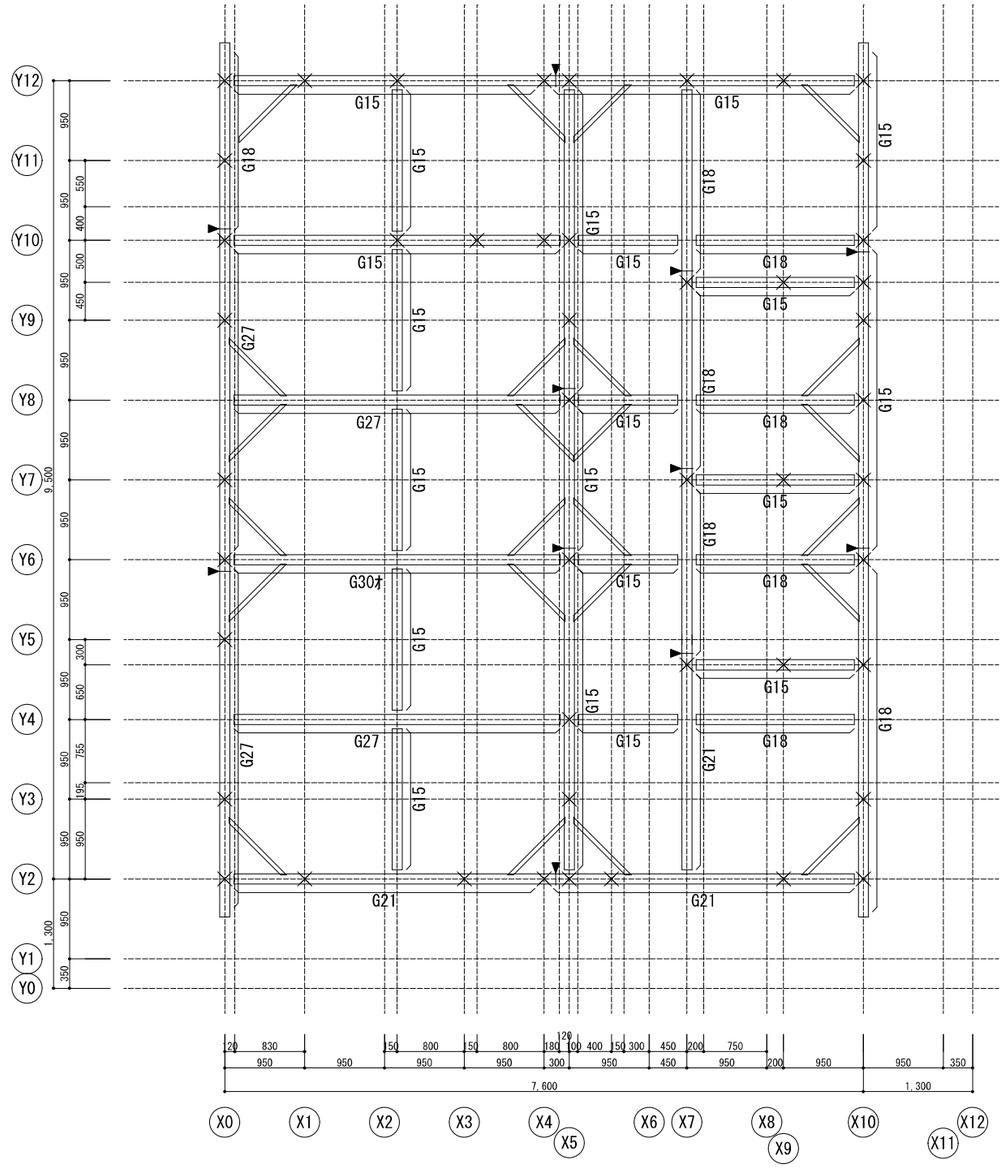
Ｍ１階伏図　S=1/50

※横架材天端：GL+2700

凡例					註記	
	⊠	柱を示す	▼	継手を示す		1．特記なき限り柱はＣ１とする 2．特記なき限り柱の柱頭柱脚のほぞ寸法は30×85とする。 3．大引・合板受け・床束は、@950以内に配置すること。 4．土台天端はFL-43とする。
	×	下柱を示す	▶◀	筋かい耐力壁位置を示し、仕様はS-07 …部材リストによる。		
	═══	土台を示し、GL+740を天端とする。	に 柱頭 に 柱脚	柱頭柱脚を示す		
	▨	土台を示し、GL+450を天端とする。				

（構造設計）株式会社コアスト構造設計
一級建築士登録第37844号　高須賀範昌

工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	（株）ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16－17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 １階伏図・Ｍ１階伏図	縮尺 1／50 A2(100%), A3(70.7%)	年月日 2025/03	図面No. S — 08	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太



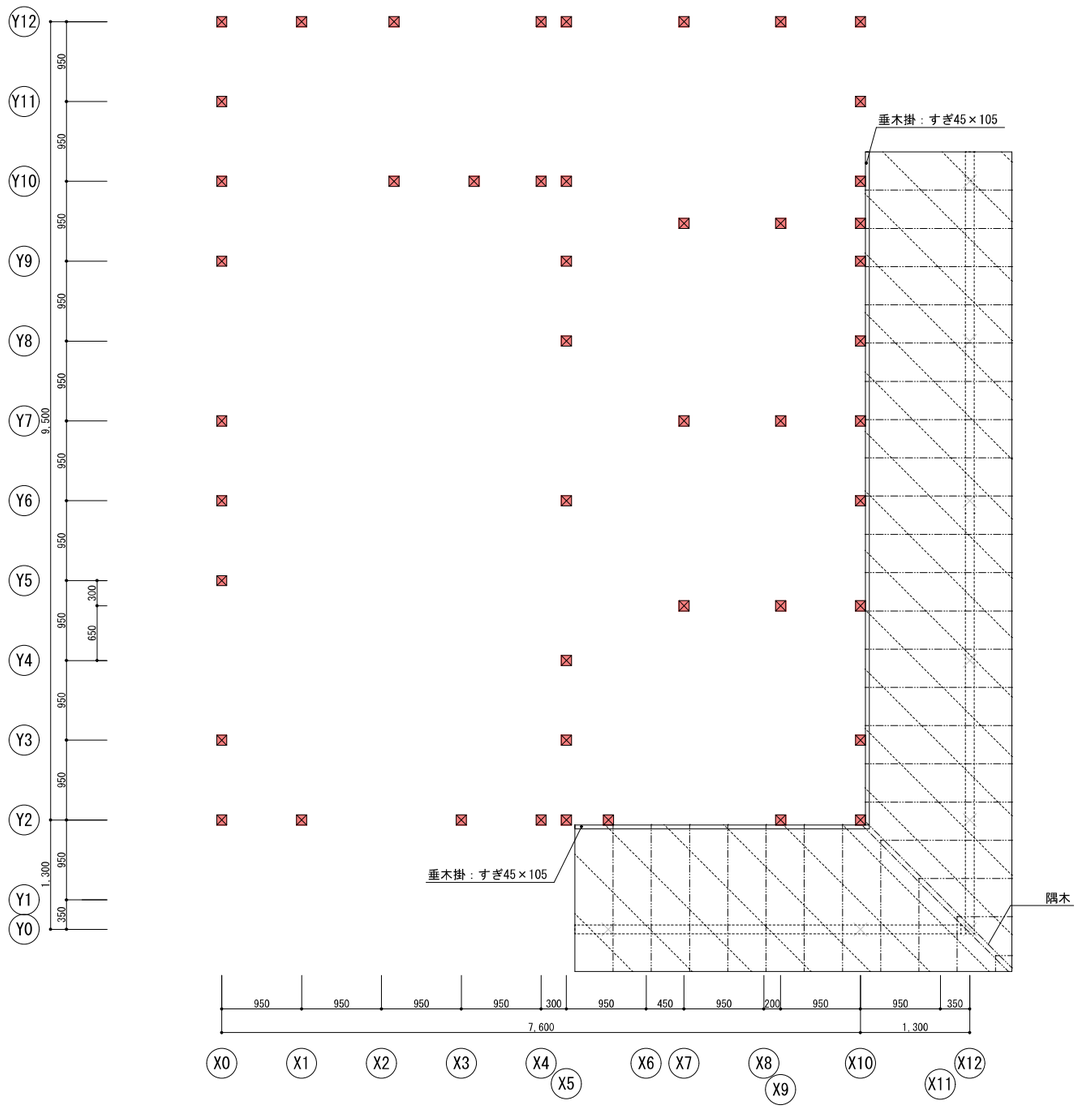
R階伏図　S=1/50

※横架材天端：GL+3700

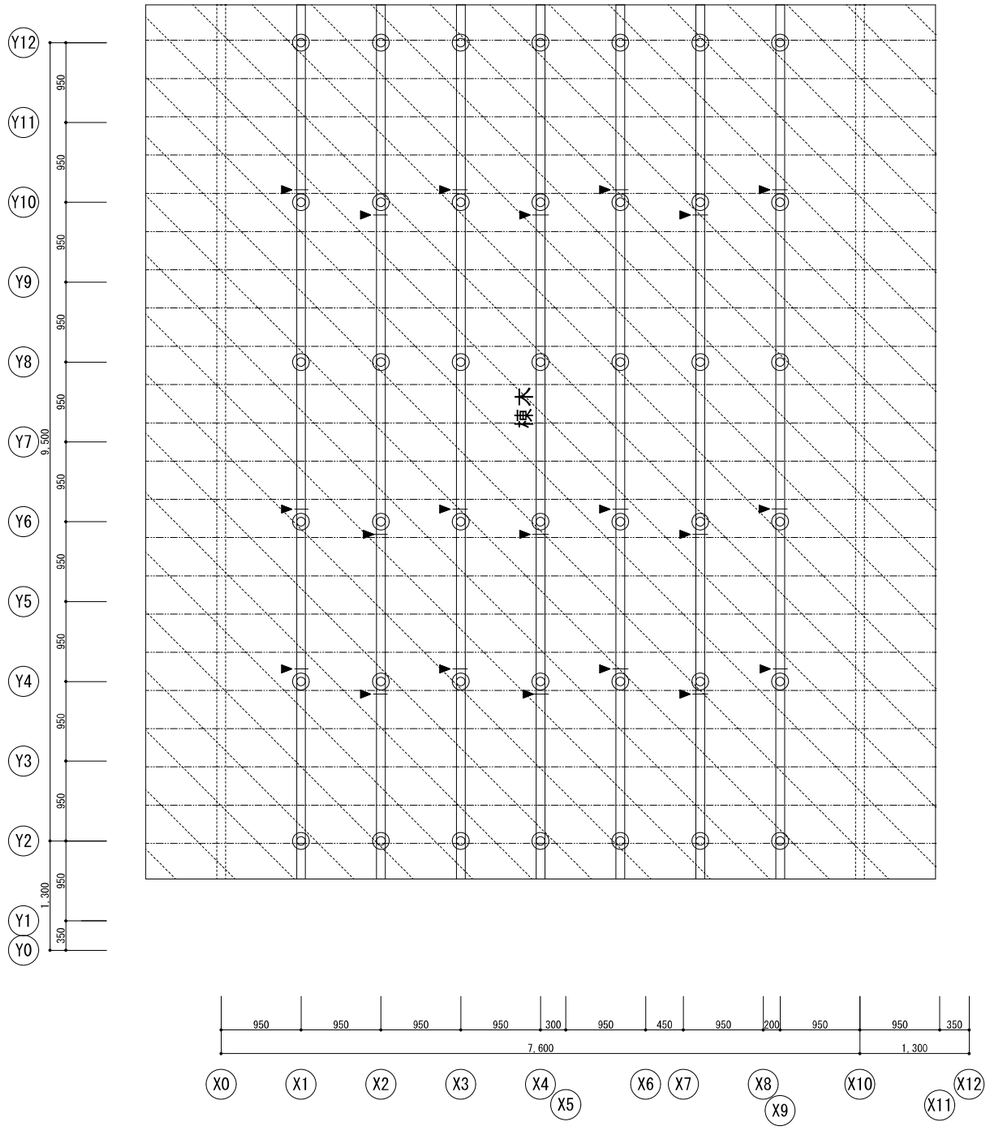
凡例				註記	
		火打ち梁を示す			1．特記なき限り、横架材仕口接合部は腰掛蟻継ぎ＋羽子板ボルトとする。 2．特記なき限り、横架材継手接合部は腰掛鎌継ぎ＋短冊金物とする。 3．横架材天端は軒高±0とする。
		下柱を示す			
		継手を示す			

（構造設計）株式会社コアスト構造設計
一級建築士登録第37844号　高須賀範昌

工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16－17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 R階伏図	縮尺 1／50 A2(100%)，A3(70.7%)	年月日 2025/03	図面No. S — 09	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太



垂木母屋伏図（下屋）　S=1/50

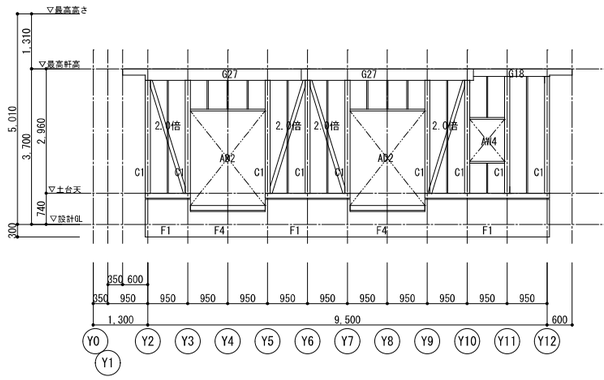


垂木母屋伏図　S=1/50

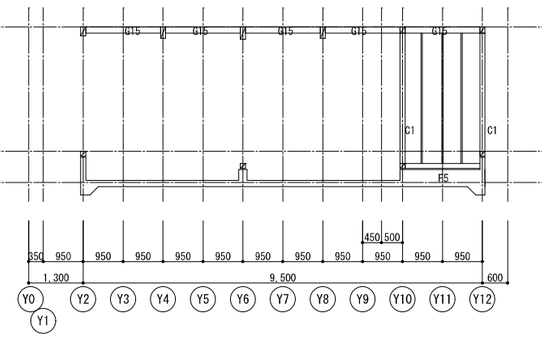
凡例			註記	
	◎ 小屋束を示す			1．見上げ図とする。 2．特記なき限り、母屋・棟木はB10とする。 3．くも筋交いの仕様は、15mm×90mm程度の貫材を小屋束にN50釘2本打ち程度で接合する。また、X・Y方向共に4m以内毎に配置すること。
	母屋・棟木を示す			
	継手を示す			
	屋根構面（R1）を示す			

（構造設計）株式会社コアスト構造設計
一級建築士登録第37844号　高須賀範昌

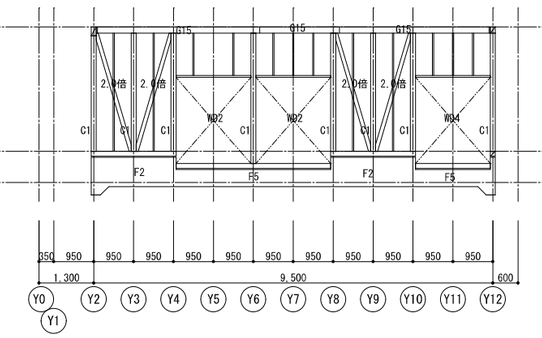
工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16－17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 垂木母屋伏図	縮尺 1／50 A2(100%),A3(70.7%)	年月日 2025/03	図面No. S — 10	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太



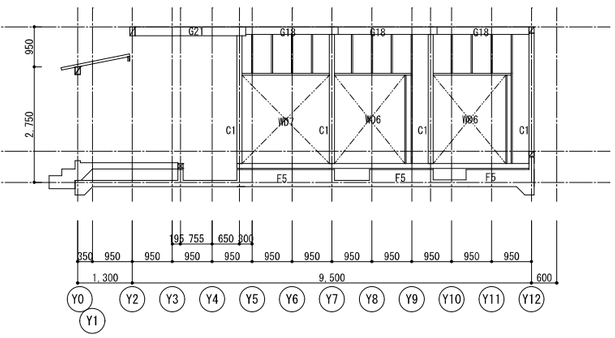
X0 通り



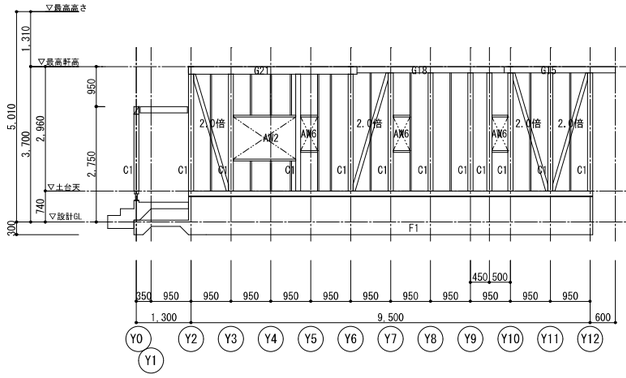
X2+150 通り



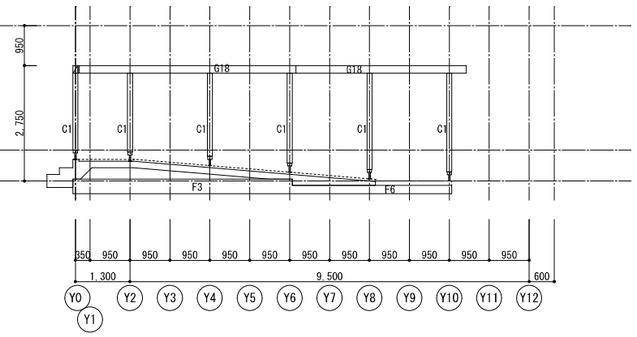
X5 通り



X7 通り



X10 通り

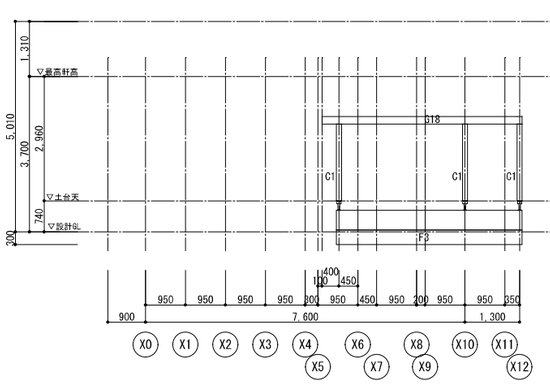


X12 通り

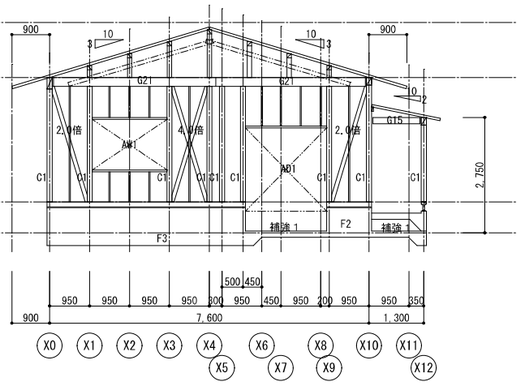
凡例			註記	
	C1 柱を示す			1．部材リストはS-07による。
	間柱を示す			
	窓台・窓マグサを示す			
	震筋かいを示す			

（構造設計）株式会社コアスト構造設計
一級建築士登録第37844号　高須賀範昌

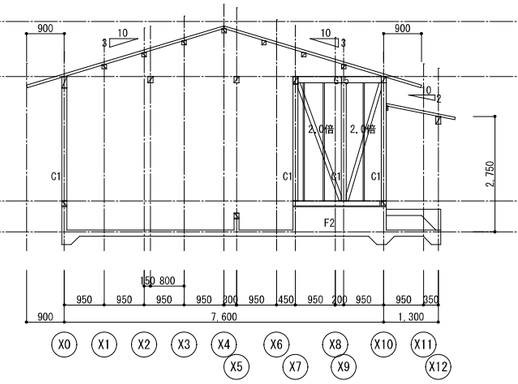
工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16－17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明
図名 軸組図1	縮尺 1／100 A2(100%), A3(70.7%)	年月日 2025/03	図面No. S — 11	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太



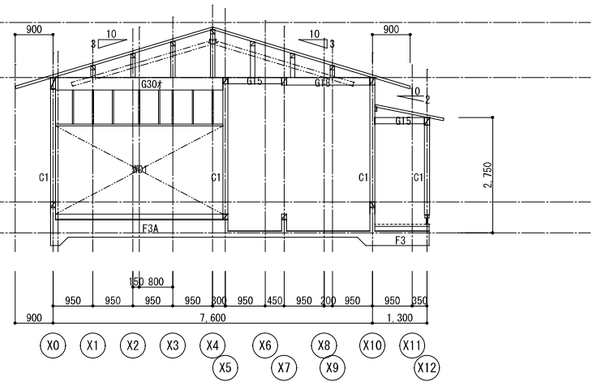
Y0 通り



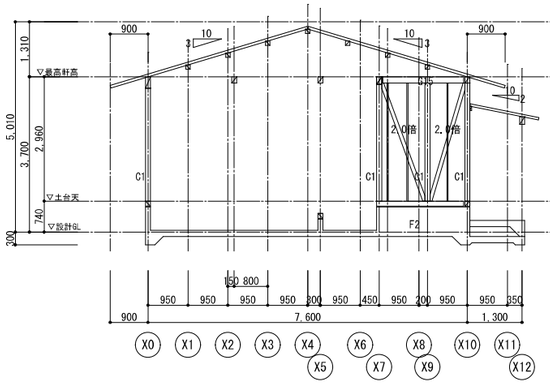
Y2 通り



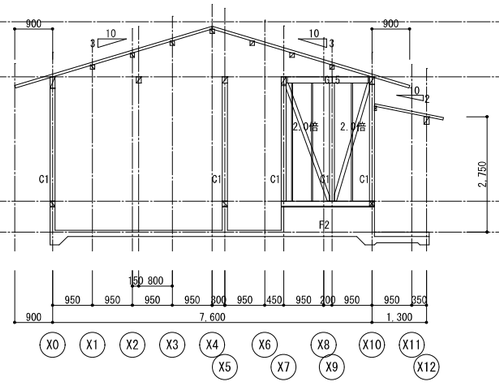
Y5-300 通り



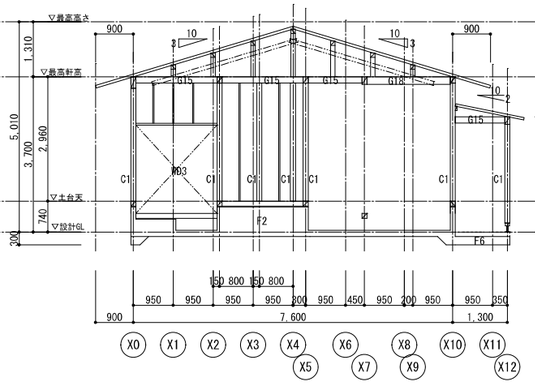
Y6 通り



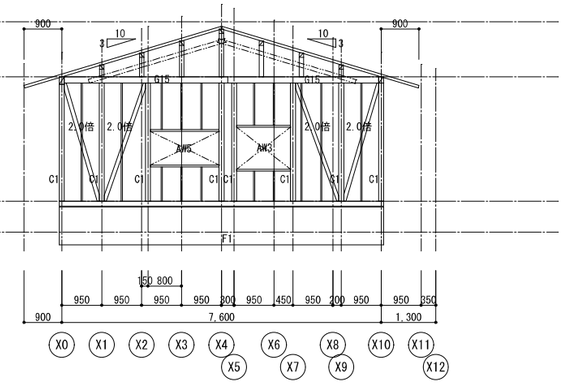
Y7 通り



Y9+450 通り



Y10 通り



Y12 通り

凡例			註記	
	C1 柱を示す			1．部材リストはS-07による。
	間柱を示す			
	窓台・窓マグサを示す			
	霞筋かいを示す			

（構造設計）株式会社コアスト構造設計
一級建築士登録第37844号　高須賀範昌

工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16−17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 軸組図２	縮尺 1／100 A2(100%), A3(70.7%)	年月日 2025/03	図面No. S — 12	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太

特　記　仕　様　書

Ⅰ　工 事 概 要

1．　工 事 場 所　　高知県吾川郡いの町鹿敷５０７

2．　建 物 概 要

建物名称	構造	階数	延べ面積	消防法施行令 別表第一
集会所	W造	平屋 建	72.20 ㎡	１項（ロ）
		階建	㎡	
		階建	㎡	

（注）延べ面積は建築基準法による表記

3．　工事種目

建物別及び屋外 工 事 種 目	集会所			
電灯コンセント設備	○			
幹線設備	○			
受変電設備				
自家発電設備				
避雷設備				
非常照明設備	○			
電話・情報設備配管設備	○			
インターホン設備	○			
テレビ共聴設備	○			
電気時計設備				
放送設備				
誘導灯設備	○			
トイレ緊急呼出設備	○			
非常警報設備				
外灯設備				
構内線路				

Ⅱ　工　事　仕　様

1．　共　通　仕　様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和４年版（ただし、改修工事の場合は公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和４年版）及び電気設備工事標準図（令和４年版）による。

2．　特　記　仕　様

1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。

2）特記事項のうち選択する事項は○印のついたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。

項　目	特　記　事　項
① 機材	設備機材等指定表による。
② 工事用電力,水,その他	本工事に必要な工事用仮設電力、水などの費用は請負者の負担とする。 官公署への諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。 自家用電気工作物保安管理業務委託先 ・ 四国電気保安協会　　・ 中央電気保安協会　　・（　　）
③ 工事用仮設物	構内に作ることが　　・ できる　　⊙ できない
4 建設副産物	次のものは原則として再生クラッシャランを使用する。 （屋外キュービクル基礎・外灯基礎・ハンドホール等の砂利地業） アスファルトは原則として再生品を使用する。 工事に伴い発生するコンクリート塊・アスファルト塊は原則として再資源化を図る事。
5 建設発生土の処理	※構外搬出 搬出先の名称（　　） 所在地　（　　）　運搬距離（　　）km その他　搬出先は上記を予定している。搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。 ・構内指定場所に敷き均し　　・ 構内指定場所に堆積
⑥ 産業廃棄物の処理について	高知県　特記仕様書（共通編）「産業廃棄物の処理について」によること。
⑦ 他工事との取り合い	はり貫通部のスリーブ及び補強　　スリーブ　※本工事　・ 別途工事 補　強　※別途工事　・ 本工事 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアーチェック、フロアーヒンジ　※別途工事　・ 本工事 天井埋込型器具の取付箇所の下地の切込み及び補強　※別途工事（墨出しは本工事）　・ 本工事 軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地の切込み及び補強　※本工事　・ 別途工事 埋込型分電盤、端子盤等の仮枠及び補強　仮　枠　※本工事　・ 別途工事 補　強　※別途工事　・ 本工事 照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート　※本工事　・ 別途工事 屋内の電気室、自家発電室などの基礎、防油堤、ピット（ふたを含む）※別途工事　・ 本工事 屋外の受変電設備基礎　※本工事　・ 別途工事 動力機器（電動機など）への接続　※本工事　・ 別途工事 電話保安器用接地　※本工事　・ 別途工事 図中に記載されていない工事区分は、別紙工事区分表による。
⑧ 電線類	EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。 耐火ケーブル(FP)及び耐熱ケーブル(HP)はシースに耐燃性ポリエチレンを用いたものとする。
⑨ 呼び線	長さ１ｍ以上の入線しない電線管には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。
⑩ フラッシュプレートの材質	・ 樹脂製　⊙ 新金属　・ ステンレス
⑪ ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ の用途別表示	シール等を貼付する。
⑫ 接地極	下記による。 共同接地　EAED　10Ω以下　ＥＢ（14φ）x 3連ー2組 A種　EA　10Ω以下　ＥＢ（14φ）x 3連ー2組 B種　EB　150/Is Ω　Is=1線地絡電流　ＥＢ（14φ）x 3連ー2組 D種　ED　100Ω以下　ＥＢ（10φ）x 1 C種　EC　10Ω以下　ＥＢ（14φ）x 3連ー2組 避雷用　EL　10Ω以下　ＥＰ x 1 高圧避雷用　ELH　10Ω以下　ＥＢ（14φ）x3 連ー2組
13 埋設表示	避雷設備用及び共同接地極の表示　　黄銅板製 上記以外の接地極及び地中配線の表示　100□ x 300のコンクリート杭に方向種別を彫り込んだものとする。ただし、舗装された場所は鉄製ピンとする。
⑭ 再使用機器	取外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定のうえ取付を行う。
15 絶縁抵抗の測定	工事着手前に既存の電気設備の絶縁抵抗を測定し、測定表を監督職員に提出する。
⑯ 補修など	工事の施工に伴い、既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。
⑰ 屋上・屋側の支持金物	ステンレス製とする。（装柱金物は除く）
18 結露防止	内側断熱施工される構造体のコンクリートに埋込むボックス等には、断熱材等を取り付ける。
19 はつり・非破壊検査	既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは原則としてダイヤモンドカッターによる。 はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行い、施工前に工事監理業務受注者による確認後、施工すること。なお、鉄筋・配管類を切断する恐れがある場合は、事前に監督職員と協議すること。コア抜き施工後は鉄筋切断の有無を工事監理業務受注者の立会により確認すること。
⑳ 天井仕上区分	（室名）はスラブ天井を示し、その他は二重天井とする。
㉑ 配線器具	タンブラスイッチは大角型連用形とする。 壁付コンセントは原則として大角型連用形とし、連用形以外はプラグ付とする。 単相200Ｖ、発電機回路等のコンセントは、プレートに電圧・電源等の表示を行う。
㉒ LED照明器具	グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）の判断基準適合品とする。
㉓ 照明器具の接地	ケーブルの一心を接地線として使用する場合は、緑色の心線とする。
㉔ 照明器具用位置ボックス	ケーブル配線の位置ボックスは原則としてアウトレットボックスとする。 ケーブル配線で照明器具が送り端子付のもの（定格電流15Ａ以上）及び配線が末端となるものは位置ボックスを設けなくてよい。
㉕ 非常用照明器具の照度測定	設置した各部屋2箇所以上
㉖ 分電盤分岐回路	分岐用配線用遮断機はJIS協約形２Ｐ５０ＡＦの１Ｐサイズとする。
㉗ テレビ共同受信設備	分岐器、分配器、直列ユニットはＢＳ・ＣＳ共用形（ＢＬ品）とする。　・双方向型 電界強度の測定　・ 要　⊙ 不要
28 構内埋設線路	埋設深さ　特記なきはＧＬ－ 600 以上とする。 地中管路には、管下5cm、管上10cm程度保護砂を入れる。 地中配線には電圧、線路長に関係なく標識シート（ダブル）を管頂と地表面の中間に設ける。
㉙ 耐震施工	設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針　２０１４年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。 なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。 1）設計用水平地震力 機器の重量［N］に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。

【設計用標準水平震度】

設置場所	機器種別	⊙ 特定の施設 重要機器	⊙ 特定の施設 一般機器	・ 一般の施設 重要機器	・ 一般の施設 一般機器
上層階 塔屋及び屋上	機　器	2．0	1．5	1．5	1．0
	防振支持の機器	2．0	2．0	2．0	1．5
	水槽類（※1）	2．0	1．5	1．5	1．0
中間階	機　器	1．5	1．0	1．0	0．6
	防振支持の機器	1．5	1．5	1．5	1．0
	水槽類（※1）	1．5	1．0	1．0	0．6
地下及び１階	機　器	1．0	0．6	0．6	0．4
	防振支持の機器	1．0	1．0	1．0	0．6
	水槽類（※1）	1．5	1．0	1．0	0．6

ただし重要機器のアンカー計算における設計用標準水平震度は全階２．０とする。

【備考】（※１）水槽類は、オイルタンク等を含む。

注：上層階の定義は次による。

２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、１０～１２階建の場合は上層３階

１３階建以上の場合は上層４階

重要機器（・ 自立配電盤　・ 防災用発電装置　・ 直流電源装置　）

（・ 交流無停電電源装置　・ 交換機　・ 自動火災報知受信機）

（・ 中央監視制御装置　・　　・　　）

2）設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の２分の１とし、水平地震力と同時に働くものとする。

30 コンクリート工事／骨材	本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。
31 ハンドホール	ハンドホールは現場打ち、ブロックのどちらでもよい。
㉜ 工事・完成写真	写真の撮り方は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領（平成28年版による　工事写真撮影ガイドブック　電気設備工事編　平成30年版」による。 下記のものを監督職員に提出する。

区分	提出形式	備考
工事写真	Ａ４版カラー印刷 画像データ(JPEG形式) ※上記両方を提出	Ａ４版カラー印刷には、写真内容説明を記入。
完成写真	Ａ４版カラー印刷 画像データ(JPEG形式) ※上記両方を提出	Ａ４版カラー印刷には、写真内容説明を記入。 外観1枚を含む内外6枚程度。 完成検査時に提出。

㉝ 工事完成図	共通仕様書に従った完成図及び保守に関する指導案内書を監督職員に提出する。 Ａ４版　黒表紙金文字製本　１部　※要　・ 不要 Ａ３版　２ツ折り製本　１部　※要　・ 不要 ＣＡＤデータ　ＣＤ－Ｒ　※要　・ 不要
34 石綿含有建材の調査	工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 事前調査は書面調査、現地調査にて行う事とし、調査の結果により分析による石綿含有調査を行うか監督職員と協議を行う。 石綿含有建材の設計時調査（情報提供）　・ 有　・ 無
㉞ 機器取付高	壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面の記載のない場合は原則として下表による。 ただし、監督職員の指示により変更することがある。（住宅は別途協議）

名　称	測　点	取付高（mm）	名　称	測　点	取付高（mm）
ブラケット（一般）	床上～中心	2,100	避雷接地用端子箱	地上、床上～中心	800
〃　（踊場）	〃	2,500	接地極埋設標	地上～中心	600
〃　（鏡上）	鏡上端～中心	150	室内端子盤（廊下、室内）	床上～下端	300
避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上	接地用端子箱	床上～下端	500
廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下	子時計、スピーカ	床上～中心	（天井高）x0.9
スイッチ（一般）、アッテネータ	床上～中心	1,300	呼出ボタン（身体障害者用）	〃	900
ｽｲｯﾁ、ｲﾝﾀｰﾎﾝ子機（身体障害者用）	〃	1,100	復帰ボタン（　〃　）	〃	1,800
ｺﾝｾﾝﾄ、電話用ｱｳﾄﾚｯﾄ、直列ﾕﾆｯﾄ（一般）	〃	300	廊下表示灯（　〃　）	〃	2,000
〃　（和室）	〃	150	テレビ機器収容箱	〃	1,800
〃　（台上）	台上～中心	150	火報受信機（複合盤）	床上～操作部	800～1,500
ｺﾝｾﾝﾄ（ガス漏れ検知器(LPガス)）	床上～中心	200	火報総合盤	床上～中心	800～1,500
分電盤、制御盤、親時計	〃	1,500（上端1,900以下）	コンセント（車庫）	床上～中心	800
			ガス漏れ検知器（ＬＰガス）	床上～警報器上端	300
開閉器箱、中間端子盤（EPS、電気室）インターホン、副受信機	〃	1,500	〃　（都市ガス）	天井面～中心	（天井面）-200
			引込開閉器箱（低圧）	床上～上端	2,000

備考　（天井高）x0.9は天井高が、2,500～3,000mmの場合に適用する。

㉟ 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策

対象建築材料等	使用制限
① 合板,木質系フローリング 構造用パネル,集成材 単板積層材,ＭＤＦ パーティクルボード,ユリア樹脂板 壁紙,緩衝材,断熱材 保温材,仕上げ塗材	Ｆ☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
② 塗料	ホルムアルデヒド,アセトアルデヒド,スチレン,トルエン,キシレン,エテルベンゲンを含有していない水性系のものとする。
③ 木材保存剤（防腐処理、防蟻処理等）	クロルピリホリス,ダイアジノン,フェノブカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
④ 内装用接着剤,木工事用接着剤 配管用接着剤,接合剤	1)ホルムアルデヒド,アセトアルデヒド,スチレン,トルエン,キシレン,エチルベンゼンを含有してないものとする。 2)フタル酸ジ-n-ブチル,フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。
⑤ 家具、書架、実験台、什器 洗面化粧台、流し台	（①②③④の建築材料を使用する場合はＦ☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はＦ☆☆☆又は同等品を使用する。）

室内に関わる材料（上記①～④及び建具,シール材,その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ホルムアルデヒド,アセトアルデヒド,スチレン,トルエン,キシレン,エチルベンゼン,フタル酸ジーｎ－ブチル,フタル酸ジ-２-ヘエチルヘキシル,クロルピリホリス,ダイアジノン,フェノブカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16－17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 特記仕様書	縮尺 N ／ S A2(100%),A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. E ― 01	製図 一級建築士登録第370400号 山本優太	

機　材　名	指　定　品
電線管類・同付属品	ＪＩＳマーク表示品
電　線　類　等	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共工事標準仕様書（電気設備工事編） ＪＩＳマーク表示品
耐火・耐熱ケーブル	耐火・耐熱電線認定機関の認定または評価された旨の表示をしたもの
配線器具類	ＪＩＳマーク表示品
配線用遮断機 JIS C 8201-2-1 に適合するもの 漏電遮断機 JIS C 8201-2-2 に適合するもの	ＪＩＳマーク表示品
電磁接触器 JIS C 8201-1,JIS C 8201-4-1 に適合するもの	ＪＩＳマーク表示品
低圧進相コンデンサ JIS C 4901 に適合するもの	ＪＩＳマーク表示品
指示電気計器 JISC1102（指示電気計器）	ＪＩＳマーク表示品
非常用照明器具	（社）日本照明器具工業会のＪＩＬ適合マークが貼付されたもの
誘導灯器具	誘導灯認定委員会の認定証票が貼付されたもの
自家発電装置 付属する配電盤をふくむ	日本内燃力発電設備協会の認定証票が貼付されたもの
防災電源用直流電源装置	蓄電池設備認定委員会の認定証票が貼付されたもの
自動閉鎖装置	連動機構・装置等自主評定委員会の自主評定マークが貼付されたもの
非常放送装置の蓄電池	ＪＥＡ蓄電池設備認定委員会の認定証票が貼付されたもの
非常警報装置（非常ベル）	日本消防検定協会の認定証票が貼付されたもの
自動火災報知装置	日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されたもの
構内交換装置	（財）電気通信端末機器審査協会の認定品

機　材　名	指　定　品

機　材　名	メーカー名
LED照明器具	アイリスオーヤマ（株） 岩崎電気（株） （株）遠藤照明 コイズミ照明株式会社 東芝ライテック（株） パナソニック（株） 三菱電機照明（株） （株）YAMAGIWA 山田照明（株）
照明制御装置	東芝ライテック(株) パナソニック（株） 三菱電機照明(株)
可変速電動機用インバーター装置	（株）日立産機システム 富士電機(株) 三菱電機（株） （株）安川電機
高圧交流遮断機（真空）	東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） 日新電機（株） （株）日立産機システム 富士電機（株） 富士電機機器制御(株) 三菱電機（株） （株）明電舎
高圧限流ヒューズ	(株)宇都宮電機製作所 エナジーサポート(株) 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ(株) (株)日立産機システム 富士電機機器制御(株) 三菱電機(株)
高圧負荷開閉器	エナジーサポート(株) 大垣電機（株） （株)新愛知電機製作所 （株）戸上電機製作所 日本高圧電気(株) （株）日立産機システム 富士電機機器制御（株） 三菱電機（株）
高圧進相コンデンサ ※１　モールドコンデンサに限る	（株）指月電機製作所 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） ニチコン（株） 日新電機（株） 三菱電機（株） 利昌工業（株）　※１
高圧用変圧器 ※２　モールド変圧器に限る	愛知電機（株） 四変テック（株） （株）ダイヘン タカオカ化成工業（株）※２ （株）東光高岳 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） 日新電機（株） (株)日立産機システム 富士電機(株) 三菱電機（株） （株）明電舎 利昌工業（株）　※２

機　材　名	メーカー名
蓄電池 ﾍﾞﾝﾄ形据置鉛蓄電池 制御弁式据置鉛蓄電池 据置ﾆｯｹﾙ・ｶﾄﾞﾐｳﾑｱﾙｶﾘ蓄電池	エナジーウィズ株式会社 （株）GSユアサ 古河電池(株)
監視カメラ装置	㈱JVCｹﾝｳｯﾄﾞ・公共産業ｼｽﾃﾑ ＴＯＡ(株) ﾊﾟﾅｿﾆｯｸｺﾈｸﾄ（株）
盤類(公共建築工事標準仕様) 分電盤・制御盤 ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式配電盤	（株）イトウテック 共栄電機工業（株） 光電設（株） 上記の他、令和５年版「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿」に掲載されたもの
太陽光発電装置	山洋電気（株） （株）GSユアサ 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） パナソニック（株）
交流無停電電源装置（UPS）	エナジーウィズ株式会社 山洋電気（株） （株）GSユアサ （株）GSｭｱｻｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） 富士電機（株） 古河電池（株） 三菱電機（株） （株）明電舎

機　材　名	メーカー名

工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16－17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779	高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 機材指定表	縮尺 N／S A2(100%),A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. E ― 02	製図 一級建築士登録第370400号 山本優太

引込開閉器盤より　1φ3W

ELB3P
50AF／40AT

			②	1VA	100V誘導灯
100V照明・換気扇 和室（1）・（2）・給湯室・物置	305VA	①	②	123VA	100V照明・換気扇 男子・女子・多目的トイレ
100V屋外照明	33VA	③	④	3VA	100V非常照明
100Vコンセント 和室（1）・（2）	800VA	⑤	⑥	1000VA	100Vコンセント・冷蔵庫 廊下・給湯室・物置
100V自動水栓・小便器センサー 男子・女子・多目的トイレ	200VA	⑦	⑧	300VA	100Vガス給湯器・ブロア
100VT－1内コンセント	400VA	⑨	⑩		予備
100Vトイレ緊急呼出	100VA	⑪	⑫	1000VA	100Vルームエアコン （将来用）
100Vルームエアコン （将来用）	1000VA	⑬	⑭		予備スペース

（合計容量5264VA）

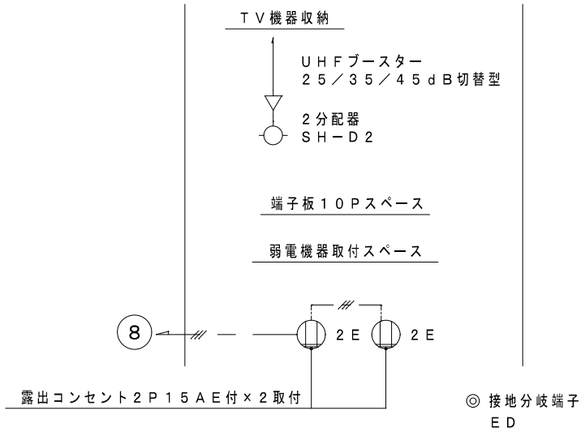
MCB2P30/20AT(100V) x12

◎ 接地分岐端子
ED（ELB）

電灯分電盤　L－1

樹脂製露出型扉付　※感震リレー付

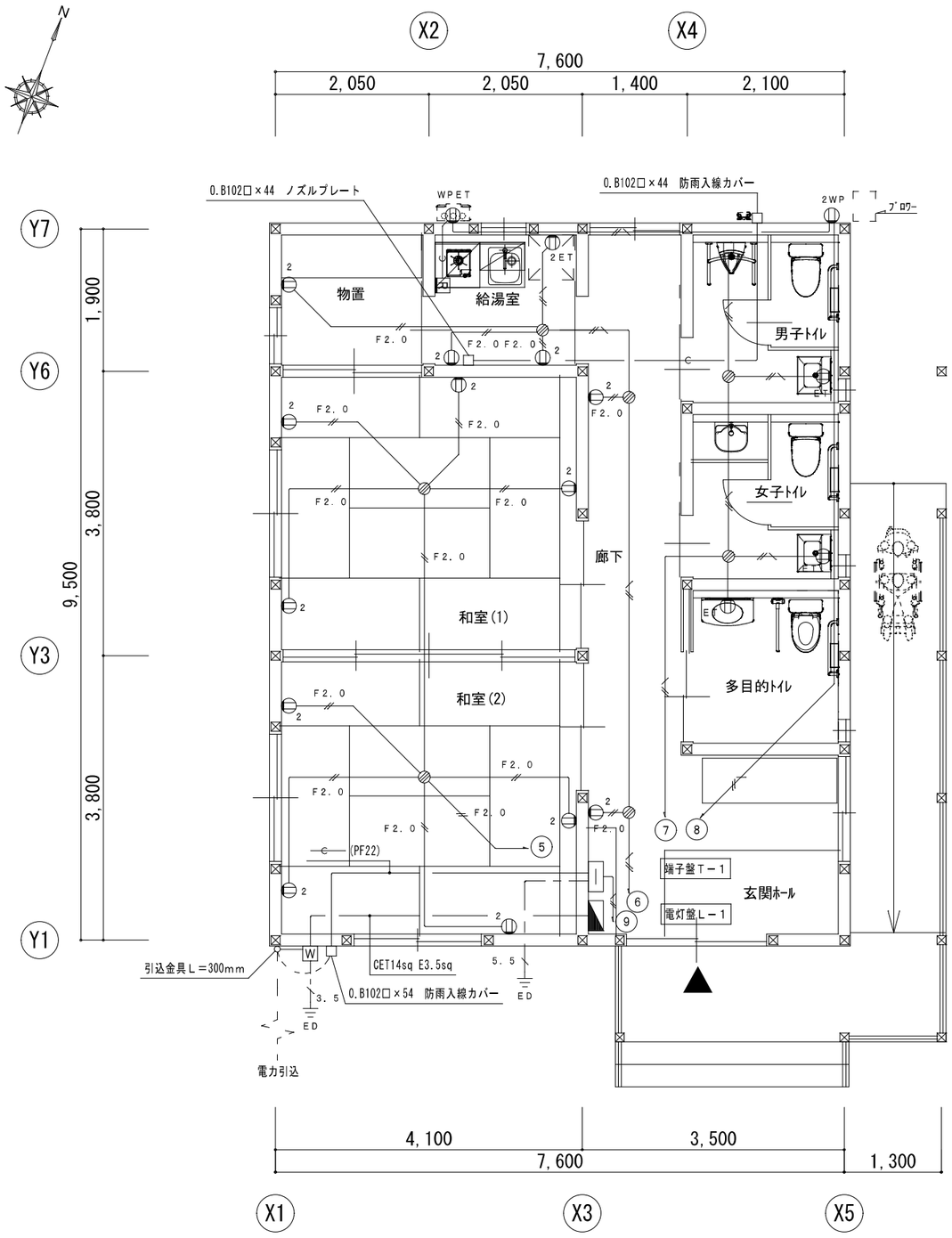
新設



弱電端子盤T－1

露出型鋼板製　指定色塗装

工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16－17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明
図名 盤結線図	縮尺 N／S A2(100%), A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. E — 03	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太



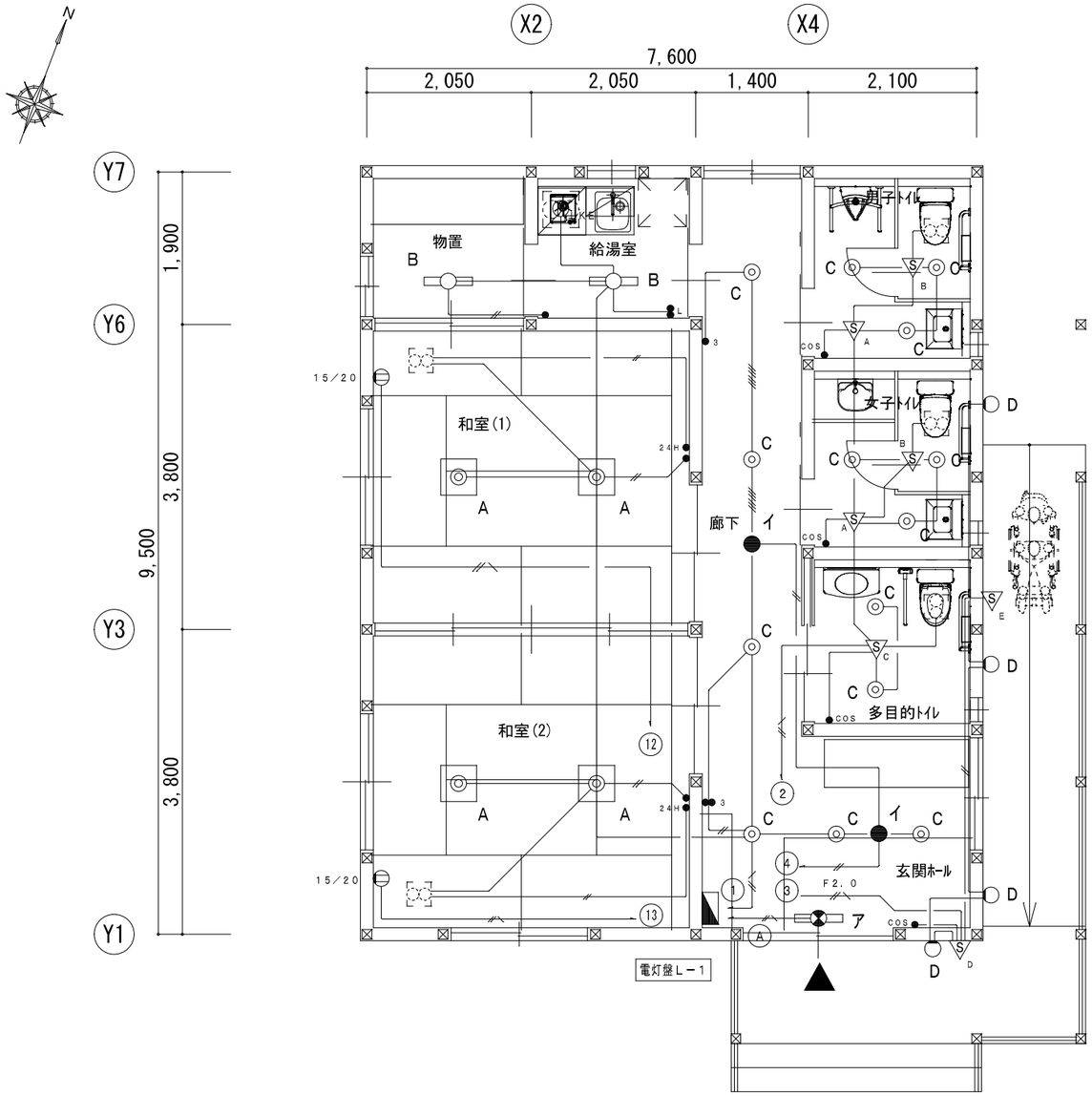
平面図 S=1:50

凡例

凡 例		
記 号	名 称	備 考
	電灯盤(L－1)	別図参照
	端子盤(T－1)	〃
2	埋込コンセント	2P15A×2 樹脂プレート共
ET	〃	2P15A×1 ET 〃
2ET	〃	2P15A×2 ET 〃
2WP	防水コンセント	2P15A×2 EET
WPET	〃	2P15A×1 EET 入線機能付
R	給湯器リモコン取付	スイッチボックス2個用 ※リモコン機器は機械設備工事支給品
W	電力量計収納箱	1Φ3W 120A 1個用

注記事項		
図中明記なき配管配線は下記による。		
F2.0	コンセント EEF2.0－2C	コロガシ
	〃 EEF2.0－3C	〃
C	〃 C (PF16)	インペイ

工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16－17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779	高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図名 幹線・コンセント設備図	縮 尺 1／50 A2(100%),A3(70.7%) / 年 月 日 2026/02 / 図 面 No. E — 04	製 図	一級建築士登録第370400号 山 本 優 太	



平面図 S=1:50

凡例

凡　例			
記　号	名　称	備　考	
	電灯盤(Ｌ－１)	別図参照	
●	埋込スイッチ	１Ｐ１５Ａ×１	樹脂プレート共
● Ｌ	〃	１Ｐ１５Ａ×１Ｌ付	〃
● ３	〃	３Ｗ１５Ａ×１	〃
● ２４Ｈ	２４時間換気用スイッチ	機械設備工事支給品取付	
Ｓ Ａ	熱線センサー自動スイッチ	親器　８Ａ　広角検知形　検知後動作時間約１０秒～３０分可変形・明るさセンサー付	
Ｓ Ｂ	〃	子器　〃　〃	換気扇接続端子付
Ｓ Ｃ	〃	親器　１．２Ａ　検知後動作時間約１０秒～３０分可変形・明るさセンサー付・換気扇遅れＯＦＦ機能付	
Ｓ Ｄ	〃	親器　３Ａ　検知後動作時間約１０秒～３０分可変形・明るさセンサー付・お出迎え点灯形	
Ｓ Ｅ	〃	子器　ＤＣ１２Ｖ　検知後動作時間約１０秒～３０分可変形・明るさセンサー付	
● ＣＯＳ	操作ユニット	１回路　熱線センサー自動スイッチ用	
⊔ ＬＫＥ	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　Ｅ付×１　抜止	新金属プレート共
⊔ １５／２０	〃	２Ｐ１５／２０Ａ×１　ＥＥＴ	樹脂プレート共

注記事項

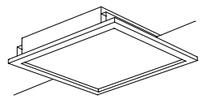
図中明記なき配管配線は下記による。

	ＥＥＦ１．６－２Ｃ	コロガシ
	ＥＥＦ１．６－３Ｃ	〃
	ＥＥＦ１．６－３Ｃ×２	〃
	ＥＥＦ２．０－３Ｃ	〃
F2.0	ＥＥＦ２．０－２Ｃ	〃

照明器具姿図

A　ＬＥＤベースライト　ＦＨＰ３２Ｗ×４灯相当タイプ

消費電力：３８Ｗ



□４５０、乳白パネル　木枠
定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：亜鉛鋼板、枠：木製（白木）
パネル：アクリル（乳白）
温白色、３５００Ｋ、Ｒａ８３

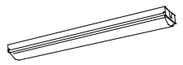
D　ＬＥＤシーリングライト　白熱灯60W程度

消費電力：８．２Ｗ

防雨型
本体：プラスチック（オフブラックつや消し）
グローブ：アクリル（乳白つや消し）
壁直付型・据置取付型
幅１００・高１００・出しろ１３７

B　ＬＥＤベースライト　ＬＳＳ１－２－１５

消費電力：１１．６Ｗ



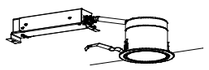
一般タイプ、１６００ｌｍタイプ
定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

ア　ＬＥＤ避難口誘導灯片面型　ＳＨ１－ＦＢＦ２０－Ｃ

ＬＥＤ誘導灯コンパクトスクエア
Ｃ級　片面型
壁・天井直付型
一般型（２０分間）
ニッケル水素蓄電池
リモコン自己点検機能付
型式認定番号：１ＡＳ１１１－３６１８

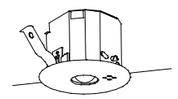
C　ＬＥＤダウンライト

消費電力：１１．６Ｗ



ＬＥＤ内蔵＜ワンコア（ひと粒）タイプ
電源ユニット内蔵、一般光色タイプ
３５００Ｋ、Ｒａ８５、拡散タイプ
光源遮光角３０度、光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）
器具光束：１５７０ｌｍ、電圧：１００－２４２Ｖ
反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）
反射板（下部）：アルミ（ホワイトつや消し仕上）
枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ１００

イ　ＬＥＤ非常照明　Ｋ１－ＬＲＳ１１－２

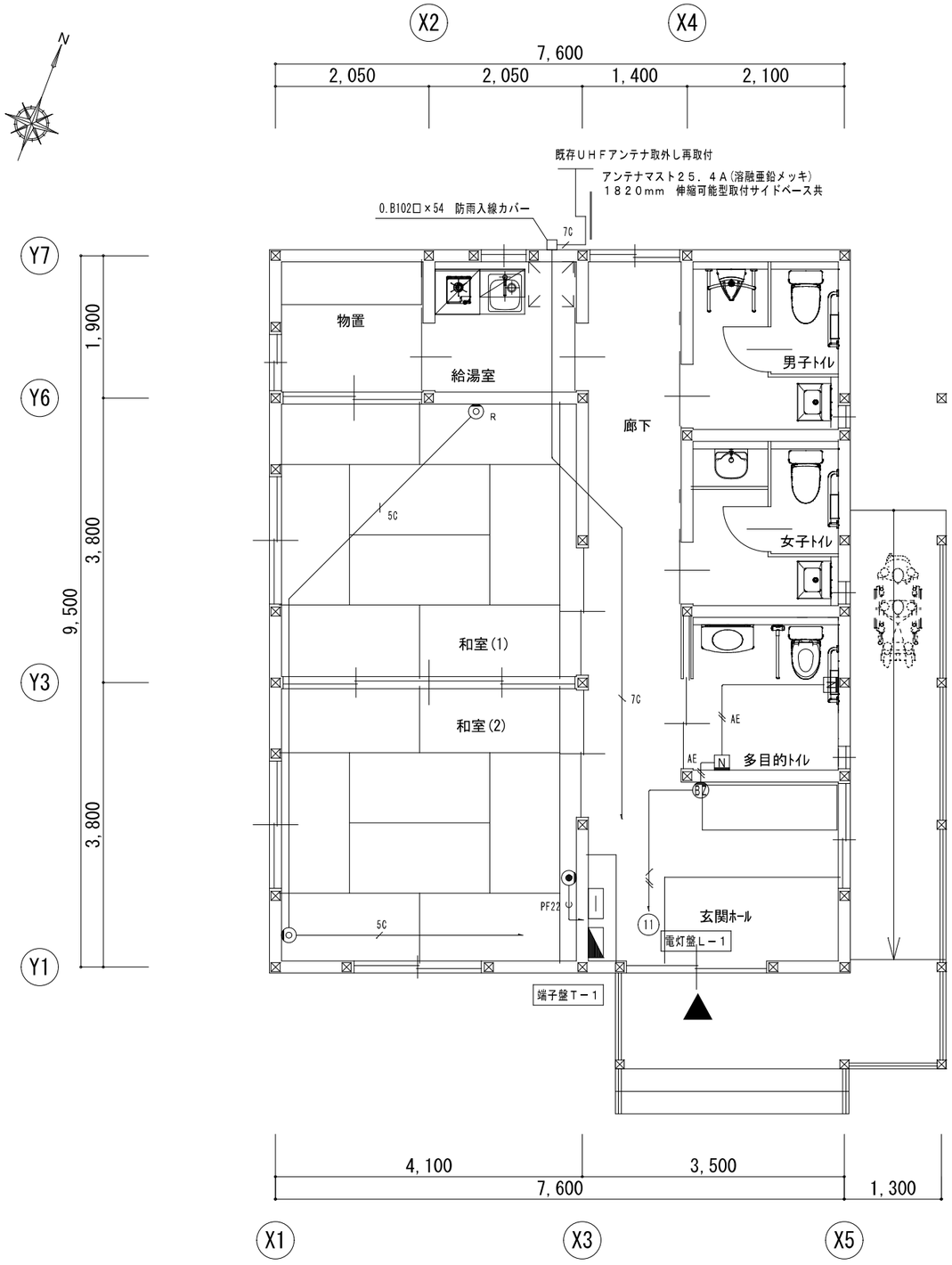


φ１００低天井用（～３ｍ）、３０分間タイプ
ＬＥＤ内蔵、非常時・非常灯用ＬＥＤ点灯／常時消灯
非常灯評定番号：ＬＡＬＥ－００４
レンズ：ガラス、カバー：鋼板（クールホワイトつや消し仕上）
電圧：１００～２４２Ｖ、蓄電池：ニッケル水素電池
点検スイッチ付、自己点検スイッチ付
充電モニタ（緑）付、リモコン：ＦＳＫ９０９１０Ｋ（別売）

器具取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	2.8m	3.0m
単体配置	Ａ１	4.2	4.6	4.7	4.9	4.9
直線配置	Ａ２	9.3	10.2	10.8	11.3	11.9
四角配置	Ａ４	7.4	8.2	8.7	9.1	9.6

※照明器具の消費電力は、ＪＩＳ Ｃ ８１０５－３の測定方法による。

工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16－17　ＴＥＬ 088-883-1030　ＦＡＸ 088-882-4779	高知県知事登録119号 代表取締役 福　家　正　義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村　田　憲　明	
図名 電灯・非常照明・誘導灯設備図	縮　尺 1／50 A2(100%),A3(70.7%) 年　月　日 2026/02 図　面　No. E ― 05	製　図	一級建築士登録第370400号 山　本　優　太	



平面図 S=1:50

凡例

凡 例			
記 号	名 称	備 考	
	電灯盤(Ｌ－１)	別図参照	
	端子盤(Ｔ－１)	〃	
	カバープレート	電話・情報用　Ｏ.Ｂ１０２□×４４	樹脂プレート共
	直列ユニット	ー端子　中間	〃
R	〃	ー端子　端末	〃
87	警報ランプ付ブザー	ＡＣ１００Ｖ	参考品番:ＥＡ５５０１
	埋込押ボタンスイッチ	防沫形　プルスイッチ付　ＤＣ３０Ｖ　常開形	参考品番:ＷＳ６５７７１

注記事項			
図中明記なき配管配線は下記による。			
C PF22	電話・情報	C (ＰＦ２２)	インペイ
5C	ＴＶ共聴	Ｓ５Ｃ－ＦＢ	コロガシ
7C	〃	Ｓ７Ｃ－ＦＢ	〃
AE	トイレ緊急呼出	ＡＥ０．９－２Ｃ	〃
	〃	ＥＥＦ２．０－３Ｃ	〃
AE	インターホン	ＡＥ０．９－２Ｃ	〃
	〃	ＥＥＦ２．０－３Ｃ	〃

工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16－17　ＴＥＬ 088-883-1030　ＦＡＸ 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図名 弱電設備図	縮 尺 1／50 A2(100%),A3(70.7%)	年 月 日 2026/02	図 面 No. E — 06	製 図	一級建築士登録第370400号 山 本 優 太

特　記　仕　様　書　（１）

工事名称　令和8年度　鹿敷生活改善センター改築工事（機械設備）
設計年度（設計図）　令和　8　年度
工事期間（完成図）令和　　年　　月　　日～令和　　年　　月　　日
工事場所　高知県香川郡いの町鹿敷

棟名	構造	階数	延床面積（m²）	用途地域	消防法施行令別表第一の区分
地区集会施設	木造	1 戸数 1	72.2㎡		(1)項ロ

Ⅰ　共通事項

種目	項目	特記仕様（※ 及び ● 印をつけたものを適用する）
一般共通仕様	適用仕様	※ 特記なき事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編 令和７年版)」（改修工事の場合は、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編 令和７年版)」)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編 令和７年版)」による。 ※ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　「工事写真撮影ガイドブック　機械設備工事編」
	スリーブ	※ 国土交通省仕様 （例：外壁の地中部等 水密を要す部分はツバ付鋼管スリーブ等。地中部分で水密を要しない部分はVUスリーブ。柱、梁以外の箇所で、開口補強が不要でスリーブ径200mm以下は紙スリーブでもよい。）
	機器類	○ 国土交通省仕様　● メーカー仕様
	区画貫通処理	※ 区画貫通処理の必要な箇所については、箇所別に設置場所・設置状況が確認できる記録を写真及び図面等で残す。
	耐震措置	※「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成８年度版」（建設大臣官房官庁営繕部監修）によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針」（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修　2014年版）による。 建物の種別：　○ 特定の施設　　● 一般の施設　　地域係数：　１．０ 1)設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。 特記なき場合の設計用標準水平震度は次による。 2)設計用鉛直地震力は設計水平地震力の１／２とする。 重要機器 防災機器 火を使用する機器 タンク類 消火設備機器

設置場所	機器種別	特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階屋上及び塔屋	機器	2．0	1．5	1．5	1．0
	防振機器	2．0	2．0	2．0	1．5
	水槽類	2．0	1．5	1．5	1．0
中層階	機器	1．5	1．0	1．0	0．6
	防振機器	1．5	1．5	1．5	1．0
	水槽類	1．5	1．0	1．0	0．6
地階・1階	機器	1．0	0．6	0．6	0．4
	防振機器	1．0	1．0	1．0	0．6
	水槽類	1．5	1．0	1．0	0．6

	機器の固定	※ 基礎のアンカーボルト・吊り基礎ボルト・吊り金物及び防振を施す機器類の取付けボルトは、ロックナット又は2重ナットにて固定する。 注）ナットに対するボルトの余長は３山以上を標準とする。 ※ 機器の固定に使用する金属系アンカーはスリーブ打込み式または、ウエッジ式とする。(県標準図１６)　※ ケミカルアンカーは、天井方向に使用しない。 ※ 防振架台を設置する場合、耐震ストッパーの調整を製造者の指定どおりに行うこと。
	配管の支持	※ 一般土間コンクリート下部配管は耐蝕性のある吊りボルト（亜鉛ドブ漬又はステンレス製）にてスラブ筋に支持する。 ※ 屋外及びピット内配管の支持金物・吊り金物は亜鉛ドブ漬又はＳＵＳ製とする。屋内外露出部には既製品支持架台は使用しない。 ※ 仕様のとおりに吊り配管等を施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は振れ止めを適宜設ける。
	ねじ接合材	ねじ接合材使用区分表

流体種別	給水				給湯			冷温水			
管材等種別	ｽﾃﾝﾚｽ管	ﾗｲﾆﾝｸﾞ管	水栓金具	弁類	ｽﾃﾝﾚｽ管	ﾗｲﾆﾝｸﾞ管	弁類	ｽﾃﾝﾚｽ管	ﾗｲﾆﾝｸﾞ管	鋼管	弁類
テープシール材			(イ)								
ペーストシール剤	(ロ)	(ハ)		(ロ)	(ロ)	(ハ)	(ロ)	(ロ)	(ハ)	(ハ)	(ロ)

	（テープシール材）	※（イ） テープシール材は、JIS K 6885（シール用四ふっ化エチレン樹脂未焼成テープ(生テープ)）によるものとする。 注）水栓類は、防食シール材を用いない。テープシール材を使用する。
	（ペーストシール剤）	※（ロ） 一般用ペーストシール剤は、管内の流体に溶出せず、使用目的に適する成分のものとする。 ※（ハ） 給水用、給湯用及び冷温水用の防食用ペーストシール剤は、JWWA K 161（水道用ライニング鋼管用液状シール剤）に規定する水道用シール剤とする。 注）水道用シール剤において JWWA K 161 に適合している主なペーストシール剤は下記による。 ステンレス鋼管等防食の必要がないネジ部には水道用シール剤（ロ） （例：日本ヘルメチックス株式会社のヘルメシール 403・株式会社ヘルメチックのHERMETIC F-119・山王工業株式会社のヘルメチック No,A0-9など） ライニング鋼管に使用する防食用ペーストシール剤（ハ） （例：日本ヘルメチックス株式会社のヘルメシール55・88・403・株式会社ヘルメチックのHT-Seal F-109・山王工業株式会社のヘルメチックNo,A0-9など）
	弁類	※ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は呼び径５０以下は青銅製、呼び径６５以上はステンレス製とする。
	サヤ管工法	※ サヤ管工法で施工する場合、サヤ管施工後に配管挿入を行うこと。（同時施工を行わない。）
	埋設深さ（管上）	● 一般敷地３００mm以上　● 車両通路６００mm以上　● 公道８００mm以上　○ 公道１，０００mm以上　○ 公道１，２００mm以上。
	埋設管の保護	● 埋設管は周囲１００mm程度に保護砂を入れる。ただし排水管は別記による。 ○ 量水器以降の埋設給水管はクイックチューブ等で巻く。
	石綿含有品	※ 石綿含有分析調査　○本工事　○別途　○無し アスベスト含有品（ガスケット、パッキン、たわみ継手、保温材、天井材等）は関係法令に従い適切に処理を行う。
	建設発生土の処理	※ 構外搬出 処理場所（　　）所在地（　　）距離（　　）km その他　建設発生土の搬出先は上記を予定している。搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。 ○ 構内指定場所に敷き均し　○ 構内指定場所に堆積
	建設副産物	※ アスファルト、アスファルト路盤は原則として再生品を使用する。 ※ 浄化槽・桝類の砂利地業は原則として再生クラッシャランを使用する。(アスファルト再生品混じりは不可)
	ｺﾝｸﾘｰﾄ工事／骨材	※ 本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したもの優先的に使用するものとする。
	はつり・非破壊検査	※ はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行う。 なお、『コア抜き・はつり工事チェックリスト』を作成し段階確認を行って施工する。
	総合調整	※ 下記項目の総合調整を行い、測定表を監督職員に提出する。（測定場所等は監督職員の指示による。） ○風量調整　○水量調整　○室内外空気の温湿度の測定　○騒音の測定　○室内気流及びじんあいの測定
	技能士の適用	○ 配管施工(配管工事)　○ 熱絶縁施工(保温工事)　○ 建築板金施工(ダクト製作及び取付)　○ 冷凍空気調和機器施工　○ その他
	完成後の提出物	完成図　※ CADデータをCD-Rに保存して提出。　※ 画像データ(PDF形式)　※ Ａ４版黒表紙金文字製本 １部　※ ２ツ折りＡ３版製本 １部 施工図　○ CADデータをCD-Rに保存して提出。　● 画像データ(PDF形式)　○ ２ツ折り製本（サイズは原図による） 工事管理資料(写し)　※ フラットファイル等に閉じたもの。 工事写真　※ フラットファイル等に閉じたもの。 工事日誌　※ フラットファイル等に閉じたもの。 工具類　● マンホールフック　○ 制水弁ハンドル　○ 掃除口ハンドル　○

●室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策

対象建築材料等	使用制限
① 合板，木質フローリング，構造用パネル，集成材，単板積層材，ＭＤＦ，パーティクルボード，ユリア樹脂板，壁紙，緩衝材，断熱材，保温材，仕上げ塗材	Ｆ☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
② 塗料	ホルムアルデヒド，アセトアルデヒド，スチレン，トルエン，キシレン，エチルベンゼンを含有していない水性形のものとする。
③ 木材保存剤(防腐処理、防蟻処理等)	クロルピリホリス，ダイアジノン，フェノブカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
④ 内装用接着剤，木工事用接着剤，配管用接着剤，接合剤	１）ホルムアルデヒド，アセトアルデヒド，スチレン，トルエン，キシレン，エチルベンゼンを含有してないものとする。 ２）フタル酸ジ-n-ブチル，フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。
⑤ 家具，書架，実験台，什器，洗面化粧台，流し台	①，②，③，④の建築材料を使用する場合はＦ☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はＦ☆☆☆又は同等品を使用する。

室内に関わる材料（上記②～④及び建具,シール材,その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ホルムアルデヒド，アセトアルデヒド，スチレン，トルエン，キシレン，エチルベンゼン，フタル酸ジ-ｎ-ブチル，フタル酸ジ-２-ヘエチルヘキシル，クロルピリホリス，ダイアジノン，フェノブカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

配管材料

① 配管用炭素鋼鋼管　【SGP黒管】(JIS G 3452)
② 配管用炭素鋼鋼管　【SGP白管】(JIS G 3452)
③ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管　【SGP-VA】(JWWA K 116･WSP 011)
④ 水道用内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管　【SGP-VD】(JWWA K 116)
⑤ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管　【SGP-PA】(JWWA K 132・WSP 039)
⑥ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管　【SGP-VS】(WSP 041)
⑦ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管　【SGP-HVA】(JWWA K 140)
⑧ 一般配管用ステンレス鋼鋼管　【SUS 304 TPD】(JIS G 3448)
⑨ 配管用ステンレス鋼鋼管　【SUS 304】(JIS G 3459)・・・60A以下は拡管式
⑩ 水道用ダクタイル鋳鉄管　【3種管】(JWWA G 113)
⑪ 銅管　【M】(JIS H 3300)
⑫ 外面被覆銅管　【M】(JIS H 3330)　給湯
⑬ 耐熱性硬質塩化ビニル管　【HTVP】(JIS K 6776)
⑭ 水道用硬質塩化ビニル管　【VWP】(JIS K 6742)
⑮ 耐衝撃性硬質塩化ビニル管　【HIVP】(JIS K 6742)
⑯ 水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管　【RR-VP】(JWWA K 127)
⑰ 水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管　【RR-HIVP】(JWWA K 129)
⑱ 水道用ポリエチレン二層管　(JIS K 6762)
⑲ 水道配水用ポリエチレン管　(JWWA K 144)
⑳ 架橋ポリエチレン管　(JIS K 6769)
㉑ ポリブデン管　(JIS K 6778)
㉒ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管　【D-VA】(WSP 042)
㉓ 排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管　(WSP 032)
㉔ 排水用鋳鉄管　【メカニカル形2種管】(JIS G 5525)
㉕ 鉛管(HASS 203)
㉖ 硬質ポリ塩化ビニル管　【VP】(JIS K 6741)
㉗ 硬質ポリ塩化ビニル管　【VU】(JIS K 6741)
㉘ 排水・通気用耐火二層管　【内管VP】
㉙ 卵形管　【ゴムリング】(JAWAS K-3)
㉚ プレキャスト鉄筋コンクリート製品　(JIS A 5372)　ヒューム管
㉛ 硬質塩化ビニル被覆鋼管【ガス】(JIS G 3452原管) 白
㉜ ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774)
㉝ ガス用ステンレス製フレキシブル管　【原管(JIS G 4305)によりガス用に製造されたもの】
㉞ 断熱材被覆銅管　【ポリエチレン保温材】(JCDA 0009)　冷媒
㉟ 屋外消火栓設備用高性能ポリエチレン管（日本消防設備安全センターの性能認定取得品）
㊱ 空調用保温材付ドレン管【ポリエチレン保温材 NDD・MDP同等】（内管JIS規格品）
㊲
㊳ －
㊴ －
㊵ －

管種使用区分 工種＼場所	屋内一般	屋内ピット	屋内コンクリ	屋内土中	屋外埋設	屋外架空	
給水（直圧）	⑮				⑱	⑧	※床下は保温付 ⑳ でも可とする。
給水（一般）							
汚水	㉖				㉖		※125A以上の地中埋設は ㉗ とする。
雑排水	㉖				㉖		※125A以上の地中埋設は ㉗ とする。
通気	㉖						
ガス	②					㉛	
消火							
給湯	⑧					⑧	
器具接続							
冷温水							
冷却水							
中水							
冷媒							
空調ドレン							

塗装・防食

※ 亜鉛メッキ面の塗装下地は化学処理(エッチングプライマ)を施す。
※ 鋼管類のコンクリート内配管にはプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。
※ 土中埋設する鋳鉄管、鋳鉄異形管(メカ型継手共)及び特殊継手類はポリスリーブ巻きとする。
○ 居室等に露出して使用する配管支持金具類（電気メッキ品）は塗装（さび止めペイント・中塗り・上塗り）を施す。
※ 下記の露出配管、ダクト（ダクト構成部材含む）、電線管、フード類の塗装を行う。
屋外：　○ドレン管（指定色塗装）　○金属電線管（指定色塗装）
屋内：　○ダクト　（指定色塗装）　○金属電線管（指定色塗装）　○フード類（指定色塗装）

保温・防露

工種＼場所	屋内露出	機械室･倉庫	天井･PS内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備考
給水	a_2( )Ⅶ	b( )Ⅶ	c_2(ロ)Ⅶ	d( )Ⅶ	e_3(ハ)Ⅶ	( )	
排水・空調ドレン	a( )Ⅶ	b( )Ⅶ	c_2( )Ⅶ				
給湯	a(ロ)Ⅰ	b( )Ⅰ	c_2(ロ)Ⅰ	d( )Ⅰ	e_2(ロ)Ⅰ		
冷水・冷温水管	A( )Ⅲ	B( )Ⅲ	C_1( )Ⅲ	D( )Ⅲ	E_2( )Ⅲ		
冷媒管	(チ)+スリムダクト	(チ)	(チ)	(チ)	(チ)+(ロ)+(ヌ)		
矩形ダクト	J_1( )XI	I( )XI	I( )XI		K_2( )XI		
スパイラルダクト	O_1( )XI	N( )XI	N(ロ)XI		P_2( )XI		一般換気OAダクトは保温する。 一般換気EAダクトは外壁から2m保温する。

(イ)ロックウール保温材	(ニ)簡易保温筒10mm	(ト)簡易耐熱保温筒20mm	(ヌ)ガルバリウム鋼板
(ロ)グラスウール保温材	(ホ)簡易保温筒20mm	(チ)冷媒用被覆銅管	(ル)カラーガルバリウム鋼板
(ハ)ポリスチレンホーム保温材	(ヘ)簡易耐熱保温筒10mm	(リ)SUSラッキング	(ヲ)ー

● フレキシブルジョイントは配管に準じた保温・ラッキングを施す。
※ 器具類（洗面化粧台・給湯器・温水器等）と接続するステンレスフレキは簡易保温筒にテープ巻きを施すこと。

表示

※ 配管表記
①機械室・ピット・PS内・天井点検口付近には必ず表記する。
②表記内容は、流体・サイズ・系統名とする。
③場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。
※ 設計記号の付いている主要機器には、カッティングシート・ペンキ等にて表記(管理番号・室名・設置年月等)を行う。なお、該当する主要機器を事前確認する。
※ パッケージエアコン等の空調機は、室内外機に表記を行う。(県標準図１３)
※ 水中に設置するような各種主要機器類（水中ポンプ等）は銘板を盤付近にも設ける。（製造者名、製造年月、形番、性能等を順記する。）
※ 屋外に設置するバルブ札は固定するか、表示方法を協議する。
※ バルブBOX内部に系統名・管サイズ・設置年月を書いたアクリル札を入れる。
※ 埋設バルブボックスの蓋の向きは流体の行き先側に蓋の付根を向ける。
※ 排水以外の屋外埋設管には曲・分岐部その他埋設管の位置が確認できるように標示鋲(標示柱は県標準図８)を設ける。
※ 配管の埋戻し時は、GL-200mm程度に埋設表示用アルミテープ(W)を埋設する。(排水・通気管を除く)

発生材の処理

○ 引渡しを要するもの（　　）
○ 現場において再利用を図るもの（　　）
※ 再生資源化を図るもの　・コンクリート塊　・アスファルトコンクリート塊　・建設発生木材　※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。
※ 発生材搬出時の写真記録の方法は特記仕様書(共通編)による。

工事名	(株)ハウジング総合コンサルタント	高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明
令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	高知市南久保16-17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779		

図名	縮尺	年月日	図面No.	製図	
特記仕様書（１）	1／NS A2(100%), A3(70.7%)	2026/02	M ― 01	一級建築士登録第370400号 山本優太	

特　記　仕　様　書　（２）

Ⅱ　工事種目

●衛生器具設備	取付位置	※ 衛生器具及び周辺機器類の取付位置は総合図・展開図等を作成して、確認後に取付けること。 （特に、便器類と手すり・便器類と操作ボタン類・操作ボタン類と手すり等の位置関係に注意）
	大便器	※ 和風大便器下面でコンクリートに接する部分はアスファルト塗布（３mm以上）とする。（県標準図１）
		※ 和風大便器を防火区画に設置する場合、和風便器用耐火カバーを設ける。
	化粧鏡	※ 化粧鏡取付にあたっては落下破損防止のため、裏面シール材等による張付にて取付などの処置を施す。
	流量調整	※ 小便器・大便器等の手動フラッシュ弁流量調整は、下記の流出時間を目安とする。ただし、衛生器具のマニュアル等に記載があれば内容に準ずること。 大便器　8～10秒　　小便器　8～10秒　　自閉式水栓　7秒
	洗濯機パン	※ 洗濯機パンを設置する床面は、耐荷重性と平滑性に注意する。
	シール（コーキング）	● 器具類と壁・床のシール（コーキング）打ちは右記の表による。

機器種別	設置場所の床が湿式(防水) 壁	設置場所の床が湿式(防水) 床	設置場所の床が乾式(非防水) 壁	設置場所の床が乾式(非防水) 床
洋風便器	－	不	－	不
洗面器類	不	－	要	－
掃除流し	不	－	要	不
洗濯流し	不	－	要	不
洗濯パン	－	－	要	不
ステンレス流し台	要	不	要	不
化粧棚	不	－	要	－

壁・床の仕様にかかわらず、自動水栓装置・コンセント・非常呼出しなど電気機器類に水かかりが好ましくない場合はシール打ちを施す。

●給水設備	負担金	○ 不要　● 要（ 13mm：30,000円と20mm：80,000円の差額50,000円（税抜き）　）
	弁類	※ 直圧給水弁は水道事業者の指定品（指定のない場合は、二次側給水に準じた弁）
		※ 二次側給水弁(土中)：40A以下は青銅製で螺ハンドル付き止水栓、50A以上はソフトシール制水弁(内面ライニング)
		※ 二次側給水弁(一般)：40A以下は管端防食ねじ込み形青銅弁5K、50A以上は鋳鉄製Ｆ付き内面ライニング弁5K
	継手類	※ 水栓エルボ、水栓ソケットは器具側砲金内ねじ形とする。
		※ ユニットバス付属の水栓エルボへの接続は砲金継手等を使用し、管端の防錆をする。
		※ ビニル管とライニング鋼管の接続には水栓エルボ・水栓ソケットは使用しない。
		※ ＴＳバルブソケットは金属製（砲金）おすネジを打込しているものを使用する。
	バルブボックス	※ 水道事業者の指定がない場合の埋設弁のボックスは、県標準図５・６による。
	隠蔽部の保温	※ 給水管の細部保温は特記なき場合は下記の通りとする。壁中等で仕様書通りの施工が困難な場合は監督職員の指示により保温を施す。 空間の有る壁中配管　→　要　　流し下の空間配管　→　要
	既設給水鋼管への接続	※ 改修工事等で鋼管類（ライニング鋼管）を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、鋼管類の切断部の防錆処理として、JWWA K 135規格適合品（エポキシ系DEVCON SF等パイプライニング用)にて処置する。ただし、コアー体型管端防食タイプソケットRC-LA型㈱リケンを使用する場合は処理不要とする。）
	水槽類の施工手順	※ 水位設定の協議後に、水位高さ入り施工図を作成し発注・施工を行う。なお、県標準図４を参考とし水位高さを協議する。
	水槽類の衛生管理	※ 受水槽・高架水槽を新設（改修等含む）施工する場合は、清掃・消毒等後に水張りを行う。
	引渡前の水質の管理	○ 残留塩素濃度の測定を行う。（端末においてO.2mg/L以上検出されるまで消毒を行う。）
		○ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく水質検査（11項目）について行うこと。採水場所は指定の箇所で（　　ヶ所）とする。

●排水設備	保護砂　砂利	● 第１桝以降の屋外ビニル管部分には、保護砂（１８０度台）を要す。
		○ 遠心力鉄筋コンクリート管部分には砂利台を要す。
	樹脂製排水桝	※ 防護蓋を設置する場合は県標準図７による。
	衛生器具等の接続	● 洗面器等の排水金具と専用の排水アダプタでビニル管に接続できない場合、VCパッキンを使用する。
		※ 既製流しの排水金具に使用しているジャバラホースはそのまま使用せず、VP配管直結（VCパッキンでも可）とする。県標準図５による。
		○ 雨水立管の下部受部は差込継手を使用する。（但し平屋建は不要とする。）
	排水管の防露	※ 空間のある壁中配管・集合住宅等のスラブ上配管・受水槽他水槽からドレンバルブまで→必要　　流し台下空間配管・実験台等への立ち上がり露出配管→不要
	排水管の試験等	○ 満水試験　● 通水試験　○ 鏡確認
	その他	※ 洗濯機排水金物の床貫通部等は共住区画に適合する処理を施す。

○消火設備	消火栓箱	○ 消火栓箱は(○ 県標準図１２ ○ 国土交通省仕様 ○メーカー仕様)
		○ 共住区画の消防検査受検必要

●給湯設備	弁類	● 40A以下は青銅弁5K、50A以上は一般配管用ステンレス鋼弁10K
	絶縁対策	※ 銅管及びステンレス配管は支持金物との絶縁処理を行う。
		※ 鋼板製ボイラー及び鋼管との接続等、異種管との接続には絶縁継手を使用する。
	給湯管の保温	※ 給湯配管に簡易保温筒（クイックチューブ）を使用する場合は耐熱性のものを使用する。
		※ 被覆銅管の継手カバーは保温付きのものを使用する。
		※ 給湯器の配管化粧カバー内は凍結破損防止を考慮した保温（簡易保温筒）施工を行う。
	大気汚染対策	○ 排ガス監視装置を要す。　○ ばい煙濃度測定口を要す。

●ガス設備	ガス集合装置	※ ガス集合装置は県標準図９・１０・１１を参照し、漏洩検知装置・耐震遮断装置・転倒防止金具等の必要有無に注意する。
	給湯器用止水弁	※ スプリングチャッキ内蔵ボール弁を使用する。
	その他	※ ガス用フレキ管とガスコック等（ヒューズコック）との接続は、コック等の固定が出来る部材等を使用して接続する。
		※ ゴムホース接続なきコックはゴムキャップを付ける。
		※ ボンベ支持クサリ用のアンカーボルトは、10mm以上のもので、下記のいずれかとする。
		※ 埋込アンカー・雄ネジ形メカニカルアンカー・接着系アンカー（ケミカルアンカー）なお、チェーン、フックも同様の強度を持つものとする。
		※ 自記記録計によるガス圧テスト表の写しを県に提出し、正本は施工業者で５年間保存する。

○浄化槽設備	種汚泥	※ 使用開始時には必要に応じて種汚泥を投入する。
	試運転調整	※ 浄化槽の使用開始後おおむね３ヶ月間の試運転調整を行うもので、浄化槽法による「保守点検及び清掃等」を行うほか下記の事項を言う。 1 維持管理を管理業者に引継ぐ場合は直前に水質検査(ＢＯＤ，ＳＳ，ＰＨ，大腸菌，塩素イオン)を行い、そのコピーを維持管理業者、施設管理者、工事監督者に渡し、設計・施工・現況の注意事項を申し送ること。
		※ 見やすい場所に型式、施工者名、設置年月、処理能力、放流水質を記入した銘板を設置する。
	その他	※ コンクリート頂版スラブを施工する場合、モルタルの浮き上がり、及び、水たまりが出来ないように仕上げ勾配に注意する。
		○ 補助金申請設備

●空気調和・換気設備	空調機器の仕様	※ グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成十二年法律第百号)）の判断基準適合品とする。 なお、パッケージ及びマルチエアコン等については、各メーカーの最高効率機種とする。
		○ 屋外機はJRA耐重塩害仕様とする。　○ 屋外機は耐塩害仕様とする。
	パッケージエアコン等	※ パッケージエアコン屋内機の施工については県標準図１３を参考にして注意する。
		○ 天カセ形室内機の取付等による天井の開口及び補強・補修を行う。（建築工事標準詳細図参照） １）補強野縁は野縁と、補強野縁受及び取付け用補強材は野縁受と同材とする。 ２）野縁受のはね出しが300mm以上の場合は、増し吊りを設ける。
		※ 室外機には設置場所を問わず、溶融亜鉛メッキ製またはSUS製の転倒防止金具もしくは転倒防止ワイヤーを設ける。
	自動空気抜き弁装置	○ 不要　○ 要（　　）ヶ所　自動空気抜き弁にはＧＶ及びストレーナーを取付ける。
	冷媒配管のラッキング	※ 配管ラッキング（溶融アルミニウム一亜鉛鉄板・配管化粧カバー）は室外機の直近まで施す。
		※ 配管樹脂化粧カバー(スリムダクト)も室外機の直近まで施す。なお、屋外スリムダクト最終部は閉塞処理を行う。(コーキング処理、またはエンドキャップ処理) (フリーコーナー(ジャバラ)は使用しない。)
	ダクト	○ アルミフレキ（不燃材料認定品）　○ ステンレスフレキ（不燃材料認定品）● スパイラルダクト
	消音内貼り	※ 内貼りチャンバの寸法表示は、外法寸法とすること。サプライチャンバにはその上に銅きっ甲金網押えを行う。
		※ 消音材はグラスウール(吹出口チャンバー・吸込口チャンバー・レターンチャンバーは25mm厚,サプライチャンバーは50mm厚)とし、ガラスクロス押えとする。
	厨房等の排気フード	※ 排気フードは、SUS430製とする。（1.0mm厚）
		※ フィルターは分解掃除が出来るものにする。
		※ 黄銅製コックは20mmのものとする。（キャップ止でもよい）
		※ 火器使用機器が確定後にフードの形状寸法を変更して、投影面積が変わる場合はフードの面風速もチェックする。 (参考：フードの面風速は一般的に0.3m/sとして設計している。)
	送風機（大型）	※ 送風機の機器表にファンの番手（#）を明記している場合、小さい番手にしない。
	エアコン類の電気工事	※ エアコン設置に必要な一次側電源送り以降の、室内外渡り電源線、制御線、アース(CE2sq/4C・CE3.5sq/4C程度）を要す。
		※ ﾘﾓｺﾝ線はEM-AE0.9mm/2C～3C、又はVCTF0.75sq/2C～3Cとする。（但し延長が10m以下のﾘﾓｺﾝ線は機器付属品でもよい。）
		※ 室内外の渡り配線で、冷媒配管と同じルートを施工する場所は同保温外装内に納める。（電源・制御配線の最低離隔距離は機器メーカーの基準に準ずる。）
		※ 表示窓の付いたリモコンの取付場所は視認性の良い高さ（1,300～1500h）照明ＳＷの上を標準とするが、総合図で充分打合せ調整を行う。
	防振ハンガー	※ 防振ハンガーの設置判断基準は県標準図１４による。
	耐震対策措置	※ 震災後の設備機能確保を図る実務的設備耐震対策措置は県標準図１５による。
	機器付属の制御盤	※ 冷温水発生機、ボイラ及び温風暖房機の盤の始動スイッチの二次側に煤煙濃度計用電源端子を設ける。
	大気汚染対策	○ 排ガス監視装置を要す。　○ ばい煙濃度測定口を要す。

●別工途工事	別途工事	○ スリーブ、箱入れの補強筋	○ ガラリ	○ 点検口	○
		● 天井および壁貫通に対する下地補強	○ プロパンボンベ庫	○	○

Ⅲ　材料メーカー表

材料	材料メーカー
衛生陶器	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業
水栓金具類	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業、三栄水栓
ＦＲＰ水槽	三菱、日立、積水
うず巻ポンプ	荏原、日立、ﾃﾗﾙ、川本
水中モーターポンプ	荏原、日立、ﾃﾗﾙ、川本、鶴見
汚水・汚物ポンプ	荏原、日立、ﾃﾗﾙ、川本、鶴見、新明和
電気温水器	四変テック、ユパック、日本電熱、東芝、パナソニック、三菱、日立
厨房機器	日本調理、フジマック、北沢、ホシザキ四国、タニコー、マルゼン
小型鋼板ボイラー	巴、昭和、愛知、ネポン、ヒラカワ
ＦＲＰ膨張タンク	日立化成、三菱樹脂、ホーコス
ルームエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
パッケージエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
冷温水発生機	矢崎、日立、荏原、川重、三菱重工、パナソニック
エアハンドリングユニット	新晃、ダイキン、三菱、昭和、日立、木村、東芝キャリア、三菱重工
送風機	日立、テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミツヤ、旭電業
冷却塔	矢崎、日立、荏原シンワ、空研、日本スピンドル
自動制御機器	アズビル、ジョンソンコントロールズ
ロールフィルター	日本スピンドル、東洋空気調和、日本エアフィルタ
全熱交換形換気扇	三菱、パナソニック、テラル、東芝、日立、ダイキン
その他	国土交通省仕様適合品

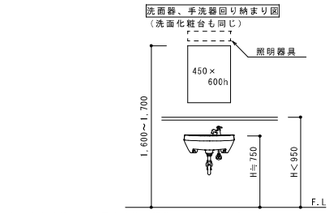
完成後必要な取扱資格者		
	ボイラ	○ 資格不要　○ 特別教育修了者（小型ボイラ）　○ 講習修了者　○（　）級ボイラ技士
	危険物	○ 資格不要　○ 危険物取扱主任者
	冷凍機	○ 資格不要　○ 第（　　）種冷凍機械作業主任者

	官公庁等	打合せ事項	確認日
給水			令和　年　月　日
排水			令和　年　月　日
消防			令和　年　月　日
浄化槽			令和　年　月　日
ガス			令和　年　月　日
その他			令和　年　月　日
			令和　年　月　日

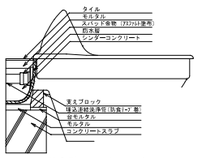
工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16－17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 特記仕様書（２）	縮尺 1／NS A2(100%),A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. M ― 02	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太

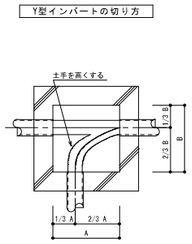
県標準図 1　洗面器廻り・インパート桝・和風大便器据付

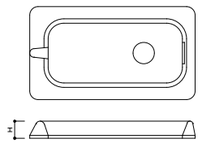
作図　令和 2年 6月



※面台の高さは鏡取付位置を建築と調整して、施工すること。
※女性利用の鏡の高さは男性利用高さより100mm程度低く取り付ける。
※車椅子利用者が想定される場合は（県標準図３）を参照する。



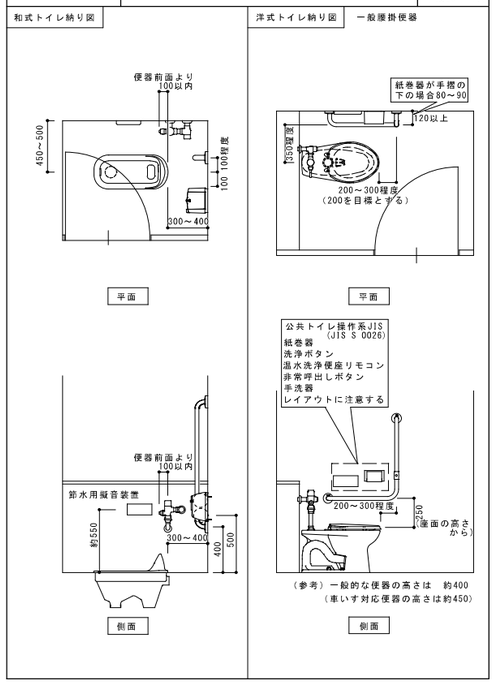




（イ）支えブロックはセメントモルタル製とし、必要に応じ鉄筋を入れる。
（ロ）Hは、仕上げ床高に応じ定める。。
（ハ）支えブロックの形状、寸法は便器に適合したものとする。

県標準図 2　大便器廻り納まり図

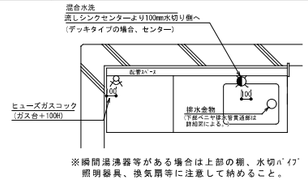
作図　平成28年 7月



（参考）一般的な便器の高さは　約400
（車いす対応便器の高さは約450）

県標準図５　流し廻り・水栓柱・止水栓ボックス

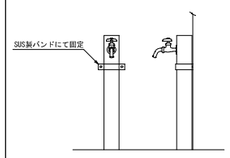
作図　平成30年 6月



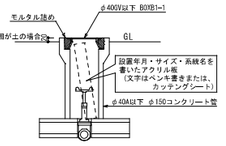
※瞬間湯沸器等がある場合は上部の棚、水切ﾊﾟｲﾌﾟ
照明器具、換気扇等に注意して納めること。

流し部分平面図

流し下開口補修方法詳細図
（穴があきすぎた場合の補修方法）



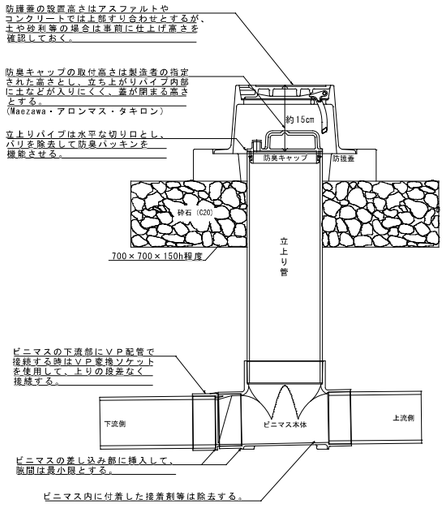
水栓柱の固定方法（後が壁の場合）



バルブBOX（φ40A以下の場合）

県標準図　7　樹脂製インパート桝（ビニマス）・防護蓋

製作　平成28年 8月

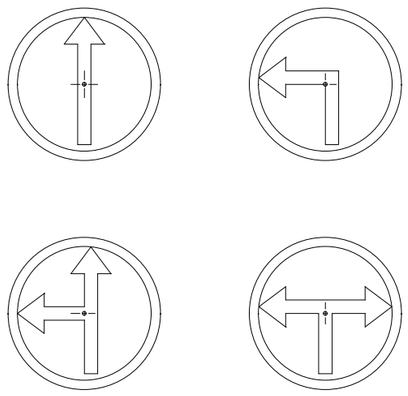


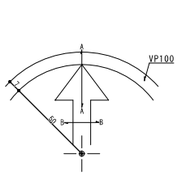
※ ビニマス周囲の保護砂は管上100まで埋め戻す。

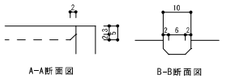
樹脂製インパート桝の施工におけるまな注意点

県標準図　8　コンクリート標示柱

作図　平成28年 6月





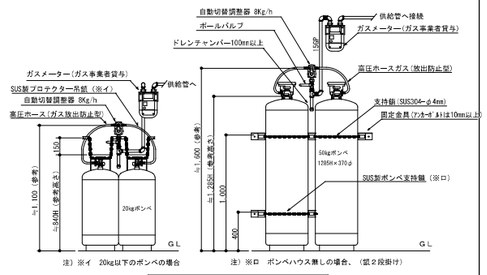


矢印及び溝部は指定色	（マンセル値）
給水管	10B 5/10
消火管	7.5R 4/14
ガス管	7.5Y 9/12
オイル管	

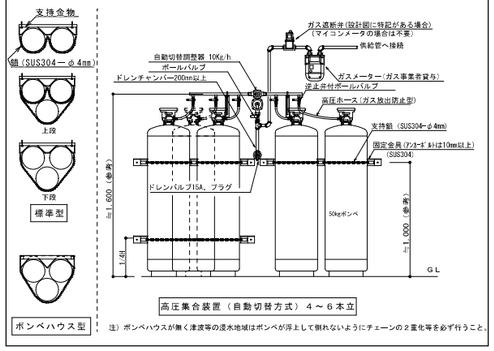
県標準図　9　プロパンガス集合装置（２～６本立）転倒防止金具

作図　令和 2年 6月

※ 使用材料等は規格に合ったものとする。



高圧集合装置（自動切替方式）２本立



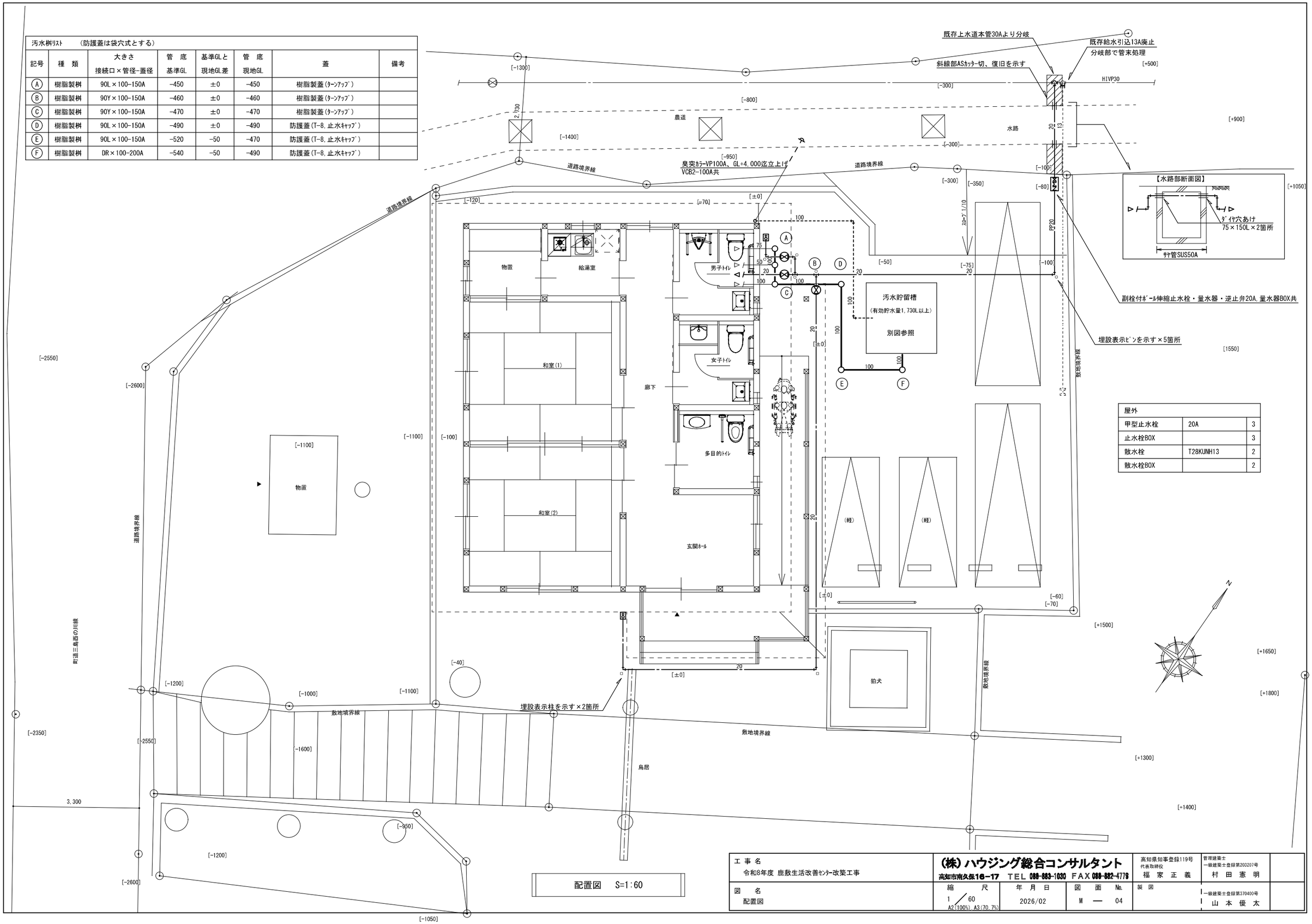
高圧集合装置（自動切替方式）４～６本立

注）ボンベハウスが無く津波等の浸水地域はボンベが浮上して倒れないようにチェーンの２重化等をめず行うこと。

工事名	(株) ハウジング総合コンサルタント	高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明
令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	高知市南久保16-17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779		

図名	縮尺	年月日	図面No.	製図	
特記仕様書（３）	1／NS A2(100%), A3(70.7%)	2026/02	M — 03		一級建築士登録第370400号 山本優太

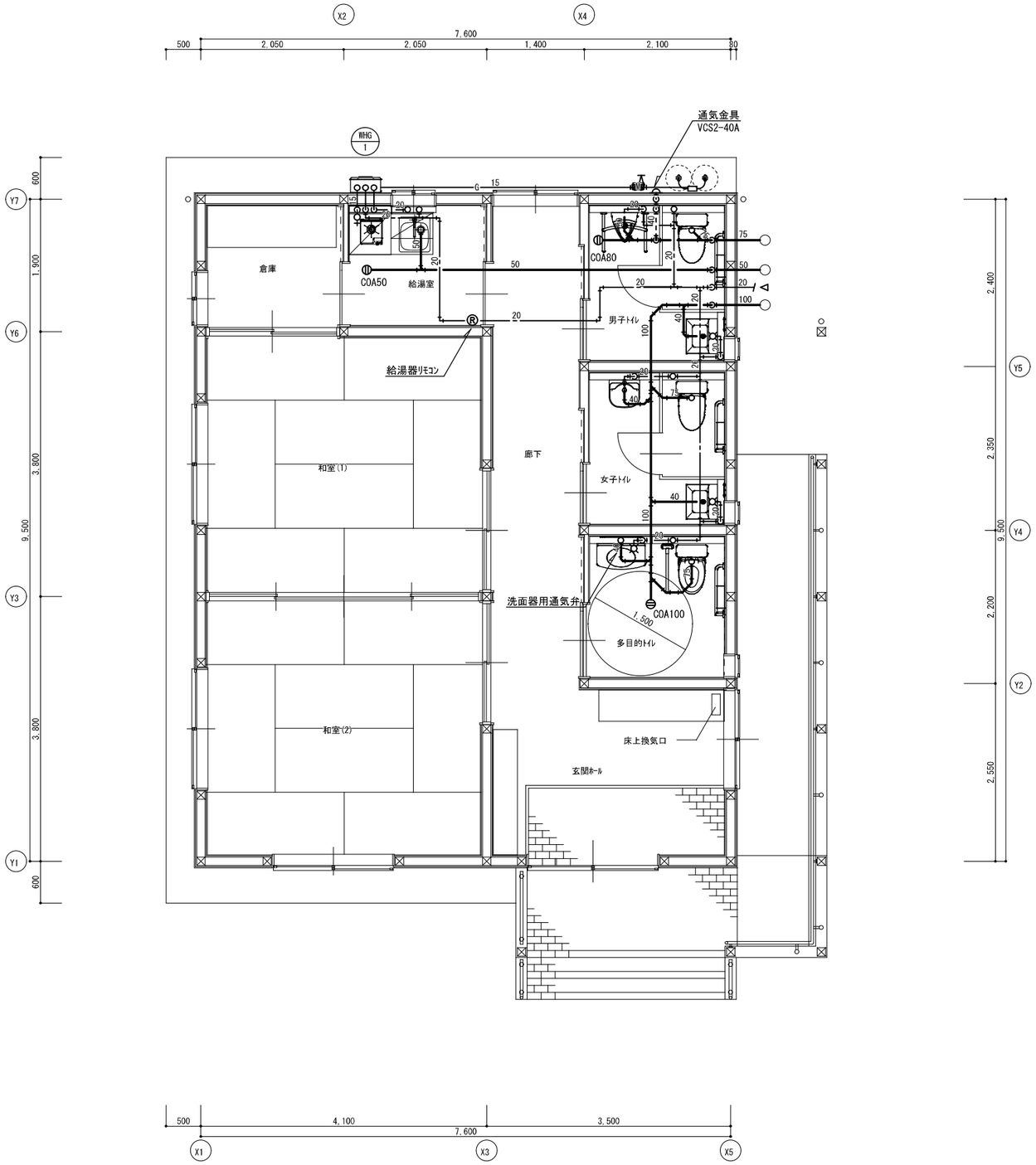
汚水桝ﾘｽﾄ　（防護蓋は袋穴式とする）							
記号	種　類	大きさ 接続口×管径-蓋径	管　底 基準GL	基準GLと 現地GL差	管　底 現地GL	蓋	備考
Ⓐ	樹脂製桝	90L×100-150A	-450	±0	-450	樹脂製蓋(ﾀｰﾝｱｯﾌﾟ)	
Ⓑ	樹脂製桝	90Y×100-150A	-460	±0	-460	樹脂製蓋(ﾀｰﾝｱｯﾌﾟ)	
Ⓒ	樹脂製桝	90Y×100-150A	-470	±0	-470	樹脂製蓋(ﾀｰﾝｱｯﾌﾟ)	
Ⓓ	樹脂製桝	90L×100-150A	-490	±0	-490	防護蓋(T-8,止水ｷｬｯﾌﾟ)	
Ⓔ	樹脂製桝	90L×100-150A	-520	-50	-470	防護蓋(T-8,止水ｷｬｯﾌﾟ)	
Ⓕ	樹脂製桝	DR×100-200A	-540	-50	-490	防護蓋(T-8,止水ｷｬｯﾌﾟ)	



屋外		
甲型止水栓	20A	3
止水栓BOX		3
散水栓	T28KUNH13	2
散水栓BOX		2

配置図　S=1:60

工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779	高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 配置図	縮尺 1/60 A2(100%),A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. M — 04	製図 一級建築士登録第370400号 山本優太



平面詳細図 S=1:50

男子ﾄｲﾚ		
大便器(蓋あり)	CS597BS	1
小便器(自動洗浄)	UFS900R	1
洗面器(自動水栓)	LSG722AAPNW	1
鏡	YMK11K3	1
紙巻器	YH702	1
L型手すり	T112CL10	1
小便器用手すり	T112CU22	1
床上掃除口	COA80	1

女子ﾄｲﾚ		
大便器(蓋あり)	CS597BS	1
洗面器(自動水栓)	LSG722AAPNW	1
ﾏﾙｼﾝｸ	SK500	1
鏡	YMK11K3	1
紙巻器	YH702	1
L型手すり	T112CL10	1

多目的ﾄｲﾚ		
大便器(蓋なし)	CS597BS	1
洗面器(自動水栓)	L270C	1
鏡	YM6090F	1
紙巻器	YH702	1
L型手すり	T112CL10	1
はね上げ手すり	T112HK7R	1
床上掃除口	COA100	1
洗面器用通気弁		1

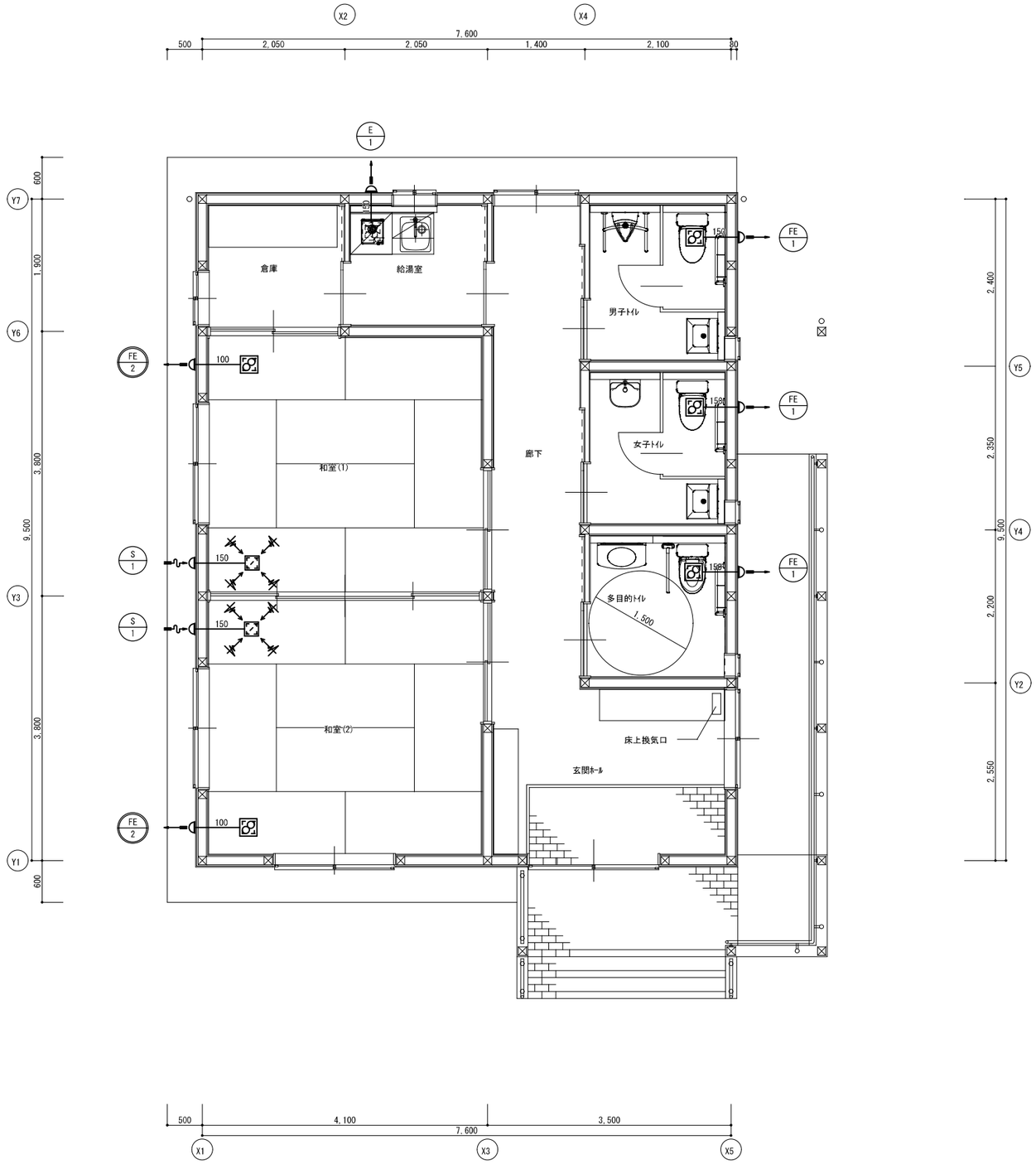
衛生器具 付属品ﾘｽﾄ（品番は参考とし、同等品以上とする）		
大便器(ﾛｰﾀﾝｸ) 普通便座（蓋なし）	CS597BS	SH596BAR TC291J
大便器(ﾛｰﾀﾝｸ) 普通便座（蓋あり）	CS597BS	SH596BAR TC301
ﾏﾙﾁｼﾝｸ	SK500	T200SNR13C TL220D, T6PMR
洗面器（自動水栓）	L270C	TLE28SS1A TLDP2105JA TL220D
L型手すり	T112CL10	T110D16×2, T110D34×1
はね上げ手すり	T112HK7R	T110D25
小便器用手すり	T112CU22	T110D15×4

給湯室		
床上掃除口	COA50	1
ﾋｭｰｽﾞｺｯｸ	単口	1

LPG集合装置	
50kg×2本立て　集合装置　GC15A　SUSﾌﾚｷ15A×300L	1
SUS製ｸｻﾘ×2本　ﾏｲｺﾝｶﾞｽﾒｰﾀｰは供給業者貸与	

WHG-1 ｶﾞｽ給湯器（給湯専用）	
16号屋外壁掛け型　配管ｶﾊﾞｰ　ﾘﾓｺﾝ　ﾘﾓｺﾝｺｰﾄﾞ(5m)	1
逆止弁付BAV15A　SUS製ﾌﾚｷ15A×300L×2	
可とう管ｺｯｸ15A　可とう管金属ﾌﾚｷ15A×300L	
水撃防止装置15A　ﾘﾓｺﾝ配線・取付本工事	

工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第202207号 村田憲明	
図名 衛生平面図	縮尺 1/50 A2(100%), A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. M — 05	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太



平面詳細図 S=1:50

換気機器リスト

消費電力値は近似値で可とする。

記号	機器名称	機器仕様	電源 相 φ	電源 電圧 V	消費電力 W	台	
FE-1	天井換気扇　低騒音形	風量130m3/h　静圧5Pa時　ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾀｲﾌﾟ　ﾀﾞｸﾄ径150φ　天吊金具	1	100	30	3	男子ﾄｲﾚ、女子ﾄｲﾚ
		SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ150φ					多目的ﾄｲﾚ
FE-2	天井換気扇　DCﾓｰﾀｰ	風量強180m3/h　静圧40Pa時　弱20m3/h　ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾀｲﾌﾟ　ﾀﾞｸﾄ径100φ	1	100	6	2	和室(1)、和室(2)
	(24時間換気)	天吊金具　SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ100φ　24HRｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ(強弱)					
E-1	ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞﾌｧﾝ(別途建築工事)	SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ150φ				1	給湯室
S-1	給気ｸﾞﾘﾙ	樹脂製　ﾌｨﾙﾀｰ付風量調節全閉可能ﾀｲﾌﾟ　ﾀﾞｸﾄ径150φ				2	和室(1)、和室(2)
		SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ150φ					

24時間換気計算（換気扇は計算による必要排気量以上を確保する事）

室名	床面積 ㎡	平均天井高m	容積 m3	換気種別	必要換気回数	必要排気量 m3/h	実排気量 m3/h	実質換気回数	適用換気扇
和室（1）	15.58	2.60	40.508	三　種	0.3	12.15	20	0.49	FE-2
和室（2）	15.58	2.60	40.508	三　種	0.3	12.15	20	0.49	FE-2

工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16−17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779	高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田 憲明	
図名 換気平面図	縮尺 1／50 A2(100%), A3(70.7%)　年月日 2026/02　図面No. M — 06	製図	一級建築士登録第370400号 山本 優太	

有効容量	m^3
貯留槽	１．７５８

スラブ荷重は、Ｔ－６とする。

チェッカープレートは、防臭型ロック式及び溶融亜鉛メッキ仕上げとする。

臭突工事は、処理槽工事外とする。

臭突横引き配管は、上り勾配施工とする。

流入・放流配管は、処理槽工事外とする。

本図は、かさ上げ材Ｈ＝５０mmを設置した図面となります。

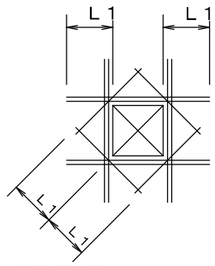
共通事項

凡　例	・－－－－Ｄ１０　x　－－－－Ｄ１３　o　－－－－Ｄ１６
鉄　筋	ＳＤ－２９５ 使用とする。
コンクリート	Ｆｃ＝２１　Ｎ／mm ^{2}とする。
スラブ荷重	Ｔ－６
地　耐　力	４０ｋＮ／m^{2}とする。
そ　の　他	詳細は現場係員の指示による。

スラブリスト

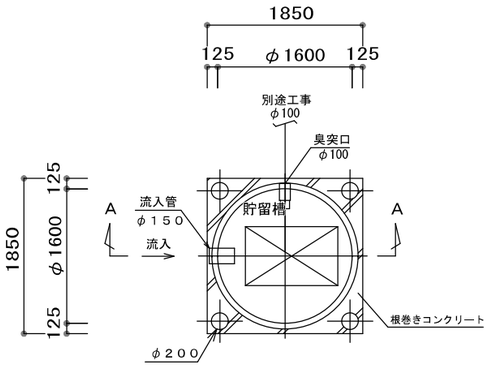
スラブ	スラブ厚	位置	主　筋	副　筋	備　考
Ｓ１	２００	全断面	Ｄ１３－２００@	Ｄ１３－２００@	ダブル
ＦＳ１	２００	全断面	Ｄ１３－２００@	Ｄ１３－２００@	ダブル

スラブ筋等の重ねつぎて長さは小径の４０ｄ以上とする。

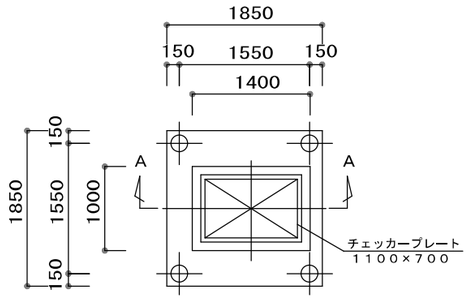


開口部補強筋　４－Ｄ１３
斜め筋　２－Ｄ１３
定着長さ　Ｌ１＝４０ｄ

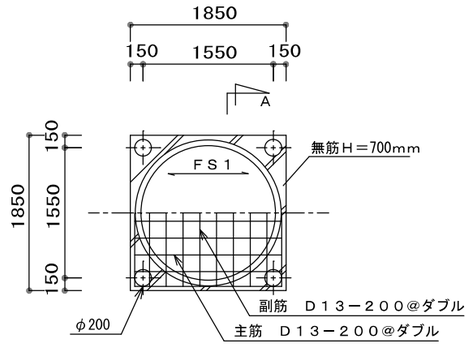
開口部補強筋



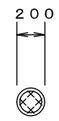
平　面　図　　Ｓ＝１／５０



頂版開口図　　Ｓ＝１／５０

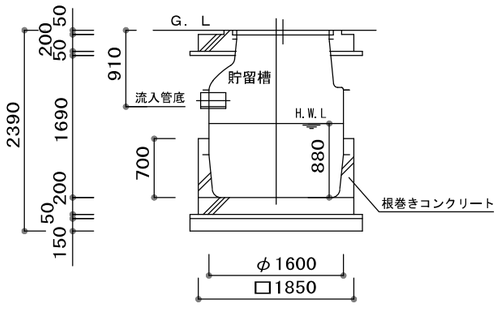


基礎スラブ配筋図　　Ｓ＝１／５０　　主筋方向

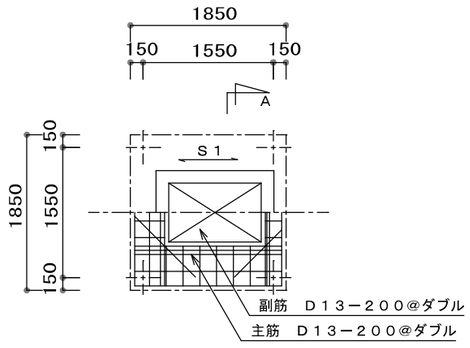


主筋　４－Ｄ１３
帯筋　Ｄ１３@１００

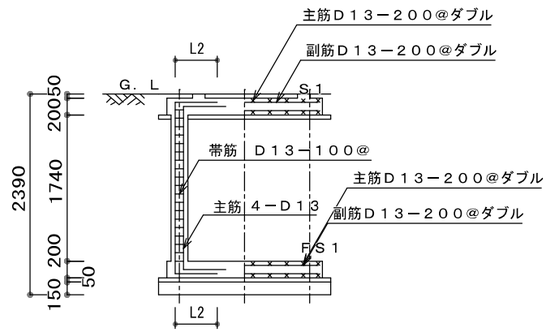
柱配筋詳細図　　Ｓ＝１／３０



Ａ－Ａ断面図　　Ｓ＝１／５０



頂版スラブ配筋図　　Ｓ＝１／５０　　主筋方向



定着長さ　Ｌ２＝３５ｄ

Ａ—Ａ断面配筋図　　Ｓ＝１／５０

工事名	(株) ハウジング総合コンサルタント	高知県知事登録119号 代表取締役	管理建築士 一級建築士登録第203207号	
令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	高知市南久保16－17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779	福　家　正　義	村　田　憲　明	
図　名	縮　尺	年　月　日	図　面　No.	製　図
排水貯留槽参考図	1／30 A2(100%) A3(70.7%)	2026/02	M — 07	一級建築士登録第370400号 山　本　優　太

特記仕様書（解体工事編）

令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事　　工事

Ⅰ 工 事 概 要

1. 工 事 内 容　集会場の解体工事
2. 工 事 場 所　（都市計画区域　内・外）
3. 敷 地 面 積　㎡
4. 構 造・規 模　階
5. 建 築 面 積　㎡　　延 床 面 積　142.56 ㎡
6. 主 要 用 途

Ⅱ 建 築 工 事 仕 様

1．共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、「建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）・同解説」（以下、「解体共通仕様書」という。）により、解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。

(2) 電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、それぞれの工事仕様書を適用する。

2．特記仕様

(1) 項目は○印のついたものを適用する。

(2) 特記事項は ⊙ 印のついたものを適用する。
　⊙ 印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
　⊙ 印と ⊗ 印のついた場合は共に適用する。

(3) 特記事項に記載の［　］内表示番号は、解体共通仕様書の当該項目を示す。

(4) 特記事項に記載の（　）内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目を示す。

(5) 特記事項に記載の＜　＞内表示番号は、標準仕様書の当該項目を示す。

(6) ［G］印は、「国等による環境物品等の調達に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目を示す。

章		項目	特記事項	
1 一般共通事項	⊙	適用基準等	※ 建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事等編） ※ 建設副産物適正処理推進要綱 ※ 建築材料等評価名簿　国土交通大臣官房官庁営繕部監修 ※ 工事写真撮影ガイドブック　建築工事編及び解体工事編　国土交通大臣官房官庁営繕部監修	
	⊙	電気保安技術者	⊙ 適用する　・ 適用しない	[1.3.3]
	⊙	施工条件	施工時間帯　※ 指定なし　⊙ 指定有り（　　） 部位別の施工順序　※ 指定なし　・ 指定有り（　　）	[1.3.5]
	⊙	発生材の処理	・ 引き渡しを要するもの（　　） ・ 現場において再利用を図るもの（　　） ⊙ 再生資源化を図るもの（⊙ コンクリート塊　・ アスファルトコンクリート塊　⊙ 建設発生木材） ＊廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。	[1.3.10]
	・	施工数量調査	調査項目（　　） 調査範囲及び方法　＊ 図示　・（　　）	[1.5.2]
	⊙	技能士	工事種目：仮設工事／技能検定職種：とび／技能検定作業：⊙とび作業	[1.6.2]
	⊙	工事写真・完成写真	※ 下記のものを監督職員に提出する。工事写真については、隠ぺいとなる部分は 全て写すこと。 区分：着工前及び工事中／分類規格：カラー ※ サービス版／撮影枚数：工程毎／部数：1 部 区分：完成時／カラー ※ キャビネ版／枚／部 カラー ・ 全紙版(アルミ額縁入)／枚／部 ・／枚／部 デジタル写真も可とし、その仕様も含め 1 適用基準等の工事写真撮影ガイドブックを参照すること。 ※ 上記の他、着手前及び完成写真内外６面程度(カラーサービス版)、及びその画像ﾃﾞｰﾀ(JPEG形式で200万画素程度)を完成検査時に1部提出する。 ※電子納品とする場合は、「高知県電子納品運用に関するガイドライン工事編」により、予め監督職員と協議を行う。	
2 仮設工事	⊙	騒音・粉じん等の対策	騒音・粉じん等の対策　※防音パネル　⊙防音シート 設置範囲及び高さ　※図示 ⊙アスベスト処理は安全衛生設備基準による	[2.2.1]
	⊙	足場等	「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準）における２の (2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場　・ 設置する（設置範囲　・ 図示　・　）　・ 設置しない 防護シート　・ 設置する（設置範囲　※ 図示　・　）　・ 設置しない 内部足場　・ 設置する（ ※脚立、足場板等　・　）　・ 設置しない 材料、搬去材等の運搬方法 種別（ ・A種　※B種　・C種　・D種　・E種 ）	[2.2.2](2.2.1)(表2.2.1)
	⊙	監督職員事務所	※ 設けない	[2.3.1]
	⊙	工事用水	構内既存の施設　※ 利用できる（ ※ 有償　・ 無償）　⊙ 利用できない	
	⊙	工事用電力	構内既存の施設　※ 利用できる（ ※ 有償　・ 無償）　⊙ 利用できない	
3 解体施工	・	事前措置（洗浄等）	・ 浄化槽、排水槽等の汚水、汚物等　・ 廃油	[3.2.1]
	・	杭	杭の解体　・ 行う（図示）　・ 行わない 杭の解体方法　・ 引抜き工法　・ 破砕工法	[3.9.2]
	・	工作物	さく、照明設備等の解体　・ 行う（図示）　・ 行わない	[3.10.1]
	・	樹木等	樹木の伐採伐根及び移植　・ 行う（図示）　・ 行わない	[3.11.1]
	⊙	地下埋設物及び埋設配管	地下埋設物・埋設配管の解体　⊙ 行う（図示）　・ 行わない	[3.12.1]
	・	整地	解体後の埋戻し及び盛土　・ 行う 整地高さ　・ 現状GL　・ 図示 埋戻し及び盛土の材料 ・ A種　・ B種　・ C種　・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土または土工用水砕スラグ［G］　・ 行わない	[3.13.1]
4 建設廃棄物の処理	・	再資源化等	建設廃棄物等の中間処理及び再資源化　・ 図示　・（　　） 木材を指定建設資材廃棄物として縮減する場合　・ 図示　・（　　） 現場利用する再資源化された建設廃棄物　・ 図示　・（　　）	[4.4.1]
	・	産業廃棄物広域認定制度	種類／所在地等	[4.4.2]
	⊙	最終処分する建設廃棄物	最終処分する建設廃棄物及び最終処分場　・ 図示　⊙（ ｴｺｻｲｸﾙ高知 ）	[4.4.3]
	⊙	処理に注意を要する建設廃棄物	処理に注意を要する建設廃棄物の処理　・ 図示　⊙（ ｱｽﾍﾞｽﾄ含有材 ）	[4.5.1]
5 特別管理産業廃棄物の処理	・	施工計画調査	分析調査　調査項目（　　） ・ 行う　・ 行わない	[5.1.2]
	・	特別管理産業廃棄物の処理等	・ PCBを含む機器類の処理 微量PCBの分析調査　・ 行う　・ 行わない ・ PCB含有シーリング材の処理 - 第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。 採取箇所数　計　箇所 採取場所　※図示 - 第二次判定 専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。 分析箇所数　計　箇所 - 除去処理工事 除去範囲　※図示 - 廃油 ※解体共通仕様書5.3.1による ・ 廃酸・廃アルカリ ※解体共通仕様書5.3.1による ・ ダイオキシン類 サンプリング調査　・ 行う　・ 行わない 解体方法及び処分方法　・ 図示　・ 行わない	[5.4.1]
6 石綿含有建材の除去等	⊙	石綿含有分析調査	調査 ⊗ 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 貸与資料 （ アスベスト含有調査報告書　） ⊙ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法 材料名／定性分析（JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2）／定量分析（JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4） ﾊﾞｰﾗｲﾄ板／⊙ 箇所数（ 1 ）／・ 箇所数（　） ﾀﾞｸﾄﾊﾞｯｷﾝ／⊙ 箇所数（ 1 ）／・ 箇所数（　） ／・ 箇所数（　）／・ 箇所数（　） ／・ 箇所数（　）／・ 箇所数（　） サンプル数　1箇所あたり３サンプル 採取箇所　・ 図示　・	[1.4.1]
	・	石綿粉じん濃度測定	※ 行う 測定時期、場所及び測定箇所数	[6.1.3]
	⊙	石綿含有建材の処理	・石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲　・図示　・（　　） 除去工法　※解体共通仕様書6.3.2(1)による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止　※湿潤化　・固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場)　・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) ⊙石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲　・図示　⊙（ ﾊﾞｰﾗｲﾄ板,ﾀﾞｸﾄﾊﾞｯｷﾝ ） 除去工法　・破砕して除去　⊙原型のまま手ばらし　・超高圧ｳｫｰﾀｰｼﾞｪｯﾄ 除去した石綿含有保温材等の飛散防止　※湿潤化　・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ⊙埋立処分(管理型最終処分場)　・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) ・石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第１種以外）の除去 除去対象範囲　・（　　）　・図示 作業場所周辺の養生　・行う 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有せっこうボード　※埋立処分(管理型最終処分場) ・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ・埋立処分(管理型最終処分場)　・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) ・ 石綿含有成型板（石綿含有けい酸カルシウム板第１種）の除去 除去対象範囲　・ 図示　・ 養生方法　・ 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第１種の処分 ・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・ 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去 除去対象範囲　・ 図示　・ 除去工法　・ 養生方法　・ 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）	
7 特殊な建設副産物の処理	・	施工計画調査	分析調査　調査項目（　　） ・ 行う　・ 行わない	[7.1.3]
	・	回収及び処分	・ 図示　・（　　）	[7.3.1]

測定時期、場所及び測定箇所数

適応	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所（各施工箇所ごと）
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計　箇所
・	測定2		処理作業室外部の付近	・計　箇所
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	・計　箇所
・	測定4		セキュリティゾーン入口	・計 1 箇所
・	測定5		集じん・廃棄装置の排出吹出し口（処理作業室外）	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・計 2 箇所
・	測定6		処理作業室外（敷地境界）（施工区画周辺）	・計　箇所 ・計　箇所
・	測定7	処理作業後(ｼｰﾄ養生中)	処理作業室内	・計 2 箇所
・	測定8	処理作業後ｼｰﾄ撤去後１週間以降	処理作業室内	・計　箇所
・	測定9		調査対象室外部の付近	・計　箇所

測定方法

・ 自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・ 測定4 ・ 測定5	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計、パーティクルカウンター 繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の 粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・ JIS K 3850-1に基づいた想定

測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
・ 測定4　・ 測定5	25	5	30
・ 測定	47	10	120
・ 測定	47	10	240

特記仕様書（解体工事編）　令和４年版　高知県土木部建築課

令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事　2026/02

(株)ハウジング総合コンサルタント
高知市南久保16-17 TEL088-883-1030 FAX088-882-4779
高知県知事登録119号　管理建築士 一級建築士登録第202207号
代表取締役　福 家 正 義　村 田 憲 明

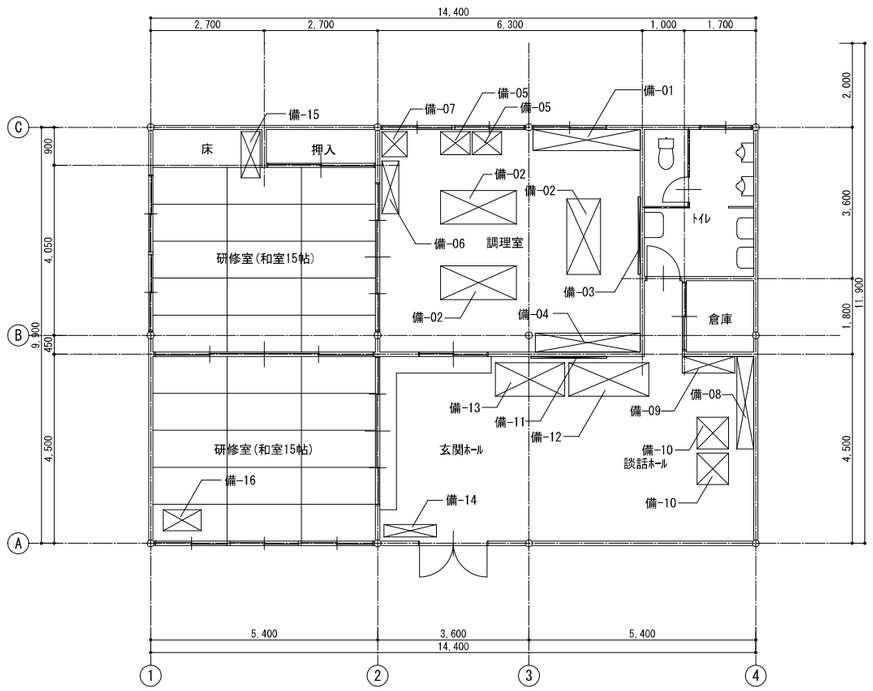
KT-01

令和５年７月改正

外部仕上表			
屋根	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板縦ﾊｾﾞ葺, ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ	根廻	ﾓﾙﾀﾙ塗刷毛引
外壁	角波ｶﾗｰ鉄板 t=0.4	軒天	ﾊﾟｰﾗｲﾄ板t=6.5目ｽｶｼ張 【ｱｽﾍﾞｽﾄ含有】

内部仕上表

階	室名	床	巾木	腰壁	壁	天井	天井高さ	備考
1階	玄関ﾎｰﾙ	ﾋﾞﾆｰﾙﾀｲﾙ張	木製幅木H=120	-	漆喰塗(ﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ下地), 一部石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP塗	ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞt=9.0目ｽｶｼ張OP塗	-	
	談話ﾎｰﾙ	ﾋﾞﾆｰﾙﾀｲﾙ張	木製幅木H=120	-	漆喰塗(ﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ下地), 一部石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP塗	ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞt=9.0目ｽｶｼ張OP塗	-	
	倉庫	ﾓﾙﾀﾙ塗	木製幅木H=120	-	ﾗﾜﾝﾍﾟﾆﾔt=4.0	ﾗﾜﾝﾍﾟﾆﾔt=4.0	2,150	
	便所	ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ張	-	100角ﾀｲﾙ張	漆喰塗(CB下地)	ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞt=9.0目ｽｶｼ張OP塗	-	
	調理室	合板ﾌﾛｱｰt=12	木製幅木H=60	-	漆喰塗(ﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ下地/CB下地), 一部石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP塗	ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞt=9.0目ｽｶｼ張OP塗	-	
	研修室(和室15帖)	畳敷	-	-	漆喰塗(ﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ下地), 一部石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP塗	ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞt=9.0目ｽｶｼ張OP塗	-	
	研修室(和室15帖)	畳敷	-	-	漆喰塗(ﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ下地), 一部石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP塗	ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞt=9.0目ｽｶｼ張OP塗	-	
	押入	ﾗﾜﾝﾍﾟﾆﾔt=5.5	-	-	ﾗﾜﾝﾍﾟﾆﾔt=4.0	ﾗﾜﾝﾍﾟﾆﾔt=4.0	1,800	
	床	化粧合板t=9.0	-	-	漆喰塗(ﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ下地)	ﾌﾟﾗｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞt=9.0目ｽｶｼ張OP塗	-	

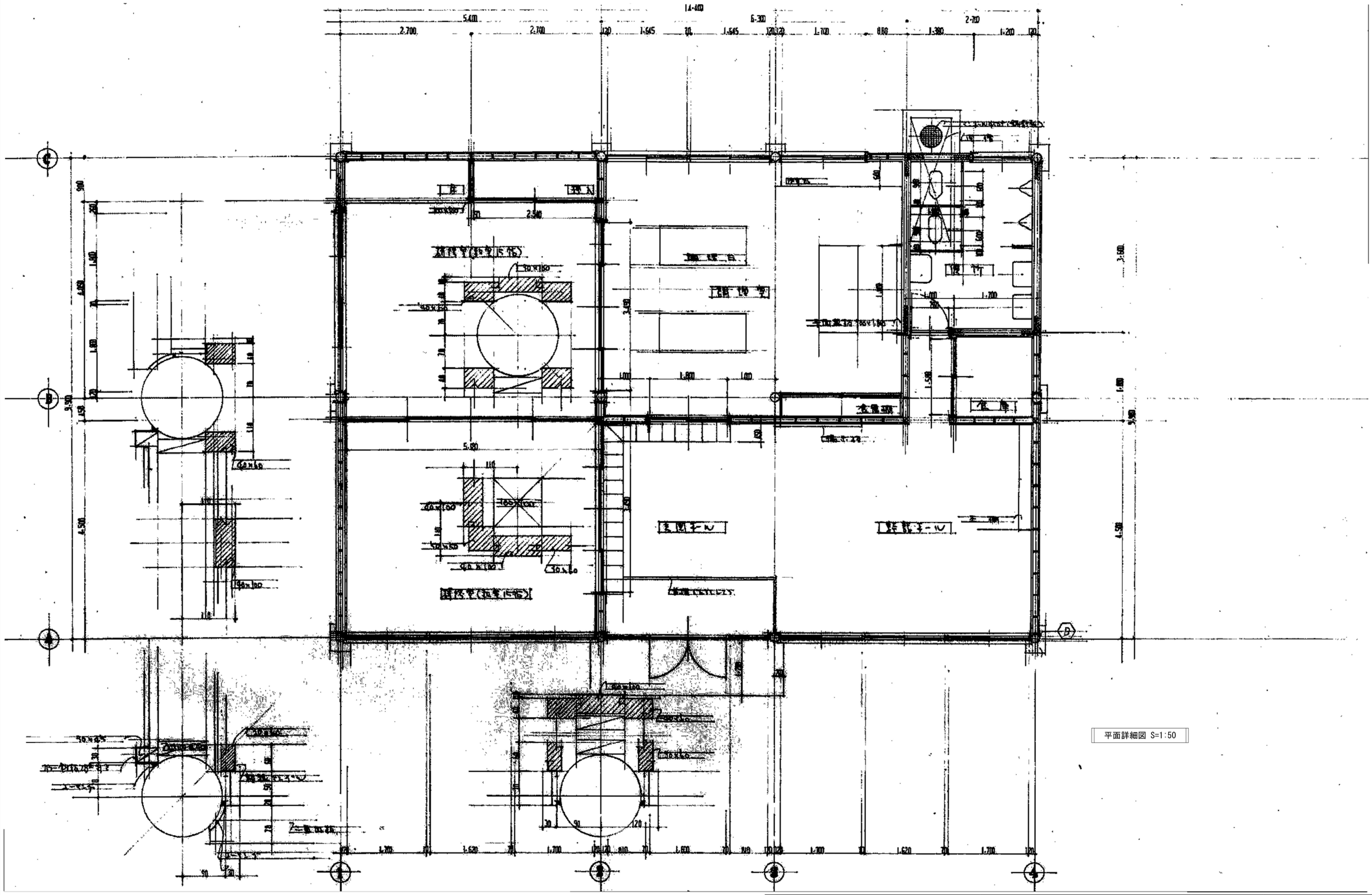


平面図・備品配置図 S=1:100

備品ﾘｽﾄ

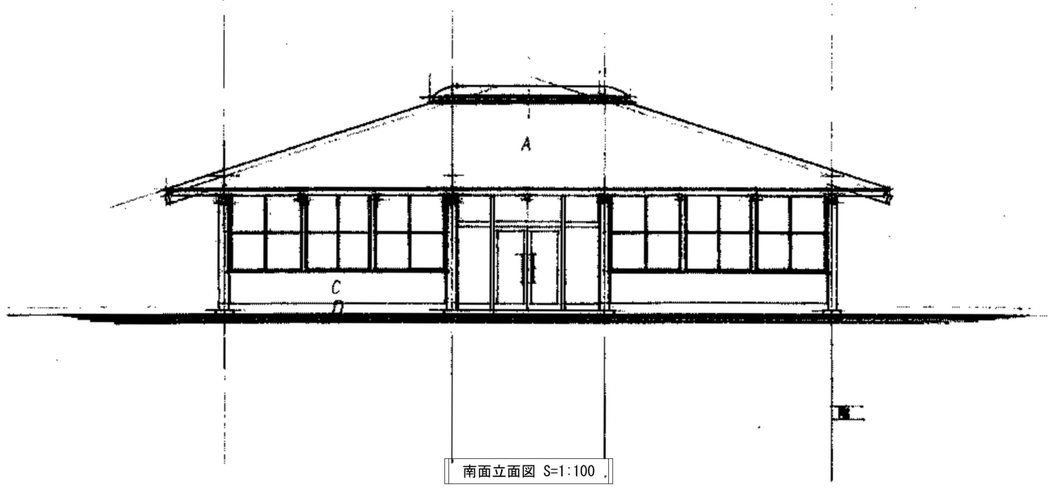
番号	名称	W	D	H	数量	備考
備-01	戸棚	2550	500	850	1	
備-02	調理台	1800	800	800	3	
備-03	黒板	1850	50	900	1	
備-04	戸棚	2500	450	1800	1	
備-05	戸棚	700	550	650	2	
備-06	戸棚	1250	400	1100	1	
備-07	冷蔵庫	600	600	1800	1	家電ﾘｻｲｸﾙ法
備-08	戸棚	2200	400	2150	1	
備-09	棚	1250	400	700	1	
備-10	椅子	750	750	700	2	
備-11	掲示板	1800	50	900	1	
備-12	椅子	1900	800	900	1	
備-13	椅子	1650	800	700	1	
備-14	傘立て	1250	300	550	1	
備-15	台	900	500	1000	1	
備-16	台	1100	450	450	1	

工事名	(株)ハウジング総合コンサルタント	高知県知事登録119号 代表取締役	管理建築士 一級建築士登録第203207号	
令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779	福家 正義	村田 憲明	
図名 [解体]仕上表・平面図	縮尺 1/100 A2(100%),A3(70.7%) / 年月日 2026/02 / 図面No. K — 01	製図	一級建築士登録第370400号 山本 優太	

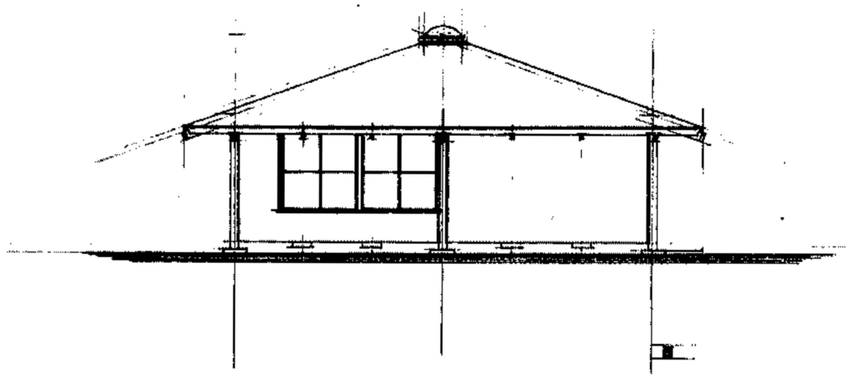


平面詳細図 S=1:50

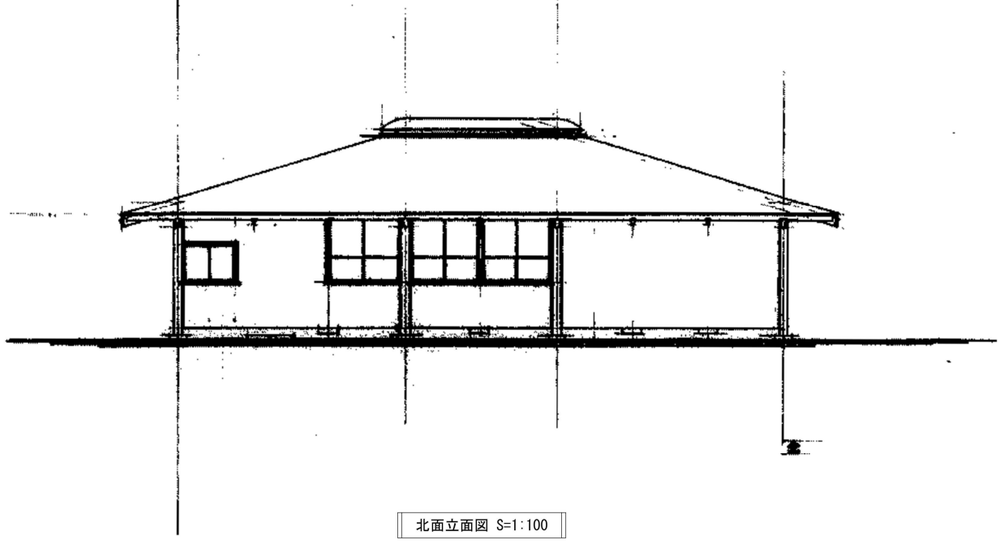
工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16−17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 [解体]平面詳細図	縮尺 1/50 A2(100%), A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. K — 02	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太



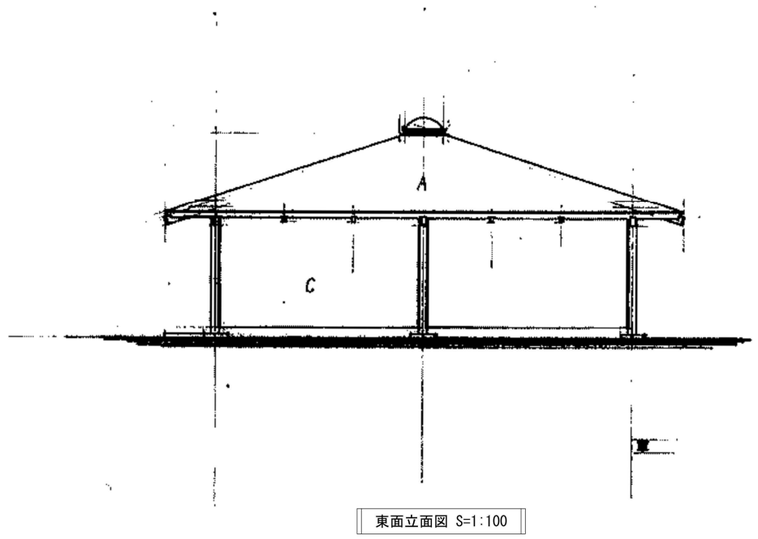
南面立面図 S=1:100



西面立面図 S=1:100

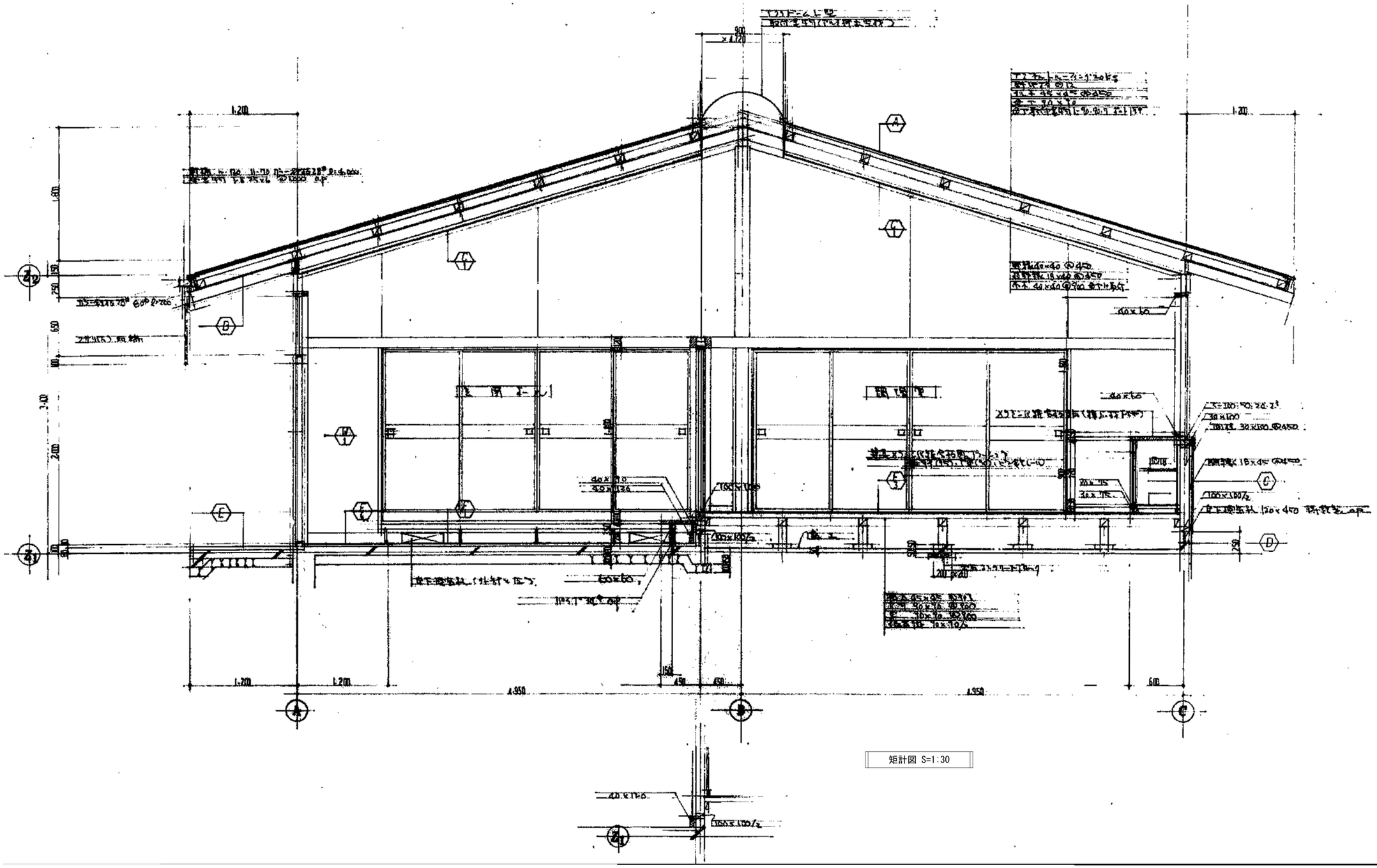


北面立面図 S=1:100



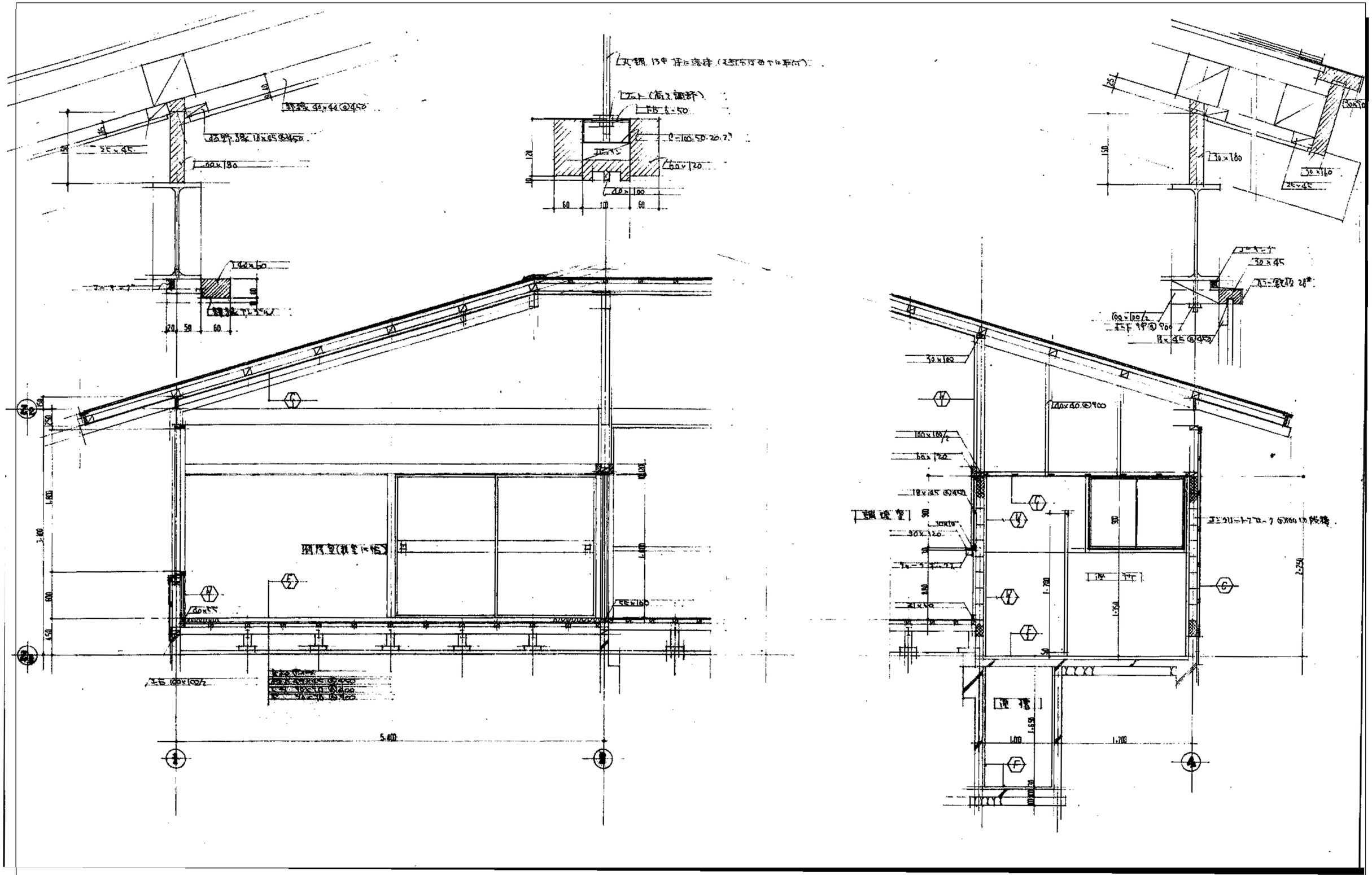
東面立面図 S=1:100

工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16－17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図名 [解体]立面図	縮尺 1／100 A2(100%),A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. K — 03	製図	一級建築士登録第370400号 山 本 優 太

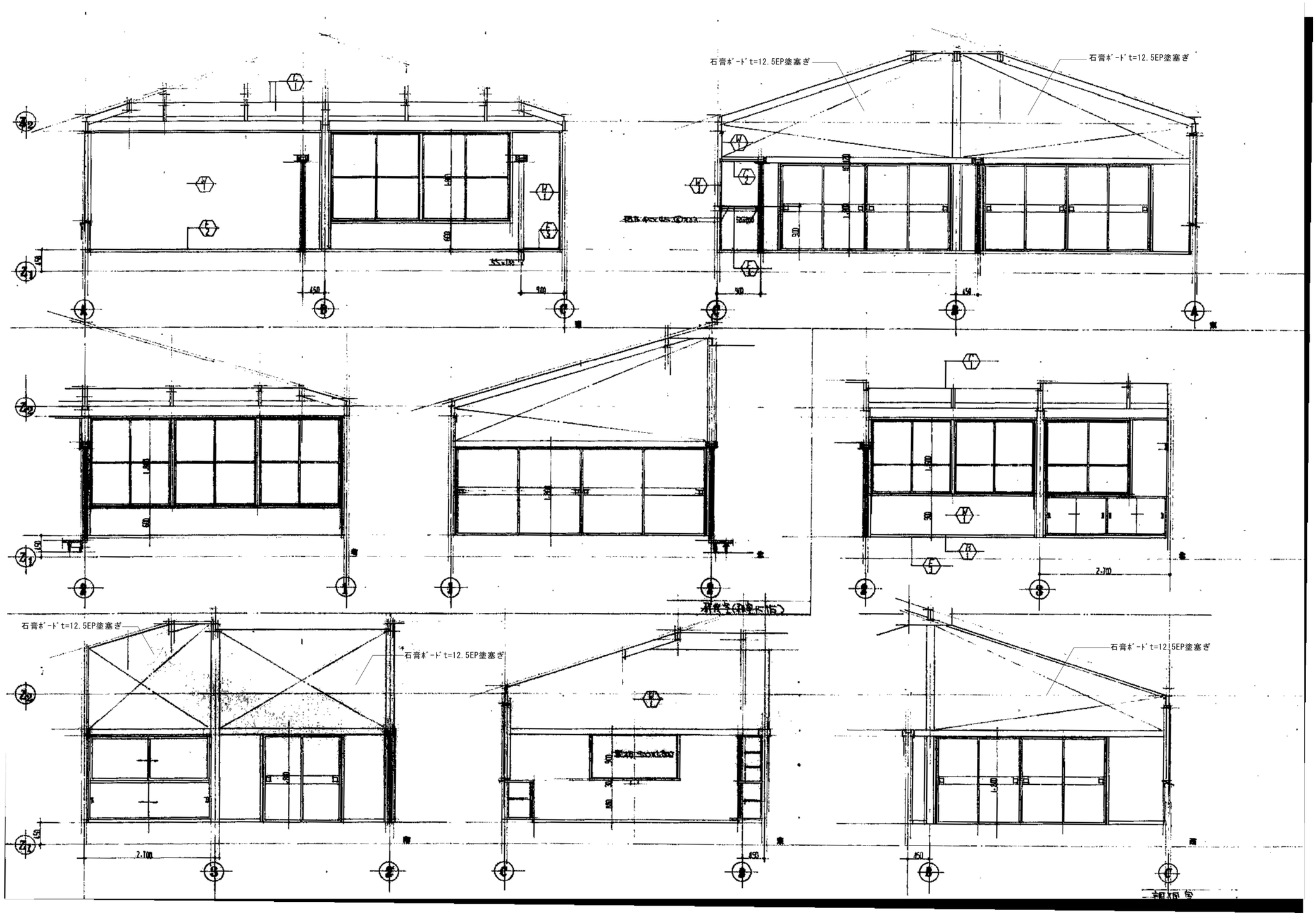


矩計図 S=1:30

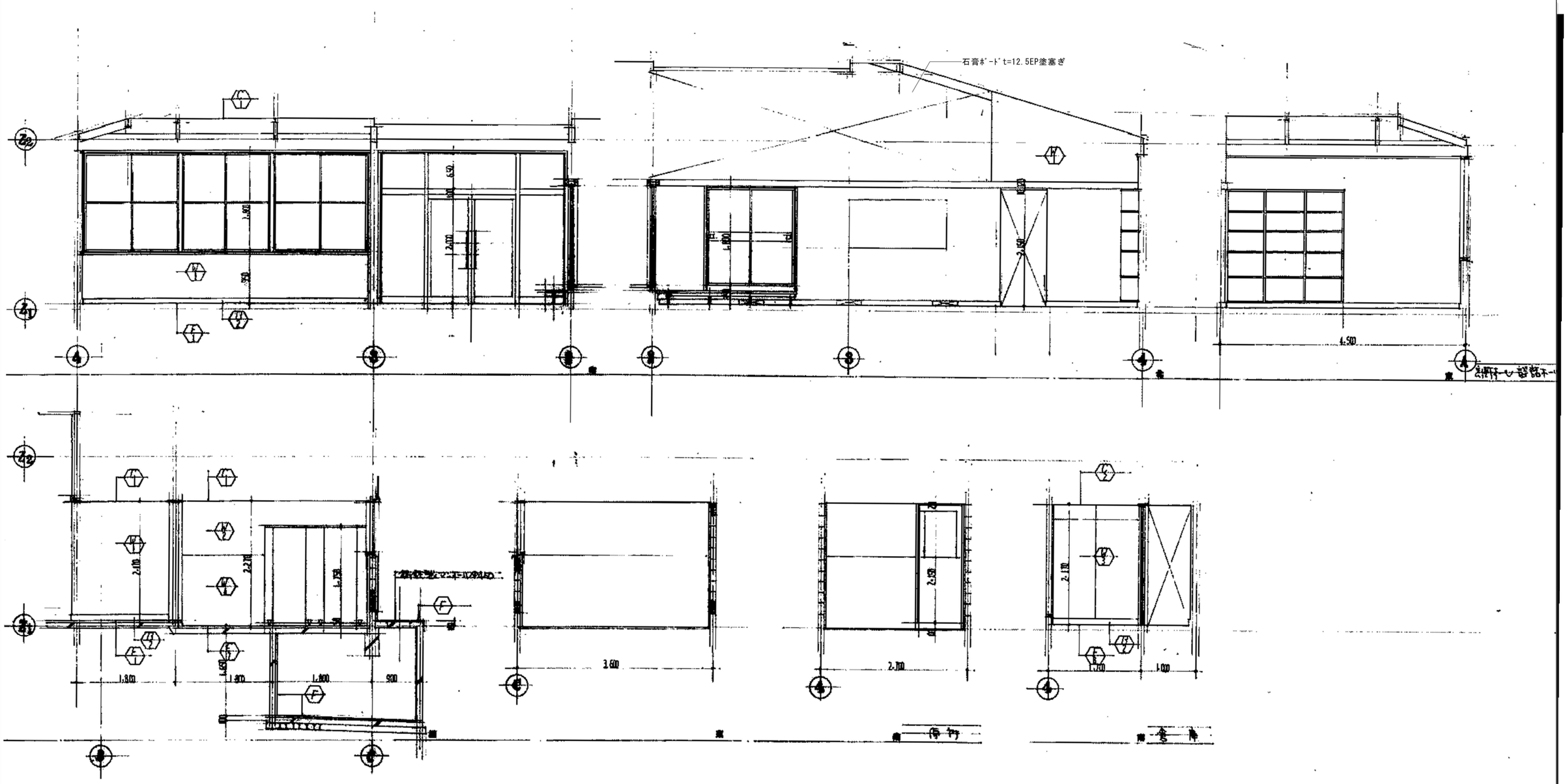
工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16－17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 [解体]矩計図	縮尺 1／30 A2(100%),A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. K — 04	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太



工事名 令和8年度 鹿敷生活改善センター改築工事	(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16−17 TEL 088-803-1030 FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図名 [解体]詳細図	縮尺 1／30 A2(100%), A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. A — 05	製図	一級建築士登録第370400号 山 本 優 太

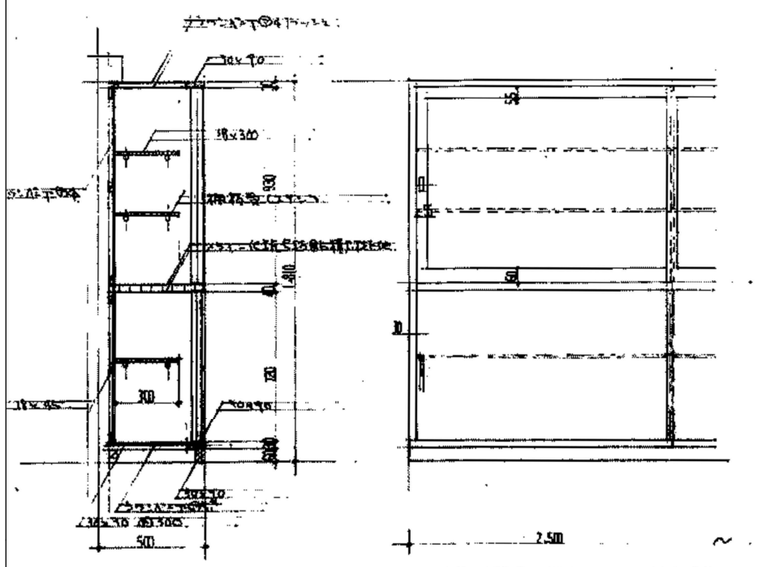


工事名 令和8年度 鹿敷生活改善ｾﾝﾀｰ改築工事	(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16−17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明
図名 [解体]各室展開図(1)	縮尺 1/50 A2(100%),A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. A — 06	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太



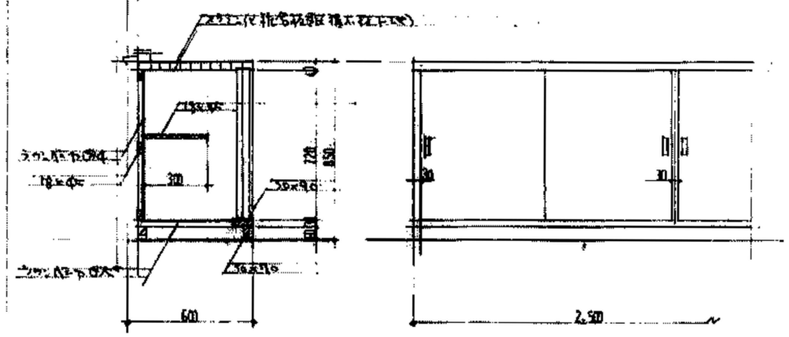
工事名 令和8年度 鹿敷生活改善センター改築工事	(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16−17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田 憲明	
図名 [解体]各室展開図(2)	縮尺 1/50 A2(100%), A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. K — 07	製図	一級建築士登録第370400号 山本 優太

食器棚（調理室）1ヶ所


2,500

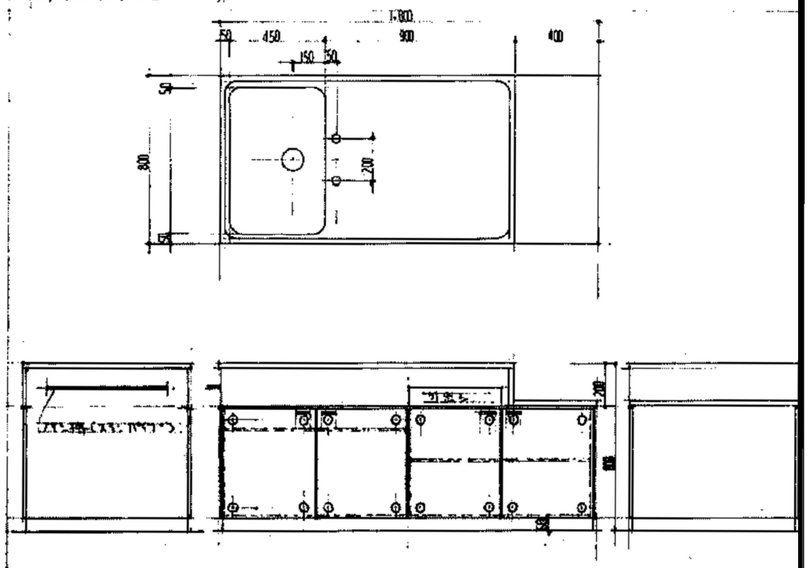
主作材：ラワン o.P　補材：ラワン
意　見：ヒ：がらとり棚（スノコ）o.P　下ニ×53%・ボル金しめ・ナイロン下車(30)・能力1(100)
シリンダー錠・見込(30)
下：メラミン化粧合板フラッシュ下引違戸・ビス金しめ・ナイロン下車(30)・シリンダー錠・能力1(100)
見込(30)

作業台（調理室）1ヶ所


600
2,500

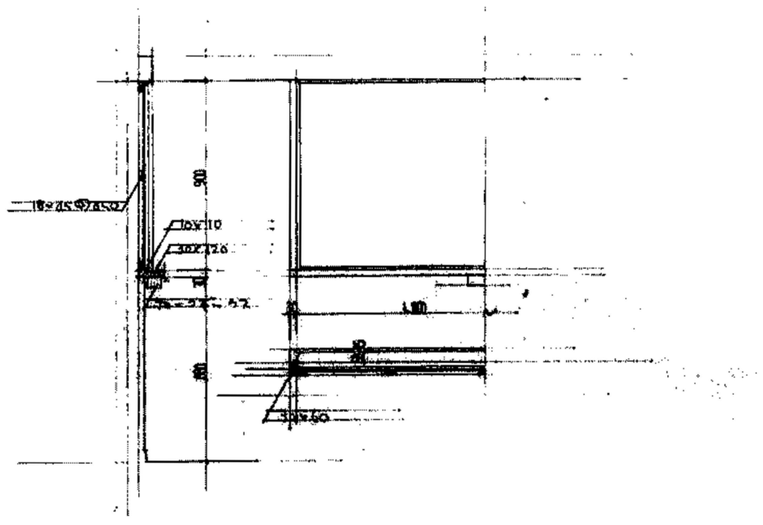
主作材：ラワン o.P　補材：ラワン
意　見：メラミン化粧合板フラッシュ下引違戸・ビス金しめ・ナイロン下車(30)・シリンダー錠・能力1(15)・見込(30)

調理台（調理室）1ヶ所



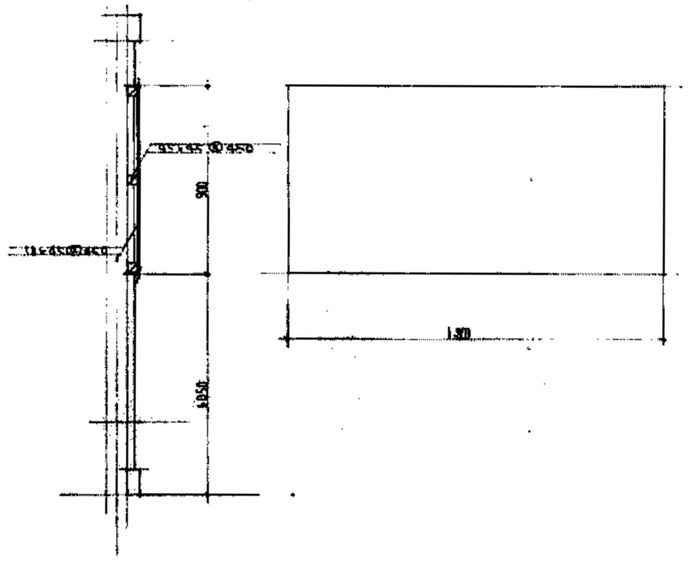
スチレス……SUS-24（18Cr）1次プレス加工 アルコン塗装　・トランプ BLM-A40（長方形）
意見……メラミン化粧合板フラッシュ戸、ビスオートキャッチ、取手(60)、マグネットキャッチ、プラスチック製枕板付
側板……メラミン化粧合板フラッシュ
内部……底：ラワンパネル 6ミリ　・棚板：ラワンパネル 7ミリ　・側：ラワンパネル 7ミリ@4
※排水口の位置は現場確認。・流し下部板取外し式。
巾木……H-60 o.P

果物棚（調理室）1ヶ所


1,800

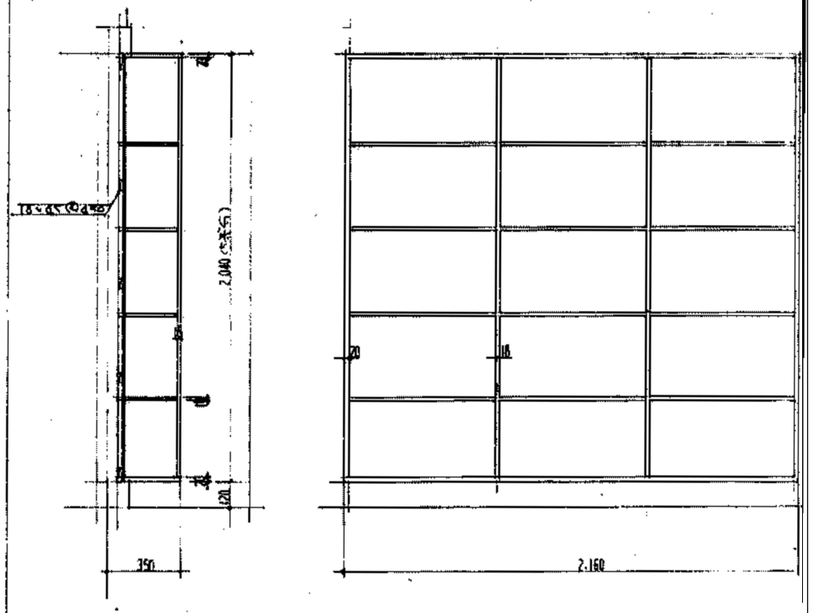
主作材：ラワン　もし
果　材：福ベキャビネット(ロ)7段開閉の上置棚高型

掲示板（設計オーレ）1ヶ所


1,300

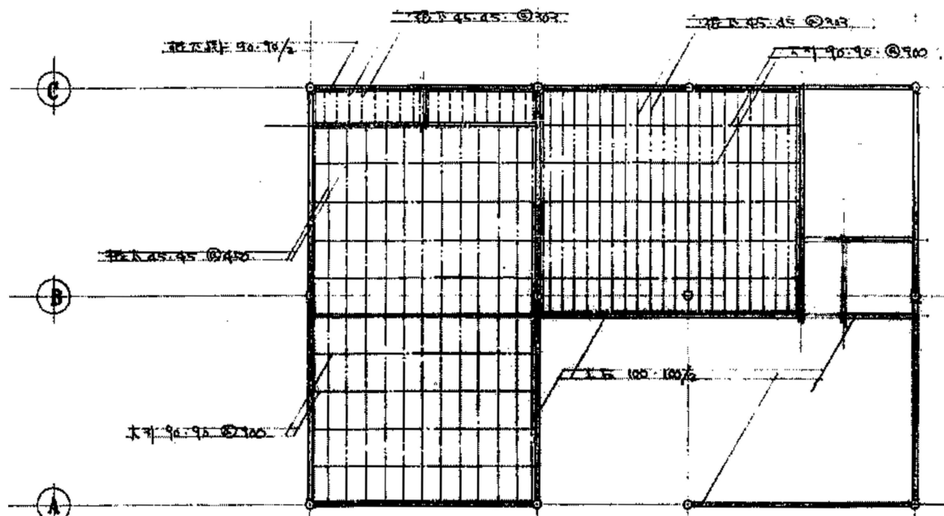
掲示板……ラワンパネル6ミリ下地ウレタン塗装

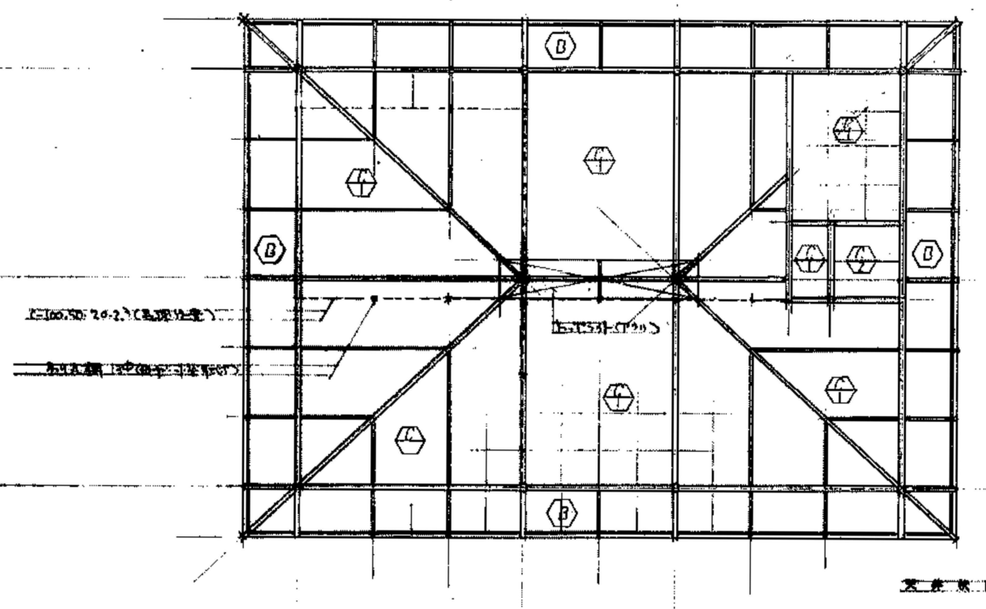
手洗棚（設計オーレ）1ヶ所

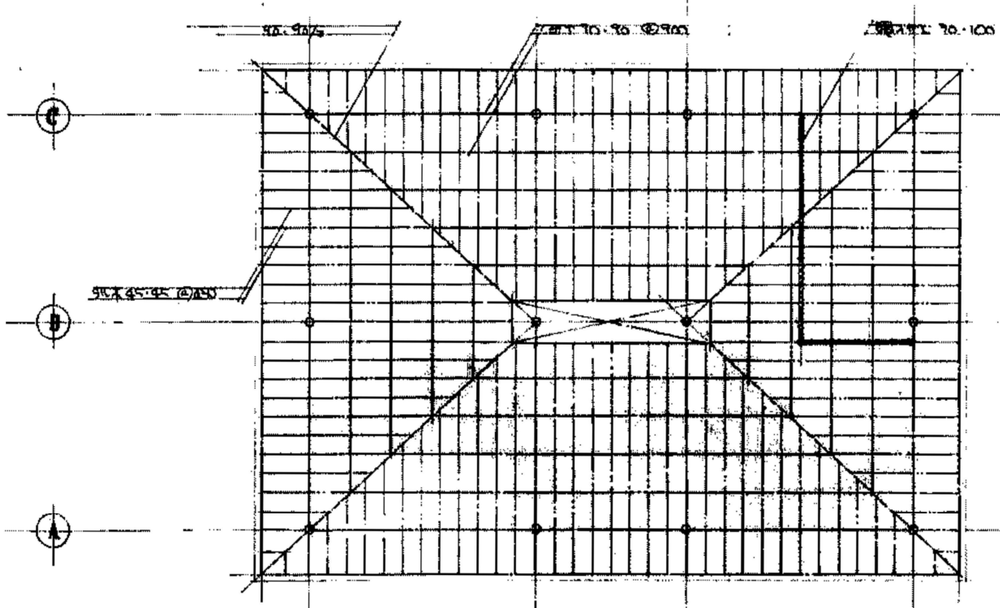

2,040
350
2,160

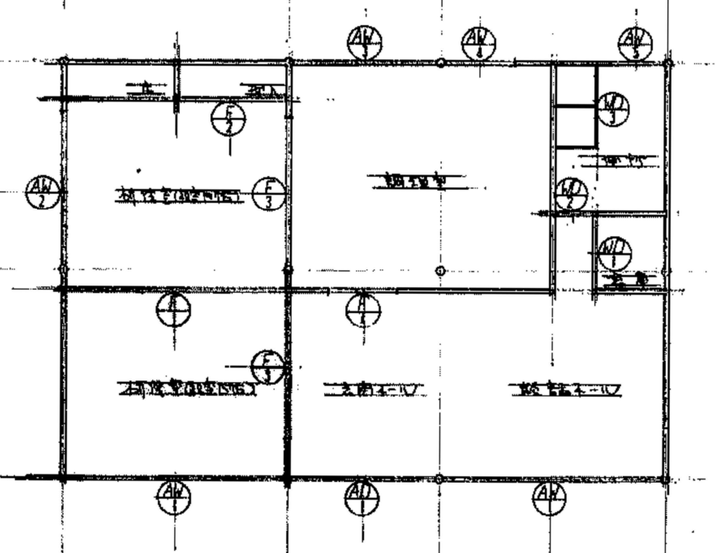
棚板・側板……ラワンパネル7ミリ下地ウレタンフラッシュ、C.L

工事名 令和8年度 鹿敷生活改善センター改築工事	(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17　TEL 088-883-1030　FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 [解体]家具詳細図	縮尺 1/20 A2(100%), A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. K — 08	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太

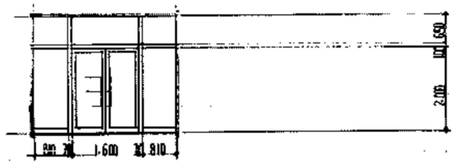




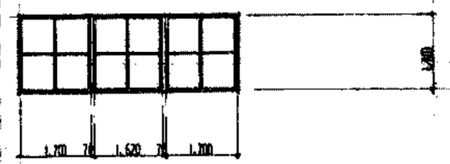


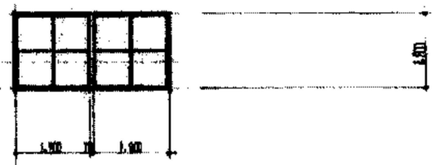


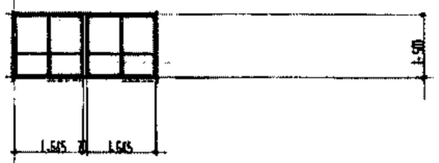
工事名 令和8年度 鹿敷生活改善センター改築工事	(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16−17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明	
図名 [解体]各伏図	縮尺 1／100 A2(100%), A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. K — 09	製図	一級建築士登録第370400号 山 本 優 太

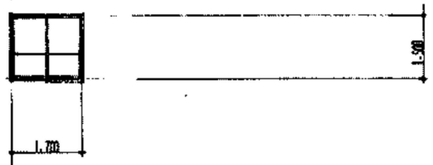


番号	AD 1	AW 1	AW 2	AW 3	AW 4	AW 5
寸法	70	70	今 元	今 元	今 元	今 元
建具			今 元	今 元	今 元	今 元
材質	トーメイ アモルフ 6.8%(電線入)	トーメイ アモルフ 6.8%(電線入)	アルミ製ガラス4枚引違い3連	今 元 (てこ手付)…	アルミ製ガラス4枚引違い(… アミ付)	今 元
製造形式	アルミ製両開きガラス4枚ガラス入	アルミ製ガラス4枚引違い3連	今 元	今 元	今 元	今 元
金物	ドアチェック(パラレル型)・ナット・シリンダー錠・ドアエ錠・ドアストッパー(ゴムキャップ付)・錠類メッキ	クレセント・錠類メッキ・ヒ重チ付	今 元	今 元	今 元	今 元

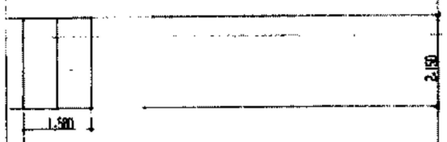


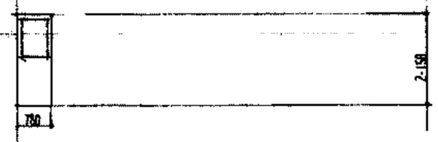


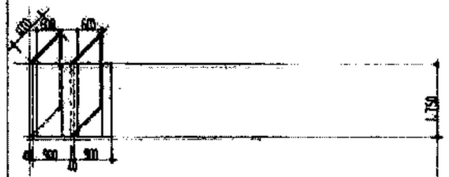




番号	FD 1	FD 2	FD 3	FD 4
寸法	25	今 元	今 元	今 元
建具				
材質	アルミ4枚引違い 押ラッチ・ハンドル取手・帯(島ノ子)	アルミ引違い・押ラッチ・ハンドル取手・帯(島ノ子)	アルミ4枚引違い 押ラッチ・ハンドル取手・帯(島の子)	アルミ引違い・押ラッチ・ハンドル取手・帯(島の子)
製造形式				
金物	Tバスオック引手	今 元	今 元	今 元







番号	WD 1	WD 2	WD 3
寸法	36	今 元	今 元
建具	0P	今 元	
材質	木パネルドア中空フラッシュ引違い	トーメイ アモルフ 6.8%(電線入)	40 今 元
製造形式		木パネルドア中空フラッシュ片開き ガラス入	木パネルドア中空フラッシュ片開き スリーン付
金物	真ちゅうレール(3×25ビス止め)・木車(30ナイロン)・鎧引手(T10)・ラッチ一式	丁番(100)・空錠(ロータス)	ラバトリーセンター・ストライク・ラッチ錠・隠れ蝶(スチール)・足金物(スチール)

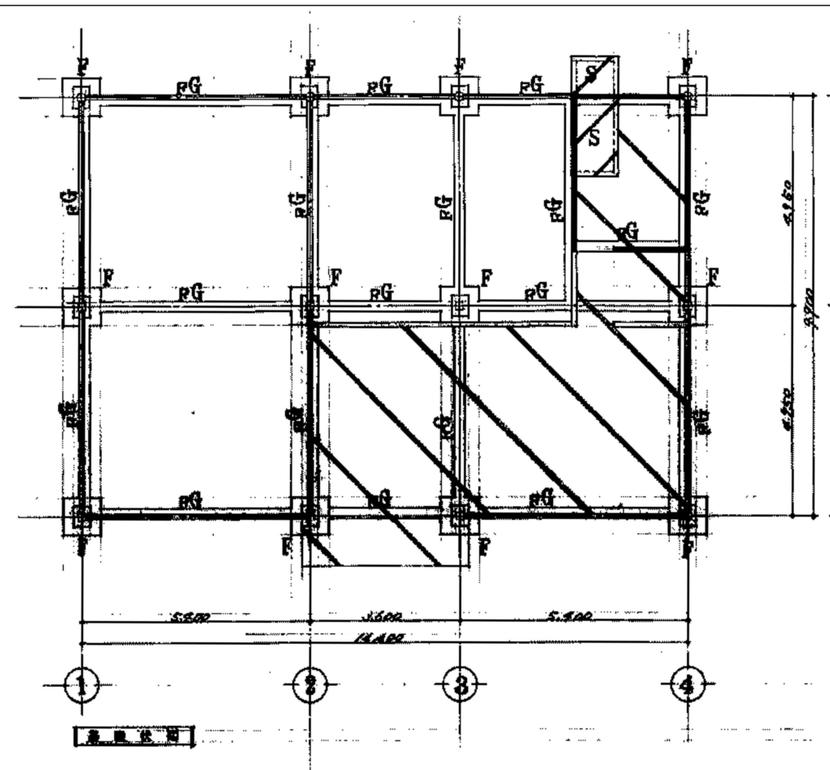
工事名 令和8年度 鹿敷生活改善センター改築工事	(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779	高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田 憲明	
図名 [解体]建具表	縮尺 1/100 A2(100%), A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. K — 10	製図	一級建築士登録第370400号 山本 優太

一般事項　特記仕様

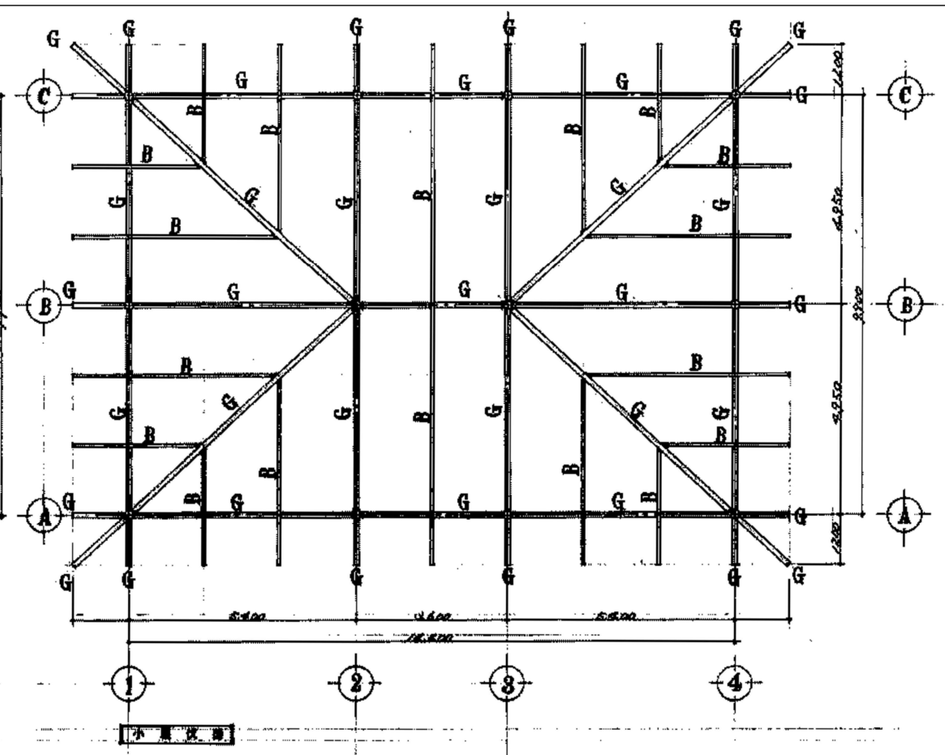
1. 仕様書に特記無き構造詳細は高知県土木部建築工事標準仕様書及び日本建築学会発行の各種基礎仕様書に依る。
2. コンクリートの基礎及び地中梁は、4週圧縮強度 fc=180 N/mm²
   ・テストピースは、コンクリート打込1回につき6本採取
3. 鉄筋の使用鋼材は、SR24、JIS規格品とし、現場検査に依り引張試験を各2本行い、3本下へ付ける。
   ・重ね継手位置は標準継手位置に依る。
   ・継手及定着長さは40dを原則とする。
4. 鋼材の使用鋼材及部材は、SS41及STKそれぞれJIS規格品とする。
5. 溶接の製作要領書を工事管理者に提出し承認を受ける。
   ・安全と環境：鋼材ノ下塗は錆止塗料とする。
   ・騒音振動：ライトは暗いうち常点灯とする。
6. ボルトのH.T.B.はF10T、PCフェルトとする。
   ・中ボルトは3種とする。
7. 錆止塗装塗料を光明丹とし、塗り重ね及び工法は高知県土木部建築工事標準仕様書の次の項に依る。
   6.7.1 工場塗装
   6.10.1 現場塗装
8. 地盤の基礎下 捨コンクリート @50
   割栗石 @120
   地中梁下 捨コンクリート @50
   敷砂利 @50
9. 地耐力の長期 5.0 t/m²

部材表

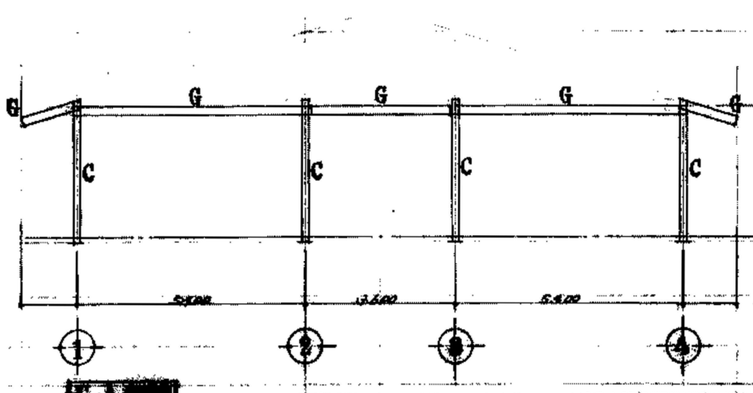
鉄骨柱	G	H-200×100×5.5×8
〃	B	H-125×60×6×8
鉄骨柱	C	φ-165.2×6.0
基礎	F	柱状 900×900、D=400 ベース筋 [illegible] @-D-D 13φ 柱筋 [illegible] 2-13φ
地中梁	FG	断面 250×400 主筋 上下筋各4-2-16φ スタラップ 7φ @200
スラブ	S	D100 7φ @200 シングルクロス
立面スラブ		D100 7φ @200 シングルクロス
低層北壁		D100 7φ @200 シングルクロス 各コーナ G.L.-1.3φ
低層側壁		D100 7φ @200 シングルクロス 各コーナーは1-1.3φ
立上り壁		D100 7φ @250 シングルクロス 各コーナは1-1.3φ



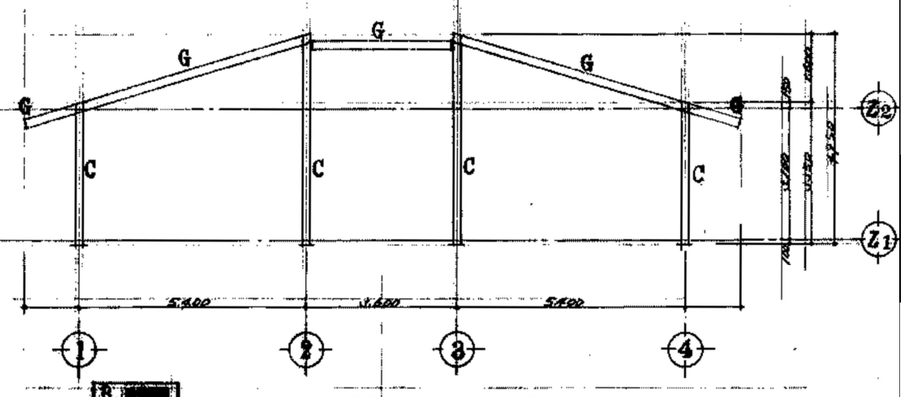
基礎伏図



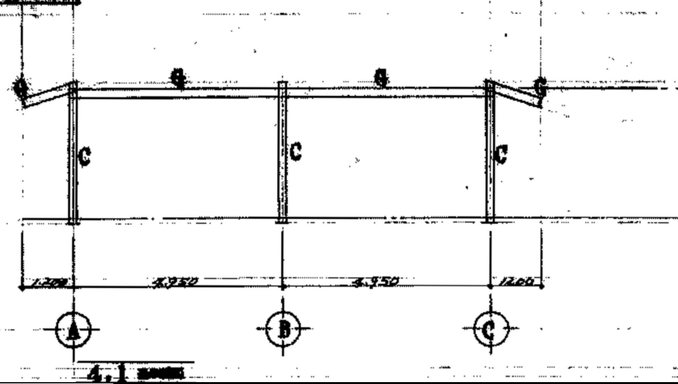
小屋伏図



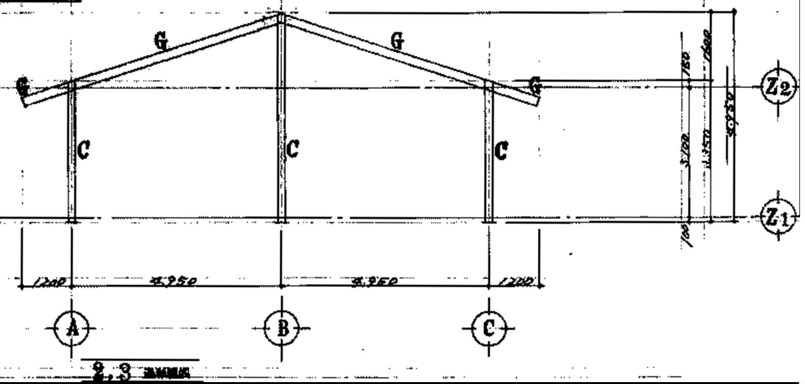
2.2 [illegible]



2.3 [illegible]

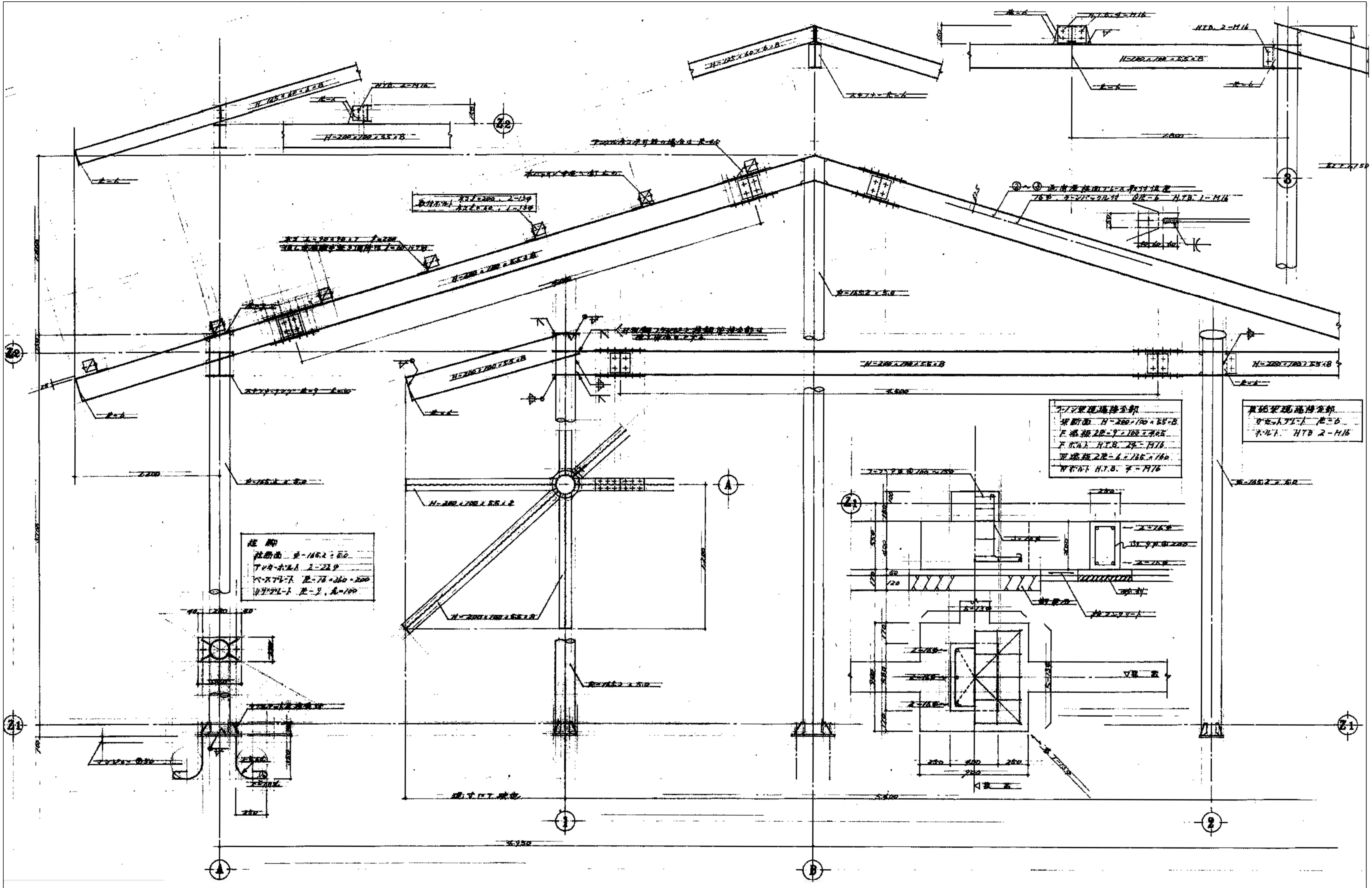


4.1 [illegible]

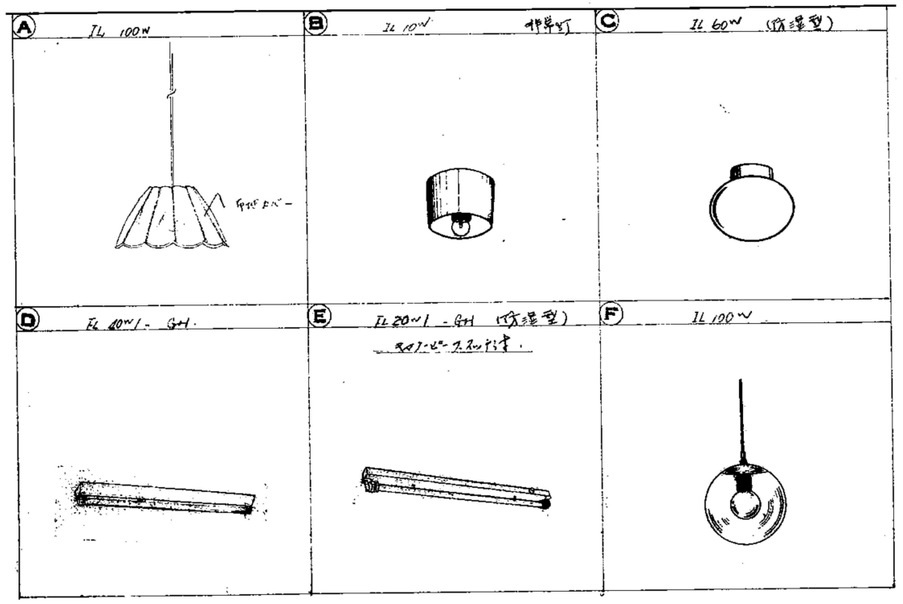


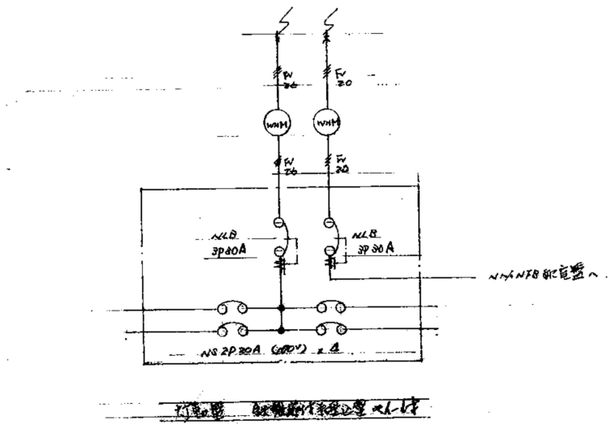
2.3 [illegible]

工事名 令和8年度 鹿敷生活改善センター改築工事	(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16-17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779		高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明	
図名 [解体]各軸組図・伏図(2)	縮尺 1/100 A2(100%), A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. K — 11	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太

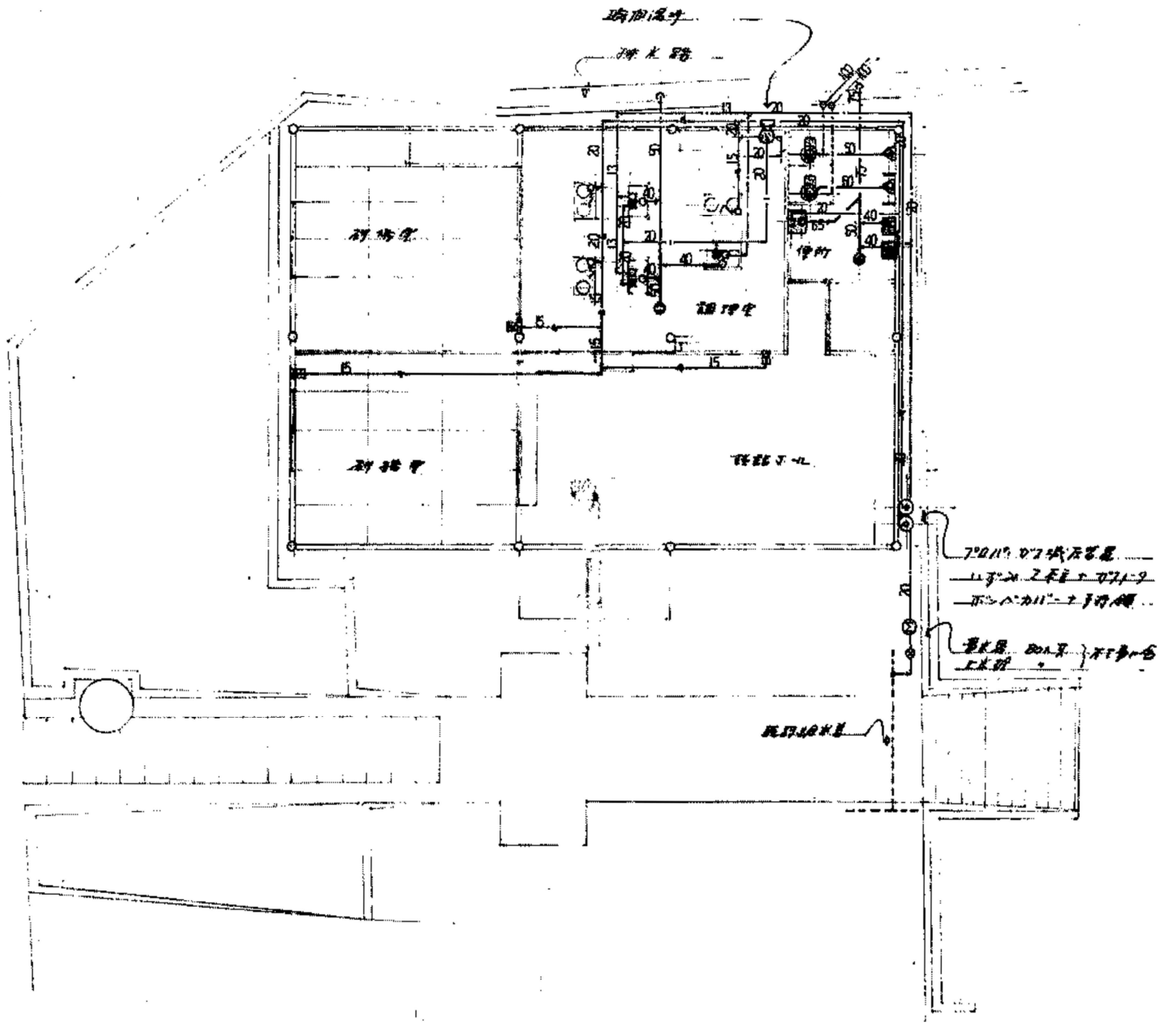


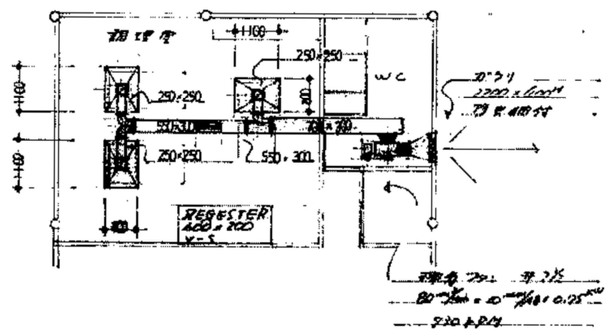
工事名 令和8年度 鹿敷生活改善センター改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16−17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福家正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田憲明
図名 [解体]構造詳細図	縮尺 1/100 A2(100%),A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. K — 12	製図	一級建築士登録第370400号 山本優太

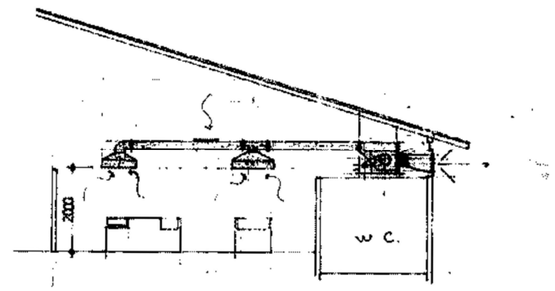




工事名 令和8年度 鹿敷生活改善センター改築工事	(株) ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16−17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779			高知県知事登録119号 代表取締役 福家 正義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村田 憲明
図名 [解体]電気設備工事	縮尺 1 / - A2(100%), A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. K — 13	製図	一級建築士登録第370400号 山本 優太







ダクト及ブッドは要鋼線用 #26 E.W.G
及ITOP仕上

衛生	給水管(下管)	C-52	2
	〃 小管	U-9 A7.A9 A100 (化粧管)	2
	洗面ヒット	単水栓・ウジ石ン 温度 鏡セット 洗面器付	2
	小便器	L-5D T210Y T6A T22P T42	2
	F D	T5RA-50	2
	洗面器	SE22A T23AEY10 T303N TK22 T9E	
衛生	排水管	PH 16φ BF GV CV 中間コック	1
	〃	T36R-13	6
	ビット	中D 石エ にてレンチへ接続	3
	CO	CO/A-N 50	1
消火設備	BOX型ITZ	単口	3

給水管 水道用VP
排水管 一般用VP 雨用管
ガス管 白GP

工事名 令和8年度 鹿敷生活改善センター改築工事	(株)ハウジング総合コンサルタント 高知市南久保16−17 TEL 088-883-1030 FAX 088-882-4779	高知県知事登録119号 代表取締役 福 家 正 義	管理建築士 一級建築士登録第203207号 村 田 憲 明		
図名 [解体]衛生設備工事	縮尺 1／100 A2(100%),A3(70.7%)	年月日 2026/02	図面No. K — 14	製図	一級建築士登録第370400号 山 本 優 太